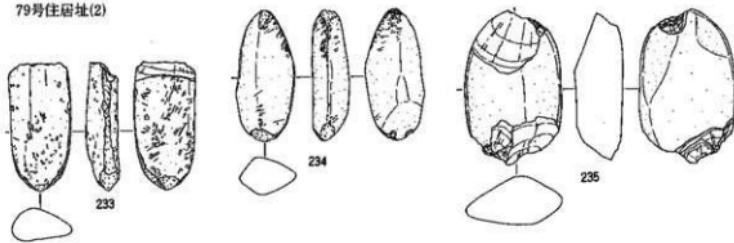
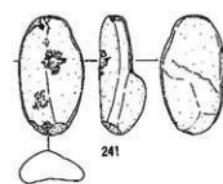
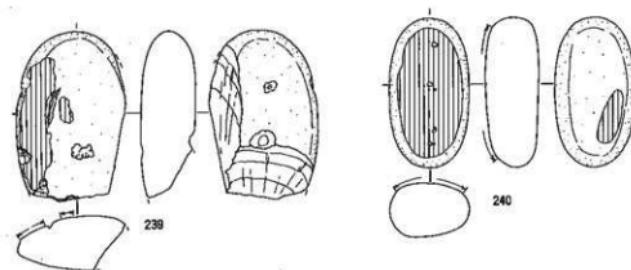
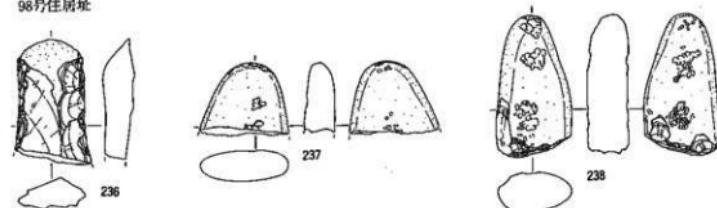


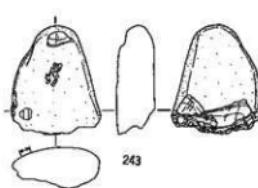
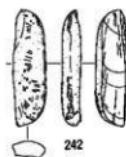
79号住居址(2)



98号住居址



99号住居址



0 20cm

图316 79·98·99住居址出土石器实测图

100号住居址(1)

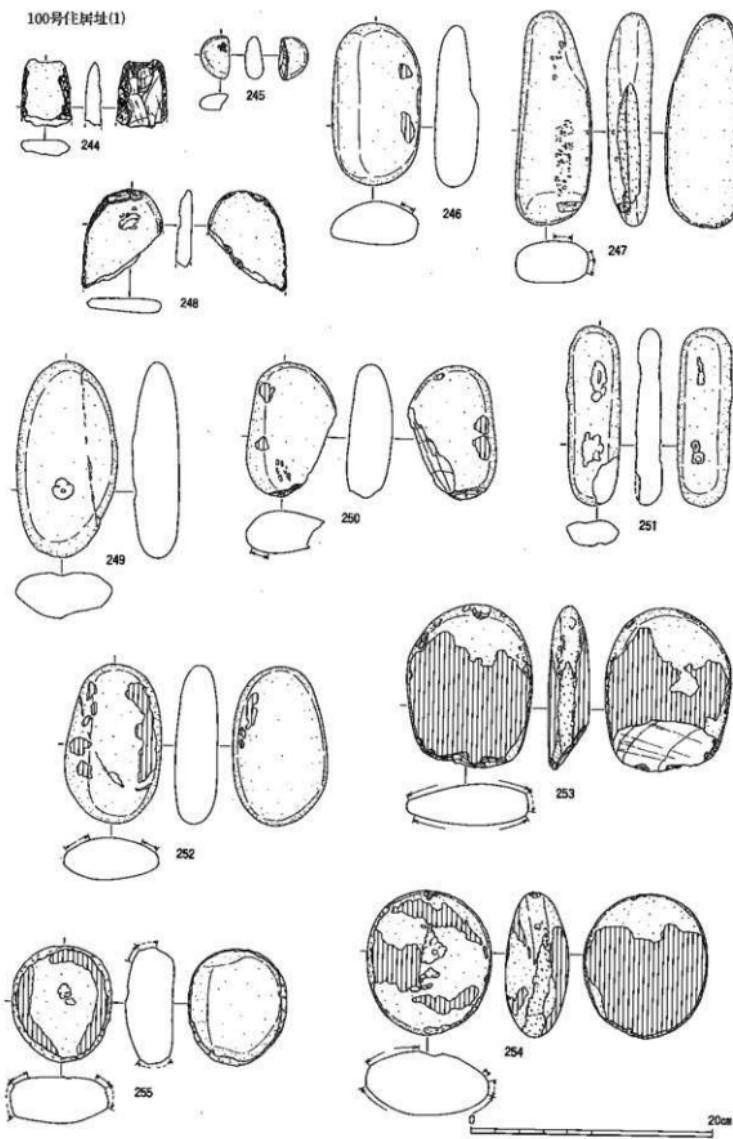
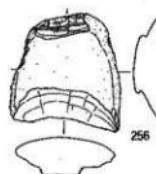


図317 100号住居址出土石器実測図

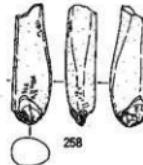
100号住居址(2)



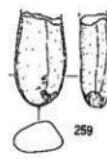
256



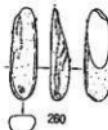
257



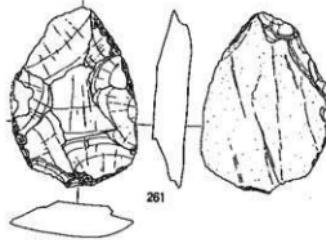
258



259

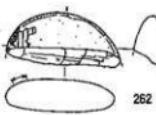


260

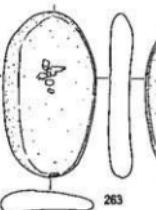


261

101号住居址

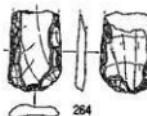


262



263

104号住居址



264

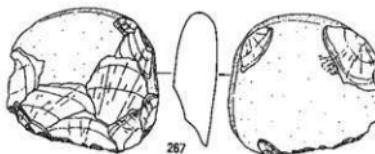


265

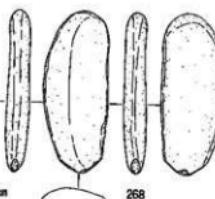


266

105号住居址



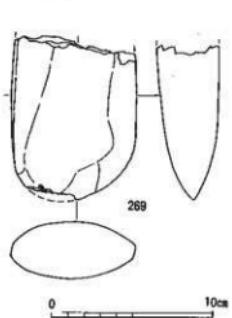
267



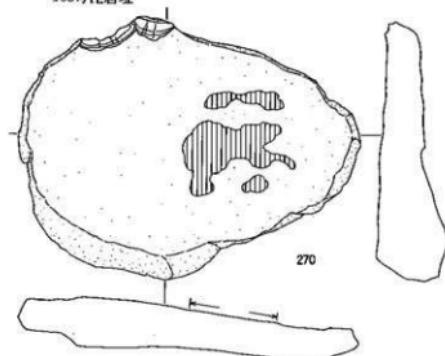
268

図318 100(2)・101・104・105号住居址出土石器実測図

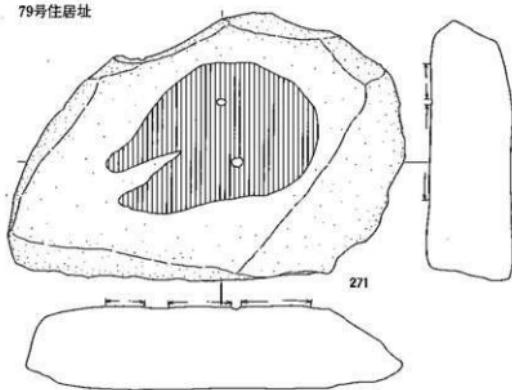
99号住居址



105号住居址



79号住居址



100号住居址

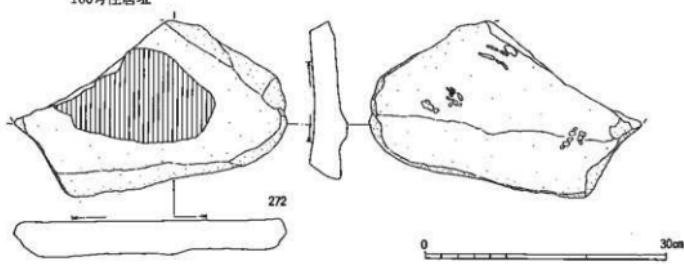


图319 79·99·100·105住居址出土石器实测图

## 第13節 採集品

一帯が早くから畠地となっていたこともある、中越遺跡では、これまでに多くの遺物が採集されている(向山1970)。もとより大部分が採集者の所有となっているわけだが、一部教育委員会が保管しているものがあるので紹介しておく。

### 1 土器

3~5は太田保の表探によるもので、3・4は山形押型文土器、5は諸磯C式であろう。

1もまた表探で、低いキャリバー状の口縁部が強く内屈する深鉢につく顔面把手部である。井戸尻I式期のものであろう。2は昭和55年8月26日にAX22で採集されたもので、曾利I式期のいわゆる蒸し器の胴部である。

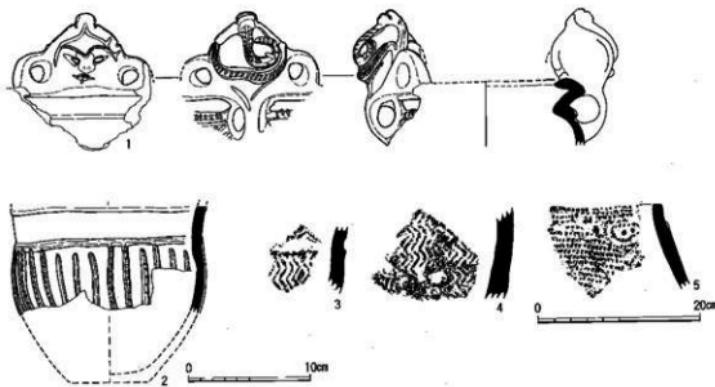


図320 採集土器実測・撮影図

### 2 土製品

土偶がある。頭部と右胸部のみで、頭部の成形や形態は、内部を中空とする点も含めて顔面把手と酷似しており、頭部に比べ、体部は小さくなりそうである。頭髪部に環を2つ作出し、両耳の位置に正面から斜め下方に向かう貫通孔をあけている。井戸尻I式期に属しているよう。

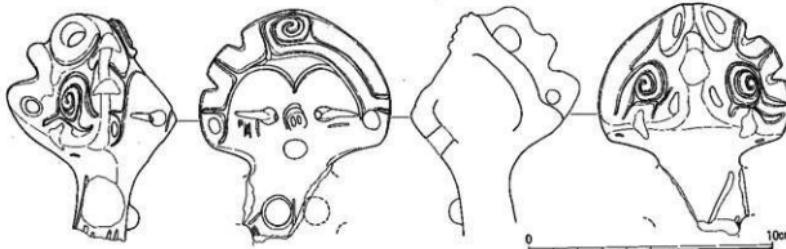


図321 採集土偶実測図

## 第3章 中越遺跡における諸問題

### 第1節 遺構について

#### I. 繩文前期の住居址と方形柱列

繩文前期の遺構には、住居址、竪穴、方形柱列、土壙がある。しかし、集落規模が第1章第1節IVのように想定できる以外は、内部構造やその変遷まで明らかにすることはできない。以下、住居址と方形柱列について述べておきたい。

##### 1. 住居址

105軒弱が調査・確認されたわけだが、全体形が推定できるのは54軒で、それらは形態などから4種に分けられる。

- A：検出面からの掘り込みが浅く、埋土が赤味がかった黄褐色で、平面形は不整円形または方形を呈し、規模が小さく径3~4mのもの。
- B：検出面からの掘り込みが深く、埋土が黒褐色で、平面形は1辺が強く張り出す例の多い円味をおびた隅丸方形を呈するものの。規模は1辺4~5mと中程度である。
- C：検出面からの掘り込みが最も深く、埋土は黒褐色で上層に黒色土がレンズ状に見られる例が多く、平面形が隅丸長方形や長方形を呈するもの。規模は長辺が6~7mで中越遺跡の中では最も大きい。
- D：検出面からの掘り込みがやや浅く、埋土は黒褐色で、平面形が隅丸方形となるもの。規模は1辺4~6mである。

Aは、25・35・44・107号住の4軒があげられる。いずれも、竪穴内に炉、周溝共に無く、柱穴も明確なものがみつからないなど、住居として必要な要素に欠けている。出土土器をみると、35・107号住ではI期I群Aが主体であり、44号住でも同期Aの大破片が埋土の疊群の間から出土していることから、それを伴う最も古い時期の形態であり、しかも他にI期I群Aを主体とする住居址がなく、その時期のみに見られる形態であるといつても良いだろう。

Bは量的には最も多く、1・10・12・31・37・43・47・57・62・79・98・102・105号住など、わかるもので32軒を数える。全体形が明確なのは19軒で、うち14例が1辺が強く張り出している。張り出し方は必ずしも同様でなく、単に1辺が弧を描くもの、平面形が五角形に近いもの、二頂点を含めて大きく円を描くものなどがある。柱穴は4本で、壁下を幅広の周溝がめぐる例が多いが、全くないものもある。炉は、長軸線上の中央からやや偏した位置にある地床炉で、炉床は焼けておらず、内部には焼土粒のわずか混じる漆黒色土が埋まっている。出土土器によると、その出土状況からII期に廃絶したとされる住居址（98号住）があるものの、10号住でI期I群Bが、37号住で同群Eがそれぞれまとまって出土していることから、最も古い時期を除くI期の基本形であり、一部はII期へ下るものとしたい。

Cは総数17軒を数え、そのうち長方形とわかるものが2・8・13・26・63号住の5軒、隅丸長方形とわかるのが6・9・14・100号住の4軒である。内部施設にBと大きな相違はないが、小規模ながら石囲炉を設けたり（9号住）、炉内に平石を埋めこむように据える例（8・13号住）があり、注意される。53号住と55号住の遺物分布（付図）、62号住と63号住の遺物分布（図234）の比較から、Cは、主体となるII期の土器が床面まで達しており、II期の土器が上層に限られるBとは明らかな時期差をもって新しいことがわかる。切り合い関係においても、12号住と26号住、14号住と23号住、1・3号住と2号住、9号住と31号住の関係は、いずれもCがBより新しいことを示している。II期の住居の基本形態としたい。ただ、Cのうちの隅丸長方形の形態は、6号住埋土から多量のI期I群Dが出土していること、100号住埋土出土土器群の方方が隣接する98号住のそれより古い傾向にある（第2章第12節）とされていることなどから、I期に発生してBとある期間共存していたものとみたい。

Dは少なく、4・76・99号住の3軒である。4号住以外に周溝がみあたらない他は、内部施設はBと変わらない。切り合い関係では4号住が2号住に切られている。遺物は、76号住から炉内を含めII期I群Bが（図297—62～64・69）、4・99号からは粗雑な造りの粗い繩文を施文する土器（図19—34・35、図301—174・175）がまとまって出土している。前者がII期でも最も新しく、さらに後者については、阿久遺跡で有尾式より新しい在地系に粗雑な繩文を全面に施文する粗い造りの土器が存在する（阿久III期）とされており、あるいは前者よりさらに新しいのではないかとの感をいだかせる。しかしこれは、第1次調査時の所見を覆すものであり、例も少なく、ここではその可能性を指摘するにとどめたい。

このように住居址形態は、A→B→Cと変化したとすることができ、AはI期の最も古い時期に属し、BはI期、CはII期に主要な形態であり、BからCへの変化は、円味をもった隅丸方形から隅丸長方形を経て長方形に至り、しかも一時期、異なる形態の住居が同時に存在した可能性があるという、なめらかなものであったといえよう。さらに、中越遺跡のある台地から小田切川を隔てた南の駒ヶ原台地の、東方の縁辺にある駒ヶ原下遺跡から3軒、駒ヶ原南遺跡から6軒の繩文前期初頭の住居址が検出されているのだが、それ等の住居址が、形態は全てAで、遺物はごく少ないものの駒ヶ原南遺跡5号住からI期I群Aがまとまって出土し、中越遺跡の最古の住居址群と同一時期と考えられることから、少なくとも太田切川左岸の繩文前期初頭の集落の発生期には、はじめ、2つの台地縁辺の複数の地点に住居が築かれ、やがて、中越遺跡の地に、集中的に大規模な集落が営まれるようになったと解すこともできよう。

住居址BとCの長軸方向にはかなり齊一性がある。それは、NからN30°Eの間もしくはそれと直交方向のN70°WからN90°で、9割近く、特にCにそ傾向は強い。第2章であまりふれてないよう、個々の住居址付近の構築時の地表面の傾きは明らかでないが、全体としては、この長軸方向は当時の地表面の傾斜に平行もしくは直交するものとみられる。明らかに北北東に傾く地点に築かれた100号住居址が、N80°Eに長軸をおいているのもその一例となろう。一方Dは、76号住がN、4・99号住がN30°Wに長軸をおいている。特に後者は、B・Cとは明らかに異なっており、この点も、DがBとCの中間形態ではないとした場合の一つの根拠となろう。

埋土に多量の礫が存在する例がある。完掘していない住居址が多いので確定できないが、3割から5割程度の住居址にみられる。この点は第1次調査の時すでに注意され、当初、集石あるいは配石と呼ばれていたほどである。礫は拳大から人頭大で、量は多く密集しているものの、並べられた状態ではなく、当初から指摘されていたように、壁ぎわで高く中央部で低いレンズ状に入りこんでいる。地表面が傾くところでは、礫が傾斜の上方に多くて下方にはほとんど無く、あっても低位である例（98・100号住）や、中央付近

の埋土下位にのみ集中する例（48・102号住）もある。調査時には、遺物出土状態の多くが中央が深いレンズ状を呈することから、それがこの疊と重なって見え、疊自体が何らかの構造でないかという考え方もあるようであるが、このような疊の出土状態は、基本的には、住居廃絶後ある程度周辺部から自然埋没した後にそれ等が入り込んだことを示しており、遺物が廃棄され住居址埋土に入りこむ過程とも相通じることから、遺跡地に新たにローム層まで達する堅穴を掘った場合多量の疊が掘りおこされたはずであり、その疊を廃棄した痕跡であると考えたい。代表例として1・2・25・44・48・98・100・102号住があげられる。

このほか、床面施設について特記すべきこととして、

①床面に据えたり（6・9・14・17・18・37・38・44・57・79・100・105号住）壁にたてかけた（5・79号住）状態で平石が出土している。9号住で周囲から出土する黒曜石の剝片との関連性に注意したように、平滑な面をもつ固定式石皿を含む、作業台的なものと考えられる。

②壁外への張り出し部がある。住居址の角の部分で、Aを除く全ての形態に見られ、Bで17・59号住、Cで9・100号住、Dで76号住があげられる。100号住で観察したところでは、張り出し部の埋土は、住居址部分と差が見られず、底面も床面と段差がない。その性格を知る遺物も出土していない。

③住居址中央に方形で大型の浅いピットがある。例は少なく、7・11・99号住に見られる。99号住は後世の攪乱と解されるが、他の性格は不明である。

④Bの形態の中に多柱穴の例がある。62号住がそれで、38号住もそうである可能性がある。柱穴は方形に配され、うちの相対する2辺は4本が等間隔に直列しており、方形柱列との関連性も考えねばならない。などの点が指摘される。なお、建て替えが推定も含めて13軒に考えられたが、43・53・58号住で拡張されていることが判明した以外は、床面施設の組み合わせや前後関係を特定することができず、分折までには至らなかった。

## 2. 方形柱列

2例あるがいずれも部分的な調査からの推定である。

A：第3次調査でB P15に検出され、大形の柱穴4本が方形に配されていると考えた。そのうち2本を調査した（イ号堅穴とP<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>）ことになる。位置をわずかにずらして建て替えられており、P<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>で、新しい方の掘り方に炭粒が混入することが確認され、他のピット（イ号堅穴）からはI期とII期の土器の小破片が出土している。

B：第14次調査でB O06に検出され、1辺に4～5本が並ぶ方形の配置になるものと推定した。調査では、1辺のピットを3個まで確認し、1個だけ発掘したことになる。底面が長方形を呈し、埋土に、掘ったのち時間をおかずして埋め戻したためと考えられる多量の疊が混入しており、阿久遺跡で注意された点と同様である。I期I群Aの出土した107号住を切り、埋土からはI期の土器片が出土している。

共に縄文前期の集落内にあり、II期の集落の、Aは東端、Bは南西端にそれぞれ近い。遺物からBはI期に属すると思われるが、集落内の位置関係は明らかでない。

## II. 縄文中期の土壤

縄文中期の遺構には、住居址、貯蔵址、土壤がある。そのうち住居址は、完掘されたのは第13次調査の1軒のみで、第10次調査でみつかった約10軒は、確認しただけで終わっている。また、第12次調査で貯蔵址とされた2基は浅い小型の堅穴で、いずれも一列に大ピットを穿ち、壁外に小ピットが等間隔に並ぶも

のだが、この堅穴自体からの遺物出土は皆無で、用途も含め、例数の増加を待って検討しなければならないだろう。

土壤のうち、B-L42に検出された1基は、近接する1号貯蔵址の大ピット（共に第12次調査）とあわせて、定形的な土壤として注意される。径80～100cmの深いタライ状のもので埋土から一定量の遺物が出土している。全てIII期の土器片で、I号土壇では埋土下層から土壤底に集中していた。確認されているIII期の遺物出土範囲から、台地中央部に、III期の、土壤を中心とした遺構が展開している可能性がある。

### III. 繩文後期の集落遺構群

繩文後期の遺構群については、全体を総合的にとらえる必要があったことから、すでに第2章第4節で詳しく分析を試みてるので、ここでは、発掘時に一度は注意されながら、結局は追求し切れなかった点についてふれておきたい。

それは、調査区東側の密集した集落遺構群が、住居址である可能性についてである。このことは一方で、集落遺構を如何なる性格の遺構と解釈するかということでもある。

集落遺構群は、先に述べたように小さな集落遺構の集合体と考えたわけだが、さらに形態からそれらは、8種類ほどに分け得る。それは、①環状に中小の礫がめぐるもの。②大形礫1個の周囲に接して中小の礫を環状に置きならべる。③数個の礫の集まりで定形的でなく、下層にピットを伴う。④数個の礫の集まりで定形的でなく、下層にピットがみあたらない。⑤立石。⑥大形礫を積み上げた形。⑦土壤に伴う集落。⑧石棺墓、である。このうち①は、礫の内側に落ち込みが認められず、礫は平坦面に空隙をおいて置き並べた印象をうけ、全体形も整っていない。また②の大際は、多くがIV層以下にくい込んでおり、集落遺構建築以前に存在していたものをそのまま使用することになる。さらに、下層のピットや土壤と関連づけてとらえたものも、集落遺構が密集する範囲では、13号遺構が下層に明確な土壤を伴う以外は、すべてが③であり、6・23・25遺構などの⑦はその範囲の外に位置している。このように、集落遺構群中で遺構ととらえた中には、形態と共に性格も明らかでないものが含まれており、しかも遺構ととらえたほかにも多くの礫があり、「集落遺構群」を、単に集落遺構が集まつた状態であるとしたのでは説明し切れない面がある。

そこでこの集落遺構群を巨視的にとらえなおしてみると、2層に分かれた上層と下層の全体は、先述したようにそれぞれあるパターンを描いている様子が見てとれるのである。そこで上層のパターンから、14号遺構の立石下から始まって28号遺構に南接し19号遺構上層まで達する、南へ開いて東西方向に連なるゆるい弧状の石列（そのうち東側は礫を東西に長く置き並べている）を北壁とし、その南に幅1m程の帯状に石のない部分をおいて、7・8・15・33号遺構ととらえた集落を床面の敷石、北側の5号遺構とした横石状の集落を住居址入口部の敷石、28号遺構とした大平石を入口施設の一部に由来するものと解釈し、柄鏡形敷石住居の残骸ととらえなおしてみた。13・14号遺構の下層から9号遺構にかけての、中小の礫を空隙をもたせながらも敷きつめた状態は、上層の石列とその南の礫のない部分との関連性が強く、住居北壁の基礎がためと解することも可能であろう。つまり住居は平地式で、入口部の付く北側は、中小の礫を積み上げた上に礫を置き並べて壁を造成してあるとするわけである。

このように理解した場合、先の、遺物の保存状態から、加曾利B式併行III期以降、それまで露出した状態に保たれていた集落遺構が土壤で覆われるようになったとの推定も、集落上に住居を構築したのがその転機であり、土壤中に遺物が包含される状態は、住居址埋土という遺物包含層が形成されたことにより引き起こされたとができる。従来、特殊な施設ととらえられてきた敷石住居を、繩文後期のむしろ

通有の形態とし、集石や配石とされて来た中に住居の残骸が含まれている可能性が指摘されており、一方で墓域と居住域が重なる例も少なくなく、集落遺構群を住居址とする考えは無理なく受け入れられると思われる。

## 第2節 遺物について

### I. 繩文前期の遺物

#### 1. I期の土器

中越遺跡の代表的な資料や、特に他の遺跡の資料によって、すでにI群土器の大部分については、その性格や変遷は定説化している〔宮下1989〕としていいだろう。しかし、中越遺跡出土のI期の資料全体については、今日まで検討結果が公表されることがなかったわけで、あらためてまとめておきたい。

I期の土器は、I期の住居址埋土とI期の集落範囲の包含層、さらに後者からもたらされる形でII期の住居址の埋土全体から出土している。一方でII期の集落内のI期の住居址埋土の上層には、住居埋没の過程でII期の土器が入りこんどおり、包含層を含め、I期とII期の土器がまじりあっている部分が多い。

#### (1) I群土器の変遷

まず、各類の出土状態をもとに、前後関係を組み立ててみよう。

I群土器の小破片は、器形や施文の関係で大部分が各類に分けきることができず、わかるものを取り上げても、1軒にAからEまでの複数を含んでいることが多い。また、住居址床面に置かれていたり、埋設された状態の土器もない。そこで、ある程度全体形のわかる大きさの土器が埋土からまとまって出土した場合、限られた期間に集中的に遺棄されたものと考え、それ等をもとにした。各種別の土器は、Aは35・44・47・107号住、Bは10・44・47・59・61号住、Cは1・18・57・59・61・104号住、Dは6・7・8・23・57・101号住、Eは14・23・37・62・100・101・104号住から、それぞれまとまって出土している。

35・107号住では、I群はAのみである。住居址の形態や埋土も他とかけ離れており、しかも最も古いと考えられる。Bは、44・47号住ではAと、59・61号住ではCと共に出土している。Cはそれのみがまとまって出土した例がなく、量も決して多くない。57号住ではCとDが出土しているが、両者は胎土・整形共に明らかに異なっており、Cのそれの方がAやBに近い。59・61号住の出土状態からCのうち平口縁で隆帯を付さないものは、より古い可能性もある。Dは6号住に良好な資料があり、中に斜格子目文を痕跡的に残していると解される例があり、注意される。Eは37・62号住を好例としてあげたい。37号住では大量のEと共にDがわずか出土しているが、その施文から、隆帯が断面三角形で弱々しく、刻み目もないDは、Eに近いと考えられる。全体的にはA・D・Eに独自性の強い出土状態の例がある。以上から、I群土器はA→B→C→D→Eと連続的に変化しているとすることができる。次に、施文や器形、整形の変化の過程を整理し、その傍証をしたい。

Bの列点文は、Aの縁部下端の刻み目の簡略化としてとらえることができる。しかもBでは縁部が消滅し、斜格子目文を口縁から胴上半の全面に施文した後、頸部に列点文を施しているわけで、その列点文そのものを省略した形がCなのである。Cから縁部の隆帯を垂下するのが一般的となるのも、Bまでの横位を基本とする文様構成から解き放たれた結果といえよう。この隆帯は、はじめは高くて土器体部から隆帯側面にかけて連続するようなめらかに整え、刻みを付すものであったが、次第に太く丸味をもち、刻

みや刺突を付するものにかわり(D)、それも後には断面三角形で低く刻みも付きなくなり、やがて隆帯は消滅し全くの無文土器になる。Eの誕生である。

一方、A・B・Cには斜格子目文が付されているのだが、それを描く沈線には、幅の広くない櫛歯状具による3～5条、半截竹管による2条、単沈線の3種がある。観察によるとAは櫛歯状工具を主にまれに半截竹管が用いられ、Bは半截竹管が多く櫛歯状工具もあるが単沈線はまれで、Cは単沈線を主としており、斜格子目文は、多条から半截竹管の2条を経て単沈線へと変化をたどることができる。BとCの中間形態である図69-53の施文具は、太い半截竹管である。

Aはすべて、Bもほとんどが口唇に刻みを付しており、破片のため断定はできないが、少なくもDまではそれが残る。平口縁にその傾向がより強いようである。

土器の成形は2段階を経ている。すなわち、まず鉢状の小さな丸底の土器をつくり、ある程度固化したところで、それを底部として上に口径を広げながら一定幅の粘土帯を積み上げるもので、この手順はI期を通じて一定している。そして、この第1段階と第2段階の接点が、底端近くのくびれなのである。古いものほどそのくびれが顕著であり、第1段階で作った底部がより小さく、より垂直に近く立ち上がっていることを示している。しかし、上方部をさえる必要性からか、くびれは、ゆるくなるものの最後まで残る。なお、ほぼすべてが、第1段階つまり底部の方が器壁が薄い。

Aは顕著にBまでは、成形の際器壁を一定の厚さに整え、丁寧なナデで内面を中心に器壁を平滑に仕上げているが、Cから、積み上げの時生じた粘土帶中央部のふくらみや、接合部のゆがみをそのままにするようになり始める。ナデにより一応平滑にはされているが、積み上げの過程を容易に指摘できる程である。整形により消されているため推定だが、器壁の厚さが一定のものは、図16-22に見られるように成形後、指頭による押圧を整然と施すことにより器壁を整えているようである。なお、図66-21、図71-69・70などは、横位のナデが顕著で、厚くなっているものの壁厚を一定にし、色調も白味をおびており、平口縁の中には、口縁からの隆帯垂下を施さず、口唇の刻む率の高い、やや系統を異にする一群も存在するようである。

このように、出土状態からAからEへと変わると考えたI期I群土器の時間的変遷は、器形、文様、整形から見ても、簡略化、無文化そして粗雑化の過程として無理なく解釈することができる。そして、その無文の器面に纏文を初めて施したのがFで、さらにそれが平底と化した時、II期I群土器が誕生したと考えられるのである。

## (2) III群土器

I期I群に伴出するIII群にはA・B・Cがある。

Aは10号住からまとまって出土しており、57号住には縁帶部を作らない全くの無文もある。図67-29・32のように極端に薄くはないものを含み、10号住でI群Bに、57号住ではI群Cに伴出していることから、III群の中でも古手に属し、やや系統を異にするようにみうけられる。その場合、Bのうち斜走沈線を地文とするもの(B<sub>1</sub>)がすでにI群Aに伴って出土している。(35号住)ことから、Bのうち斜走沈線を付さないもの(B<sub>2</sub>)の成立にAが関与していたとしても可能であろう。

BはIII群の中で最も多い。しかし大部分が破片で、6号(図64-12)、10号(図67-33)、37号(図71-73)、47号住(図73-84)にB<sub>1</sub>の全体形のうかがえる資料がある程度である。斜走沈線には、半截竹管の2条、半截竹管2本をあわせた4条、さらに櫛歯状工具による7～8条まであるが前二者が大部分で、沈線の方向は口縁部が縁位に近く、胴部は横位に近い。刺突文と斜走沈線とは、施文具は同一であろう。古い

傾向にあるⅠ期土器に伴うものほどB<sub>1</sub>の割合が高く、Ⅲ群もまた無文化の傾向があることを示している。ただ、35号住でⅠ群Aに、37号住でⅠ群Eに共にⅢ群B<sub>1</sub>が伴っており、施文が粗雑になるものの、斜走沈線を地文とするものはⅠ期を通じて存在している。形態に大きな変化はないようであるが、6号住出土のⅢ群は、最大径を胴下半に置き、色調が白味をおびて焼成も良くないなど、やや異質な一群である。

Cは、前期初頭の壺形土器として注目されてきたものだが、出土状態からは詳しい所属時期を決め得ない。わずかに18号住の状態からⅠ期に属するであろうといえる程度である。施文が縦位の沈線以外B<sub>1</sub>と共に通しており、しかもそれが整然としていることから、古い傾向にあることは言えよう。特異な形態ゆえに成形には苦労しており、まず小さな尖底部を作り、上に広く開口する胴下半をのせた後、外側に広く重ねながら幅の狭い粘土帯を積み上げることを数回繰り返して内屈させ、あとは口縁まで一気に作っている。胸部の屈曲部には積み上げ痕が顕著に観察され、その部分の製作に時間をかけたことがわかる。

### (3) I群土器成立の過程とその時期

Ⅱ期の集落範囲から外れた35・58・59号住埋土出土の土器をとりあげ、最も古いとしたⅠ群Aに伴う他群をみてみたい。35号住からは、Aのみ、58・59号住からはBを少し含みAを主体の土器が出土している。

Ⅱ群は皆無で、Ⅲ群はⅠ群の2割程のBがある。Ⅰ群Aは器壁がやや薄く、整形が丁寧で、胎土も精選されていることは分類の項で述べたとおりだが、それに伴うⅢ群Bは、例えば6号住や37号住のⅠ群D・Eに伴うものと異なり、器壁がやや厚く、整形や胎土の精選度はⅠ群とほとんどかわらない。全体形や文様構成も共通しており、Ⅰ群が中厚手であるのに対して、ごく薄手であることを最大の特徴として区別されていたⅢ群との相違点は、むしろ施文と胎土にみられた。すなわちⅠ群には、Ⅲ群の口唇部や口唇直下、縁帶部下端の刺突文に必ずといっていいほど用いられている半截竹管様の施文具を器壁に斜めに押し、「コ」の字状に痕跡を残す手法が全くみられず、口唇部をヘラ状工具や半截竹管腹縁で、縁帶部下端を棒状工具や指頭によるオサエで刻んでいたこと、Ⅰ群が櫛状工具による斜格子目文で器面を埋めるのに対し、Ⅲ群は一定幅で向きをかえる斜走沈線で埋めていること、Ⅰ群の方が、混和剤に含まれる雲母が大きいことなどである。また胎土そのものや焼成の相違からか、Ⅲ群の方が風化が進んでおり、その点も分別の根拠とした。つまり、両者の差は、入手できる施文具や胎土により生じた面が強く、時間をさかのぼるに従ってⅠ群とⅢ群の差は縮小するのである。

そこで、Ⅰ群とⅢ群には共通する祖形といったものが存在していると考えた。つまり、菊名貝塚のXIII類の細線文土器もまた、同類とするならば、南関東から東海、天龍川流域に、「薄手で胎土に纖維を含まず口唇を刻み、頭部に刻みを付す隆帯をめぐらせ、多条の沈線で口縁から胴上半を埋める尖底土器」が広く展開した時期があり、それらが各地で独自の変化発展をたどったとするのである。東海系であるⅢ群が横位の文様構成を保持し、それをさらに強めてDへと発展させたのに対し、在地系であるⅠ群は、先述したようにBからCへと展開して横位の文様構成から脱却し、むしろ縦位の文様意識を強め、器壁もⅢ群がより薄くなる傾向があるのでに対して逆に厚くし、特に強い地域的の独自性を持つに至る。このように解釈すれば、例えば、中越式土器（Ⅰ群土器）が、早期末のⅢ群つまり細線文指痕薄手土器—いわゆるオセンベ土器—の強い影響の下に成立したことは定説化している〔佐藤1982〕との見方がある一方で、逆に清水ノ上式土器（Ⅲ群土器）を東海地方の在地系の土器の変遷過程からは発生し得ないものであるとして客体ととらえ、その成立に中越式が強くかかわっているのではないかとする考え方〔増子1977〕があるなどの、Ⅰ群土器をめぐるところの違いにも、解釈の糸口が見出されるのではないだろうか。

ただ、Ⅲ群と形態的に最も近接するⅠ群Aでも、Ⅲ群との間には先述したような違いがあり、Ⅰ群の中

にIII群が客体として存在しているといえるのだが、そのIII群の量は、I群の2～3割と決して少なくなく、しかもそのような状態はII期までかわらずに続いている。III群土器の背景にある南からの恒常的な強い文化的影響力は感ぜずにはいられない。

I群Aが関東地方のどれと併行関係にあるのか、言いかえるなら中越遺跡での集落形成の初源が関東編年のいつに相当するのかは、それに伴う土器がIII群のみで、II群が皆無であるところから、中越遺跡の資料からは明らかにすることはできない。このことは、仮に関東系の土器を受け入れるような状態にあったとしたら、中越遺跡のI群土器は、C以降に見られるような独自の発展をなさないことができなかつた可能性があるわけで、むしろ当然のことなのかもしれない。

## 2. II期の土器

II期の集落の分布域（第1章第1節IV）の、II期の住居址埋土とI期の住居址埋土上層および両者をおおう包含層から出土している。破片は比較的大きいものの、全体形のわかるものは少ない。2号住居址の埋土には、出土状態の記録から、下層にレンズ状にII期の一括廃棄の遺物が含まれていたことがわかる。しかし、遺物は住居址埋土分が一括して保管されており、個々の遺物の出土状況の記録もないことから、2号住居址出土とされている遺物の中から、その一括廃棄の遺物を特定することは出来ない。ただ、遺物の破損状況から、I群AとCが主体であり、III群Dを明瞭に伴うものであったと判断される。II群土器やIII群のD以外の土器が、どのようにかかわっていたかは、不明とせざるを得ない。

### （1）I群土器

量的には、A～Cのいずれかに属する網文施文の胴部片が最も多い。そのすべてを各類に分け切ることはできないが、口縁部片の量から、I群土器は、AとCが多く、Bは少なく、D・Eはごくわずかと考えられる。AとBには時期差があり、Bの方が新しい。それに伴う形でCもまた2期に大別されると思われ、現にCには、古い傾向の一群、より新しい一群をそれぞれ指摘できるわけだが、そのすべてをA・Bの時期差に対応して分け切ることもまた不可能である。

Aは、2号住から一括遺物（15・16・46～88）が、53号住の埋土下層（253）、79（12）・98（34・38）号住の埋土上層から固化できるものが出土している他、II期の遺物分布域全体から出土している。以下、2号住出土土器を中心にみていく。

口縁部形態には波状口縁（15・50・55～73）と平口縁（16・46～49・51・52）があるわけだが、波状口縁の場合、櫛歯状工具による口縁部文様帶は、突然幅広く発達した形で表われる。その構成は、条線によって菱形を基本とする区画をしたのち、条線の脇に、条線の方向と直交方向や斜めに並ぶ刺突を、施文具を施文方向に倒して、押し引くように連続させるのが一般的で、波頂部から隆帶を垂下させる場合は、同様の工具によって隆帶を刻んでいる。一方、平口縁の口縁部文様帶は狭く、条線によってコンパス文状の横位の波線や単純な横線を描き、その上下に、縦位にならぶ刺突文を、施文具をやはり施文方向に倒して、横位に連続させるか、刺突文のみを数段施文している。波状口縁は菱形、平口縁は横位の帶状と、口縁部文様帶の基本区画を異にしている。口縁部文様帶に爪形文を用いるもの（図22-84～88）もAに含めたが、爪形文そのものは、III群土器の影響といえよう。また、口縁部文様帶の下に頸部無文帶を設ける例（図20-55、図21-56、図90-681）もみられるが、そのような文様形成も一面III群Dとの共通性をもっている。

条線の脇の刺突文の中には、まれに、条線と斜交方向（図299-116・117）や平行（図15-15、図170-5、図293-12）に連ねる例がある。後者は施文具を器面と直角にあてており、順に、Bの列点状刺突文へと変化していく過程を示している。また、有段口縁の折り返し部には縦位において櫛歯状工具による刺

突文を横に連続させているのだが、それは列点状刺突文とも組み合わされる例があり(図172—109)、長い継続性をもってBの縁帯部の縦位の列点状刺突文(図85—480、図93—797、図297—65、図302—201)へとつながるものと考えられる。

胸部以下は全面に繩文が付される。わかるものでは、ループをもつものともたない單節の斜繩文が多いが、束、付加条も少なくなく、單節の斜繩文と無節の繩文、單節の斜繩文とループ文の組み合わせや、まれに結束もある。いずれも横位に明瞭な段を構成している。

Bは少なく、第3次調査の10号住、14・23号住上層、第4次調査の第17トレンチ1・2区(41号住)、第14次調査の76号住から比較的多く出土しているほかは、II期の遺物分布域から1軒あたり数点出土している程度である。平行する沈線や条線と組み合わされる場合、列点状刺突文は、それ等をよけることなく施文されており、列点状刺突文の方が優位であることを示している。Aの刺突文の変化とあわせると、Bは、条線の脇の刺突文が主文様化した段階をその始まりとしているだろう。さらに、Bの中でも最も新しいと考えられる図105—1216・1217、図106—1247～1249、図297—62などの沈線と列点状刺突文の組み合わせは、諸磯A式の連続瓜形文の萌芽ともとらえることができる。このようにBは、Aから諸磯a式への推移の過程にあり、しかもその変化は、なめらかなのである。Bの胸部以下はやはり繩文となる。しかし、変化にとぼしく、羽状繩文もあるが多くは、粒子の粗い単純な斜繩文が施され、整然としたものでもないようである。

Cは、先述したように単純ではなく、中に幾つかの群を指摘できる。1つは、図67—40(11号住)、図68—43(13号住)、図67—61(26号住)、図294—22(100号住)である。胸部の屈曲が強く、器面全体に結束・ループ・無節の繩文が施文され、しかもそれが整然とはしていないこと、口唇部が波状を呈し、口唇端部の処理が雑で丸味をもち、口唇の波底部に刻みを付すことを特徴としている。結束や無節の繩文は2号住(図24—143)、41号住(図72—76)、48号住(図74—85)出土のI期I群Fに見られるところから、これ等の土器は、I群土器に繩文が施されるのが一般化した段階、つまりII期の初源期に位置づけられるものと考えた。特に40は、胎土に輝石と灰白色砂粒を含み、色調も黄色味が強いもので、伊那谷から諏訪湖盆地域で生産された土器とは系統を異にしており、他地域からもたらされたものと解したい。さらに例は少ないが、繩文を地文として刻みを付す隆帯を垂下する図30—268、図95—869や、繩文の上に斜格子目文を重ねる図88—608も、I期の要素を残したものとしてII期の初期に位置づけられよう。

一方、Cにはより新しい一群も指摘できる。それは、図97—923・926～933に代表される粒子の大きく不揃いな斜繩文、図105—1220、図106—1252・1253、図300—128～130の縁帯部をもち、全体に時として羽状となる繩文を施すものである。後者は、関東の羽状繩文系の影響の強まりの中から生じたものとして、いずれもBに伴うものとしたい。

さらに、図19—34・35(4号住)、図105—1221(第17トレンチ1区)、図301—174・175(99号住)の粗い繩文で雑然と器面を埋めるだけの、粗い造りの土器は、類似性からBより新しい時期(阿久三田期)のI群土器とすることも出来る。このことは、遺構の項で述べたように、4・99号住を含むD類の住居の形態的独立性からも首肯されるところではあるが、第2次調査での所見、つまり切りあう4号住が、2号住より古いという判断を覆すものであり、やはりここではその可能性を指摘するにとどめたい。以上の他のCは、ループや束、斜繩文、付加条を主体として横位に段を構成するものが多く、Aに伴うものと考えられる。

Eは、2号住からまとまって出土している(図18—29、図26—180～194)ほか98号住に好例(図299—114・

115) がある。図26-185~194以外は、明らかにIII群Dを模倣したものである。

ところでAでは、I期末に消滅した整形技法が再びみられる。それは、内面に施される強い横位のナデで、I期末には、積み上げっぱなしといった状態で積み上げ痕を明瞭に残すようになったものが、より厚く成形するようになった器壁は、再び均等な厚さに仕上げられ、内面を中心に強い横位のナデを施すようになるのである。口唇端部も、それまで丸味をもち成形後全く手を加えられなかったものが、縁帯状の貼り付けを付すこともある。平坦面を形づくるようになる。Bになどても器壁の均等さに変化はないが、口唇端部は再び丸味が強くなるようである。

大形のI群土器は2回にわけて造られている。すなわち、まず上げ底気味の底面をつくり、そこからわずかに外反しながら直線的に開口して端部でやや立ちあがる鉢形土器をつくり、器面調整の一環としての繩文を施文する。上に積み上げる粘土の重量に耐え得る程度に固化するよう一定時間おき、次にその鉢形を胴下半として胴上半から口縁までを一気に積み上げ、口縁部文様帶を施し、以下に胴下半と同一の繩文を施文するという手順である。上半を積み上げ始める際には、下半の縁の外側に幅広く重ねあわせるようにしており(図17-21)、そのことにより上半と下半の乾燥度の相違による不整合性を補っている。

## (2) III群土器

II期I群に伴うものにDがある。2・13・79・98号住から固化できる程度にまとめて出土しているほか、II期I群土器に伴って少量づつ出土している。

このDがI期I群に伴わないことは、II期I群の遺物分布範囲の外に位置する、I期I群Eを主体とする37・62号住埋土の土器群の中にそれがないことから、まちがいないだろう。しかし、III群Dの出現が、I群のI期からII期への変化の時期と同時なのかは、III群Dが他のIII群土器を伴なうのか否かも含め、明らかにできる出土状態はみられなかった。

DはBから発展変化したものと考えられるが、その変化は、中越遺跡出土土器の中でたどることができる。形態的には、Bの縁帯部が長くなり、口唇直下の1・2条の刺突文帯が数条に幅を広げてやや内屈しながら肥厚して新たに縁帯部を形成し、胴部は、最大径を上にあげて丸味をもち、結果として縁帯部、頸部、胴部の3区分を明確にする(図294-16)にいたるというもので、文様は、地文の斜走沈線が消滅し、縁帯部を板状工具先端の刺突文や爪形文で埋め、縁帯部下縁と頸部下縁には爪形文や指頭押圧による同一の刻みを付している。半截竹管先端による「コ」の字状の刺突文は用いられなくなり、口唇部の刻みも消滅するほか、器壁がわずかではあるが厚くなるなどの変化も指摘できる。

当初Dは、図18-32のように砲弾形を呈するものの方が、縁帯部が未発達とみて古く、図68-46や図294-16のように先の3区分が明確なものほど新しいと考えたのだが、全体形はむしろ、後者の方がBの系統を引いているといえ、伴出土器群からも、前者のように全体が砲弾形となるものの方が、より新しいとみた方が良いであろう。代表例で示せば、図67-33や図71-73のBから、図68-46、図294-16、さらに図18-31・33を経て図18-32へということである。

## 3. I期I群G、II期I群DとII群土器

前期の繩維を含む土器である。関東系(II群)と在地系があり、在地系はさらにI期とII期に分かれるとして分類を試みたのだが、結局分けきることができなかった。

II期I群Dの中の、胎土中の繩維が細く短かい棒状で、透明な石英の中粒(器壁内に埋まっているためそのままでは黒味がかかる)を顯著に含む一群は、結束による羽状繩文を横位に整然としかも深く押し(捺系文が1点ある)、口縁部に半截竹管による刺突文や沈線を施す点で極めて定形的だが、1軒あた

り数点未満と量的にはごくわずかである（第3・4次調査—201～204・230・278・370・447・448・510・511・596～598・643・737～739・784・785・897～899・957・958・1091・1092・1241、第5次調査—99・203・206・225・234・第10次調査—113・114）。広範囲の住居址から出土し、それがII期I群土器の分布域と重なったことからII期に含めたのだが、出土状態や接合する例が全くないことなどはむしろI期I群AやBと似ており、しかも高風呂遺跡でI期I群B・Cを伴って大破片が出土していることから、I期のより古いものに伴うと訂正しておきたい。

II群はごく少なく、関山I・II式、黒浜式がある。関山II式であろう図化した1点（図65-20）のほかは小破片が多い。

#### 4. 繩文前期の石器

発掘調査で得た繩文前期の土器に伴う石器は、石鏃1410点、石匙248点、石錐191点、打製石鏃98点、スクレーパー593点、打製石斧61点、横刃型石器29点、磨製石斧42点、叩石277点、疊端叩石169点、石皿4点の定形石器と、黒曜石の剝片6857点、肩片10213点、石核3457点、原石324点、両極打法痕をもつもの832点を数える。定形石器では石鏃が最も多く45%を占め、以下スクレーパー19%、叩石9%、石匙8%、石錐6%、疊端叩石5%、打製石斧3%で、打製石斧、磨製石斧、横刃型石器は、率としてはごくわずかということになる。石皿には、形態や大きさからみて遺物として保存されてこなかったものもある。

すでに述べて来たところから明らかのように、時期に細分して住居址1軒あたりの石器組成や石器量を比較することは、そのものとなる資料の中に、明らかに欠落や、出土地点を特定できないものもあるため、不可能である。そこで、ここでは石器全体の組成を、阿久遺跡のそれと比較してみたい。

中越遺跡で特に目をひくのが叩石の少なさである。阿久遺跡では凹石（中越遺跡での叩石と同一の石器）が石鏃を少し上回る量出土している。しかしこれは、後述するように石材の相違と道具としての形態の限界による現象として解釈できる。のこと以外には、量的には両遺跡の間に大きな差はないが、中越遺跡の方が、磨製石斧、とりわけ定形的な石斧がごく少ないと、疊端叩石の割合が高いことなどが相違点として指摘できる。

##### (1) 石 鏃

総数1410点のうち基部形態は、不明280点（20%）を除くと、浅い抉りの凹基（G～I）570点（40%）が最も多く、平基258点（18%）、円基186点（13%）が続き、中位の抉り（D～F）は80点、深い抉り（A～C）は25点、尖基は11点といずれも少ない。特に、平基や円基の占める割合が決して少なくない点と、抉りの深い凹基は、例外的な形態であるということができ、注意される。この基部と、側辺の形態を闇連づけてみてみると、凹基では666点のうち47%の314点がIIIで24%の161点がIV、14%の95点がII、13%の93点がV、2%の13点がと、側辺が直のものが半数近い。これが平基では、246点のうちIIIが34%の84点、IVが33%の81点、Vが26%の65点、IIが6%の11点と側辺の外湾するものの割合が増え、円基では182点のうちIVが38%の68点、Vが31%の57点、IIIが27%の49点と、さらに全体は丸味をおびる。Iの中には、明らかに先端欠損後の再加工を先端部のみに施した結果と判断されるものが多く、中越遺跡では、側辺の中位に突出部を作出することはなかったとみていいだろう。全体的には、抉りの浅い側辺のまっすぐな凹基鏃が最も多い。

形態的には以上のような特徴が指摘できるのだが、中越遺跡の石鏃には、ここで試みた分類では抽出し得ない特徴ある形態がわずかだが見られる。それは、先端部や凹基鏃の両脚端部を意識的に小さく尖らすもので、図118-183・190、図130-491、図138-686・687・689・711・713などがその典型である。

## (2) 石 錐

248点のうち、刃部とつまみの関係の明らかなものは194点で、両者の関係は、縦型(A)58点、横型(B)74点、斜型(C)62点で、横型が最も多くの、特に多いわけではない。2号住出土の石錐は、縦型が32点中17点と半数を越えており、II期になると縦型が増加するのかもしれない。つまみは、IIが194点中123点と6割を越え、特に小さなつまみが好まれた様子はない。

## (3) 石 鐸

9割以上の177点がつまみを持っており、錐部のみというのは例外的な形としていいだろう。総数191点と量的には少なくないのだが、A Iには、例えば図305—26のように丁寧な両面加工により錐部を作出するものより、不定形な剝片の突出部に粗い二次加工を施した程度のものが多く、さらに使用痕の観察されるのはごくまれである。これらは、しっかりした造りで回転運動による使用痕を明瞭に残していた阿久遺跡のそれとは、使用対象あるいは使用法が、明らかに異なっていたことを示している。

A IIは48点あり、決して少なくなく、二次加工に見えるものが使用痕である可能性も否定できない。

## (4) 打製石錐

刃部などの作用部のない形態から、その重さしか機能としては考えられないのだが、阿久遺跡の例などと比べ、一遺跡からの出土品としては、重量のばらつきが最も大きく、小さなもの(図143—868・869など)は1gに満たず、最大のもの(図256—13)は70gをこえる。いずれも頗る著な使用痕が観察されることから、道具としての有用性にかわりはなかったわけで、使いわけや、組み合わせての使用も考えられよう。なお、薄い剝片につまみだけを作出するものがあり(図129—484、図132—27、図135—599など)、分類上本群に含めたが、石錐あるいはスクレーパーの一種としておいた方が良いかもしれない。

## (5) スクレーパー

593点と数は多いが、一定の形になっていない二次加工のある黒曜石類を全て含んでいる。従って、定形石器へと加工しながら、目差す石器を製作することができずに中途で放棄したものや、素材の不要部分を除去しただけのもの、さらには、特定の石器を製作する意図をもたずに、漫然と加工しただけで終わっているものなども中にはあろう。ただ、明らかに剝片のバルブ部分を除去しただけと判断されるものは、剝片の中に含めた。

二次加工は、わかるものの576点のうち、片面加工が75%の431点を占める。二次加工部の形態は、拇指状(A)21点、外湾(B)210点、直(C)234点、内湾(D)111点であり、直や内湾のものの方が片面加工によるものの率が高くて80%を超える。拇指状では半数近くが両面加工によっている。素材はほぼ全てが剝片である。

## (6) 打製石斧・横刃型石器

縄文前期の土器の分布範囲から出土し、打製石斧61点、横刃型石器29点を数えるわけだが、第5次から第9次調査の打製石斧の出土状態(15点のうち14点がグリット掘りの段階で出土し、住居址埋土からは1点のみ)に顕著なように、遺構検出面より上の遺物包含層の、上層から出土したものが大部分であるといってよい。しかし、縄文前期の最も新しいII期I群Bの比較的まとまって出土している14・23・53・76号住、第4次調査第17トレンチ1・2区付近などに多いということではなく、遺構の少ないところも含めて全体から出土しており、破損品が6割に達していること、さらに、粗大な剝片から打製石器を作る技術というものを当時の石器加工技術体系の中に置いてみると、異質の感をまぬがれず、これらの石器は、むしろ、台地南縁に展開している縄文中期の集落と関連づけて理解する方が妥当ではないかと思われる。

### (7) 磨製石斧

42点のうち、斧身から剝落した小破片やごく小さな残欠が11点あり、完形品は11点と3割に満たない。打削面を残す部分磨製石斧が14点ある（図148—942・943、図156—1037、図257—18）。刃部にわずか磨製技法がみられるものから、ほぼ全体に磨面がみられるもの（図257—18）まである。素材の形を残す斧身に磨製技法によって刃部を作出した小形の縦斧であり、刃部の形も、素材の形に従っており、一定の形とはならない。中越遺跡の縄文前期に特徴的な石器の一つとして良いだろう。他に、横斧とわかるものが2点（図161—1106、図314—219）ある。

### (8) 印 石

素材の礫の形態は、棒状や扁平な球形もわずかあるが、扁平な長円形を基本としている。その大きさは、長さ9～15cm、幅5～10cm、厚さ2～5cmであり、重量は200gから800gまでほぼ均等に分布している。理想的な大きさは、長さ12cm、幅8cm、厚さ3.5cm、重さ500g程度であろう。

1個体に複数の使用痕が残されているものが6割を越え、3種類の使用痕をあわせもつものが3割ある。277点のうち全体がわかる217点にみられる使用痕は、叩き（c）が最も多く166点（76%）、磨面（b）が138点（64%）、凹み（a）が121点（56%）となっている。いずれも、小範囲から広い範囲へ、あるいは浅いものから深いものへと変化していく各過程のものがある。また、複合の度が高いほど使用痕も発達している。それらの組み合わせには、あらゆる種類があるのだが、凹み（a）と磨面（b）の組み合わせが6例とごく少ない。一方で凹みのみは24例と、磨面のみの21例をわずか上回っており、しかも、凹みのみの中に使用痕の発達した例が少なくないことから、素材が軟らかい石であると考えられ、本来、軟らかい石は凹みを生ずる使用法には耐えうるが、磨面を生ずる使用法には適さなかったのであり、そのことが、先のような使用痕の組み合わせにおける片寄りを生んでいると思われる。

ところで極端に深く大きい凹みが見られないところから、一般的に、凹石は、使用による欠損である凹みがある深さまで達すると、使用に適さなくなるようである。それを前提とすると、中越遺跡と阿久遺跡の印石あるいは凹石の石器組成に占める割合の違い（中越一石鐵1410点、印石277点、阿久一石鐵2015点、凹石2070点）は、次のように説明できる。すなわち、中越遺跡の印石は、原材料が硬砂岩を中心とする硬い石であることから、使用による欠損つまり凹みはごく軽微で、大きな目立った点状痕が集中する程度で終わっており、道具としては、長期の使用に耐えるものであったのに対し、阿久遺跡の凹石は、多孔質の安山岩という軟らかい石を用いているため容易に生じやすく、1個の石の使用期間ははるかに短かった。そのため阿久遺跡では、その凹みを生ずる使用法のために大量の石を消費することになり、結果として、石鐵を上回る大量の凹石を残すにいたったのである。

縁泥片岩類の磨石の中には、線状痕が見える例があり、それによると、磨石は石器長軸線と直交方向に直線的な動きをしている。また磨面は縁辺に近いところが帶状によく発達しており、石器が対象物と平行でなく、片側が浮く状態にあてられていたことも知られる。

### (9) 磨端印石

使用されている礫の大きさは、大きい方にばらつきが多いが、長さ7.5～12cm、幅・厚さ2.5～5cm程度であり、平均すると長さ約10cm、径3～4cmのものが手ごろな大きさということになろう。

硬砂岩・砂岩とそれ以外では、端部の叩き以外の使用痕の見え方が異なる。前者では、62点中線状痕（b）10例（16%）、凹み（c）17例（27%）が観察されたのに対し、後者では、100点中線状痕は79例にのぼり、凹みは35例にみられた。硬砂岩類では線状痕（b）が見えないのである。また、礫端の面を形成する叩き（a）

のほかに、先端に近い広い範囲に面を形成することのない軽い点状痕があるのだが、これもまた硬砂岩類では見ることができない。使用法に差があったのではなく、いずれも硬砂岩類では礫の表面になめらかさがなく、細い線状痕や軽い敲打痕は見出せないということであろう。

## 10 石皿

4点が残されているだけだが、実数はもっとあるだろう。特に、第14次調査では住居址床面に据えられていたり（105号住）、壁に立てかけた状態にあった（79号住）複数の板状の大礫の中に石皿がみつかっており、5・6・7・9・14・17・18・37・38・44・57号住の床面にみえる平石の中には、石皿が含まれているものと思われる。使用面は極めて平滑で、運動方向等を知ることはできない。100号住出土の石皿には溝状の痕跡が残っており、注意される。

### 5. 繩文前期の遺物の出土状態の変化

中越遺跡では、住居址内を含めて、置かれたり埋置された土器はなく、全てが廃棄もしくは投棄された状態にある。包含層の土器は、上位にII期が、下位にI期が多いが、層位的に分かれる状態ではない。

土器の住居址埋土からの出土状態を古い形態から順にみてみよう。I期 I群Aは、107号住から完形土器2点、35・44・47号住から大破片が出土し、同Bは、10・23・44・47・59号住から大破片が、同Cは、1・57号住から完形土器各1点、57・104号住から大破片が出土している。しかし、個体数としては決して多くはない、破片がまとまって出土してもいい。I期 I群Dは、6号住から完形2点を含めまとまった量が出土している。住居廃絶後に生じる凹地の特定なものを土器廃棄の場とさだめたと考えられる最初であり、以後、37号住にI期 I群Eが、2号住にII期 I群AがIII群Dを伴って、大量に廃棄されている。あるいは、集落内の土器保有量が、CからDへの変化に伴って、急激に増加するかもしれない。

また、破片の出土状態からみて、I期の土器は集落内に破片の形で広く分布しており、廃絶した住居内へ土壤が埋没するのに伴って、それ等が、住居址埋土へととり込まれたものとみられる。2号住の調査時の所見や、53号住の遺物分布状態（付図）は、そのことを良くあらわしている。

一方石器は、住居址床面に据えられた石皿、104号住出土の岩偶を含む石器セットを除き、住居址埋土と包含層から出土している。量的には、I期 I群Aの土器に伴う石器はごく少なく、大量の土器の出土している6・37号住埋土ではなく、9・10・12・79・100号住や第17トレンチからの出土が最も多い。また、2号住からも多量の石器が出土したものと考えられる。このことに、第5次調査での出土状況を加味すると、II期の土器に伴う石器が最も豊富であることがいえそうである。特に叩石類にその傾向は強い。石皿以外は、屋外で使われたか、少なくとも使用の最終段階には屋外にあったわけで、その意味では土器と同様ではあるのだが、当時における住居との距離が土器と同一であったとは言い切れない面があり、ここでは出土状態に差のないことを指摘するにとどめたい。

## II 繩文後期の遺物

### 1 土器の変遷

堀之内式併行期：I期とII期にわけられる。I期は深鉢Aのみで、図化した1の他はピット内や造構に伴って少量の破片が出土している。II期には深鉢B（3～6）、C（2）と鉢（7～9・11）浅鉢A（10）がある。3～6には文様の簡素化がみられ、2よりも後出的である。また洗鉢10の口唇部の渦巻文を伴う突起は、178・199と共に1や2の口唇部文様の退化したものと考えた。68は堀之内式併行期の注口土器で

ある。

加曾利B式併行期：IからIII期にわけられるが、I期はほとんど無い。II期には深鉢D・E・Fと浅鉢B・Cがある。深鉢Dは圓化できなかったが、口縁部の波状となる部分が目につく。E (230~237)、F (14·15)も小破片で、量も多くない。浅鉢とみた40~43のうち、40·41はI期に近く、42·43のCには深鉢Fの口縁部と同様の文様構成がみられる。III期は多く、深鉢F・Gと浅鉢Cがある。深鉢ではF (16~21)のうち17が、口縁部の文様構成に古い要素を残していると言え、G (22~26)にはEと同様に口唇部を刻む例が多い。深鉢Fの口縁部の施文から、浅鉢Cのうち45·47~50の中にIII期のものが含まれていると考えられるが、いずれも小破片で文様構成を明らかにすることはできず、特定はできない。加曾利B式併行期の注口土器 (69~73) も少量ある。

曾谷、安行式併行期：深鉢Fと浅鉢C、注口土器Bがある。深鉢F (27~34) の加曾利B式併行III期からの変化は連続的で、内屈する口縁部は幅がより狭くなつてやがて小さく直立する程度となり、口縁部の地文である繩文が消失し、2~3本の沈線を横位に引くだけ (32·33) となる。浅鉢は46·51のほか、45~50のうちのいくつかがこの時期のものとなろう。注口土器B (74~80) は多く、特に74~76は定形的である。それは、算盤玉状の胸部に端部で内屈する口縁部を付けた形態で、胸上半は横位に2分割して上方を厚くしてあり、口縁部端部と胸上半の文様帶は共通し、2あるいは4箇所で切れるであろう横位の弧状の沈線で区切られた帯状の、無文部と繩文施文部によって構成されている。74·75はより古く、加曾利B式併行III期までさかのぼるかもしれない。なお、内屈する口縁部に刻みを付す太い隆帶を縦位に貼付する98·290は、螺旋式である。

このように中越遺跡でも、判ノ木山西遺跡などと同様に、加曾利B式併行III期から曾谷、安行式併行期にかけて、深鉢Fが、連続的系統的に変化することが確認されたわけだが、さらに、それに浅鉢Cと注口土器Bが伴い、しかも三者が器形や文様の上で強い齊一性を持っていることから、独自性の強い土器セットということができ注意されよう。

## 2 石 器

遺構の形態や土器の出土状態からわかるように、繩文前期と同様、時期的な細分は不可能であり一括して器種別の特徴点を記しておきたい。

打製石斧は、全体形がわかるもの34点のうち12点がCで、中期にはなった分銅形が器形として定着する。しかもその中には、石鎚といつていいほど分厚くて重いものがあり (図205-22·23、図210-24)、使用法やその対象が、中期とは変わってきたのかもしれない。斧身が厚いものは、剝離だけでは抉入部を作れず、敲打にもよっている。6割以上がIII層から出土しており、遺構からは1割に満たない。石材は硬砂岩類が6割、緑泥片岩類が3割である。

礫石錐は、扁平な長円錐の長端に打削によって抉入を作つてあるだけのもので、例外的に切目によるものが2点ある。重さは10gから190gにまであるが60~70gに集中する。約4割が集謫遺構から出土し、III層出土とほぼ同数であることから、他の石器より古いものが多いと言えなくもないが、調査の精度の違いに由来するとも考えられ、断定はさけたい。硬砂岩類が9割近いことも、他の石器と異なる。

敲打器は、不定形な礫の稜の部分に、軽い敲打痕が集中して見られるものである。礫の突出した部分が使われるものは、前期の叩石や礫端叩石とも原則的には同様であると言えるが、素材の形と敲打の強さが異なる。石材も、より密な緑泥片岩、頁岩、輝綠岩が用いられている。

このほか、叩石の素材が不定形で特に磨石として使用に適さないものであり、使用痕も凹みが最も多い

こと、磨製石斧10点の中に定角式が3点あること、さらに、石鏃の中には茎鏃があり、黒色のチャート製が目につくことなどが、中越遺跡の後期の石器の特徴としてあげられる。

### 第3節 中越式土器と中越期の細分

#### 1. 中越遺跡出土土器研究の経過

現在、中部高地の前期初頭の土器型式として「中越式」が設定されているわけだが、中越遺跡出土土器についての考察は、ごく初期の調査で得た資料に基づくものしかない。以下にそれらをまとめておこう。

第1次から第4次までの調査で団長を務めた藤沢宗平氏は、第1次調査の概報の中で、出土した土器を、  
①口縁部に有文帯をもち、胴部以下に文様を欠く尖底土器

②おせんべ土器といわれるもの

③関西系の爪形文の系統をもつと思われる薄手土器

④鰐文施文の土器

にわけ、④はごく少量の関山式を含む神ノ木式であるとした上で、①と②が伴い、③と④が伴出するらしく、①は特に③④とは明確な時期差をもって区別されるのはほぼまちがいないとした〔藤沢1957〕。本書の分類に従えば、①はI期Ⅰ群、②はIII群、③はIII群D、④はII群とII期Ⅰ群であり、I期Ⅰ群にIII群が伴い、II期Ⅰ群にIII群Dが伴うとし、2つの土器群を時期差をもってとらえ、しかもその中で、②と③が同群である可能性に気をくばるなど、わずかな資料の中から、基本的な伴出と前後関係をみごとにとらえている。ただ、第3・4次調査の後は、I期とII期の住居址が重なった場合の両址の遺物や、上層の豊富な包含層の遺物と住居址埋土の遺物を、いずれも区別し切れなかったため、さらには2号住の遺物出土状況が特異例と見えてしまったこともあってか、その概報では、第1次調査時の分析からは、やや後退してしまった。

中越式土器の名を初めて公にしたのは林茂樹氏であった。第1次調査の資料をもとに、住居址出土遺物を一括してとらえ、1号住出土土器をI式、3・4号住出土土器をII式、2号住出土土器をIII式と3期にわけ、I式を早期末、II、III式を前期初頭に位置づけたのである〔林1965〕。中越II式・III式の中に東海系の土器や神ノ木式を含めたわけで、それまで1号住出土の在地系の土器に対して一部で言われていた型式名を、より広範囲に用いたため、かえって混乱を招く結果となってしまった。

第4次調査の後、「中越式土器」とは、網文前期初頭の天竜川上流域に特有な、胎土に鐵雜を含まない尖底土器、つまり藤沢のいう①として認識されるにいたるのだが、特異な形態から「中越式」の名のみが先行し、型式認識は、研究者の間でも一致するまでには至らなかった。中越遺跡出土の土器が総括的に整理されることなく、その全容も明らかでない状態の中では、無理からぬことであろう。

結局中越遺跡出土土器については、第1次調査時の大まかな2期区分をさらに深めることができず、I期の土器の細分も、可能性はあるとしながらも具体的には示されてこなかった〔友野1983〕のが実情であったのである。

## 2. 阿久遺跡出土のいわゆる「中越式土器」

昭和49、50年の諫訪市千鹿頭社、十二ノ分遺跡につづき、昭和51年から53年にかけて原村阿久遺跡が、いずれも長野県中央道遺跡調査団によって調査され、大規模な前期初頭の集落址と共に、特に後者で在地系土器（I群土器）の良好な資料を得た。報告ではその中のII期 I群Aを「いわゆる『中越式』と呼称されてきた土器である」とした上で、I群Aは、オセンベ土器（縦線文指痕薄手式土器）の影響下に生まれた土器、あるいはその系譜につながるものであり、下限は神ノ木式直前とすることができ、関東編年に対応させるならば、花横下層式土器に後続し、関山式後半期の一部にまでくいこむものと考え、器形は頸部がくびれ底部が乳頭状あるいは尖底のものから、直線的に底部へ至り丸底に近い尖底になるものへと変化し、文様は密から粗への簡略化の変遷過程がたどれるとした（佐藤1982）。さらに中越遺跡の資料との比較の中で、中越遺跡にはより古い段階のものがある可能性が強く、阿久遺跡のI群Aは中越系列の最終段階に位置づけられるとしており、これによって、中越式土器の後半期の様相が明らかにされたのである。このI群Aは、本書でいうI期 I群C・D・Eであり、より古い段階のものとは、同A・Bにはかならない。また本書では、いわゆるを付したりカッコでくるなどの形で表現しており、「中越式」が土器型式とするにはまだ、不完全であるとの考えも暗に示している。

## 3. 中越式土器

このように、阿久遺跡の前期初頭の在地系土器は、中越式の新しい時期に位置づけられたわけだが、中越遺跡の報告書が未刊の状態が続き、その典型とされていた中越遺跡1号住の土器がI群Cであったことも手伝って、阿久遺跡の土器を代表例として中越式は理解されるようになる。その結果、現在では、後半期に特に表われた、施文を含めて造りが簡素である点と、地域的独自性の強さが、中越式土器の特徴として強調されすぎるようになってしまったくらいもある。そこで、あらためて中越遺跡出土土器によって中越式土器を示しておきたい。

中越式土器の性格は、すでに確立しているとしていいだろう。すなわち、縦文前期初頭の天竜川上流域から諫訪地方の、在地系として主体をなす土器であり、縦維を含まない点で西回り的で、形態には早期までの特徴である尖底を残す。とすれば、中越遺跡の中越式土器は、I期 I群A～Eとなる。その形態はA→B→C→D→Eと連続的に変化し、Fを経てI群土器は神ノ木式へと移行するのである。

中越式の初原期の土器は、形態上の際立った類似性から、東海地方で在地系の系譜の中からは生まれ得ないとされた清水ノ上I式や、南関東に突如表われた異質な土器といえる萬名貝塚XIII類（胎土に縦維を含まない縦線文土器）などと系譜を同じくするとしていいだろう。III群の量からみて、中越遺跡にあっては天竜川下流域からの強い影響が恒常的にあったことはまちがいないが、下伊那郡豊丘村の田村原遺跡では、中越遺跡でのIII群が主体を占めており、III群即東海地方と単純に結びつけ、東海系の土器の影響下に中越式土器が成立したとするのはやや早計と思われる。両者に共通した祖形があった可能性も考えねばならないだろう。位置的にはそれらの土器の分布域の北端にあたる。中越式期後半にみられる文様構成の縦位の変化は、他の土器には見られない現象であり、その時、中越式土器はその独自性を極めて強く持つにいたったと言える。茅野市高風呂遺跡と原村阿久遺跡をみると、中越式土器が諫訪地方の在地系土器の主体となるのはその後半期であり、それも単なる土器の変化では説明できないほど大規模かつ急速に移行したものと見られる。

#### 4. 中越期の再区分

以上、中越遺跡の縄文前期の遺構と遺物を中心として、その変遷過程を含めて検討してきた。そして、それらを総合して見ると、Ⅰ期のうちに、1つの大きな転期があったことが見てとれるのである。そこに見られる現象として

- ①住居が、浅く掘られた方形や不整円形で柱穴、炉ともはっきりしないもの（A）から、深く掘られた円味をもった隅丸方形の4本柱で周溝と地床炉をもつもの（B）にかわる。
- ②在地系の土器の文様構成が、横位（A）から縦位（C）にかわる。
- ③道具としての土器、石器の量が増加すると共に、住居の廃絶後の凹地のうちの特定のものが土器廃棄の場として選ばれるようになる。
- ④南の駒ヶ原台地縁辺にも散在的にあった住居が、中越の地へ集中し、規模の大きい集落を形成しあげる。

などがあげられ、これらは、中越式文化が、この時を界に、それまでの少量の道具とキャンプサイト的な住居しかもたなかった、天竜川下流域からの波及期の状態から脱却し、強い独自性を確立して定住性を強め、大集落を形成し、以後、諏訪地方へも進出するといった、大きな繁栄期をむかえたことを示している。さらにⅡ期は、いうまでもなく、在地系の土器が縄文を地文とする平底の土器へとかわっていることから、中越の地が西日本文化圏から東日本の文化圏へと組みこまれた時期として、Ⅰ期と一線を画されていくわけで、中越遺跡の縄文前期は、Ⅰ期前半、Ⅰ期後半、Ⅱ期の3期に再区分することが可能となる。主体となる土器はⅠ期Ⅰ群A、Ⅰ期Ⅰ群D・E、Ⅱ期Ⅰ群A・Cが、住居址形態はA、B、Cがそれぞれ対応し、集落は散村から集村へと急速に形をかえ、定住性を強めるのである。

註1 林氏が分類の前提とした土器の出土地点と、現有する遺物に施されている注記には、一致しない部分が多い。くりかえすが、本書では、遺物の出土地点は注記に従った。

## 第4章 まとめ

中越遺跡は昭和31年第1次調査以来今日までの35年間の長きに渡り調査し続けられてきた遺跡である。今後も遺跡範囲内には住宅建設とか土地区画整理とかの、緊急発掘が行なわれる予定である。この間に作成されたのは、一部概報程度であって、中越遺跡の全般を知り得る報告書ではなかったのである。しかし、この間宮田村は報告書の作成の仕事を考えなかったのではなかった。昭和45年来、中央自動車道の緊急発掘、また、それに引き続いて県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財の緊急発掘などが続いていることが大きな原因ともなって来ていた。そこへ、昭和59年中越遺跡の用地内に宮田村商工会館が建設されることになり、緊急発掘を行なったところ、第3、4次以来問題になっていたことについて発掘成果が上がったことが引金となり、今迄一貫した整理が出来ないため報告書作成に至らなかったが、これが契機となり長年に渡って望まれて来た報告書の刊行に至ったのである。

この間、中越の土器の研究について見ると、初めての調査は鶴口昇一氏が信濃史料編さんの調査の折注目されたのがきっかけとなった。その後昭和40年上伊那誌刊行の折、林茂樹氏が「中越式」なる形式名を付されたのが、一つの契機となり考古学界の注目されるところとなったのである。こうしたことから、中越遺跡の研究は盛んになっていった。まず最初は中越遺跡第4次の発掘に参加された氣賀沢進（旧姓吉村）氏が中越の土器について卒業論文として研究された。次に赤羽義洋氏がやはり卒業論文として取り上げた。次いで宮下篤子（旧姓岡田）さんが同じ卒業論文の研究対象とされた。昭和53年宮田村誌で中越遺跡と土器について筆者が記述した。また、昭和58年には長野県史考古資料編で中越遺跡と土器、石器について取り上げられた。そのほか平成元年小林達雄編集の縄文土器大観Ⅰで宮下健司氏が薄手無文土器様式としての研究を掲載された。また、近年では下平博行氏が「縄文前期に至るまで」の段階を中心に卒論で取り上げ研究された。

中越遺跡も昭和59年第14次発掘を契機に再び国指定の問題が強く叫ばれるようになった。国指定にあつては非報告書が欠かせない条件の一つであることから、宮田村は昭和60年新たに専従の職員を配し整理作業を進めてきたのである。

この間、中越遺跡の調査も、緊急発掘、学術発掘を合わせて長年にわたった間には、中越遺跡発見以来関わって来られた八幡一郎先生をはじめ、当時長野県考古学会長であり、中越遺跡第3・4次調査に参加され御教示をいただいたり、中越遺跡のシンポジウムを主催された藤森栄一先生、第1次から第4次迄の調査団長を勤められた藤沢宗平先生、そのほか松本から参加された小松度、鳴町から来られた邊那藤麻呂調査員の方々が中越遺跡の報告書の刊行を見ずに他界されたことは誠に残念なことであった。

こうした過程の中で、遺跡の発掘に参加された鶴口昇一先生をはじめ本田秀明・赤羽義洋・友野良一など調査に関わった方々を中心に関連をりながら遺構遺物の執筆を分担した。

「中越式」の遺物については、今回の一貫した整理を通じ、総括的な立場に立って知り得た新しい研究を基盤とし、今まで多くの「中越式」土器の考察をなされて来られた方々の研究を十分踏まえた上で中越式の型式分類を試みた。しかし、まだ多くの問題点を残すところであり、皆様方の御忌憚のない御叱正を仰ぎたい。

さて、ここに至るまで長い年月を要したが、この間、多くの方々にいろいろの立場から御支援を頂いた。その中で昭和43年発掘が予定された範囲の場所の地主が、今は故人になられてしまったが春日幸雄氏であった。その当時の教育長であられた細田義徳氏と私とで調査の趣旨を話し御願いをしたところ、現在耕作している10アールの畠地を休耕して貸して顶いた。その御好意により、中越遺跡の今日があることをまず忘れてはならないだろう。また、中越遺跡の発掘も現在ある如き条件下の調査ではなく、ほとんど奉仕によって賄われた発掘であった。作業には宮田村青年会員の方々が当ってくれた。そのほか、赤穂高等学校・伊那弥ヶ丘高等学校・伊那北高等学校などの応援を得て発掘が行なわれた。これら多くの方々の接待には宮田村婦人会の皆さんの御協力があったことも忘れられない一つである。また、遠方から参加された方々の宿泊は鷹野忠良社長の好意によって「タカノ」の施設を使わせて頂いた。これも発掘を成巧させた一因であったと思う。

また、当時の県教育委員会指導主事であった林茂衛氏には、二度に渡って中越遺跡の発掘調査費国庫補助の心配をされたことも忘れないことである。そのほか伊藤浩村長には遺跡保存事業に深い理解を示されたことと、西原土地区画整理地区から「中越式」土器出土範囲を除外されるなど、遺跡保存に特別の御支援を頂いた。それに直接文化財保護の立場にある林金茂教育長には、中越遺跡の重要な節目をよく理解し、それに相応した処置をなされたことは高く評価されるところである。

中越遺跡の保存に御協力を賄った、日本考古学協会・長野県教育委員会・長野県考古学会・上伊那考古学会の皆様には大変御世話になったことを紙上を持って御礼申し上げる次第である。

最後に本報告書の編集に終始努力された宮田村職員の小池孝氏の勞に敬意を表する次第である。

中越遺跡調査団長 友野良一

## 付章 遺跡保護の経過と今後の課題

林 茂樹

### 第1節 遺跡保護施策の経過

中越遺跡が文献に紹介されたのは古く、大正末年で、「先史及原史時代の上伊那」（鳥居龍藏、八幡一郎 1926）に、上伊那教育会主催の実地踏査結果として記載されている。さらに第二次世界大戦以前に、遺跡から出土した顔面把手付土器が収集家の手に渡り、その方面でも広く知られるようになったが、それ等はいずれも縄文時代中期の遺跡としてであった。

ここでは、発掘調査の最も多く実施されている縄文前期の部分を中心に、33年の長年月にわたる保護施策を、ほぼ10年をまとめとして、時間を追って述べていきたい。

#### I 最初の学術発掘——昭和30年代——

宮田村中越区西原7555番地の畠で、当時学界に未見の古式縄文土器が採集され遺構が発見されたのは、昭和31年（1956）11月のこと、戦後の暗い世相の中で、正しく実証的、科学的に裏づけられた歴史の解明を目指す、考古学に情熱をそそぐ若い世代の人々の努力によるものであった。

それは、宮田村在住の太田保氏の遺物採集活動と、これに協力し発掘調査活動を盛り上げた伊那考古学研究会の青年会員たち、学問的立場から指導に当られた「信濃史料」調査委員の藤沢宗平・鶴口昇一両氏、調査の運営指導に当られた伊藤泰輔・北原真人両氏ら上伊那郷土研究会の方々、発掘作業を応援した赤穂・伊那北・伊那弥生ヶ丘三高校の歴史研究クラブの生徒たちの、純粋な奉仕活動のもたらしたものであり、自然的素朴ではあるが、埋蔵文化財尊重の精神が具現された調査であったと言えよう。

この発掘調査の結果は、郷土研究雑誌『伊那路』第1巻3号と9号に報告〔藤沢宗平1957〕されているが、正報告は、発見遺構・遺物のもつ学術的重要性や担当者の事情もあり、未刊のまま推移してきた。

#### II 記録保存事業の進展と遺跡の顛影——昭和40年代——

##### 1 記録保存事業の盛行

遺跡地内に次第に個人住宅が建築されていたのだが、昭和40年代には、第1次調査地点に谷口家の新築が始まることになる。太田保氏はこれを惜しみ、独力で発掘調査を始めた。これを見た村公民館関係者は、細田義徳教育長に相談し、乏しい社会教育費の一部を割いて発掘調査費を提供し、宮田中学校は用具と生徒を配慮して、住居址3軒の緊急発掘調査に成功した。個人の発意と村教育委員会の協力で行なわれた自然発生的な記録保存事業であった。この第2次調査を契機として、大規模な記録保存事業が文化財保護行政の一環として展開していくことになる。

昭和42年、進行する宅地化による遺跡の破壊を恐れた村教育委員会は、中越遺跡の記録保存の必要性を県教育委員会に申請した。県教育委員会は文化財担当指導主事を度々派遣して現地視察を行なった結果、国県補助事業としての緊急発掘調査に該当することを認め、その準備について指示し、計画樹立に努めた。その結果、中越遺跡緊急発掘調査委員会（会長馬場一人）が設立され、発掘調査団（団長藤沢宗平）を編成し、当時稀に見る調査体制を整え、第3次調査が昭和43年9月に実施されたのである。地点は第2次調

査に東接する畝約5aであった。この調査によって縄文前期初頭の住居址28軒が重複状態で検出され、さらに住居址群が東から北へと続くことがわかった。当時学界では、縄文前期の集落規模はまだごく小さいというのが通説であったため、この異常に広がる集落の範囲追求が課題となり、第4次調査が必要とされたのである。

第4次調査では、昭和44年7月に前年と同様の運営および体制で実施され、第3次調査地点の周辺と北方の台地縁辺で、さらに19軒の住居址を検出すると共に、縄文前期の集落は、今回の調査地点を中心として東西360m、南北180mの楕円状となることも予察出来た。第4次までの調査範囲約6000m<sup>2</sup>に52軒からなる前期初頭の集落が確認されたことは、学界の常識をうち破るものであり、全国紙にも報導され、中越遺跡の名は、一躍全国的に広まつていった。このように、中越遺跡の内包する実相の一部が現れてきたものの、その質量ともに優れた遺物ゆえに整理に手間どり、正報告書は刊行不能となり、概報が刊行されたにとどまった。

## 2 中越遺跡の顕彰

### 1) 中越式土器

昭和40年10月、「上伊那誌歴史編」が刊行され、その中に中越遺跡第1次調査の結果が詳細に紹介された（林茂樹）。そこでは中越遺跡出土土器群は3分類され、「中越式土器」の名称が与えられた。当時、縄文式土器文化の始源を追求解明しようとしていた学界にとって、縄文早期の遺跡の発見は大命題で、東海沿岸地域に発見された「薄手細縫指痕文土器」が着目されていた時であったが、その研究に先駆的に取り組んでおられた江坂輝弥・芹沢長介両先生の指導を受け、木島式土器の系譜につながる中部山岳地帯の代表的土器として1号住居址出土土器を位置づけ、記述されている。後に中越遺跡は、「縄文式土器編年表」（江坂輝弥1979）に前期初頭の標式遺跡として位置づけられた。

### 2) シンポジウム開催

中越遺跡の質量共に優れた遺構・遺物が学界に知られるに従い、その詳細な情報を求める声が高くなってきた。長野県考古学会（会長藤森栄一）はこの要望に応えるため「中越遺跡をめぐる諸問題」のシンポジウムを、宮田村教育委員会の後援を受けて昭和45年10月に開催した。宮田村公民館に県内外の研究者130名が参加し、2日間にわたって活発な討議が繰りひろげられ、中越遺跡のもつ学術上の課題と問題点が浮き彫りにされた。集落規模、編年の位置づけ、石器群のもつ生産的性格、住居形態の変遷、先行あるいは後続する土器文化との関係等、そのボリュームの大きさに参会者一同感嘆するほどであった。また調査研究については、微視的方法に偏ることなく、巨視的な方法論を樹立すべきだという批判（渡辺誠1971）もあって、生産構造や地域史研究の立場に立つ研究法の導入も自覚されていった。中越遺跡を日本的な重要な遺跡としてクローズアップさせ、集落論の対象を縄文前期初頭まで遡らせ、それまで注目されることの少なかった縄文前期の文化を陽のあたる舞台へ登場させた、このシンポジウムの学史的意義は極めて大きい。その内容は全て活字化すべく当初から準備されていたが、事後の諸般の事情により未刊のままに経過している。

### III 開発への対応と遺跡保存運動の展開——昭和50年代——

#### 1 開発事業への対応

文化財保護法改正が施行された昭和51年、中越遺跡では第5次調査が実施され、以後、昭和59年までに11回の発掘調査が行なわれている。そのうち9件が施設建築に伴う緊急調査で、他の2件は学術調査（報告書記述事項確認・遺跡範囲確認）であったが、前者のうち7件は個人住宅建築に係わるものであり、遺跡地内での開発傾向を示している。発掘調査の大部分は村費負担で行なわれたが、原因者負担で実施されたものに、花井住宅（第6次）と宮田村商工会館（第14次）建築に伴う調査がある。共に調査規模も大きく、成果にも特記すべきものがあり、花井住宅地では、縄文後期の環状積石墓・石棺墓・土壙群（100基）等が検出され、商工会館敷地においては、縄文前期の住居址12軒と方形柱列を検出し、石偶も出土して中越式期の集落の中心部を思わせるものがあった。

以上の調査により検出された遺構は、住居址25軒、土壙108基、方形柱列1基、集石・配石・立石遺構30余基が数えられ、開発の盛行をものがたっている。

#### 2 都市計画区画整理事業と遺跡範囲確認調査

昭和50年代初めに宮田村は、西原地籍一帯に建設省の許可事業として都市計画を策定した。「駒ヶ根市都市計画西原地区区画整理事業」である。対象面積242073m<sup>2</sup>は中越遺跡の範囲とほぼ重なり、施設として、道路開設総延長16090m、排水路、水道施設を含んだもので、昭和54年着工を目途とし、申請事務や関係住民への働きかけが行なわれたのは昭和53年であった。しかし、西原地区区画整理事業審議会が結成されて事業が具体化しかけたものの、減歩率をめぐって紛糾し、ついに昭和57年11月、審議会委員に対するリコールが叫ばれて全員が辞職し、加えて新委員の選出も不能となり、事業は全く停滞してしまった。

この都市計画事業の初期に遺跡範囲確認調査が企画された。都市計画策定を知った村民有志から遺跡保存の必要性が叫ばれるようになり、村教育委員会がその基礎資料を得るために実施したもので、昭和51年に県教育委員会に指導を求め、文化庁坪井清足・小林達雄両調査官の現地指導、翌52年9月の県教育委員会との細部にわたった協議を経て、53年11月、調査団（団長友野良一）を編成し、国県補助事業として行なわれた。調査範囲は第3次調査地点を中心とした東西550m、南北300mの16.5haで、試掘坑（2m×2m）201箇所を掘り、層位状況、遺構・遺物を採集することに努めた。その結果、遺物はII・III層に包含され、調査区全域から出土した。これに第6次調査で縄文後期の遺構が検出された部分を加えると、遺跡の総面積は、およそ24haであることが判明した。また、調査した16.5haのうち、縄文前期の集落が西北部の5.4haを占め、残りの約11haに縄文中期の集落が展開していることが確認されたのである。

このように、初めて中越遺跡の範囲が確認され、縄文前期、中期、後期の遺構がそれぞれ地域を異にして存在することが明確にされたことは、その後の保護措置のための有力な資料を提供したものとして高く評価出来る。またこの種の調査は、上伊那郡地域では初めての試みであり、以後の名自治体における埋蔵文化財保護政策の基準となるものであった。

### 3 遺跡保存運動の展開と対応

前述のような開発と保存事業が交錯する事態の中で、早くから遺跡保存運動が発生してくる。西原土地区画整理事業が中越遺跡のほぼ全域を対象としたものであった以上、これは当然の社会現象であろう。

昭和54年1月、中越遺跡保存会（会長大沢実）と宮田村考古友の会（会長小木曾清）は、村長・村議会・村教育委員会あてに「中越遺跡保存に関する陳情書」を提出した。中越遺跡による村民の関心の強さを示している。一方、同年5月、長野県考古学会は、総会において中越遺跡保存運動に関する緊急動議を可決し、保存対策特別委員会を設置することになり、6月24日、宮田村に全委員が参集して第1回中越遺跡保存対策委員会（委員長根津清志）を発足させた。運動方針として一般住民の理解を深くするための啓蒙活動と、村当局および関係する県・国への働きかけに主力を注ぐこととなり、まず8月に、中越遺跡保存会、宮田村考古友の会と提携して「中越遺跡とみんなの集い」を3日間にわたって開催している。出土品展示会、スライド映写会、中越遺跡を語る集い等を内容とするものであった。さらに9月20日、長野県考古学会大沢和夫会長は、宮田村役場で、村長・教育長に中越遺跡保存について村当局の行政措置として永久保存と活用を積極的に図ることおよびその保存施策を具体的に示すことを申し入れると共に、「陳情書」を提出した。

このような村民および研究団体の熾烈な要望や運動に対し、村教育委員会は文化財保護法の精神を尊重しつつ対応する方針を固め、中越遺跡の保存について、9月24日に教育長名をもって長野県考古学会に回答した。その内容は関係保護行政機関と協議し、村財政を考慮しつつ遺跡保存について充分考慮することを主旨としたものであった。長野県考古学会はこの回答を描象的で不明瞭であると結論づけ、翌昭和55年1月18日、更に具体的な回答を求めて「公開質問状」を村長あてに提出した。村当局はこの質問状について1月25日に回答したが、その内容は、①中越遺跡は、地方自治に基く施策として、その代表的箇所は是非保存したい。②西原区画整理事業の申請書中の遺跡記載はやや遅れたが、昭和53年度末に範囲確認調査の結果を記載した。③発掘調査報告書は昭和56年度に刊行したい。等であった。

しかし、長野県考古学会がこの回答を不充分として受け入れなかつたため、村当局は、長野県考古学会等の保存運動団体の代表者と直接話合う必要があると判断し、前後3回にわたる合同の協議会を開催した。当初、遺跡の保存範囲について、両者の間には大きなズレがあり、これを中心に激しい討論が繰り返されたが、4月7日の第3回協議会において双方の合意をみた。その内容は、(イ)西原区画整理事業は、出来る限り遺跡保存を優先させて工事を進める。(ア)保存地域は、遺跡地24haのうち繩文前期部分5haに限定し、国史跡指定を受けるよう努力する。(イ)史跡指定行為については地権者の同意と理解を求める。(ロ)史跡指定地は公有地として確保し、永久保存できるよう努力する。(ア)指定地以外の遺跡の保存については、互いに協議して進める。(ロ)国史跡指定の前提としての正式な発掘調査報告書をできるだけ早く作成・刊行する。というものであった。この合意成立については各新聞も高く評価し、保存事業も都市計画も進展するかに見えたが、前述のように区画整理審議会自体が紛糾に陥ったため、保存団体もその事態を見守る他なかつたのである。

このように昭和50年代は、遺跡保存について、具体的な内容がかたまたま時期として評価できる。しかしその実行は、区画整理事業とのからみの中で、停滞を余儀なくされていた。

#### IV 発掘報告書作成と史跡指定への道のり——昭和60年代——

昭和60年代の初頭から西原区画整理事業が再開され、これに伴って保存団体の動きも活路となり、史跡指定の大前提である報告書刊行へ向って具体的な歩みが開始された。

まず、村当局は、昭和60年2月、停滞していた西原区画整理事業の再開を図るため、地権者を対象に事業への意志調査を実施し、その結果を踏まえ、6月に至って同事業の施行区画変更案を土地関係者に示した。その内容は、施行地区24haを14haに縮小するもので、村議会の承認を経た村当局は7月19日にこの変更を公表し、事業は再開された。繩文前期の集落部分のうち2.8haも、国史跡指定問題がかかっているとして除外され、問題解決後に第2工区として開発計画を樹てることになったのである。そして、61年度から工事が開始され、現在、道路開設地点の記録保存事業が実施されつつある。

一方、国史跡指定については、昭和60年1月、県教育委員会文化課埋蔵文化財担当職員3名が来村し、遺跡地権者集会(17名参加)を開き、史跡指定について説明して協力を要請したが、充分な理解を得られず、かえって反発を招く結果となってしまった。2月に実施した史跡指定についてのアンケート調査でも反対多数と出ており、今後に問題を残したのである。

保存運動は区画整理事業再開と共に活発になってくる。長野県考古学会中越遺跡保存対策特別委員会は、昭和60年5月に全県在住の会員から選出された新委員をもって再出発(委員長御子柴泰正)していたのだが、昭和61年2月、村教育委員会と会談し、(1)中越遺跡保存の基本的考え方としては、繩文前期遺跡内の特定地域を国の史跡指定を受けて、永久保存する。(2)中越遺跡の保存範囲は、別紙に示す通り1.7haとし、要望される西側約1haの追加については、努力目標として配慮する。(3)今後の保護施策としての史跡指定については、地権者の同意を得て可久の速かに決めたい。またその前提となる発掘調査報告書は、昭和63年度上半期までに刊行する。との回答を得た。そして同委員会は、昭和63年5月、村長と教育長に会談を申し入れ、従来の経過と現状を確認しながら、(1)史跡指定範囲および位置については前回通り1.7haとし、努力目標0.7ha分については、区画整理の進展に対応させて実現できるよう努めたい。(2)史跡指定の前提となる学術的発掘調査報告書は、平成元年度に刊行する。(3)史跡指定についての同意書を整備作成したいので、早急に地権者代表会を編成したい。という点について合意した。

このように昭和60年代は、短期間ではあるが、都市計画事業が再開されると共に保存運動も活発化し、関係者および各機関の協調も高まり、報告書作成の歩みも始まり、すべてが具体的飛躍的に進展してきた。近い将来における中越遺跡保護措置の完成に期待するところが極めて大きい。

## 第2節 今後の課題

### 1 遺跡保存のねらい

中越遺跡発掘調査報告書が刊行されたことは、国史跡指定の大前提が確立したことを意味する。ここで感銘深く想起されるのは、第1次調査の折、視察と激励に現地を訪れ、第1号住居址の床面に立たれた大先覚伊藤泰輔翁の「この調査研究の過程と結果を適確な記録として永久に伝えることは、一面私達の非常な喜びであると同時に、他面重大な責任であることを痛感する。正確に記録して広く社会に報告し、今後の研究に便宜を圖らねばならない」との言葉である。それは、文化財の公開と活用という意味で、遺跡保存の方向を示したものであり、しかもその精神が、文化財保護行政に携わる人や研究者の良識とまで言われている今日の現状を見る時、あらためてその卓見に感嘆せざるを得ないのである。

そこで今後、遺跡保存ということで何をしなければならないかといえば、まず第1は、中越遺跡を現場に即して保護保存することである。その内容は、中越遺跡の特徴つまり「日本列島の中央高地に発する天竜川上流の河岸段丘上に展開された縄文前期初頭の大集落址とこれを形成した縄文人の生活の様相」を永久に保存するものでなければならない。そして第2には、文化財の公開活用をするための保存措置が必要となる。将来、遺跡の文化財的価値への人々の要望はますます高まることが予想される。その要求に対応できる保護措置を、その当初から基本に据えなければならない。従って遺跡保存の目的は、中越遺跡を歴史的環境に即して復元し、生涯教育、学校教育の教材や資料として活用に資することとなろう。

### 2 保護措置における今後の課題

中越遺跡を如何に保存するかを考える時、報告書刊行の現段階においては、国史跡指定という課題が必然的に迫ってくる。史跡指定は、現在行ない得る埋蔵文化財保護措置としては最高に位置し、それは文化財保護法の該当規定に即して実施されるわけであるが、現地の自然的、社会的、経済的諸特性と遺跡自体の特性を考慮する時、幾多の課題に直面する例が多い。ちなみに中越遺跡では、

- (1)史跡指定範囲が、遺跡の特性に基いた保存・公開・活用の条件を充分に満たし得るか。
- (2)都市計画区域の中での史跡地が、村民の文化的・健康的・教育的地帯として機能し得るか。
- (3)関係地権者と村民の深い理解と同意を得て、指定行為がスムーズに進捗できるか。
- (4)土地の公有化について、関係行政機関と連携して財政措置が滞りなく進捗できるか。
- (5)指定地域の自然環境を生かした歴史的環境を復元・公開するための施設が、学術的に正しく、文化的教育的に楽しく活用され、その効果を發揮するよう実施され得るか。

などの点が問題となってこよう。関係各方面との充分な連携の上に、これ等の課題の1つ1つに対処しながら、これから史跡指定作業を進めていかなければならないのである。

表1 織文前期の住居址一覧表

住居址番号		平面形	長軸方向	規模	周溝	炉	柱	穴	遺物量(主な土器)	備考
1	B	N 70°W	4.0 × 3.6m	1	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -55, P <sub>2</sub> -46, P <sub>3</sub> -43, P <sub>4</sub> -50)	少ない(Ⅰ期Ⅰ群C)	焼失家屋、骨		
2	C	N 80°W	7.2 × 6.4m	1	地床炉	a. 4本 (P <sub>1</sub> -56, P <sub>2</sub> -55, P <sub>3</sub> -59, P <sub>4</sub> -53) b. 4本 (P <sub>1</sub> -56, P <sub>2</sub> -60, P <sub>3</sub> -40, P <sub>4</sub> -53) c. 4本 (P <sub>1</sub> -56, P <sub>2</sub> -58, P <sub>3</sub> -40, P <sub>4</sub> -53)	非常に多い(Ⅱ期Ⅰ群、Ⅲ期Ⅲ群)	床上20~40cm 焼土、甕の実、骨		
3	B	N 0°	4.6 × 4.6m	1?	—	4本 (P <sub>1</sub> -50, P <sub>2</sub> -57, P <sub>3</sub> -50, P <sub>4</sub> -57)	不明			
4	D	N 30°W	4.4 × 4.0m	¾	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -63, P <sub>2</sub> -56, P <sub>3</sub> -54, ——)	不明(Ⅱ期Ⅲ群)			
6	C	N 80°W	5.0 × 4.1m	¾	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -55, P <sub>2</sub> -55, P <sub>3</sub> -35, P <sub>4</sub> -64)	非常に多い(Ⅰ期Ⅰ群D)	焼失家屋		
7	N	N 20°W	6.0 × 4.4m	¾	不明	4本 (P <sub>1</sub> -38, P <sub>2</sub> -41, P <sub>3</sub> -47, ——)	ごく少ない(Ⅰ期Ⅰ群D)			
8	C	N 30°E	4.5 × 3.9m	1	地床炉	a. 4本 (P <sub>1</sub> -47, P <sub>2</sub> -33, P <sub>3</sub> -34, P <sub>4</sub> -22) b. 4本 (P <sub>1</sub> -47, P <sub>2</sub> -33, P <sub>3</sub> -35, P <sub>4</sub> -46)	少ない	入口施設		
9	C	N 30°E	5.3 × 4.5m	無	石庭炉	4本 (P <sub>1</sub> -26, P <sub>2</sub> -24, P <sub>3</sub> -26, P <sub>4</sub> -32)	非常に多い(Ⅰ期Ⅰ群D・E)	31住に貼床		
10	B	N 10°W	5.3 × 5.0m	無	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -26, P <sub>2</sub> -43, P <sub>3</sub> -35, P <sub>4</sub> -39)	多い(Ⅰ期Ⅰ群B)	埋土に焼土		
11	B	N 20°E	4.4 × 4.4m	2	—	4本 (P <sub>1</sub> , P <sub>2</sub> , P <sub>3</sub> , P <sub>4</sub> )	多い			
12	B	N 90°	3.9 × 3.8m	無	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> , P <sub>2</sub> , P <sub>3</sub> , P <sub>4</sub> )	多い			
13	C	N 20°E	4.3 × 3.7m	無	地床炉	不明 (P <sub>1</sub> , P <sub>2</sub> , P <sub>3</sub> , P <sub>4</sub> )	多い(Ⅱ期Ⅰ群A)			
14	C	N 10°E	5.8 × (4.5)m	¾	—	4本 (P <sub>1</sub> , P <sub>2</sub> , ——, ——)	ふつう(Ⅰ期Ⅰ群E)			
17	B	N 70°W	4.5 × 4.3m	無	—	4本 (P <sub>1</sub> -58, P <sub>2</sub> -30, P <sub>3</sub> -50, P <sub>4</sub> -40)	非常に多い			
18	B	N 10°E	5.0 × 4.8m	¾ × 2	不明	4本 (P <sub>1</sub> -26, P <sub>2</sub> -28, P <sub>3</sub> -48, P <sub>4</sub> -46)	多い			
23	B	N 50°E	推定径3.5	無	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> , P <sub>2</sub> , P <sub>3</sub> , ——)	少ない			
25	A	N 80°W	3.5 × (2.8)m	無	—	—	不明			
26	C	N 30°E	5.0 × 3.9m	無	—	4本 (P <sub>1</sub> , P <sub>2</sub> , P <sub>3</sub> , P <sub>4</sub> )	不明			
31	B	N 20°E	4.1 × 3.9m	無	—	4本 (P <sub>1</sub> , P <sub>2</sub> -26, P <sub>3</sub> -26, P <sub>4</sub> )	ごく少ない			
35	A	N 80°W	4.2 × 3.5m	無	無	—	ふつう(Ⅰ期Ⅰ群A)			
37	B	N 10°E	5.0 × 4.9m	1	—	4本 (P <sub>1</sub> -34, P <sub>2</sub> -43, P <sub>3</sub> -30, P <sub>4</sub> -28)	非常に多い(Ⅰ期Ⅰ群E)	焼失家屋、骨		
43	B	N 5°E	5.5 × 5.0m	2	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -31, P <sub>2</sub> -61, P <sub>3</sub> -41, P <sub>4</sub> -53)	不明	抵張		
47	B	N 10°W	4.8 × 4.4m	1	—	4本 (P <sub>1</sub> -23, P <sub>2</sub> -43, P <sub>3</sub> -36, P <sub>4</sub> -30)	ふつう			
48	B	—	推定径5.0	2	—	特定できず	多い(Ⅰ期Ⅰ群F・Ⅱ期Ⅰ群A)			
57	B	N 50°E	4.8 × 4.5m	¾	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -21, P <sub>2</sub> -17, P <sub>3</sub> -32, P <sub>4</sub> -25)	ふつう(Ⅰ期Ⅰ群C)			
61	B	N 90°	4.8 × 4.2m	1	—	4本 (P <sub>1</sub> -36, P <sub>2</sub> -46, P <sub>3</sub> -41, P <sub>4</sub> -42)	少ない			
62	B	N 10°E	5.1 × 4.6m	2	—	12本 (P <sub>1</sub> -43, P <sub>2</sub> -36, P <sub>3</sub> -61, P <sub>4</sub> -60, P <sub>5</sub> -57, P <sub>6</sub> -39, P <sub>7</sub> -48, P <sub>8</sub> , P <sub>9</sub> -42, P <sub>10</sub> , P <sub>11</sub> -44, P <sub>12</sub> )	少ない			
76	D	N 0°	4.8 × 4.4m	無	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -14, P <sub>2</sub> -15, P <sub>3</sub> -16, P <sub>4</sub> -15)	多い(Ⅱ期Ⅰ群B)			
79	B	N 90°	4.8 × 4.4m	無	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -28, P <sub>2</sub> -36, P <sub>3</sub> -38, P <sub>4</sub> -38)	ふつう			
98	B	N 80°W	4.9 × 4.0m	¾	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -30, P <sub>2</sub> -21, P <sub>3</sub> -26, P <sub>4</sub> -34)	非常に多い(Ⅱ期Ⅰ群A)			
99	B	N 30°W	5.7 × 5.2m	無	—	4本 (P <sub>1</sub> -23, P <sub>2</sub> -34, P <sub>3</sub> -46, P <sub>4</sub> -49)	少ない(Ⅱ期Ⅰ群C)			
100	C	N 80°E	6.5 × 3.7m	無	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -28, P <sub>2</sub> -20, P <sub>3</sub> -27, ——)	非常に多い(Ⅱ期Ⅰ群A)			
102	B	N 60°W	3.7 × 3.5m	1	—	4本 (P <sub>1</sub> -37, P <sub>2</sub> -32, P <sub>3</sub> -29, P <sub>4</sub> -18)	ごく少ない			
104	方	N 80°W	3.9 × ?	無	地床炉	—	少ない(Ⅰ期Ⅰ群C・E)			
105	B	N 30°E	4.3 × 4.1m	1	地床炉	4本 (P <sub>1</sub> -26, P <sub>2</sub> -30, P <sub>3</sub> , P <sub>4</sub> -40)	ごく少ない	焼失家屋		
107	A	N 60°E	3.8 × 3.3m	無	無	—	ごく少ない(Ⅰ期Ⅰ群A)			

表2 出土地別石器集計表

(1) 銚文前期

出土地点	石鏃	石斧	石錐	打製石錐	スクリーパー	打製石斧	磨刃石	磨製石斧	叩石	砸錐叩石	石皿	その他の	剝片	屑片	石核	原石	剥打法	不明
1住	1	3	1		2				1				16	16	8	1	1	
2住	6	32	4	1	5		1	1	7	3						20	31	
3住										1								
4住		2	2										2		1			
1次T	4	15			2				1	3								
5住	1	1			2								20	8	14		3	
2次T	2	5				1	1		10	4			26	38	13	3	11	
6住	15	5	6	2	19	2			1	5	3		288	377	122	17	38	76
7住	10	2	6	3	8				3			接合する剝片あり	109	179	68		20	31
8住	13	2	6		8				1	1	1		115	265	44	2	8	14
9住	51	9	12	7	17	1	3		7	8		石槍1、块状耳飾1	444	272	136	16	45	102
10住	50	3	6	2	23				2	12	7		182	412	121	16	33	16
10窟	8				1													
11住	29		3	1	13				1	4	2	块状耳飾1	134	393	78	4	10	17
12住	35	4	2	3	17	1			12	5			120	220	76	19	18	
13住	19	4	2	1	13	1	1		3	2		抉入剝突具1	123	223	78	4	15	15
14住	27	5		1	11				2				85	184	42	4	11	23
14・23住	19	1	3		12				1	2			31	144	22	9	14	
17住	13	11	2	2	8	4			10	3		粗大石匙1	130	247	47	6	23	17
18住	15	7	6	3	18	2			10	14			141	281	73	7	17	29
19住		1																
23住	7				2				1	1			14	38	8	1	3	3
24住		1							1	1			7	30	2		2	
35住	10				6				2	4			28	122	15		7	10
37住	21	9	2	4	6				2				84	182	34	6	13	10
38住		1			1										2			
42住	3				1				1	2								
47住	13	1	1	3	10				1	1	2		210	235	120	8	27	19
48住	8	2	3		18				1	5	2		127	126	44	1	8	20
50住	1		1		5								34	73	23	3	6	6
1T	12	4	4	2	7	4			2	3			67	100	40	2	5	2
2T	10	2	4		4		1	1	4	2			56	149	42	4	6	4
3T	10	2	3		4				7	4			45	75	31	3	9	3
4T	5	2	2		3		1	1	8	3			21	32	13	2	2	3
5T								1					1	3				
6T	5	4	3		4	2			2	3			30	106	28		10	2
7T	2												9	27	4			
8T	12	5			7	1			1	1	5		49	49	15		5	9
9T	1	1							1	1			6	5	2	2		
10T	25	5	5	1	12				2	4	2	抉入剝突具1	72	161	44	10	9	15
10・11T	1				4		1		6	1			38	131	28	1	4	24

出土地点	石鏡	石匙	石錐	打製 石錐	スクリ バー	打製 石斧	橢円型 石斧	磨製 石斧	卯石	彫刻 卯石	石皿	そ の 他	剝片	肩片	石核	原石	調査 方法	不明	
11T	5	3			5	3			1					29	118	15	5	5	
12T	1		1	1			1	1		1				4	8	2			
13T	3	1	1							1				8	21	2			
14T	13	1		1	4			1	4	1			石槍1	88	177	52	3	9	
15T	8	2			4			3	4	2				38	126	14	5	9	
16T	2					1			1					4	10	4	1		
17T	178	8	23	18	44	3		3	6	8				625	1582	377	39	62	
1区	46	2			1	1		1		1				35	97	29	1	1	
1・3区	25	2			1	3									1				
2区	30		8	1	8					2				60	103	19	5	10	
3区	10	1			1	2		1	2						11	3	1		
4区	11	1	1	1	7	4				1				58	117	24	4	5	
5区	6	1				2								2	12	4		1	
6区	4					1								4	1				
7区	2				1	1								4	21	3			
8区	1					1									10	28	7	1	1
9区	1		1		1										35	153	37	3	4
18T	7	1	2	3	1				1					4	22	2	1		
19T			1												15	39	5	1	3
20T	2					5			1						6	3			
21T	2														132	253	79	9	8
ピット	1	1			2										79	290	48	7	19
1~4次 不明	222	9	16	3	13	2	2	5	21	18					49	81	15	2	11
53住上層	23	4	3		13	1	1	1	8	2					35	106	15	1	10
53住	12	1	1	1	7						1				65	139	27	1	19
55住上層	10		2	1	4				1						1	2	1		
55住	6	2	3		10		1		1						1	1			
56住	1				1										36	35	14	7	3
1土壤	1														26	27	22	4	1
5次G	30	2	4	1	20	2	2	2	10				蹠石鍼1、底石1	75	243	15	2	23	
57住	8	2	1	1	5				6					52	57	31	5	16	
6次G	2		2		1	5			1	3				13	28	4	3	4	
43住	35	6	4	5	22				3					51	87	28	3	11	
58住	1		1		3				1					36	35	14	7	3	
59住	3	4		1	4				3					26	27	22	4	1	
72次G	10	1		1	2				5	2				59	101	13	1	7	
8次					2				2					3	2	2	1	1	
61住	1				1	1			1	1				8	10	7	1	4	
62住	1	2			4					2					28	53	15	3	4
63住	2				3				1	1				23	22	7	2		
9次G	14	1	1	1	5	6			3	3				88	206	32	3	7	
																		16	

出土地点	石錐	石耙	石錐	打製石器	スクリーパー	打製石斧	楔刃型石斧	磨製石斧	叩石	縫端叩石	石皿	そ の 他	剝片	屑片	石核	原石	両極打法	不明
10次	15	4	2	2	14	7	5	2	19	7		敲打製石器1、砥石1	136	135	81	8	18	14
11次	5				1					1			8	39	8		1	
76住	26		4	1	9	2				1		敲打器1	264	101	92	11	19	1
79住	38	14	4	4	14		1	1	9	5	1	複数块入石器1 敲打器2、石匙形石製品1	427	138	208	12	54	1
98住	20	6	6	1	13	1	1		5	2			225	12	137	6	22	
99住	6				3			1	2				49	26	18	3	5	
100住	50	8	6		21	1	1	1	12	4	1		516	259	224	11	37	
101住	9	3	1	2	10	1	1		3	1			148	34	79	5	8	
104住	8	2	2		10	1		1		1		岩偶1	87	40	32	1	10	
105住	2				2		1	1		1	1		12	6	3		2	
106住	1				2								8	1	4			
107住	2												4	4	5			
14次G	11	1	1	1	8	4	1	1		3			177	62	105	4	18	
14次不明	23	1		1	5				6				80	60	49	4	8	

(2) 繩文中期

出土地点	石錐	石錐	スクリーパー	打製石斧	楔刃型石斧	粗大石錐	磨製石斧	叩石	敲打器	そ の 他	剝片	屑片	石核	原石	両極打法	不明	粗大剝片	粗大屑片
10次	1	1	1	81	10	6	16	5	11	敲打製石器6 磨石錐5	20	17	8	6	8	1	53	116
12次				1	1							8					10	
13次				1												1	1	

(3) 繩文後期

出土地点	石錐	スクリーパー	打製石斧	楔刃型石斧	粗大石錐	磨製石斧	叩石	縫端叩石	敲打器	石皿	磨石錐	石棒	絆石製品	剝片	屑片	石核	原石	両極打法	不明	粗大剝片	粗大屑片
6次第3地区	18	15	60	28	3	11	15	6	5	5	32	3	3	121	210	119	41	28	8	55	206

表3. 石器—胃表

第1次調查

### (1) 1号住居地

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	買主	図版	考
石鏡	2076	美土	-IIb	(2.0)	(1.5)	(0.5)	(0.7)	黑曜石	片岡次		
石鏡	452	西吉野	BIIa	3.4	4.1	0.6	6.5	x	2		
H	459	"	BIIa	2.7	5.2	0.9	8.9	チベト	3		
H	2176	鹿島-30	BIIIa	3.0	5.1	0.8	11.8	x			
石鏡	2177	"	A I	2.6	1.4	0.5	1.8	黑曜石			
スクローバー	2064	土	B I a	2.4	1.6	0.5	1.6	x			
H	3077	"	BIIa	2.3	1.8	0.4	1.5	x	4		
石鏡	1035	BIV	B II b c	9.5	7.2	5.5	50.6	花崗岩	24		

### (2) 2号住居計

石	器	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	因 番号	備 考
石	鏃	467	II	HIIa	1.8	1.5	0.2	0.4	墨 磨 石	7	
		485	-30	BIVc	1.2	1.8	0.2	0.3	±	5	
		469	-49	DIVa	1.8	1.7	0.2	0.4	±	6	
		472	0--9 か	失傳IVa	3.5	1.1	0.6	1.9	±	8	
		2165	79	失傳IVc	3.0	2.4	1.0	5.3	±		
		2167	59	円端IVc	2.8	2.3	1.0	5.7	±		
石	點器	203	CIIIb	4.7	4.5	1.3	14.1	±	12		
		457	0--90	BIIb	2.7	4.7	0.4	5.8	チャート	13	
		460	I-II+0--50	AII (a+b)	5.3	2.3	0.6	5.4	黒曜石灰岩	9	
		461	-30	AII (a+b)	5.6	2.6	0.6	8.7	±	10	
		468	-30	CIIb	4.1	2.6	0.9	5.1	チャート	11	
		2139	-30	AII (a+c)	5.2	1.9	0.8	9.2	墨 磨 石		
		2140	1□-60	AIV (b+c)	4.8	1.7	0.6	4.9	チャート		
		2141	-90東I	AII (b+c)	3.6	1.9	0.6	9.3	±		
		2142	-80	AIII (b+c)	7.8	2.1	0.8	18.1	±		
		2143	-85	AIIIb	2.6	1.8	0.4	2.4	±		
		2144	-90III	A I (b+c)	4.2	2.1	0.8	5.9	墨 磨 石		
		2145	-90	AIIb	3.8	2.0	0.7	3.4	±		
		2146	□	(AC+B)C I	6.4	5.2	0.9	20.6	チャート		
		2147	-90III	AIIc	5.1	2.3	1.0	7.8	墨 磨 石		
		2148	-50	AIIb	4.7	2.1	0.8	5.5	±		
		2149	-90V	CIIa	4.9	2.6	0.5	3.7	チャート		
		2150	-90VI	CIIb	3.9	4.0	0.5	6.3	墨 磨 石		
		2151	□	CIIb	5.6	5.7	1.1	27.8	チャート		
		2152	-85	BIIa	4.0	4.3	0.6	7.6	±		
		2153	西(西)	CIIa	4.0	3.9	0.7	11.3	±		
		2154	-80	CIIa	4.2	4.2	1.1	14.8	±		
		2155	-80	CIVa	2.9	3.5	0.7	5.9	±		
		2156	-50 - II - III	CIIb	3.3	5.3	0.7	8.2	墨 磨 石		
		2157	走上	BIIa	2.8	4.4	1.0	8.3	チャート		
		2158	-70	B-a	2.3	3.5	0.7	5.2	墨 磨 石		
		2159	-80	BIIa	2.4	3.4	0.4	3.5	±		
		2160	III - IV -- 70	B-b	(2.6)	4.1	0.8	(4.9)	チャート		
		2161	-90	AI b	2.7	1.8	0.5	2.8	墨 磨 石		
		2162	-86	AI (+→) - (3.9)	2.7 (0.7)	1.8	0.5	2.8	黒曜石灰岩		
		2163	-76	AI -	(3.0)	(2.8)	0.9	(6.4)	チャート		
		2164	-90	AIla	4.2	2.5	1.0	9.1	±		
		2165	-89	AIlb	3.7	3.1	0.8	8.2	±		
石	磨	2166	V. 床	AI	2.8	2.4	0.7	3.7	±		
		2169	-70	AI	3.1	1.2	0.5	1.5	±		
		2170	II - III - 90	BI	2.4	1.5	0.4	0.9	±		
		2171	-80	AI	2.4	0.9	0.6	1.5	±		
打	打石器	2172	-70		2.6	1.6	0.7	2.4	墨 磨 石		
スラバ	スラバ	2075	C I a	2.6	4.6	1.1	17.6	チャート			
		2076	C I a	4.1	4.2	0.9	14.8	±	14		
		2173	0--86	(B+B)I a	5.0	3.1	1.6	14.4	±		
		2174	-70	(B+C)I a	3.0	1.8	0.6	2.0	墨 磨 石		
		2175	II - III - 90	AI a	2.2	1.7	0.7	2.1	±		
黒	黒石器	958	-65--100		10.4	6.2	1.3	90	墨 磨 石		

透蓋石片	967 II	部分解裂	9.1	4.4	2.2	120	深灰 褐色	片状	36
Ⅲ 石	959 西北—30°—70	B+b+c	6.9	8.1	2.7	220	深灰 褐色	块状	31
Ⅲ	959 西南剖面	B+b+c	9.7	7.4	3.5	390	深灰 褐色	块状	27
Ⅲ	961 西南剖面	B+b+c	11.6	8.8	3.5	556	深灰 褐色	块状	25
Ⅲ	962 I-II	B+b+c	11.1	6.0	1.9	220	深灰 褐色	块状	39
Ⅲ	965 西北—45°—100	B+a	11.6	7.5	3.4	449	沙 岩	块状	28
Ⅲ	968 西南剖面	B+b+c	11.3	7.7	3.3	450	硬 砂 岩	块状	29
Ⅲ	969 西北—30°—80	B+b+c	12.5	8.8	3.4	560	深灰 褐色	块状	30
砾磨印石	963 西 壁	a	12.0	4.5	3.4	350	深灰 褐色	块状	34
Ⅲ	964 西 壁	a+b+c	11.0	2.8	2.8	130	深灰 褐色	块状	33
Ⅲ	966	a	(5.1) (5.0) (2.5)	(2.0)	(1.0)	100	深灰 褐色	块状	32

### (3) 3号住居地

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
螺旋印石	1048	No.1	a b c	15.8	3.8	2.8	260	—	—	—

#### (4) 4号住居地

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 銛	2176	-15	A I (a+b)	6.9	3.7	1.1	24.5	黒 石		
#	2179	-90	B II a	3.7	4.7	1.0	16.8	#		
石 銛	471-78	-	A I	3.5	1.5	0.5	2.5	黒色斑紋岩	15	
#	2180	-70	A I	(2.7) (3.0) (0.9) (6.6) カーネル						つまみみ

## (5) トレンチ

石種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固有番号	備考
石斧	1657	1TB55-68	GIIa	2.3	1.7	0.3	0.7	黑曜石		
#	1612	1T7-11D5	GIIa	2.9	1.7	0.3	1.0	#		
#	1623	2TB58	GIIb	2.0	1.6	0.4	0.5	#		
#	1641	1T75-38	DIVc	2.5	1.6	0.3	0.8	チャート		
石斧	451	4TB80	BIIa	4.7	7.4	0.8	23.0	#	20	
#	453	4TB80	CIIa	4.3	2.3	0.7	4.9	黒曜石		
#	454	4TB7-86	CIIc	4.6	3.6	0.7	10.8	チャート	23	
#	455	4T7-70	CIIb	5.3	3.9	0.8	9.3	#	21	
#	456		BIIa	3.8	5.6	0.7	13.0	白雲母斜長石		
#	458	1TB-45	CIIa	4.1	3.8	0.7	9.7	チャート	22	
#	2181	1T40	AIIa	4.3	2.5	0.8	7.8	#		
#	2182	2TA29-50	CIIa	3.6	3.7	1.1	15.0	#		
#	2183	2TB4	AIIa	5.4	2.9	0.7	12.1	奥曜石		
#	2184	4T50	CIIb	4.9	3.9	0.5	8.7	チャート		
#	2185	4TB60-30	BIIc	3.7	5.1	1.1	18.8	#		
#	2186	4TB55-50	AIIb	4.6	2.3	0.6	5.5	奥曜石		
#	2187	4TB75	Alb	3.9	1.8	0.4	1.6	#		
#	2188	4TB80	All(a+b)	4.8	3.8	0.9	15.7	チャート		
#	2189	4TB60-30	AIIa	4.5	3.4	0.8	8.5	奥曜石		
スカルペル	1975	1T-50	[B1+C1]a	4.7	3.7	1.0	11.8	チャート		
#	2190	4TB60-50	B1a	4.2	2.2	0.9	5.8	黒曜石		
研磨凹印	387		Bab-c	14.2	7.3	2.8	496	砂岩	38	
研磨凹印	386		ab	8.6	3.5	3.0	120	カーリッシュ	39	
#	1011	1TII	a	18.4	4.2	2.5	170	砂岩	40	
#	1091	5T1	a	8.4	5.1	1.9	130	#	41	

第2次調查

### (1) 5号住居地

器種	No	出土状況	形 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	固 定 番 号	備 考
石 旗	494	平塚一一		(1.7)	1.9	(0.3)	(1.0)	馬 瞳 石	17	
石 武	2117	—	—	2.4	(1.9)	0.6	12.7	チャート		
アゲラ	463	C I a	3.2	2.2	0.7	5.7	馬 瞳 石	18		
#	2079	C I a	2.8	4.6	0.7	8.7	石			

## (2) 遺構外

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	1	3X丸	平盤Vc	2.2	1.4	0.6	1.7	黒 磨 石		
#	2	3X丸	平盤Vd	2.7	2.4	0.8	5.0	#		
石 扇	3	3X丸	B--	(3.6)	(0.7)	(0.9)	(3.4)	チャート	刃削・つまみ半欠	
#	4	3X丸	BIIb	3.2	(3.1)	0.8	(6.4)	黒 磨 石	#	
#	5	5X丸	Alla	5.2	2.5	0.7	8.5	チャート		
打削石斧	6	2T丸		13.0	7.1	3.9	39.0	黒 砂 石		
印 石	7	2T丸	Babc	12.5	8.7	3.9	54.0	#		
#	8	2T丸	Babc	11.8	7.7	3.3	44.0	#		
磨削石刀	9	2T丸	a--	8.8	3.9	3.4	18.0	黄 山 石		
印 石	10	3X丸	Babc	15.3	7.5	3.1	58.0	黒 砂 石		
磨削石刀	11	3X丸	a--	15.4	4.1	4.3	37.0	黒 磨 石		
#	12	3X丸	a	(11.0)	(0.2)	(3.2)	(13.0)	#		
印 石	13	3X丸	Bac	11.6	6.6	2.8	32.0	黒 砂 石		
#	14	3X丸	Bc	10.8	5.3	3.0	26.0	#		
#	15	3X丸	-abc	8.0	8.7	3.4	31.0	#		
#	16	5X丸	Bc	12.6	10.9	4.1	75.0	#		
#	17	5X丸	Bbc	13.5	10.2	4.5	85.0	#		
刻削石斧	18	5X丸		11.9	6.4	2.1	23.0	黒 磨 石		
石 斧	19	6X丸	CIIa	2.8	3.9	0.5	4.2	黒 磨 石		
#	20	6X丸	CIIa	3.0	4.8	0.8	7.3	チャート		
印 石	21	6X丸	Abc	6.0	7.5	4.7	41.0	黒 砂 石		
#	22	6X丸	-a	(6.9)	(1.5)	(3.1)	(7.0)	黒 磨 石		
磨削石刀	23	6X	b-c	10.3	4.3	2.1	13.0	黒 磨 石		

## (3) ~4次調査

## (1) 6号住居址

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	429		平盤V-	(1.7)	1.7	0.3	(9.5)	黒 磨 石	10	先端欠
#	436	-70~90	平盤Vc	1.8	2.5	0.5	2.0	#	13	
#	1250		平盤V-	(1.5)	(1.5)	0.4	(0.8)	#	9	先端欠
#	1261		平盤V-	2.3	1.6	0.8	1.8	#		
#	1262		平盤--	(1.2)	2.0	0.3	(0.9)	#	12	先端欠
#	1263		円盤Vc	2.5	2.7	0.2	7.9	#	15	
#	1264 No.1		HIIb	2.3	1.6	0.4	0.8	チャート	2	
#	1265		EHIIa	1.2	1.2	0.3	0.2	黒 磨 石	1	
#	1267		IHIc	1.8	1.7	0.4	0.8	4	新規発見	
#	1268		IHIa	1.4	1.3	0.3	0.4	#	5	
#	1269		円盤Vc	2.3	1.5	0.5	1.4	#	14	
#	1270		円盤Vc	2.8	2.2	0.7	2.8	#	8	
#	1271 No.9		IIVb	2.8	2.1	0.8	5.1	#	6	
#	1272		平盤V-	(2.5)	2.2	0.3	4.6	#	11	先端欠
#	1273		-Ia	(1.7)	(1.5)	0.3	(0.5)	#	7	両端欠
#	1274		IIIa	2.2	1.8	0.3	0.9	#	3	
G 砥	225		CIA	(2.9)	(2.0)	0.7	(5.4)	黒 磨 石	19	刃削欠
#	226	No.10	BIIa	3.3	4.6	0.8	6.3	黒 磨 石	20	
#	227		AIIb	6.0	2.6	0.8	11.9	チャート	17	
#	228	No.2	AIIb	4.7	3.2	0.9	9.5	黒 磨 石	18	
#	229		--	(1.8)	(1.7)	(0.8)	(1.8)	#	21	つまみ残
G 砥	230		AII	2.0	1.8	0.4	1.3	#		
#	244		AII	2.7	1.4	0.7	1.9	#	26	
#	1265		AII	1.3	1.3	0.7	0.5	#	22	
#	2100		AII	2.8	1.8	0.2	1.0	#	26	
#	2101		AII	3.0	2.2	0.8	2.3	#	24	
#	2103		AII	(3.2)	0.5	0.7	3.6	#		先端欠
打削石斧	374			4.0	3.5	0.9	7.9	#	27	
#	375			(2.9)	2.3	0.5	(2.5)	#	28	
スクレーパー	429		CIA	4.9	4.5	1.0	23.0	#	32	新規発見
#	434		BIIa	3.5	2.4	1.1	8.5	#	41	
#	425		CIA	2.8	3.2	1.0	9.4	#	35	
#	426		BIIa	3.1	4.4	0.8	8.4	黒 磨 石	29	
#	427		CIA	4.6	3.5	1.1	8.1	黒 磨 石		

スクレーパー	428	CIA	2.7	1.3	0.4	1.0	黒 磨 石		
#	430	BII	(0.8)	(2.0)	(0.7)	(0.0)	#		
#	431	CIA	2.9	1.7	0.4	2.0	#		
#	432	BIIa	3.5	3.2	0.7	10.2	チャート	10.2	断面欠
#	433	DIB	3.0	3.6	1.3	9.8	黒 磨 石	45	
#	434	CIA	3.0	2.7	0.9	7.7	黒 磨 石	34	新規加工
#	435	BIIb	3.4	2.9	0.8	10.7	#	33	
#	436	BIIa	2.5	1.5	1.0	3.4	#	36	
#	437	-I-	(2.5)	(0.5)	(1.2)	(0.3)	チャート	1.2	端欠
#	438	CIA	(3.0)	(2.9)	(0.7)	(4.6)	#	39	
#	439	BIIa	2.1	2.5	0.7	2.5	黒 磨 石	37	
#	440	AIIa	2.4	2.1	0.6	2.8	#	38	
#	441	AIIa	(2.2)	2.7	0.3	(3.1)	チャート	3.1	断面欠
#	442	CIA	2.3	1.5	0.6	1.7	黒 磨 石	39	
#	2104	BIIa	(7.5)	(6.5)	(1.8)	(11.0)	黒 砂 石	879	
#	1002		13.8	7.1	2.9	39.0	#	879	
磨削石斧	1020		(5.2)	(3.6)	(0.8)	(2.0)	黒 磨 石	880	
印 石	527	Bac	10.0	5.8	2.4	21.0	黒 砂 石	881	
Bbc	13.1	8.1	3.9	61.0	#	882			
Bbc	12.1	9.3	4.1	70.0	#	883			
Bbc	13.5	10.1	3.4	71.0	#	884			
Bbc	13.2	7.7	3.8	56.0	#	885			
磨削石刀	523	a	9.3	4.5	2.9	59.0	#	886	
#	525	a	8.2	2.9	2.2	2.2	黒 磨 石	888	
#	541	abc	10.7	4.7	2.3	21.0	黒 磨 石	889	

## (2) 7号住居址

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	450		円盤Vc	2.0	1.8	0.4	1.2	黒 磨 石	59	
#	1225	No.7	IIVa	3.9	1.2	0.7	2.8	チャート	46	新規発見
#	1227		平盤Vc	1.7	1.4	0.3	0.6	黒 磨 石	47	新規発見
#	1228		平盤Vc	3.1	2.3	0.8	4.7	#	48	
#	1229		HIVc	1.9	(1.1)	0.3	(0.5)	#	48	片側欠
#	1280		IIMc	2.2	1.8	0.4	1.3	黒 磨 石	45	
#	1281		円盤Vb	2.4	1.6	0.5	1.3	黒 磨 石	51	
#	1282		HII-	(2.1)	(1.5)	(0.3)	(0.6)	#	44	新規発見
#	1283		円盤Vc	2.1	1.7	0.4	0.9	#	49	
G ---	1284		G---	(1.2)	1.5	0.2	(0.3)	#	43	先端欠
石 斧	267		AIIa	4.6	2.2	0.8	7.7	チャート	52	
	234		CHa	(2.0)	(2.1)	(0.7)	(2.7)	黒 磨 石	53	刃欠
	236		AII	3.9	3.1	0.8	7.9	#	59	
	285		AII	2.0	2.7	0.2	1.3	#	57	
	286		AII	3.0	1.4	0.4	1.2	#	56	
	287		AII	1.9	1.8	0.4	1.1	#	58	
	288		AII	3.3	1.7	1.0	3.1	#	55	
	289		BII	3.5	0.8	0.5	1.5	#	54	
	290			3.3	2.2	0.9	3.7	#	61	
打削石斧	376			3.1	3.2	0.8	5.6	#	60	先入3
	377			2.3	1.3	0.8	1.7	#	62	
	378			2.2	3.2	0.5	2.5	#	66	
スクレーパー	443	CIA	2.2	3.2	0.5	2.5	#	66		
#	444	-Ia	2.0	1.1	0.7	1.5	#	68	新規発見	
#	445	CIA	3.2	3.2	0.6	3.8	黒 磨 石	65		
#	446	CIA	3.7	4.3	0.8	11.0	チャート	64		
#	447	BIIa	3.9	2.5	0.7	8.5	#			
#	448	CIA	3.2	1.9	0.5	1.3	黒 磨 石			
#	449	CIA	2.7	2.5	0.6	3.2	#	63		
#	450	BIIa	1.7	1.8	0.5	1.0	#	67		
印 石	544	床	Bab	12.8	8.8	2.7	49.0	黒 砂 石	894	
#	942	床	Bc	(11.0)	(4.0)	(3.5)	(21.0)	#	893	
#	943	床	Babc	10.4	8.1	4.4	57.0	花 磨 石	892	

## (3) 8号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考	石	1322	埋土	GIIb	2.0	(1.8)	0.5	(1.2)	無	石	113	片側欠
石	512		GIIb-c	2.1	(2.0)	0.4	(1.3)	黒曜石	72	新潟県産 片側欠	#	1323		平端Vc	2.0	1.9	0.4	1.2	無	石	124	
x	1285		HIIb-b	3.1	1.9	0.5	(2.2)	#	78	片側欠	#	1324		HIIb	2.4	1.7	0.3	0.7	#		97	
x	1286		HIV-a	2.0	1.5	0.3	0.6	#	79		#	1325		HIIb	2.0	(1.4)	0.4	(0.7)	#		112	片側欠
x	1287		平基d	2.3	1.3	0.3	0.6	#	74		#	1326		HIIb	1.8	(1.1)	0.2	(0.3)	#		104	#
x	1288		--b	(1.8)	(1.6)	0.3	(0.7)	#	81	基端欠	#	1327		I Vc	2.1	(1.7)	0.5	(1.2)	チャート		117	#
x	1289		円端b	2.7	2.1	0.5	2.4	#	82		#	1328		平端Vc	3.2	1.4	0.7	3.4	黒曜石		118	
x	1290		円端b	2.1	(1.6)	0.4	1.2	#	79	新潟県産 片側欠	#	1329		平端d	1.8	1.4	0.5	1.4	#		114	片側欠
x	1291		円端Vc	1.5	1.9	0.3	0.9	#	78	新潟県産 片側欠	#	1330		平端Vc	1.9	(1.5)	0.3	(0.8)	#		145	
x	1292		HIIb	2.3	(1.4)	0.3	(0.6)	#	89	片側欠	#	1331		円端d	3.2	2.3	0.8	5.8	#		146	
x	1293		平端b	2.0	1.6	0.5	1.1	#	73		#	1332		円端V	(2.6)	1.9	0.5	(2.2)	#		139	先端欠
x	1294		EVc	1.3	1.5	0.3	0.4	#	71		#	1333		平端d	1.9	(0.4)	0.4	(0.7)	#		115	片側欠
x	1295		平端b	2.5	1.8	0.5	1.8	チャート	77		#	1334		平端c	1.9	1.4	0.3	0.8	#		126	
x	1296		HIV-	(2.2)	2.1	0.4	1.5	黒曜石	75	先端欠	#	1335		平基d	2.1	1.6	0.6	(1.9)	#		135	新潟県産
石	231		C-a	(3.0)	3.7	0.6	(5.4)	#	83	つまみ欠	#	1337		埋土	(2.0)	(1.7)	0.7	(2.9)	#		132	先端欠
石	232		BII-a	3.5	4.4	0.4	9.9	チャート	82		#	1338		円端-	(1.8)	2.1	0.2	(1.0)	#		123	
x	259		AII	1.7	1.7	0.4	1.1	黒曜石	88		#	1339		円端-	(1.4)	1.8	0.4	(1.0)	#		131	#
x	281		A1	(2.0)	1.2	0.6	(0.9)	#	84	先端欠	#	1340		平端-	(1.7)	2.0	0.3	(1.1)	#		138	#
x	292		A1	3.0	1.5	0.2	2.2	#	85		#	1341		円端Vc	1.8	(1.6)	0.3	(0.7)	#		126	片側欠
x	293		AII	1.5	3.2	0.3	1.5	#	86		#	1342		平端b	2.0	1.4	0.5	1.1	#		125	新潟県産 片側欠
スクリーパー	494		C I a	4.0	3.2	1.1	14.5	#	95		#	205		平端Vb	1.8	1.5	0.4	0.7	#			
x	495		A I a	(1.9)	(2.8)	0.6	(2.1)	#	91	新潟県産	#	206		G II c	3.2	(2.1)	0.5	2.6	チャート		片側欠	
x	496		DIB-a	1.5	2.4	0.4	1.5	#			#	207		G II b	1.4	1.3	0.2	0.3	黒曜石			
x	497		--Ia	(1.6)	(1.7)	0.5	(1.9)	#	63	新潟県産	#	208		B III a	3.5	(3.5)	0.5	(5.6)	チャート		147	片側欠
x	498	-69	B I a	5.2	3.1	0.8	9.5	#	90		#	209		B---	(2.8)	(3.8)	0.8	(7.6)	黒曜石		145	新潟県産
x	499		B I a	1.9	2.5	0.5	2.2	#	92		#	210		A--	(3.2)	(2.5)	0.8	(6.2)	チャート		143	片側欠
x	500		C I a	2.2	3.9	0.9	8.7	チャート	94		#	211		--b	(5.3)	(3.0)	0.9	(8.9)	新潟県産		144	片側欠
x	501		B II a	2.2	1.9	0.6	2.3	黒曜石	89		#	212		--c	(2.3)	(2.6)	0.6	(3.4)	チャート		151	片側欠
磨削石片	547		平端b	(2.8)	(2.6)	0.8	(0.8)	絹滑片岩	90		#	213		--a	3.0	(3.5)	0.9	(9.4)	黒曜石		146	片側欠
印	石 1001		B II c	12.5	6.6	3.1	40.0	砂 砂 石	895		#	214		--b	(1.7)	(2.5)	0.6	(2.1)	#		148	
磨削石片	1006		a b	9.8	3.3	2.7	160	絹滑片岩	899		#	215		--	2.4	1.8	0.8	2.1	#		149	

## (4) 9号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考	石	208	埋土	G II b	1.8	1.5	0.4	0.7	#	石	156				
x	301		A II a	(1.9)	(2.8)	0.6	(2.1)	#	91	新潟県産	#	209		B---	(2.8)	(3.8)	0.8	(7.6)	黒曜石		147	片側欠			
x	302		DIB-a	1.5	2.4	0.4	1.5	#			#	210		A--	(3.2)	(2.5)	0.8	(6.2)	チャート		143	片側欠			
x	303		--Ia	(1.6)	(1.7)	0.5	(0.5)	#	123	新潟県産	#	211		--b	(5.3)	(3.0)	0.9	(8.9)	新潟県産		144	片側欠			
x	304		--IIb	(1.7)	(1.1)	0.3	(0.4)	#	100	新潟県産	#	212		--c	(2.3)	(2.6)	0.6	(3.4)	チャート		155	片側欠			
x	305		R II -	(1.5)	1.5	0.4	(0.5)	#	102	先端欠	#	213		A II	2.6	2.5	0.9	4.4	#		162				
x	306		平端c	1.9	1.4	0.5	0.9	#	130		#	214		A II	1.6	1.9	0.4	0.7	#		163				
x	307		円端b	1.6	1.2	0.2	0.4	#	136		#	215		打製石器	3.6	2.5	1.0	8.5	黒曜石		164	状況2			
x	308		--Ia	(1.6)	(1.2)	0.3	(0.5)	#	123	新潟県産	#	216		B---	3.2	2.3	0.3	2.2	チャート		165				
x	309		--IIb	(1.7)	(1.1)	0.3	(0.4)	#	100	新潟県産	#	217		B---	2.9	1.4	.6	2.1	黒曜石		165				
x	310		R II -	(1.5)	2.3	0.4	(0.8)	#	102	先端欠	#	218		B---	2.5	1.5	0.3	0.8	#		169				
x	311		平端c	1.4	1.9	0.3	0.9	#	121	新潟県産	#	219		B---	1.5	1.4	0.5	1.0	#		170				
x	312		--IIb	(2.1)	(1.5)	0.4	(0.8)	#	141	基端欠	#	220		C I a	3.0	2.3	1.0	5.6	#		167				
x	313		H II a	1.7	(1.3)	0.4	0.8	#	109	片側欠	#	221		C I a	3.1	2.6	0.7	4.8	#		166				
x	314		D IV a	2.1	(1.2)	0.3	(0.4)	#	96	#	#	222		C I a	2.6	4.3	0.6	6.3	チャート		175				
x	315		H IV -	(1.0)	2.3	0.4	(0.8)	#	122	先端欠	#	223		--Ia	(2.0)	1.6	0.3	(1.2)	黒曜石		176	片側欠			
x	316		H II b	1.8	1.4	0.3	0.4	#	103		#	224		--Ia	(2.5)	1.9	0.5	(2.0)	#		178				
x	317		H II d	2.7	(2.0)	0.4	(1.9)	#	105	片側欠	#	225		B II a	1.6	(3.3)	0.9	(1.1)	チャート		174	片側欠			
x	318		--Ia	(1.7)	1.7	0.3	(0.6)	#	98	先端欠	#	226		A II a	(1.5)	(1.9)	0.4	(0.8)	黒曜石		172	#			
x	319		H II a	1.9	(1.2)	0.3	(0.4)	#	101	片側欠	#	227		B II a	2.4	1.4	0.4	1.0	#						
x	320		G II b	2.1	(0.9)	0.2	(0.3)	#	110	#	#	228		C I a	2.8	2.1	0.5	3.9	チャート						
x	321		H III a	1.4	1.3	0.2	0.3	#	106	#	#	229		B II a	2.1	3.4	0.8	4.4	#		173				
x	322		H II -	(1.4)	1.1	0.3	(0.3)	#	107	先端欠	#	230		S	509		B II a	2.1	3.4	0.8	4.4	#		179	
x	323		--Vd	(2.1)	(2.4)	0.2	(0.5)	#	142	基端欠	#	231		S	510		C I a	2.8	2.6	0.5	2.8	#			
x	324		平端Vb	2.2	1.5	0.3	1.0	#	111	新潟県産	#	232		S	514		C II a	2.5	1.4	0.5	1.3	#			
x	325		EW -	(1.6)	1.6	0.2	(0.4)	チャート	99	先端欠	#	233		D II a	2.9	2.7	0.8	5.9	#		177				
x	326		平基Vc	2.8	1.8	0.5	2.5	黒曜石	126		#	234		B II a	2.2	1.8	0.3	1.1	チャート						
x	327		埋土	1.3	1.5	0.3	0.5	#	116	新潟県産	#	235		B II a	1.8	1.3	0.2	0.6	黒曜石		178				
x	328		平基V-	(1.7)	2.2	0.4	(1.5)	#	119	先端欠	#	236		C II a	2.5	1.8	0.9	2.6	#						

スクリーパー	2126	B I a	1.5	2.0	9.2	0.5	黑 磨 石		石 鹿	1367	Na15	G II b	2.7	(1.9)	0.3	(1.0)	チート	187	
打削石器	580	北朝葉	(0.7)	5.8	2.2	(130)	便 砂 岩	901	#	1389	I V -	(2.5)	1.8	0.5	(3.0)	x	212		
磨削石器	572		7.9	11.0	2.0	260	磨削灰岩	918	#	1389	I V d	1.7	1.3	0.5	1.0	黒 磨 石	213		
#	575	北	10.3	5.0	1.1	76	便 砂 岩	903	#	1391	平端IVc	2.0	1.4	0.3	0.8	x	220		
#	581		(7.3)	6.0	2	(80)	x		#	1393	Na5	平端IVc	1.7	2.0	0.3	1.2	x	222	
石 破	569		12.8	3.1	1.3	60	便 砂 岩	902	#	1394	円端IVc	2.4	1.9	1.0	3.3	x	229		
即 破	553	B a c	14.0	7.8	3.4	540	便 砂 岩	908	#	1395	北朝張	平端--	(1.5)	2.2	0.5	(1.0)	x	226	
#	554	B a b c	10.0	7.0	3.7	470	x	905	#	1396	円端III-	1.6	1.8	0.4	1.3	x	218		
#	565	B a b c	13.5	9.2	3.8	660	x	904	#	1397	円端Vb	1.8	1.2	0.3	0.7	x	232		
#	566	B b c	12.5	7.2	3.5	460	x	907	#	1398	HII b	1.3	1.5	0.4	0.5	x	202		
即 石	573	B a c	11.8	6.4	2.2	360	綠泥片岩	809	石 鹿	217	B I a	3.3	4.0	1.0	12.2	x	241		
#	577	B b c	11.0	9.8	2.0	420	便 砂 岩	910	#	218	B II -	(0.3)	(2.9)	0.6	(4.3)	x	246		
#	578	B b c	10.7	7.3	3.4	310	x	906	#	222	B II a	5.4	2.5	1.1	12.3	x	238		
圓錐印石	558	a b c	10.6	5.8	2.3	150	圓錐片岩	916	#	2000	No7	--	(2.8)	(1.5)	0.4	(1.7)	チート	234	
#	560	a b	11.5	2.6	2.2	120	x	914	石 鹿	307	A I	3.6	2.6	1.0	7.1	黒 磨 石	244		
#	561	-b c	9.3	3.4	2.6	120	便 砂 岩	915	#	308	A I	4.6	2.3	1.0	9.3	x	243		
#	562	埋 土	a	(7.7)			x		#	309	A I	2.4	1.6	0.5	1.3	x	245		
#	563	a b	12.2	2.9	2.1	140	綠泥片岩	913	#	310	A II	2.0	2.3	0.4	1.6	x	247		
#	565	a b c	10.3	3.0	2.4	120	x	917	#	1398	Na18+	B I	2.0	1.0	0.6	1.4	x	246	
#	578	北朝葉	a	11.4	5.4	2.2	200	x	911	打削石器	286	No9		4.3	2.5	1.1	7.9	x	248
#	2085	a c	10.0	4.5	3.0		便 砂 岩		#	387	拍打強	(D I + B I) a	2.6	1.5	0.6	1.9	x	261	
網狀耳洞	327	東周鑿ビット内		2.8	(3.0)	0.4	4.3	網 石	181	#	519	(-1+-1) a	(2.6)	2.0	0.6	(2.8)	x	255	

(5) 10号住居址

器 標	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	圖 番号	備 考										
石 斧	1343	No 8	平基Vb	2.3	2.4	0.9	4.1	黒 磨 石	228	石 鹿	1367	Na15	G II b	2.7	(1.9)	0.3	(1.0)	チート	187	
#	1344	No 11	III b	2.0	1.7	0.3	0.6	x	190	#	1389	I V -	(2.5)	1.8	0.5	(3.0)	x	212		
#	1346	No 44	I I a	1.8	(1.3)	0.4	(0.5)	x	207	片脚火	#	1391	平端IVc	2.0	1.4	0.3	0.8	黒 磨 石	213	
#	1347	No 20	II H *	1.8	1.5	0.3	0.4	x	191	#	1393	Na5	平端IVc	1.7	2.0	0.3	1.2	x	222	
#	1348	No 2	III b	2.0	1.4	0.4	0.8	x	206	#	1394	円端IVc	2.4	1.9	1.0	3.3	黒 磨 石	229		
#	1349	No 1 □	I I b	1.6	1.4	0.5	0.9	x	215	#	1395	北朝張	平端--	(1.5)	2.2	0.5	(1.0)	チート	234	
#	1350	No 31	III H	(1.4)	1.6	0.3	(0.5)	x	208	先端火	#	1396	No 9	B I a	3.6	2.6	1.0	7.1	黒 磨 石	244
#	1351		III b	1.5	1.2	0.2	0.3	x	196	#	1397	No 7	A I	4.6	2.3	1.0	9.3	x	243	
#	1352	No 88	II H *	(1.4)	1.2	0.3	(0.4)	x	192	先端火	#	1398	No 18+	A I a	2.4	1.6	0.5	1.3	x	245
#	1353	No 69+	III H	1.3	(1.3)	0.2	(0.3)	x	201	片脚火	#	1399	Na15	B I a	2.0	1.0	0.6	1.4	x	246
#	1354	No 26	I I b	2.2	1.0	0.3	(0.6)	x	189	#	1400	網狀耳洞	B II a	5.0	4.0	1.1	15.0	x	253	
#	1355	No 77	尖端Vb	1.4	0.6	0.3	0.3	x	234	#	1401	No 10	B II a	2.9	1.7	0.5	2.0	黒 磨 石	260	
#	1356	No 28	III c	1.7	1.6	0.3	0.6	x	200	網狀耳洞	#	1402	No 5	D I a	1.9	3.7	0.8	5.5	x	262
#	1357		III a	1.2	1.2	0.2	0.2	x	197	#	1403	No 4	B I a	(1.4)	(2.9)	(0.3)	(1.3)	チート	258	
#	1358	No 29	III H	(1.0)	1.6	0.2	(0.3)	x	209	先端火	#	1404	No 4	B I a	5.6	2.8	0.5	8.0	チート	259
#	1359	磨 砥	III H c	3.0	2.5	1.0	6.3	x	227	#	1405	No 1	D I a	3.1	1.7	0.8	3.3	黒 磨 石	250	
#	1360		尖端IVc	2.4	0.7	0.5	0.9	x	236	#	1406	No 2	B II a	1.6	1.8	0.3	1.0	x	252	
#	1361	No 65	III b	1.6	1.3	0.3	0.4	x	203	#	1407	No 3	B I a	1.7	2.0	0.6	1.3	x	257	
#	1364	No 10	II H	2.6	2.1	0.1	4.1	黒 磨 石	188	#	1408	No 4	C I a	(3.6)	(1.9)	(0.5)	(3.2)	網狀耳洞	254	
#	1365		III H	(1.4)	1.7	0.2	(0.4)	x	193	網狀耳洞	#	1409	No 5	(D I + B I) a	3.2	1.7	0.6	3.0	黒 磨 石	260
#	1366	No 42	III c	1.7	1.6	0.3	0.6	x	200	網狀耳洞	#	1410	No 6	D II a	1.2	(1.2)	(0.4)	(3.3)	x	261
#	1367		II H	1.2	1.2	0.2	0.2	x	197	#	1411	No 7	C II a	2.2	1.7	0.5	1.6	チート	259	
#	1368	No 29	III H	(1.0)	1.6	0.2	(0.3)	x	209	先端火	#	1412	No 8	C I a	1.9	2.0	0.4	0.9	黒 磨 石	262
#	1369	磨 砥	III H c	3.0	2.5	0.5	6.3	x	227	#	1413	No 9	C I a	1.7	0.7	0.3	0.4	x	263	
#	1370		尖端IVc	2.5	0.8	0.5	1.0	x	237	#	1414	No 10	C II a	1.5	2.1	0.5	1.1	x	264	
#	1371	No 66	III b	1.6	1.3	0.3	0.4	x	203	網狀耳洞	#	1415	No 11	B I b	3.7	6.2	1.1	25.5	x	251
#	1372		平基Vc	2.1	2.0	0.3	1.3	黒 磨 石	217	#	1416	No 12	部分削除	(7.2)	(4.1)	2.4	(7.0)	真 砂 岩	943	
#	1373	No 40	III H c	2.1	1.5	0.6	1.6	x	233	#	1417	No 13	B b c	(16.3)	(4.6)	(4.3)	(5.0)	網 石	922	
#	1374	No 69	I I b	1.3	1.2	0.2	1.3	x	211	#	1418	No 14	A b	9.7	5.5	4.1	4.0	x	928	
#	1375	No 72	IV IV s	1.6	1.3	0.3	0.5	x	185	#	1419	No 15	-b c	(3.4)	(8.6)	(2.3)	(12.0)	x	930	
#	1376		I I b	1.7	1.3	0.3	0.4	x	205	#	1420	No 16	B c	10.7	6.7	3.3	3.5	網 石	931	
#	1377		III H *	1.7	(1.0)	0.3	(0.4)	x	195	片脚火	#	1421	No 17	B b c	10.4	8.2	4.5	5.0	網 石	941
#	1378		III H c	2.2	(1.6)	0.3	(0.9)	x	196	#	1422	No 18	B a b c	10.2	7.0	3.5	4.0	網 石	924	
#	1379		平基I a	(1.3)	1.4	0.2	(0.3)	x	216	片脚火	#	1423	No 19	B a b c	(7.7)	(7.7)	3.7	3.5	x	925
#	1380	No 33	GI I s	1.7	1.2	0.4	0.5	x	182	#	1424	No 20	B a b c	9.2	8.0	2.8	21.0	x		
#	1381	No 42	HIV c	1.7	1.8	0.3	0.6	x	199	#	1425	No 21	B a b c	12.9	10.4	3.7	6.0	x	923	
#	1382		I I b	1.2	1.2	0.3	0.3	x	210	#	1426	No 22	B b c	9.9	10.3	3.9	6.0	網 石	937	
#	1383		平基IVc	1.6	1.5	0.4	1.0	x	224	網 石	#	1427	No 23	B b	(6.9)	(8.1)	(3.8)	(3.0)	網 石	927
#	1384	磨 砥	-III a	2.4	0.9	0.3	(0.8)	x	204	片脚火	#	1428	No 24	A a b c	9.7	8.3	6.0	7.0	花 砂 岩	920
#	1385	□	平基Vb	2.3	1.7	0.7	1.5	x	221	#	1429	No 25	A a b c	9.6	8.1	6.0	7.0	網 石	936	
#	1386	No 70	円端IVc	1.7	2.1	0.4	1.5	x	225	網 石	#	1430	No 26	A b	11.5	4.7	2.5	29.0	x	931

## (6) 10号址

器種	№	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	1345 №14	GIIa	1.8	1.5	0.2	0.3	184	黒 磨 石		
#	1362 №61	GIIa	2.0	1.3	0.2	0.4	x	183		
#	1363 №65	平磨IVc	2.0	1.5	0.4	0.8	x	218		
#	1371 №60	平磨IVc	1.6	1.7	0.4	1.0	x	223		
#	1392 №15	GVc	1.8	1.4	0.4	0.8	x	186		
#	1683 №6	円盤形b	1.8	1.5	0.5	0.8	x			
#	1682 №62	DIVa	2.1	(1.4)	0.2	(0.6)	x		片側欠	
#	702 №15	CHa	2.4	2.4	0.5	2.5	x	230		
石 磨	274 №8	BIIIa	3.5	4.6	0.7	8.1	239	黒 磨 石		

## (7) 11号居住址

器種	№	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	1399 №10	GVa	2.2	1.5	0.5	1.0	264	黒 磨 石		
#	1400 黒 土	平磨IVb	1.3	(1.1)	0.2	(0.3)	x	282	片側欠	
#	1401	平磨IVc	1.6	2.0	0.5	1.6	x	276	黒 磨 石	
#	1402	IIVb	2.1	1.4	0.3	0.9	x	272		
#	1403 №5	GIIa	1.6	1.4	0.2	0.4	x	265		
#	1404 №13	HIIb	2.3	2.3	0.6	1.6	x	268		
#	1405	円盤形b	2.3	(1.6)	0.4	(1.2)	チャート	277	片側欠	
#	1406	--	1.4	(0.9)	(0.3)	(0.5)	黒 磨 石	283	片側欠	
#	1407 №12	HIIId	2.9	2.1	0.4	1.9	x	267	黒 磨 石	
#	1408 黒 土	円盤IVc	2.9	2.0	0.5	2.7	チャート	285		
#	1409 #	平磨I	1.0	(1.5)	(0.3)	(0.4)	黒 磨 石	281	黒 磨 石	
#	1410 №12	HIIa	1.5	1.3	0.2	0.3	x	269		
#	1411	I IIIa	2.2	(1.4)	0.5	(1.2)	x	273	片側欠	
#	1412 №7	HIIa	1.2	2.1	0.5	(0.9)	x	271	片側欠	
#	1413	円盤Vd	2.4	1.7	0.7	2.2	x	287		
#	1414 №2	GII-	(1.5)	(1.7)	0.3	(0.7)	x	266	黒 磨 石	
#	1415 黒 土	H--	(1.2)	1.8	0.3	(0.5)	x	278	片側欠	
#	1416 赤 土	平磨IIIc	1.3	1.7	0.3	0.7	x	280	黒 磨 石	
#	1417 黒 土	--IV	(2.0)	(1.1)	(0.4)	(1.2)	x	284	片側欠	
#	1418	円盤Vb	2.0	1.4	0.4	0.8	x	288	黒 磨 石	
#	1419	円盤V-	(2.0)	2.0	0.5	(2.2)	x	286	先端欠	
#	1420 №4	円盤IVc	1.9	1.5	0.5	1.3	x	289		
#	1421	平磨I	1.5	1.6	0.4	1.1	x	278	先端欠	
#	1422	--IIIc	(1.7)	(1.4)	(0.4)	(0.8)	x	291	黒 磨 石	
#	1423	平磨IVc	2.0	1.3	0.4	1.1	x	276		
#	1424 №15	円盤Vd	2.0	1.3	0.3	0.9	x	290		
#	1425	IVc	1.8	2.2	0.5	1.9	x	274		
#	1842	--	(0.9)	1.9	0.2	0.8	黒 磨 石	275		
#	2109	円盤Vc	2.6	2.0	0.4	2.1	x	293		
石 磨	312	A I	(3.7)	1.7	0.5	(2.0)	チャート	292	つまみ歯	
#	313 黒 土	A I	2.2	1.5	0.6	1.2	黒 磨 石	293		
#	314	A II	(2.2)	1.8	0.2	(0.9)	x	294	先端欠	
打製石器	388	--	3.2	2.3	0.9	7.1	x	295	打製石器	
スクレーパー	1833	A I--	3.7	2.5	1.1	8.9	x	297		
#	1834	B I a	2.8	4.7	1.3	18.7	チャート	296		
#	1835 №9	C I a	2.5	2.7	0.4	3.1	チャート			
#	1836	--I-	(2.7)	(0.7)	(0.6)	(2.3)	黒 磨 石			
#	1837	B I a	3.5	4.6	1.2	14.9	チャート	298		
#	1838	D I a	1.7	1.6	0.4	1.4	黒 磨 石			
#	1839	A II--	1.7	2.3	0.9	4.7	チャート	303		
#	1840	C I a	2.5	3.3	1.0	7.2	x	300		
#	1841	B I a	1.4	2.2	0.6	2.1	黒 磨 石	302		
#	1842	B I a	2.1	1.5	0.6	1.9	x	301		
#	1844	--I a	(1.9)	(2.5)	(0.9)	(3.7)	x		黒 磨 石	
#	1845	C IIa	1.9	2.0	0.6	2.0	x			
#	1846	--II a	(1.8)	1.5	0.2	(0.7)	x		黒 磨 石	
微刃石器	649	--	4.3	9.4	2.0	100	微 刃 器	946		
印 石	652	A a b c	11.2	10.2	4.4	760	x	947		
#	654	C c	10.5	4.5	2.5	300	x	949		
#	954	--c	(11.0)	(7.2)	(5.2)	(580)	x			
#	2110	--b	(5.1)	(6.1)	1.1	(30)	x		微 刃	

縫合印石	650 # 946	a a b c	(9.8) 9.2	4.2 3.2	2.8 2.7	(190) 100	微 刃	959	備考

## (8) 12号居住址

器種	№	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	450	円盤IVc	2.3	1.6	0.9	2.8	黒 磨 石	334		
#	1425 №38	HIIb	2.3	1.6	0.3	0.8	x	313		
#	1426 №5	HIIa	2.5	1.2	0.3	0.5	x	312		
#	1427 №37	GHa	1.7	1.5	0.2	0.4	x	307		
#	1428	GVc	1.9	(1.9)	0.3	(0.5)	x	310	片側欠	
#	1429	GVb	2.1	(1.6)	0.2	(0.6)	x	309	#	
#	1430	西ピット	2.2	1.7	0.5	(1.2)	x	325		
#	1431 №32	HIIa	2.0	1.5	0.3	0.5	x	316		
#	1432 №18	平磨IVb	3.1	1.7	0.4	1.8	x	328		
#	1433	I V a	2.3	(1.3)	0.3	(1.2)	x	325	片側欠	
#	1434	DIII d	(2.0)	(1.0)	0.4	(1.0)	x	306	黒 磨 石	
#	1435	HIIb	2.1	1.6	0.4	1.1	x	315	片側欠	
#	1436	円盤IVc	2.2	1.4	0.4	1.4	x	335		
#	1437	平磨IVb	2.1	1.9	0.6	1.8	チャート	331		
#	1438	--IV	(2.0)	(1.3)	(0.3)	(0.5)	黒 磨 石	339	基部欠	
#	1439	HIIa	(1.0)	1.6	0.3	0.4	x	322	先端欠	
#	1440 №32	HIIb	1.7	1.6	0.4	0.9	チャート	320		
#	1441	CIVc	1.5	(0.5)	0.3	0.5	黒 磨 石	311	片側欠	
#	1442	HIIa	1.9	1.5	0.3	0.5	x	317		
#	1443 西ピット	--B	2.2	(1.3)	0.2	(0.5)	x	314	片側欠	
#	1444	--C	(1.0)	(0.0)	(0.2)	(0.2)	黒 磨 石	339	基部欠	
#	1445	HIIb	1.4	0.0	0.2	(0.3)	x	319	片側欠	
#	1446	平磨IVc	2.1	1.3	0.5	1.0	x	330		
#	1447	I I a	2.7	1.8	0.2	0.8	チャート	324		
#	1448	HIVa	1.6	1.5	0.3	0.5	黒 磨 石	321		
#	1449	GVc	1.8	1.5	0.3	0.6	x	306	片側欠	
#	1450	--IVb	(1.7)	(0.4)	(0.3)	(0.5)	x	337	片側欠	
#	1451 №36	HIIb	1.4	0.0	0.2	(0.3)	x	319	片側欠	
#	1452	HII*	1.5	1.2	0.3	0.3	x	318		
#	1453	BIV-	(1.1)	1.4	0.2	(0.3)	x	305	先端欠	
#	1454	平磨IVd	2.1	2.0	0.5	2.2	チャート	329		
#	1455	I V c	2.2	1.6	0.4	1.2	黒 磨 石	327	片側欠	
#	1456	平磨IVc	(1.6)	(0.9)	(0.3)	(0.9)	x	333	黒 磨 石	
#	1457	--	(1.8)	(0.9)	0.3	(1.0)	x	336	片側欠	
#	1458	平磨I--	(1.7)	2.1	0.4	(2.1)	x	332	先端欠	
#	1459	C II b	(2.6)	(3.1)	0.7	(4.6)	x	341	片側欠	
#	1460	B--b	2.7	5.2	0.9	11.3	x	345		
#	1461	--III	(3.7)	(1.9)	(0.3)	(1.0)	チャート	3340	片側欠	
#	1462	BIIb	3.0	3.1	0.7	4.4	黒 磨 石	342		
#	1463	A II	2.6	2.2	0.7	3.7	x	344		
#	1464	B II	2.7	5.2	0.9	11.3	x	345		
#	1465	A I	2.3	1.6	0.6	1.1	x	346		
#	1466	B II	3.4	2.8	1.2	8.8	x	346		
#	1467	C I a	4.9	3.3	0.9	8.5	x	347		
#	1468	C I a	2.1	1.3	0.4	1.1	x	361		
#	1469	C I a	4.0	2.6	0.5	5.5	チャート	357		
#	1470	[C I + C I a]	4.3	2.9	0.8	13.0	x	365		
#	1471	C II a	1.9	1.7	0.4	1.1	黒 磨 石			
#	1472	C I a	2.5	1.8	0.4	1.7	x	360		
#	1473	C I a	4.4	2.5	0.3	4.2	x	356		
#	1474	D I a	2.4	2.6	0.9	5.2	x	359		
#	1475	--I a	(2.2)	(2.2)	(0.8)	(3.0)	x		未確認	
#	1476 AN2	B I a	2.1	1.9	0.5	1.9	x	352		
#	1477 №29	[C I + D I] a	2.4	1.5	0.4	1.3	x	351		
#	1478	C I a	(2.5)	(2.4)	(0.4)	(2.5)	x	358	未確認	
#	1479	C I a	5.5	3.9	1.2	21.8	x	364		
#	1480	B I a	2.5	2.5	0.8	6.6	チャート	359		
#	1481	B I a	3.0	2.4	0.8	4.5	黒 磨 石	353		
#	1482	B I b	2.1	3.4	0.8	5.0	x	351		
#	1483	B I b	2.4	7.2	1.0	18.3	チャート	350		

(9) 13号佳居社

石	種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固有番号	備考
石	鏡	1459	W13	HIMb	1.9	1.3	0.2	0.4	馬鹿石	367	
		1460		GHIa	2.2	(1.5)	0.4	(0.6)	#	365	片側欠
		1461		HMIVc	2.1	1.4	0.5	#		376	
		1462		GIVc	1.6	1.3	0.2	0.4	#	366	
		1463		HMIVc	2.0	(1.3)	0.4	(0.9)	#	375	片側欠
		1464	W19	I--	(0.9)	1.2	0.1	(0.2)	#	372	先端欠
		1465		HII-	(1.5)	1.5	0.2	(0.4)	#	368	#
		1466	□1.□	HEI-	(0.9)	1.2	0.3	(0.3)	#	364	#
		1467		-Vc	(2.2)	(1.6)	(0.3)	(1.3)	#	379	基部欠
		1468	W24	HIVa	1.6	1.0	0.2	0.2	#	370	
		1439	W11	美吳C	2.6	0.9	0.4	0.8	#	377	
		1470	W4	--b	(1.2)	(0.9)	(0.2)	(0.2)	#	381	基部欠
		1471		DIIIb	1.7	(1.4)	0.2	(0.4)	#	3652	片側欠
		1472		--c	(1.8)	(1.4)	(0.3)	(0.4)	#	378	基部欠
		1473		HIVd	2.0	1.5	0.5	1.3	#	371	
		1474		平HIIb	3.1	(2.0)	0.4	(1.0)	#	374	片側欠
		1475	W25	DVC	1.5	1.5	0.3	0.6	馬鹿石	363	
		1476	W14	-IV-	1.3	(1.0)	(0.3)	(0.3)	#	380	片側欠
		1477	W26	HIMb	1.8	(1.1)	0.3	(0.4)	#	369	片側欠
銅入利貝鏡	230	W67		I Vb	4.1	2.5	0.7	4.3	#	373	
石	鏡	224	W10	AIIc	4.7	4.1	0.6	14.2	#	383	
		235	W6	AII(b+c)	5.3	2.8	0.8	9.8	#	377	#
		238	W16	BIIa	3.6	4.6	1.0	12.6	#	384	
		238	W64	BIIa	3.6	4.5	0.7	7.3	馬鹿石	385	
石	鏡	317		A I	2.8	2.4	0.3	1.5	#	386	
		1666		A II	2.1	2.2	0.7	2.8	#	387	
		1667		D I a	3.9	3.6	1.0	7.8	#	388	
スクレーパー											
		1864		D I a	2.0	3.4	0.6	4.0	#	389	
		1865		D I a	2.3	1.9	0.7	2.0	#		
		1867		D I a	2.6	1.3	0.7	1.5	#		
		1868		C I a	2.6	1.8	0.5	1.7	#	392	
		1869		C I a	2.7	2.7	0.8	3.8	#		
		1870		C I a	2.2	3.4	0.9	6.9	#		
		1871		BIIb	2.1	1.0	0.5	0.9	#	394	両側打孔
		1872		C I a	1.3	1.8	0.5	1.3	#	391	
		1873		A I a	(2.1)	(1.8)	(0.4)	(1.0)	#		未端残
		1874		C I a	(2.1)	(1.8)	(0.5)	(2.2)	#	390	片側欠
		1875		C I b	3.3	1.6	0.7	3.0	#		
		1876		(D I + D I)	1.8	2.2	0.4	1.5	#	393	
		1877		C II a	2.2	1.6	0.4	1.9	馬鹿石		
打孔石斧											
		845		(S.8)	5.9	2.3	1.70	17.0	砂岩	969	
切刃石斧											
		846		(6.4)	8.2	2.2	1.30	24.0			
印	石	687	N8	B a	11.0	7.2	3.4	40.0	#	970	
				B a c	9.9	5.7	2.3	24.0	#	971	

即石	845	Ba	0.03	7.5	3.9	078	硬砂岩	
鐵鎗即石	662	a b c		8.8	2.0	1.4	40	—
〃	696	a		11.9	3.5	2.1	150	ホホンブルルス

(10) 14号佳麗社

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図 番号	考 査
石	1482		平底Vb	1.7	(1.3)	0.2 (0.4)	重	墨 石	445	圓頭火
	1483 A		平底Vc	2.0	1.7	0.4	1.4	z	431	
	1484		円底V-	(1.7)	1.8	0.4	(1.4)	z	446	先端火
	1486		平底Vd	2.6	1.5	0.5	1.4	z	444	
	1487		--b	(2.9)	(1.9)	0.4	(1.2)	z	446	墨厚火
	1489 A		平底Vc	2.0	2.0	0.4	1.5	z	440	
	1491		HIV-	(1.7)	1.7	0.3	(0.7)	z	425	先端火
	1493		平底Vd	2.6	1.7	0.5	2.0	z	434	
	1495		HIVa	2.9	1.5	0.3	1.1	z	426	
	1499		HIV-	(1.9)	1.9	0.6	(2.2)	z	438	先端火
	1500		GIVd	1.3	1.5	0.4	0.7	z	432	
	1501		平底Vd	2.3	1.7	0.8	3.1	z	445	
	1502		HIVc	1.7	1.6	0.4	0.7	z	428	
	1503		GUd	(1.3)	1.6	0.2	(0.4)	z	425	
	1505		GH-	(1.6)	1.6	0.2	(0.5)	z	424	先端火
	1507		HIVb	2.6	(1.7)	0.3	(0.9)	z	427	圓頭火
	1508		--	(1.6)	2.2	0.3	(1.0)	z	435	先端火
	1509		平底Vc	2.0	1.7	0.5	1.5	z	441	
	1510		--	(1.7)	(1.1)	(0.2)	(0.5)	z	433	先端火
	1511 A		平底Vd	2.2	1.5	0.5	1.2	z	433	
	1514		平底Vd	1.7	1.7	0.5	1.5	z	442	圓頭火
	1515		--b	(1.9)	(1.4)	0.4	(0.9)	z	445	墨厚火
	1516		IIVc	1.7	(1.7)	0.3	(0.7)	z	430	片側火
	1519 A		円底Vc	2.3	1.9	0.4	1.6	z	447	圓頭火
	1520		平底Vb	2.3	1.6	0.3	1.1	z	437	
	1814		IIVd	1.9	2.1	0.4	1.5	z	429	圓頭火
	1892		HIV-	(1.5)	1.8	0.4	(1.2)	墨 石	439	
石	214		B1b	2.5	4.4	0.7	5.9	z	453	
	216		C1b	4.4	3.9	0.7	7.5	チ + ト	451	
	219 A		B1a	2.9	4.1	0.6	5.2	z	432	
	247 A		--b	(2.6)	(3.2)	0.7	(4.9)	z	456	先端火
	250 A		--z	(1.9)	(3.4)	(0.8)	(5.6)	墨厚火	454	圓頭火
打瓦石	394		--	2.7	1.9	0.4	1.8	墨 石	455	
アクリル-	417		B1a	(1.9)	3.9	(0.8)	(5.7)	チ + ト	456	
	1878		--z	(1.4)	(3.0)	(0.7)	(8.8)	墨 石	458	
	1879		(C1+D1)b	3.5	2.8	1.4	10.7	z	460	
	1880		(B1+C1)a	4.3	2.3	0.7	8.0	チ + ト	457	
	1882		D1a	4.3	2.0	1.0	7.1	墨 石	461	
	1884		--z	0.9	1.8	0.3	0.5	z		
	1885		B1z	2.4	2.1	0.4	1.6	z		
	1886		B1z	2.5	2.5	0.6	3.2	z	459	
	1887		B1z	1.9	2.4	0.7	3.4	z	462	
	1890		C1b	2.5	0.7	0.5	0.8	z		
	1894		(C1+D1)a	(2.0)	(2.3)	(0.4)	(1.4)	z	458	圓頭火
滑面石	851		a-c	14.1	4.3	4.6	32.0	砂岩	984	
	854		a	10.4	3.6	2.3	12.0	泥灰岩	983	

(11) 14·23住居址

器種	No.	出土狀況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	回 号	備考
石 磨	1478	田中C	HIIIc	1.7	1.4	0.4	0.5	黑 磨石	401	
s	1479	円筒一一	(1.9)	1.9	0.4	(1.7)	s		412	先史
s	1480	円筒HIVc	2.1	1.5	0.7	2.0	s		406	
s	1485	土 壤	平底Vc	2.2	1.8	0.6	2.1	s	405	
s	1486	#	平底HIVc	2.9	1.8	1.0	3.9	s	404	
s	1490	#	GIVa	2.2	1.7	0.5	0.7	チ + チ	395	
s	1492	#	HIVc	2.3	1.7	0.4	1.5	帶 鎚 石	396	新石器時代
s	1494	#	HIIc	1.7	1.3	0.3	0.5	s	406	
s	1495	#	-IIIa	(2.1)	1.0	0.2	(3.1)	s	403	同前兩

石	1497	黑 土	平基Vd	1.9	1.9	0.3	1.1	黑 磨 石	413	スケレバ-	1092	C I a	5.8	4.0	1.3	30.4	チヤート	486		
H	1498	#	GIIb-	1.8	1.5	0.4	0.5	#	396	#	2122	B I a	2.1	2.4	0.3	2.7	黒 磨 石	495		
H	1504	#	-III-	(2.5)	(1.0)	0.3	(1.4)	#	411	先端欠	#	B II a	1.2	2.0	0.6	1.3	#	498		
H	1508	黑 土	I IIIb	2.0	(1.1)	(0.2)	(0.4)	#	409	片側欠	#	打製石片	856	(9.5)	7.4	3.0	(23.0)	硬 イボ	500	
H	1512	#	平基Vb	1.7	1.5	0.3	0.8	#	407	#	875	#	8.4	3.9	1.7	80	#	990		
H	1513	#	平基VI-	1.4	1.7	0.3	0.9	#	408	新規形	#	#	(0.5)	4.4	2.4	(21.0)	#	989		
H	1517	#	HIVb	1.8	(1.0)	0.3	(0.5)	#	399	片側欠	#	#	1188	253mell-78	10.1	5.2	2.2	150	#	988
H	1518	#	I V a	1.7	1.3	0.5	0.8	#	402	#	61	7.2	1.8	7.0	カクシカル	991				
H	1544	#	HIVb	2.2	(1.0)	(0.4)	(0.7)	#	397	片側欠	#	A a c	10.3	10.3	3.3	450	硬 ソフ	993		
H	1815	#	平基-	(0.9)	(1.0)	(0.3)	(0.4)	#	410	基部欠	#	B a b c	13.2	10.1	3.9	320	#	992		
石	215	#	C II a	(0.3)	(3.2)	0.8	(5.2)	#	414	片側欠	#	A b	11.0	9.0	3.0	450	#			
石	318	A I	2.1	1.6	0.3	0.4	#	416	#	C a c	11.0	8.3	2.8	300	#	1000				
H	319	A I	2.8	2.0	1.0	2.6	チャート	415	#	#	A b c	(6.0)	7.2	3.1	(20.0)	堅 脆				
H	481	A II	2.2	1.6	0.3	0.8	黒 磨 石	417	#	B b c	11.5	9.4	5.1	770	硬 ソフ	994				
スケレバ-	1881	黑 土	B I a	3.4	1.3	0.4	1.8	#	#	#	B b c	12.4	7.9	3.8	480	#	995			
H	1883	#	B I a	2.2	2.5	0.8	3.7	#	#	#	-c	8.5	6.9	2.7	180	#	996			
H	1888	#	C I a	1.8	1.7	0.4	1.2	#	#	#	2125	茶褐色	B a	10.2	8.2	2.4	310	#		
H	1889	#	B II a	2.0	1.8	0.3	1.2	#	#	#	B a b	(0.2)	8.0	3.6	(310)	#				
H	1891	B I a	(2.0)	(1.0)	(0.6)	(2.0)	#	419	未端欠	#	a	(6.5)	2.0	(1.0)	(50)	#	999			
H	1892	黑 土	[C I + B II]	2.0	0.9	0.6	0.8	#	#	#	a	(6.2)	(6.5)	(2.3)	(130)	#	997			
H	1892	C I a	2.8	1.5	0.7	1.9	#	420	#	#	a	14.2	5.2	1.8	240	—	998			
H	1963	D I a	3.1	1.3	0.6	2.7	#	421	#											
H	1964	- I a	(1.7)	(0.6)	(0.5)	(0.9)	#	#												
H	1965	B I a	2.2	1.5	0.6	2.0	#	#												
H	2111	C I a	2.3	1.8	0.5	1.7	#	418	#											
平 石	855	- a b c	(2.3)	2.5	0.8	5.2	#	#												
断端凹	852	a b	(6.7)	(7.7)	2.4	160	硬 岩	982	#											
H	853	ab	(8.0)	4.1	2.1	110	綠色片岩	981	#											

## (12) 17号住居址

器種	Na	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	番号	備考	器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	番号	備考				
石	1521	円盤IVc	3.0	2.7	1.2	6.5	チャート	464	平基Ⅳ	2.2	1.6	0.4	1.0	黒 磨 石	495										
H	1522	Nb 8	V-	(1.2)	1.5	0.3	(0.4)	黒 磨 石	453	円盤Id	1.8	1.2	0.4	0.8	#	498									
H	1523	--c	(1.4)	(1.5)	0.4	(0.6)	#	469	円盤I-	(1.4)	(1.9)	(0.5)	(1.0)	#	500	先端欠									
H	1524	-IV-	(2.0)	(0.9)	(0.3)	(0.4)	#	467	圓盤	--b	(2.0)	(1.9)	(0.5)	(1.3)	#	501	基部欠								
H	1525	円盤IIa	2.1	1.8	0.3	0.7	#	466	円盤Id	1.8	(1.5)	0.3	(0.5)	#	492	片側欠									
H	1526	円盤Vd	(2.4)	1.9	0.7	(2.6)	チャート	465	先端欠	#	1534	円盤Id	(2.2)	(1.5)	0.2	(0.4)	#	502	先端欠						
H	1527	土器底	-IV-	(2.2)	(1.8)	0.7	(1.5)	黒 磨 石	458	円盤Id	1.6	(1.3)	0.3	(0.4)	#	497	片側欠								
H	1529	--IV-	(1.9)	(1.2)	0.3	(0.6)	#	468	円盤IVc	2.0	1.7	0.5	1.4	#	496										
H	2112	平基V-	(1.5)	2.2	0.3	1.1	黒 磨 石	470	円盤IVc	2.0	1.9	0.5	1.5	#	499										
H	2118	HIIa	1.8	1.5	0.3	0.4	黒 磨 石	471	円盤IVc	2.1	1.7	0.5	1.4	#	500										
H	2119	F---	(1.3)	1.5	0.3	0.5	0.5	#	472	円盤V-	(2.1)	1.9	0.5	(1.0)	#	501	先端欠								
H	2120	平基IV-	(1.0)	1.8	0.5	(1.0)	#	473	円盤IVc	(1.7)	1.7	0.5	(1.0)	#	502	先端欠									
H	2121	円盤Vd	3.2	2.1	0.5	4.5	#	261	円盤IVc	2.5	3.3	0.6	4.1	#	503										
H	251	A II a	(4.2)	(3.1)	(0.7)	(0.9)	チャート	472	円盤V-	2.1	1.9	0.5	1.5	#	504										
H	252	B --	(3.0)	(3.0)	0.8	(5.9)	#	473	円盤V-	2.6	4.5	0.6	4.1	#	505	円盤Vd	6.5	(6.0)	(1.0)	(3.0)	#	506			
H	275	BIIb	2.5	4.6	0.5	5.1	黒 磨 石	477	円盤V-	4.5	1.9	0.6	4.1	#	507	円盤Vc	2.9	3.9	0.4	5.5	堅 面 断 断 展	507			
H	276	C I a	3.7	3.4	0.8	7.8	チャート	474	円盤V-	2.6	3.9	0.4	5.5	堅 面 断 断 展	508										
H	277	C II a	4.0	4.0	0.7	9.4	黒 磨 石	475	円盤V-	3.1	2.3	0.7	3.8	チャート	514										
H	278	A II b	4.4	2.9	0.6	5.3	#	476	円盤V-	3.2	1.9	0.6	4.1	#	515										
H	279	C II b	3.4	3.8	0.5	4.6	チャート	475	円盤V-	3.2	1.9	0.6	2.5	#	516										
H	280	B II b	3.1	(3.7)	(0.6)	(5.0)	#	478	円盤V-	3.2	1.9	0.6	2.5	#	517										
H	478	--	(2.1)	(1.7)	0.5	(1.6)	黒 磨 石	480	打製石	3.9	6.1	3.9	1.5	27.7	#	520	断面柱	2.1	3.6	0.6	2.5	#	521		
H	495	ADB	4.3	2.1	0.3	2.8	チャート	471	スケレバ-	418	C II a	2.1	3.6	0.6	2.5	#									
H	496	CHI-	(3.5)	(3.5)	0.5	(5.9)	#	475	円盤V-	421	(C I + C II)-	(2.0)	2.7	(0.6)	(4.1)	#	511								
H	498	CHI-	2.5	1.9	0.5	2.0	黒 磨 石	481	円盤Id	1903	B II a	2.5	2.3	0.9	3.0	#	525								
H	500	A I	1.5	2.5	0.3	1.2	#	494	---	1904	- I a	(1.6)	(2.0)	(0.6)	(0.7)	#		尖端							
H	501	打製石	3.1	0.9	8.9	8.9	#	482	円盤V-	1905	B II a	2.3	1.1	0.9	1.8	#									
H	506	---	4.4	3.2	0.5	7.5	チャート	484	円盤V-	1906	C II b	2.7	2.8	0.9	7.4	#	526	断面柱	2.5	2.5	0.7	4.0	#	527	
H	509	---	2.2	1.2	0.6	2.1	黒 磨 石	485	スケレバ-	1907	C II a	2.5	2.5	0.7	4.0	#									
H	516	CHI a	1.9	2.2	0.5	2.0	#	485	円盤V-	1908	C II a	2.5	2.2	0.6	3.5	#									
H	517	CHI a	1.4	2.7	0.6	2.1	チャート	487	円盤V-	1910	C II a	4.3	1.7	0.7	3.8	#	521								
H	518	C I a	1.8	1.5	0.3	0.8	黒 磨 石	490	円盤V-	1911	C II a	1.7	2.7	0.6	2.4	#									
H	519	B II a	3.7	3.1	0.3	3.5	#	487	円盤V-	1912	B II a	2.7	2.1	0.8	2.4	#									
H	520	B II b	3.7	6.2	1.1	26.5	#	521	円盤V-	1913	B II a	(2.0)	(1.9)	(0.3)	(0.8)	#	524	断面柱	2.2	2.2	0.6	2.5	#	525	

スクレーパー	1914	(C+D+I)*	2.6	2.3	(0.3)	(2.4)	黒 磁 石	要鑑定	
#	1915	A I*	3.3	1.8	0.7	3.8	#		
#	1916	- II*	1.6	1.1	0.5	0.9	#	523	
#	1917	- II*	1.5	1.8	0.4	0.9	#		
#	1918	- I*	2.6	1.6	0.7	2.2	#	522	
#	2114	(B+E+B)I*	1.5	1.7	0.5	1.0	#		
打削石斧	911		(6.4)	4.7	1.9	(180)	黒 磁 石	1002	
#	914		(3.4)	(5.9)	2.3	(180)	#	1001	
叩 石	885	N19	B b	12.3	2.3	3.6	500	#	1010
#	884	N18	B a b c	16.9	8.9	3.1	880	#	1003
#	886	N16	B b	(16.2)	8.2	4.2	(510)	#	1004
#	886	- b	(9.2)	(5.3)	2.6	(180)	黒 磁 石	1012	
#	890	B b c	14.8	8.9	4.4	820	黒 磁 石	1006	
#	892	B b c	13.4	8.5	3.3	630	#	1011	
#	894	B a b c	13.0	8.6	3.9	620	#	1003	
#	895	N5	B a b c	13.7	8.2	3.7	540	#	1007
#	896	N15	A a b c	12.5	10.0	4.0	820	#	1009
#	905	C a	(8.1)	(5.1)	(2.2)	(150)	#	1006	
鍛冶中5	887	N11	a b	14.9	4.3	2.8	270	—	1020
#	888	a b c	11.6	5.8	1.7	130	真 石	1016	
#	889	N15	a c	11.9	4.8	2.5	250	黒 磁 石	1021
#	900	-	8.7	4.9	2.6	160	#	1025	
#	901	-	a b	12.9	3.7	3.8	360	黒 磁 石	1018
#	902	棒形穴内	a b c	11.3	3.2	2.6	180	#	1014
#	903	-	a b c	12.1	3.1	2.7	200	#	1017
#	904	-	a b c	11.4	4.7	2.4	160	真 石	1013
#	905	床 上	a b	(6.1)	(4.6)	(2.0)	(90)	黒 磁 石	1023
#	907	-	a	9.3	3.9	2.2	130	—	1026
#	908	-	a	9.3	2.8	1.3	60	黒 磁 石	1022
#	909	-	a c	8.5	3.6	2.2	110	#	1019
#	910	N20	a b	(6.2)	(2.0)	(1.7)	(60)	真 石	1015
#	912	-	a	(5.5)	(3.2)	(2.5)	(60)	砂 岩	1024

(14) 19号住居址

器 牆	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	団 号	備 考
石 斧	256		BHD	3.1	4.0	0.4	3.9	黒 磁 石	527	

(15) 23号住居址

器 牆	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	団 号	備 考
石 斧	1541	N6.5	GV c	2.1	(1.4)	0.2	(0.6)	黒 磁 石	528	吉野沢
#	1542	N11	GV c	1.7	(1.8)	0.3	(0.8)	#	529	#
#	1543	N4	GII*	1.7	1.5	0.8	5.6	#	530	
#	1545	N2	HII*	2.4	1.5	0.5	1.4	#	531	
#	1546	N3	HII*	1.8	1.7	0.3	0.6	#	532	吉野沢N3
#	2115	IRIV	IRIV c	2.6	2.1	0.8	3.4	#		
#	2116	*	IRIV c	1.5	1.6	0.4	0.7	#		
スクレーパー	1919	C I*	(2.2)	2.0	0.7	(3.0)	#		未鑑定	
#	1920	- II*	(3.8)	2.0	0.5	(1.0)	#			
削製石斧	919	部分削製	8.3	4.6	0.9	(50)	黒 磁 石	1031		
叩 石	918	C c	15.5	5.8	3.4	440	黒 磁 石	1029		

(16) 24号住居址

器 牆	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	団 号	備 考
石 斧	249	大木ビット	A II*	5.8	3.2	0.5	15.5	黒 磁 石	533	
叩 石	923	- b c	9.2	8.7	3.2	390	黒 磁 石	1032		
削製石斧	924	a	15.9	6.2	3.3	450	#	1033		

(17) 35号住居址

器 牆	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	団 号	備 考
石 斧	491	復 土	円錐IVc	2.4	1.3	0.6	1.6	黒 磁 石	539	
#	1547	-	円錐Vc	2.3	1.9	0.7	2.5	#	534	基部欠
#	1548	GIII*	GIII*	1.4	1.1	0.2	0.3	#	534	
#	1549	復 土	- - b	(1.6)	(1.6)	(0.3)	(0.7)	#	536	
#	1550	-	円錐IVd	2.1	1.5	0.5	1.3	#	538	
#	1551	復 土	IV*	2.4	1.9	0.6	2.0	#	536	
#	1552	*	HIII*	(1.2)	1.5	0.2	(0.4)	#	535	先端欠
#	1553	尖頭IVb	1.8	1.0	0.6	0.7	#	541		
#	1554	復 土	円錐IVd	2.2	1.8	0.4	1.1	#	537	
スクレーパー	1921		円錐IVb	(2.0)	1.2	0.3	(0.8)	#	542	基部欠
#	1922	C I*	C I*	4.2	1.8	0.7	4.6	#	543	
#	1923	B I*	B I*	2.7	2.3	0.6	3.0	#		
#	1924	C I*	C I*	0.7	0.2	0.2	0.2	#		
#	1925	復 土	(C I+C II)*	2.2	1.6	0.5	1.0	#		
#	1926	B I*	B I*	1.5	2.4	0.3	1.2	#		
#	1927	B I*	B I*	1.7	1.7	0.4	1.1	#		
叩 石	1156	I + II	B c	11.5	7.4	2.6	300	黒 磁 石	1041	
#	1159	I + II	B c	11.5	8.1	2.2	340	#	1043	
削製石斧	1160	I + II	a b c	11.1	5.1	2.9	280	真 石	1044	
#	1160	a b	11.1	3.5	2.0	1.30	黒 磁 石	1045		
#	1151	a	10.0	4.3	3.5	230	黒 磁 石	1046		
#	1161	#	#	10.5	8.7	3.9	500	#	1043	

(18) 37号住居址

器 牆	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	団 号	備 考
石 斧	1556		円錐IVc	2.6	2.1	0.9	4.4	黒 磁 石	562	
#	1557		I IIIc	(1.9)	(1.0)	(0.3)	(0.5)	#	563	
#	1558		圓錐IVd	1.9	1.7	0.6	1.6	#	566	
#	1559	平底Vb	1.7	1.1	0.3	0.5	#	558		
#	1560	-	I III*	0.2	1.6	0.3	(0.5)	#	562	先端欠
#	1561	褐色土	円錐IVs	1.9	1.3	0.3	0.6	#	559	
#	1562	褐色土	HIII*	1.6	1.3	0.3	0.4	#	547	
#	1563	-	円錐IV-	(2.2)	1.9	0.6	(2.1)	#	563	先端欠
#	1564	-	円錐IV-	(1.6)	2.1	0.4	(1.5)	#	555	#
#	1566	床 上	円錐IVc	2.4	2.1	0.8	2.7	#	561	
#	1567	-	HIIIc	1.6	0.4	0.6	0.6	#	557	片側
#	1568	褐色土	HIIIb	1.8	1.6	0.3	0.5	#	546	
#	1569	黑 土	HIIIb	(1.4)	1.8	0.3	(0.6)	#	549	先端欠
#	1570	-	I IIIc	2.4	(1.7)	0.4	(0.9)	#	551	片側欠
#	1571	褐色土	I III*	1.9	1.4	0.5	0.9	#	545	
#	1572	-	I III*	1.6	(1.1)	0.2	(0.3)	#	556	
#	1573	褐色土	HIII*	(1.3)	1.6	0.3	(0.6)	#	548	先端欠
#	1574	-	I --	(1.2)	2.2	0.4	(1.1)	#	556	#
#	1575	床 上	BIV*	1.4	1.3	0.2	0.2	#	544	
#	2230	表 在	平底IV-	(0.6)	1.6	0.4	(0.7)	黒 磁 石	570	先端欠
石 斧	257		B II*	3.1	4.0	0.7	6.7	#	566	
#	258		B II*	2.5	4.3	0.7	5.6	#	572	
#	266		B II*	3.0	(3.1)	0.7	(5.4)	#	568	端面欠
#	272	褐色土	C IIb	2.8	5.3	0.8	8.9	黒 磁 石	569	
#	273	C IIb	3.1	3.9	0.7	5.4	チャート	565		
#	489	黑 土	C IIb	3.4	4.1	0.7	7.0	黒 磁 石	570	
#	491	C II*	5.0	4.3	0.7	13.3	黒 磁 石	564		
#	492	褐色土	B II*	3.4	4.1	0.8	10.4	黒 磁 石	571	
#	493	黑 土	B II*	3.4	5.2	0.9	11.8	チャート	567	
石 斧	328		A II	2.4	1.6	0.5	1.0	黒 磁 石	573	
#	2074		A II	2.3	1.6	0.4	1.4	#	574	
打削石斧	496			2.2	2.0	0.4	1.7	#	577	
#	497			2.7	1.9	0.7	2.3	#	576	
#	498			2.9	2.1	0.6	3.1	#	578	
#	499	黒 土		5.7	5.4	1.2	40.0	#	575	
スクレーパー	1927		C II*	3.2	2.4	1.2	6.1	#	579	
#	1928		- I *	(1.6)	(1.9)	(0.4)	(0.9)	#	582	未端残
#	1929		C I*	1.7	2.0	0.2	0.5	#		

スカラバ	1929	-I a	(2.1)	(2.2)	(0.7)	(3.0)	馬 嘴 石	580	未調査
スカラバ	1931	(B I + B II) a	2.2	2.0	0.6	2.1	x		
スカラバ	1932	C II a	(1.1)	(2.3)	(0.5)	(1.1)	x		未調査
砂利石	929	a b c	15.8	3.8	1.7	226	藤尾片岩	1049	
スカラバ	931	a b	8.5	2.8	1.0	70	真	1050	

(19) 38号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 鋸	268	赤 葵	C II a	3.5	3.4	0.5	6.4	チャート	584	
スカラバ	1932	ビット内	B I a	4.9	3.3	0.9	11.0	x	585	

(20) 42号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 鋸	2138	-III b	(2.1)	(1.4)	0.5	(1.1)	黒 嘴 石		未調査	
スカラバ	2225	1区割No4	平基II b	2.5	(1.9)	0.4	1.5	x		
スカラバ	2231	H III d	1.1	1.5	0.2	0.2	x			
スカラバ	1854	赤 葵	C I a	3.2	1.5	0.5	2.6	x	586	
砂利石	2235	3区割II底上	10.3	5.1	3.1	240	蛇 故 岩			
印 石	915 - 70	B a b c	11.8	7.9	3.7	450	硬 沙 岩	1053		
印 石	2233	3区割3	B c	9.3	5.6	2.4	190	x		

(21) 43号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 鋸	2234	1-486a	平基II b	2.4	2.0	0.5	1.7	チャート		
スカラバ	2235	黒	平基III -	(0.6)	1.5	0.5	(1.1)	馬 嘴 石		先端欠
スカラバ	2236	表	H IV -	(0.2)	(1.0)	(0.2)	(0.3)			未調査
スカラバ	2237	黒	-III b	2.2	(1.0)	0.3	(0.7)	x		片側欠
スカラバ	2238	H II b	1.9	(1.1)	0.3	(0.4)	x			
スカラバ	2239	-V c	(2.6)	(1.6)	0.3	(1.1)	x			
スカラバ	2240	1区割4-65	G II c	2.4	1.7	0.3	1.2	x		
スカラバ	2241	H III b	1.7	1.2	0.2	0.4	x			
スカラバ	2242	4號No8	--b	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	x		先端欠
スカラバ	2243	H III -	(1.2)	1.5	0.3	(0.3)	x			先端欠
スカラバ	2244	2號	H III b	(1.7)	2.0	0.4	(0.8)	x		
スカラバ	2245	2號No2	H IV c	1.7	1.7	0.5	1.1	x		
スカラバ	2246	3区割7	平基III -	(1.3)	1.5	0.3	(0.6)			未調査
スカラバ	2247	4號No5	--II d	(0.6)	(0.2)	(0.2)	(0.3)	x		先端残
スカラバ	2248	黒	--a	(1.4)	(0.1)	(0.1)	(0.4)	x		
スカラバ	2249	平基IV c	2.6	1.4	0.5	1.9	x			
スカラバ	2250	上 層	--d	(1.5)	(1.9)	0.5	(0.6)	x		先端残
スカラバ	2251	1號	-II b	(1.4)	(0.1)	(0.2)	(0.3)	x		
スカラバ	2252	1区割No13	平基III -	(1.1)	1.6	0.3	(0.5)	x		先端欠
スカラバ	2253	H II b	(1.4)	1.4	0.4	(0.5)	x			
スカラバ	2254	黒	平基III b	1.8	1.4	0.4	0.7	x		
スカラバ	2255	H II b	1.7	(1.0)	0.3	(0.4)	x			片側欠
スカラバ	2256	4號No6	H III e	1.7	1.7	0.5	1.1	x		
スカラバ	2257	1区割No10	H III -	(1.8)	1.4	0.4	(0.9)	x		先端欠
スカラバ	2258	2號No4	平基III -	(1.6)	1.4	0.4	(0.8)	x		
スカラバ	2259	4號No7	尖端II b	2.8	1.1	0.5	1.4	x		
石 鋸	237	(A+C) c	6.7	4.5	1.5	25.9	x			
スカラバ	2360	2號	C II b	4.7	3.2	0.7	7.9	x		
スカラバ	2361	B I a	4.1	3.8	0.8	13.2	x			
スカラバ	2363	3区割3-45	C II b	3.6	3.9	0.5	6.2	x		
スカラバ	2364	1號	--	(1.9)	(0.2)	(0.0)	(2.0)	x		つまみ残
石 鋸	2365	上 层	A I	2.2	1.5	0.5	1.3	x		
スカラバ	2366	3號No9	A I	2.3	1.9	0.5	2.1	x		
スカラバ	2367	2號No3	A I	2.8	1.6	0.5	1.9	細粒凝灰岩		
スカラバ	2368	1区割4	A I	3.2	1.9	0.8	3.4	馬 嘴 石		
石 鋸	2369	2號No4	4.4	3.5	0.7	10.6	x			
石 鋸	2370	2號No4	2.8	1.7	0.3	1.4	x			
石 鋸	2371	3.5	1.6	0.5	4.8	x				

スカラバ	2271	馬土層	(B+C) I a	6.9	6.0	1.7	56.9	チャート		
スカラバ	2272		B I a	(4.1)	(0.6)	(0.7)	(8.8)	x		
スカラバ	2273		C I a	2.6	2.9	0.9	5.6	馬 嘴 石		
スカラバ	2274	1区割No3	B I a	4.5	3.7	0.8	13.6	x		
スカラバ	2275		B II a	2.7	3.1	0.6	4.0	x		
スカラバ	2276	馬	B I a	1.9	2.6	0.4	1.9	x		
スカラバ	2277	馬土層	B I a	2.8	4.5	0.8	7.2	x		
スカラバ	2278		B II -	2.9	2.8	0.8	5.0	x		
スカラバ	2279		C I a	1.9	2.0	0.5	2.2	x		
スカラバ	2280		A I a	1.4	1.9	0.6	1.7	x		
スカラバ	2281		C I a	2.5	1.7	0.3	1.5	x		
スカラバ	2282	1区割2	B I a	2.0	1.6	0.7	2.3	x		
印 石	2283	1號	B b c	11.4	9.3	4.3	630	硬 沙 岩		
印 石	2284	3號No1	A c	10.0	4.6	2.9	200	硬 沙 岩		

(22) 47号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考	
石 鋸	1579		I V -	(1.3)	1.8	0.4	(0.8)	馬 嘴 石	591	先端欠	
スカラバ	1577		I V -	(2.5)	(1.6)	0.5	(1.4)	x	598	未調査	
スカラバ	1578		平基IV c	1.9	2.1	0.8	2.2	x	599		
スカラバ	1579		I --	(1.0)	(1.0)	(0.4)	(0.4)	x	602	片側欠	
スカラバ	1580		円基V c	2.3	2.0	0.5	1.9	x	596	未調査	
スカラバ	1581		円基V c	1.6	1.3	0.4	0.6	x	595		
スカラバ	1582		平基I -	(1.4)	2.4	0.3	(1.2)	x	597	基部欠	
スカラバ	1583		H III e	1.6	1.9	0.3	1.0	x	587	未調査	
スカラバ	1584		I --	(2.0)	(1.8)	(0.3)	(0.9)	x	599	片側欠	
スカラバ	1585		I II -	2.2	1.8	0.4	1.2	x			
スカラバ	1586		I V -	2.3	1.5	0.8	0.8	x			
石 鋸	2129	床	I V c	3.1	1.5	0.5	2.7	x			
スカラバ	2130	#	I V c	3.1	1.5	0.5	2.7	x			
石 鋸	2131	床	A --	(2.9)	(2.1)	1.0	(4.6)	x			
石 鋸	2132	床	A II	1.9	2.7	0.5	2.0	x	598		
打製石器	404		2.3	2.9	0.3	3.5	チャート				
スカラバ	405		3.7	1.7	0.4	1.4	馬 嘴 石	600			
スカラバ	2131	床	2.8	1.5	0.5	1.8	x				
スカラバ	2128		B II a	(2.7)	(1.8)	(0.4)	(1.1)	x	601	片側欠	
スカラバ	2129		C II a	2.3	2.3	0.8	4.2	x			
スカラバ	6937		B II a	2.3	2.7	0.8	4.1	x			
スカラバ	1938		C II a	1.9	1.8	0.8	3.2	x			
スカラバ	1939		C II a	(2.4)	(1.3)	(0.4)	(0.0)	x	602	片側欠	
スカラバ	1940	-69	C I a	3.5	2.7	0.8	7.1	x			
スカラバ	2128		B I a	2.4	3.1	0.8	6.5	x			
スカラバ	2132		B II a	2.8	1.6	0.6	2.7	x			
スカラバ	2133	#	B II a	2.7	3.0	0.9	5.8	x			
スカラバ	2134	#	C I a	2.2	2.9	0.2	6.6	x			
打製石器	693		(1.6)	(3.6)	(1.0)	(3)	x				
印 石	633	A a b c	10.2	9.6	4.5	670	硬 沙 岩	1062			
打製石器	932	a b	9.8	4.8	2.3	170	——	1064			
スカラバ	934	a	(7.0)	3.5	1.5	(0.0)	硬 沙 岩	1065			
石 鋸	330	#	x								
石 鋸	492		FIMV a	2.8	0.9	0.4	1.0	馬 嘴 石	609		
スカラバ	1587		HIV a	1.7	1.3	0.3	0.4	x	606		
スカラバ	1588		DII a	2.0	(1.2)	0.3	(0.3)	x	603	片側欠	
スカラバ	1589		GII b	1.8	1.4	0.3	0.5	x	605		
スカラバ	1590		EII c	1.8	(1.2)	0.3	(0.4)	x	604	片側欠	
スカラバ	1591		H --	(1.8)	(1.8)	0.4	(1.3)	x	608	未調査	
スカラバ	1592		H --	(0.9)	1.6	0.2	(0.4)	x	607	片側欠	
スカラバ	1593		内基IV c	2.7	1.9	0.7	2.7	x	610		
石 鋸	258	C II a	(3.1)	(3.0)	0.6	5.5	x	612	片側欠		
スカラバ	259	馬 土	4.3	4.4	0.7	12.0	細粒凝灰岩	611			
石 鋸	330	All	1.5	2.3	0.5	1.5	馬 嘴 石	614			

石 磚	331	A I	2.0	1.3	0.4	1.0	チ ャ ト	613		スクリーパー	1970	5・6区	C I -	4.4	2.5	1.1	9.8	黒 麗 石	二枚加江田	
#	332	A II	1.8	2.3	0.6	1.8	黒 麗 石	615		#	1971		A I *	2.6	2.2	1.1	6.6	#		
スクリーパー	419	C I a	6.0	4.8	0.8	21.5	チ ャ ト	616		#	1972	9区-79~90	D I b	4.2	2.9	1.0	10.5	#		
#	468	-II a	(2.1)	(2.4)	(0.4)	(1.8)	黒 麗 石	623		#	1973	9-16区-59~	(B I + B II) *	3.0	3.1	0.8	8.0	#		
#	1941	D II a	2.7	2.4	0.4	1.7	チ ャ ト	626		#	1974	9-10区-59~	C I b	1.6	3.8	1.0	4.4	#	片側欠	
#	1642	D I a	4.9	1.8	0.7	4.8	黒 麗 石	619	第60次	#										
#	1943	B II a	2.0	(2.2)	0.3	(1.0)	#	625		打製石	1014	1-2区	(8.6)	4.9	1.6	(100)	使 砂 研	895	6住上層	
#	1944	(B I + C II) *	2.0	2.7	0.7	3.5	#	621		#	1015	2-5区	(10.1)	6.9	1.8	(190)	エシフタク			
#	1945	C I a	5.1	2.3	1.8	8.2	#			#	1016	5区-59	(8.4)	5.2	1.5	(100)	使 砂 研	891	7住上層	
#	1946	C II a	2.0	2.3	0.4	1.8	#			#	1017	2-5区	(8.1)	6.3	2.1	(130)	#			
#	1947	B I a	4.2	1.8	0.8	5.5	#	618		叩 石	1003	2-3区	B a	(11.1)	9.7	(3.0)	(580)	研 砂 研		
#	1948	C I a	3.0	1.7	0.8	2.3	#			#	1005	-	-a b c	(5.9)	3.0	0.9	(70)	使 砂 研	884	6住上層
#	1949	C I b	2.6	2.2	0.4	1.6	#			#	1007	9区	a b c	11.0	5.2	2.8	310	黒 麗 石	890	6住上層
#	1950	D I a	(3.3)	(1.6)	0.6	(2.7)	#	617	第60次	#	1009	3区	a c	10.1	3.4	2.9	250	使 砂 研	890	6住上層
#	1951	(C I + C II) *	2.3	1.6	0.7	1.9	#			#	1010	1-2区	a	9.4	3.9	2.1	110	#	897	#
#	1952	C I a	4.1	2.7	1.9	8.5	#	620												
#	1953	-II a	(2.6)	(1.4)	(0.8)	(2.4)	#	624												
#	1954	C I b	1.9	2.0	0.5	1.3	#													
#	1955	B II a	2.5	2.1	0.8	3.0	#													
#	1956	D II a	1.9	2.4	0.8	2.4	#	622												
磨擦石	2102	感應器	(4.7)	(2.4)	0.7	(10)	導 線 片 岩	1074												
叩 石	936	B a b c	12.1	8.0	3.4	520	導 線 石	1069												
#	937	A a b c	11.4	9.8	3.7	730	便 砂 研	1070												
#	938	A c	11.3	9.2	5.5	820	花 端 研	1068												
#	940	B b c	13.4	7.9	3.5	590	便 砂 研	1067												
#	941	面 研	B a c	12.5	6.5	2.3	350	#	1071											
磨擦印石	935	a b c	14.6	3.7	2.8	220	導 線 石	1072												
#	939	a b c	7.9	2.8	2.5	90	頁 研	1073												

## (24) 50号住居址

器 横	N <sub>o</sub>	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	番 号	備 考
石 磚	1594	円筒b	2.4	1.6	0.6	2.5	黒 麗 石	627		
石 磚	333	A I	3.3	1.6	1.1	4.3	#	628		
スクリーパー	1957	D I a	2.4	2.1	0.9	2.1	#			
#	1958	C I -	2.4	1.3	0.5	1.1	#		黒 麗 不明	
#	1959	C I a	(1.5)	(1.0)	(0.8)	(0.4)	#	630	末尾欠	
#	1960	D I a	(1.3)	(0.9)	(0.5)	(1.2)	#	629	面端欠	
#	1961	B I a	2.0	1.5	0.8	1.9	#			

## (25) 第1トレンチ

器 横	N <sub>o</sub>	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	番 号	備 考
石 磚	1601	H V -	(3.0)	(1.5)	0.4	(1.1)	チ ャ ト	628	面端-青銅	
石 磚	1602	4区	H II b	2.2	1.6	0.2	550	黒 麗 石		
#	1603	5区	H III b	1.8	1.7	0.3	0.7	#		
#	1604	5-6区	W基盤b	2.0	1.6	0.3	0.8	#		
#	1605	6区N-3	I II -	(1.5)	(1.3)	0.3	(0.9)	チ ャ ト	629	面端-青銅
#	1606	9区	GII c	2.4	1.8	0.3	1.1	黒 麗 石		
#	1608	9区	-V c	3.3	(2.7)	0.7	(4.0)	#	片側欠	
#	1609	9-10区	W基盤Vd	2.3	1.7	0.4	1.8	#		
#	1610	9区	W基盤b	2.2	1.7	0.4	1.2	#		
#	1611	内筒b	c	2.3	1.8	0.4	1.4	#		
#	1812	W基盤c	-	(1.5)	1.6	0.3	(0.9)	#	先端欠	
#	1814	H II -	(1.5)	1.9	0.3	(0.6)	#			
石 砧	196	8区	A II (b+b)	4.7	2.7	0.8	10.4	チ ャ ト		
#	265	9区	A II a	(4.3)	2.6	0.5	(5.5)	#		
#	267	9-10区	B I b	3.1	4.6	0.8	12.5	細粒凝灰石		
#	466	9区-79~90	B II b	3.5	3.4	1.0	11.3	チ ャ ト	先端欠	
石 砧	334	8区-79~90 A I	(2.9)	1.7	0.5	(2.0)	黒 麗 石			
#	335	8区-79~90 A I	3.1	2.3	0.7	3.7	#			
#	336	9-10区 A I	2.6	2.0	0.7	2.8	#			
#	337	A II	1.6	2.6	0.4	1.0	#			
打製石	406	9区-79~90	(2.0)	(1.8)	(0.6)	(2.5)	#			
#	407	9区-79~90	5.4	2.8	0.9	5.5	#			
スクリーパー	1968	1-2区90~90-B	B I b	2.7	2.6	0.8	4.6	#		
#	1969	3-4区 D I b	(3.1)	(3.6)	(0.4)	(0.1)	#			

スクレーパー	344	6区II	A I	2.1	1.5	0.3	0.9	黒 墓 石		
#	1980	3区II	B IIa	1.7	2.3	0.4	1.9	x		
#	1981	9区II	(C+I+C)Ia	5.8	3.2	0.7	13.3	チャート		
#	1982	9区II	-H-	(2.7)	(1.8)	(0.0)	(3.4)	黒 墓 石		
#	1983	(D+I+C)Ia	7.7	3.4	0.8	25.3	黒 墓 石			
叩 石	1042	10区	C a	11.9	5.1	3.4	30.0	砂 砂 岩		
#	1045	4区II	C c	11.1	5.4	3.3	21.0	x	1038	11往上升
#	1051	10区	C c	(5.6)	(3.5)	(1.6)	(50)	綠葉片岩		
#	1063	7区II	B b c	(11.2)	(3.9)	(0.4)	(21.6)	板 砂 岩	987	11往上升
#	1035	7区	B a b c	12.4	7.2	3.0	49.0	x		
#	1066	8区奥土	B a c	11.4	8.4	3.7	54.0	x		
#	1067	表 土	B a b c	14.5	8.8	2.9	58.0	x	1091	
珊瑚印石	1047	6区	a b	(18.1)	2.9	0.9	(60)	x		
#	1048	6区	a b c	16.8	3.8	2.8	25.0	綠葉片岩		
#	1053	7区有土	a	(9.1)	(5.0)	(3.3)	(200)	板 砂 岩		
#	1055		a b	(5.5)	(4.1)	(2.3)	(80)	綠葉片岩		

#### (28) 第4トレンチ

器 横	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	因 番号	備 考
石 磚	1036	10区N1	HIIc	2.0	(1.2)	0.3	(0.5)	黒 墓 石		片側欠
#	1037	4区N1	-H-	(2.0)	(1.5)	0.4	(1.2)	チャート		基部欠
#	1038	10区	IIB	1.4	1.4	0.2	0.3	黒 墓 石		
#	1039	10区N5	I I b	4.5	2.1	1.1	5.7	x		
#	1040	10区	-H-b	2.7	(1.7)	0.4	(1.3)	x		片側欠
石 磚	198	6区N1	B II	3.4	5.3	0.9	10.9	x		
#	201	10区N1	B II	2.3	(4.0)	0.6	(5.5)	チャート		片側欠
石 磚	345	2区(一)ム	A I	3.2	2.3	0.6	2.4	黒 墓 石		
#	346	6区I	A II	1.1	2.9	0.5	0.8	x		二面削り
スクレーパー	1984	1区	D I	2.0	2.4	0.8	3.8	x		
#	1985	9区N4	C Ia	1.9	4.3	0.4	3.3	x		
#	1986	9区(一)ム直上	-I a	(2.0)	(2.7)	(0.8)	(5.1)	チャート		未確認
珊瑚印石	1076	9区N2	B II	5.2	6.1	1.4	70	黒 墓 石		
珊瑚印石	1077	6区N2	B II	(4.5)	(4.6)	0.3	(70)	枕 砂 岩	925	11往上升
叩 石	535	10区N1	B a b c	11.8	7.7	3.8	460	板 砂 岩	1002	
#	1082	10区N1	-b c	(7.1)	(7.1)	3.3	230	黒 墓 石		
#	1083	4区N1	B a b c	11.5	8.8	4.1	650	板 砂 岩	1002	
#	1087	10区N2	B a b c	(8.2)	(7.9)	0.7	(350)	綠葉片岩	929	11往上升
#	1090	10区N3	A a b c	(30.0)	8.9	4.1	510	板 砂 岩	921	x
#	1132	8区II	B a	11.1	7.5	4.5	560	x		
#	2007	4区N2	B a	11.2	7.5	3.9	540	砂 岩		
珊瑚印石	1074	9区N1	a b	(11.9)	(3.9)	(2.3)	(140)	綠葉片岩	940	11往上升
#	1075	10区N1	a b	13.1	5.2	1.9	320	板 砂 岩	934	x
#	1080	9区N5	a b	(6.1)	(2.7)	(1.7)	(50)	板 砂 岩	941	x

#### (29) 第5トレンチ

器 横	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	因 番号	備 考
珊瑚印石	1092	4区I	筋分削痕	(6.9)	(3.0)	(1.1)	(40)	綠葉片岩	1102	

#### (30) 第6トレンチ

器 横	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	因 番号	備 考
珊瑚印石	1092	4区I	筋分削痕	(6.9)	(3.0)	(1.1)	(40)	綠葉片岩	1102	
石 磚	1642	5区II	HIVd	2.4	1.7	0.6	2.3	黒 墓 石		
#	1643	10区	HIIa	1.8	1.6	0.4	1.1	x		
#	1644	10区N1	FIIa	2.4	2.2	0.4	1.2	x		
#	1645	7 - 8 区	IV -	(2.0)	2.3	0.8	(3.7)	x		
#	1646	7 - 8 区	IVB	1.8	1.1	0.4	0.8	x		
石 磚	202	2区N1	C I b	4.0	3.6	9.9	10.5	チャート		
#	243	8区N1	C I a	4.9	2.7	0.5	6.8	x		
#	269	10区N2	C I b	4.7	4.0	0.7	7.9	x		
#	273	10区北側	B I b	4.7	5.5	1.2	(26.3)	黒 墓 石		片面欠

石 磚	No	8区	A II	2.6	2.1	0.3	1.1	x		
#	348	10区北側	A I	1.7	2.5	0.5	1.5	x		
#	349	10区	A I	4.9	1.7	0.7	2.6	x		
スクレーパー	244	9区N1	C I b	5.6	5.4	0.9	(21.5)	チャート		片面欠
#	1987	10区	-I a	(2.4)	(2.4)	(0.6)	(3.7)	基 墓 石		側面欠
#	1988	10区I	-I a	(2.5)	(2.2)	(0.5)	(3.0)	x		側面欠
#	1989	7 - 8 区	C I a	3.7	2.4	0.8	4.9	x		
打製石片	1093	5区N1		12.8	7.0	2.4	270	黒 砂 石	1077	
#	1094	10区		13.7	6.5	2.5	270	x	945	11往上升
叩 石	1095	10区	B a b c	11.8	7.7	3.2	440	x	648	x
#	1097	10区	-b c	(10.0)	(7.2)	(2.9)	(250)	x		
珊瑚印石	1101	5区	a b	6.6	2.3	1.9	60	黒 墓 石	1095	
#	1102	10区	a b	(6.7)	(4.0)	(2.0)	(70)	黒 砂 石	1095	
#	1103	6区	a b c	9.4	3.2	2.3	130	黒 砂 石	1095	

#### (31) 第7トレンチ

器 横	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	因 番号	備 考
石 磚	1647		I IVc	2.6	1.5	0.6	1.2	黒 墓 石		
#	1648		--c	(1.2)	(1.9)	(0.3)	(0.4)	x		基部欠

#### (32) 第8トレンチ

器 横	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	因 番号	備 考
石 磚	1649	2区N4	HIIc	1.6	1.3	0.3	0.4	黒 墓 石		
#	1650	2区N2	平端面b	1.3	1.3	0.3	0.4	x		
#	1651	2区N1	円端面-	(2.2)	(1.8)	0.4	(1.0)	x		
#	1652	3区N4	-I a	(1.8)	(1.2)	0.3	(0.3)	x		片面欠
#	1653	3区	HIIb	1.7	(1.4)	0.3	(0.5)	x		片面欠
#	1654	3区	I IVc	2.1	(1.3)	0.3	(0.7)	x		
#	1655	3区	D IVb	2.0	(1.2)	0.3	(0.4)	x		
#	1656	4区N3	平端面b	3.1	2.1	0.3	1.5	チャート		
#	1657	4区N2	H IIc	1.6	(1.5)	0.3	(0.5)	黒 墓 石		
#	1658	3区N2	平端面b	2.7	(1.0)	0.6	(2.0)	x		
#	1659	9区N2	H IIb	2.5	1.6	0.3	0.8	x		
#	1660	9区	平端面c	1.6	1.3	0.2	0.4	x		
石 磚	205	3区N1	C I a	3.2	3.7	0.9	6.6	x		
#	233	2区N3	B IIa	2.7	4.2	0.6	4.9	x		
#	240	4区N3	C I b	4.8	2.2	0.7	5.5	チャート		
#	241	2区N5	B IIc	3.0	2.0	0.4	1.5	黒 墓 石		
#	2981	6区	B IIa	3.1	(4.0)	0.6	(5.5)	x		
スクレーパー	1999	4区	-I a	(2.0)	(3.4)	(1.3)	(0.1)	x		
#	1999	3区	D I a	2.5	2.8	0.5	3.4	x		
#	1992	3区	D I b	3.1	1.5	0.6	3.0	x		
#	1993	5区	-I a	(1.9)	(4.0)	(0.5)	(1.0)	チャート		
#	1994	7区	C I a	2.2	1.5	0.3	1.1	黒 墓 石		
#	1995	8区	C I a	2.9	1.5	0.8	2.4	x		
#	1996	11区	B I c	2.7	3.3	0.8	7.1	チャート		
打製石片	1106	3区N5		9.3	4.7	1.6	110	綠葉片岩	1034	11往上升
珊瑚印石	1104	4区N1	筋分削痕	9.0	3.7	1.7	30	x	1037	x
叩 石	1110	6区	B a b c	14.2	8.0	4.0	720	黒 砂 石	1083	
珊瑚印石	1750		a b	(7.1)	(1.2)	(0.9)	(200)	綠葉片岩		
#	1106	1区	a	10.1	3.9	2.2	120	安 山 石	1035	2往上升
#	1107	4区N2	a	10.2	3.1	1.3	70	黒 墓 石	1035	2往上升
#	1108	2区	a	(7.7)	3.6	2.2	100	板 砂 岩	1036	x

#### (33) 第9トレンチ

器 横	No	出土状況	型 式	長さ	幅	厚さ	重量	石 質	因 番号	備 考
石 磚	1661	1区II	GVa	2.9	(1.7)	0.3	(0.6)	黒 砂 石		片面欠
石 磚	245	1区II	C IIa	4.3	3.4	0.8	11.5	チャート		
叩 石	576	1区	B a b c	10.7	7.4	3.7	470	板 砂 岩	1063	2往上升
珊瑚印石	1111	1区	a b c	11.0	4.1	2.6	70	——	1056	x

(34) 第10トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	団番号	備考
石 砧	1990	7区	IInd	1.7	1.6	0.3	0.9	黒 墓 石	214	新明治時代
#	1993	1区Bn7	BIV-	(3.4)	(1.0)	0.3	(0.3)	#		先端欠
#	1993	1区Bn1	HVb	1.8	1.4	0.4	0.8	#		
#	1994	3区Bn1	EIVa	1.5	1.3	0.3	0.4	#		
#	1995	3区Bn2	-IIIa	(1.7)	(1.4)	0.3	(0.5)	#		両側欠
#	1996	4区Bn1	HIII-	(2.1)	1.4	0.4	(1.1)	#		先端欠
#	1998	5区-25~25	円盤Vd	2.1	1.6	0.5	2.0	#		
#	1999	5区	IV-	(1.6)	1.6	0.4	(0.9)	#		先端欠
#	2000	5区	平高頭d	1.3	1.4	0.3	0.5	#		
#	2001	5区Bn8	IVIVc	1.5	1.6	0.3	0.8	#		
#	2002	5区Bn4	HIIb	2.0	(1.3)	0.3	(0.5)	#		片側欠
#	2003	5区Bn5	HIVc	1.0	1.3	0.2	0.3	#		
#	2074	5区Bn6	平高頭c	2.5	(1.7)	0.4	(1.3)	#		両側欠
#	2075	6区	HIIb	1.7	1.3	0.3	0.5	#		
#	2077	6区	PIEV-	(3.5)	1.8	0.5	(2.7)	#		先端欠
#	2078	6区	PIEVc	1.9	1.5	0.4	0.9	#		
#	2079	9区無土	GIIb	1.6	(1.2)	0.2	(0.3)	#		片側欠
#	2080	1区	GIII-	(0.9)	1.5	0.2	(0.3)	#		先端欠
#	2083	-Vc	1.7	(1.5)	0.3	(0.7)	#			片側欠
#	2084	円高頭a	2.6	2.2	0.7	3.0	#			
#	2085	IVIVd	2.2	1.7	0.3	1.2	#			
#	2086	平高頭c	2.0	1.8	0.7	2.3	#			
#	2087	円盤IVc	(2.6)	(2.1)	0.6	(2.3)	#			片側欠
#	2088	I--	(1.3)	2.4	0.6	(2.2)	#			先端欠
#	2089	--	(0.8)	(0.8)	(0.2)	(0.1)	#			片側欠
投入実測用	1687	5区Bn3	円盤IVc	2.6	2.2	0.4	2.1	#		
石 砧	228	5区Bn8	B Ia	2.7	4.0	1.0	10.2	チャート		
#	470	5区Bn9	--a	(2.7)	(3.0)	(0.9)	(7.5)	#		
#	2082	--	(2.0)	(2.0)	(0.4)	(2.7)	黒 墓 石			つまみ残
#	2083	BIIa	(2.8)	(3.0)	(0.7)	(4.7)	#			両刃頭欠 石に刻度
石 砧	350	6区	A I	1.9	1.3	0.3	0.7	#		
#	351	A II	2.4	1.2	0.6	1.2	#			
#	352	A I	2.4	1.5	0.5	1.8	#			
#	353	A I	2.5	1.3	0.7	1.3	#			
#	1676	6区	B I	1.7	0.7	0.4	0.5	#		
打製石器	408	6区	-	3.6	1.5	0.5	2.4	#		
スクレーパー	1997	3区	C Ia	1.5	2.3	0.7	1.4	#		
#	1998	5区Bn7	B Ia	3.2	1.6	0.8	3.0	#		
#	1999	6区	C Ia	3.9	2.7	1.0	11.8	#		
#	2000	D Ia	3.4	1.7	1.1	6.5	#			
#	2001	C Ia	1.2	2.2	0.4	1.1	#			
#	2002	D Ia	1.1	2.2	0.5	0.7	#			
#	2003	(-I+-I)a	(1.7)	1.6	0.5	(1.0)	#			
#	2004	D Ia	2.2	1.9	0.7	2.5	#			
#	2005	B Ia	1.3	2.7	0.4	1.4	#			
#	2006	(C I+C I)a	2.1	2.0	0.4	2.3	#			
#	2007	BIIa	1.4	2.1	0.5	1.2	#			
#	2008	-Ia	(2.6)	1.9	(0.6)	(2.7)	#			頭端欠
磨製石器	1120	6区16	(5.4)	5.8	1.6	(7.0)	チャート			
#	1120	7区Bn7~10	断面削制	13.7	8.2	3.7	(410)	黒 墓 石		
印 石	1113	7区-B	C c	12.5	5.3	3.0	250	黒 墓 石		
#	1116	6区	-a	(8.5)	(8.5)	(4.9)	(560)	黒 墓 石		
#	1121	4区	B a c	18.4	9.4	3.1	790	#	1628	
印 石	1122	6区Bn1	B a b c	15.2	7.4	3.9	740	黒 墓 石	1688	
#	1117	3区	a	(5.9)	3.4	(1.9)	(66)	黒 墓 石		
#	1117	3区	a	11.3	4.5	1.7	150	黒 墓 石	1630	凹地上層

(35) 第10・11トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	団番号	備考
石 砧	1692	円盤-	円盤-	2.6	2.1	0.4	1.8	黒 墓 石		
#	2009	スクレーパー	-I a	(1.5)	(2.9)	(0.9)	(3.3)	#		未端欠
#	2010		D Ia	2.5	2.2	0.7	2.1	#		
#	2011		C I b	1.6	3.4	0.9	3.8	#		
#	2012		D I a	2.1	(3.0)	(0.7)	(4.4)	チャート		
磨製石器	639			7.7	6.8	1.2	90	黒 墓 石	974	14-788上層
印 石	587		C a c	12.8	5.1	3.7	380	黒 墓 石	979	#
#	631		C a c	8.4	9.4	3.1	290	#	978	#
#	633		-b	(12.5)	(5.7)	(2.5)	(180)	#		
#	635		-b c	(6.5)	(8.0)	(3.2)	(280)	#	977	14-788上層
#	644		B c	(13.0)	(8.5)	(3.6)	(600)	#	976	#
#	645		B a b c	12.3	8.3	3.8	600	#	975	#
磨製印石	643		a b c	15.2	6.2	5.1	640	黒 墓 石	980	#

(36) 第11トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	団番号	備考
石 砧	1691	4区1	--	(1.6)	2.0	0.5	(1.6)	黒 墓 石		新・明治
#	1692	4区	--a	(2.3)	1.3	0.8	(2.0)	#		基部欠
#	1693	4区	IVa	1.4	(1.2)	0.2	(0.3)	#		片側欠
#	1694	7区	--a	(3.6)	(1.9)	0.5	(0.6)	黒 墓 石		基部欠
#	1695	7区	E Vc	2.3	1.1	0.3	(0.6)	黒 墓 石		片側欠
石 砧	354	1区	A I	2.6	1.8	0.4	2.4	#		
#	355	4区	A II	1.5	2.7	0.7	2.2	#		
#	356	4区1	A I	3.2	1.7	0.4	1.6	#		
スクレーパー	183	3区	C I a	3.2	2.0	0.8	5.5	#	299	黒 墓 石 口付上層
#	2013		C I a	2.5	2.2	0.6	2.5	#		
#	2014	4区	D I a	4.3	2.3	1.0	9.5	#		
#	2015	6区-45~50	C I	2.0	1.6	0.6	2.1	#		
#	2016	105~99	C I a	2.1	1.4	0.7	1.8	#		
打製石器	1124	1区		8.3	3.8	2.0	80	黒 墓 石	1075	
#	1125	3~4区1		(6.4)	6.3	2.4	(110)	黒 墓 石		
#	1126	1		(7.2)	7.1	2.5	(170)	黒 墓 石		
印 石	1128	2区	B b c	14.0	8.7	4.4	730	#		

(37) 第12トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	団番号	備考
石 砧	1693	4~5区	円盤Vc	2.5	1.8	0.7	2.4	黒 墓 石		
石 砧	1695	4~5区	A II	1.8	2.1	0.7	1.8	#		
打製石器	499	4~5区	B	2.6	1.9	0.5	2.7	黒 墓 石		
磨製印石	1129	4~5区0~30	a	(0.4)	(3.0)	(2.1)	(360)	黒 墓 石		
石 砧	1697	4~5区	円盤Vc	3.2	2.3	1.0	6.1	黒 墓 石		
#	1698	4区-75	平高頭c	1.3	1.3	0.3	0.6	#		新明治
#	1699	5区-70	有茎Vc	2.9	1.1	0.7	1.6	#		
石 砧	2064	4区-90	--	(1.9)	(2.9)	(0.7)	(2.2)	#		
石 砧	358	11区-40	A II	2.4	2.9	0.7	2.6	#		
打製石器	688	5~6区-40		(8.8)	5.6	2.4	(180)	黒 墓 石	1039	34住上層
磨製印石	695	4区-40		(8.9)	(8.1)	1.9	(70)	黒 墓 石	1040	#
磨製印石	696	9区5	a	11.7	3.6	2.2	150	ホルンフェルス		

(39) 第14トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	1700	1区	IIVc	1.8	1.9	0.6	1.2	黒曜石		
#	1701	3区底	HIIb	1.7	1.4	0.3	0.4	粗粒状灰岩		
#	1702	5区	HIIc-	(1.4)	1.5	0.3	(0.5)			先端欠
#	1703	5区	円盤Vb	1.8	1.1	0.4	0.7	黒曜石		
#	1705	5・6区E	円盤Vc	2.3	1.6	0.5	1.5	#		
#	1706	4区II	円盤c	1.9	1.6	0.3	0.7	#		
#	1707	7区II	IIVb	1.5	1.3	0.3	0.6	#		
#	1708	5区II	-IIIb	(1.6)	1.3	0.4	0.6	#		基部欠
#	1709	6区X	平盤b	2.1	1.7	0.6	1.4	#		片側欠
#	1710	10区□□	円盤c	(2.4)	1.9	0.8	(2.1)	#		
#	1711		HIV-	(1.4)	1.5	0.3	(0.5)	#		先端欠
#	1712		円盤c	1.7	1.4	0.3	0.7	#		
石 磨	187	1区	AII-	(3.4)	(2.0)	(0.5)	(4.2)	チャート		刃端欠
打削石器	410	5区底		3.7	2.2	0.5	2.0	黒曜石		
スクレーパー	2017	1区	CIIa	1.9	1.8	0.8	2.2	黒曜石		
#	2018	5区II	CIIa	4.7	2.9	1.0	1.1	チャート		
#	2019		BIIa	(5.7)	(4.4)	1.3	(2.6)	#		未端欠
#	2020		AIIa	(2.0)	(3.6)	(1.0)	(7.3)	#		
石 破	1142	7区II		14.9	5.6	2.8	310	綠泥片岩	1078	
磨製石斧	1142	7区II	Aab-c	(4.3)	3.7	1.2	(30)	燧 灰 岩	1108	
叩	51130	6区底		13.3	10.7	5.7	1300	砂 岩	1055	46往上層
#	51131	5区底I	Bc	11.8	5.8	2.9	250	#	1057	46往上層
#	51132	7区II	Bc	14.6	7.2	3.0	470	#	1088	
#	51133	5区底II	Bab-c	11.3	8.8	3.7	840	#	1056	46往上層
圓錐印石	1140	2区-30	a b c	11.2	3.6	1.9	150	綠 灰 岩		

(40) 第15トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	1712	4区II	GIVc	1.7	1.5	0.3	0.5	黒曜石		
#	1714	7区□□	平盤Vb	3.1	(1.6)	0.7	(4.1)	#		片側欠
#	1715	10区	有肩石器	(3.1)	1.3	0.3	(1.0)	チャート		基部欠
#	1716	14区II	-Vc	(2.8)	1.1	0.4	(1.2)	黒曜石		基部欠
#	1717	7区-25	円盤c	2.1	1.9	0.4	1.2	#		
#	1718		--	(1.0)	(1.5)	(0.4)	(0.7)	#		片側欠
#	1719		平盤Vc	2.0	1.6	0.4	1.4	#		
#	1720		平盤Vc	(0.4)	(0.6)	0.3	(0.6)	黒曜石		鉄-古鉄
石 破	282	5区II	BIIa	2.6	2.0	0.5	0.5	チャート		刃端欠
#	484	11区底I	BIIb	(2.5)	(3.0)	(0.8)	(6.9)	#		刃端欠
スクレーパー	2021	7区	cIa	1.8	1.7	0.5	1.5	黒曜石		
#	2022		AIIa	3.3	4.5	0.9	12.6	チャート		
#	2023		DII-	2.4	2.1	0.7	3.7	黒曜石		
#	2024		CIIa	2.4	1.2	0.6	1.8	チャート		
磨製石斧	1153	10区II		(6.2)	5.2	1.4	(60)	燧 灰 岩	1105	
#	2296	4区	部分削離	7.4	4.3	1.7	70	綠泥片岩		
#	2287	5区	-	8.1	5.7	1.4	100	チャート		
叩	1155	8区	-abc	(9.8)	8.4	3.2	(460)	綠泥片岩		
#	1156	7区II	Babc	12.0	9.0	5.1	770	砂 岩		
#	1158	5区II	-ac	(6.6)	8.6	2.9	(220)	#		
#	1162	9区II	-b	(6.6)	8.0	4.9	(400)	#		
圓錐印石	1156	6区I	a b	11.2	3.3	3.5	120	頁 岩		
#	1154	6区	a c	(8.2)	(3.2)	(2.0)	(110)	砂 岩		

(41) 第16トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	1721	2区I	平盤c	2.5	2.5	0.8	4.5	粗粒状灰岩		
#	1722	6区I	-IIId	2.5	(1.5)	0.6	(1.3)	粗粒状灰岩		片側欠
#	1723	3区I		9.5	9.8	2.6	220	綠泥片岩		
圓錐印石	698	10区II南端(?)内	a b	8.1	4.2	2.1	120	綠 泥 岩		

(42) 第17トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考		
石 磨	1		平盤Vd	1.8	1.8	0.5	1.7	黒曜石	841			
#	2		DIIIa	2.2	(1.2)	0.3	(0.4)	#	842	片側欠		
#	3		平盤Vb	2.5	(1.7)	0.3	(1.2)	チャート	828	#		
#	4		IID-	(2.0)	(1.5)	0.3	(1.0)	黒曜石	824	片側欠		
#	5		HIVc	1.1	1.3	0.2	0.2	#	829			
#	6		IIV-	1.5	1.4	1.3	0.5	#	828			
#	7		平盤V-	(1.5)	1.9	0.3	(0.7)	#	775	先端欠		
#	8		IIVc	2.2	1.6	0.5	1.2	#	822			
#	9		19-1-3区	円盤c	2.8	1.8	0.5	0.7	#	702	頭頂部	
#	10		IIE-	(1.7)	1.5	0.4	0.7	#	823			
#	11		GVd	1.7	1.6	0.3	0.3	#	684	頭頂部		
#	12		平盤V-	(1.5)	1.9	0.3	0.6	#	685			
#	13		GIVc	2.4	1.9	0.8	3.6	#	766			
#	14		GIA	2.1	(1.4)	0.2	(0.5)	#	686	片側欠		
#	15		GIVa	1.7	1.2	0.4	0.5	#	634			
#	16		GIVc	2.3	2.1	0.7	(0.9)	#	764	片側欠		
#	17		IGIVc-55	円盤c	2.8	2.1	0.9	4.4	#	670		
#	18		円盤Vb	2.1	1.9	0.7	2.2	#	674			
#	19		GVb	2.4	1.7	0.4	1.2	#	639	頭頂部		
#	20		IGIVb-45	円盤Vd	2.4	1.8	0.4	1.3	#	735		
#	21		円盤Vc	2.4	1.5	0.6	1.8	#	738			
#	22		円盤d	2.1	1.8	0.6	2.1	#	803			
#	23		IGIVb-30	円盤V-	(2.0)	1.8	0.5	(1.9)	#	794	先端欠	
#	24		IGIVb-50	円盤c	2.7	2.3	0.7	5.2	チャート	669		
#	25		IGIVb-60	--z	(1.5)	0.9	(0.3)	(0.2)	黒曜石	675	基部欠	
#	26		2区-45-40	円盤c	2.5	2.2	0.7	3.7	#	730		
#	27		IGIVb-2-30	円盤Vc	2.6	1.9	0.7	2.9	#	793		
#	28		IGIVb-2-30	G--	(1.0)	1.3	0.3	(0.3)	#	644	先端欠	
#	29		2区9-80	円盤Vc	2.1	1.5	0.6	1.6	#	736		
#	30		平盤Vc	2.0	1.9	0.4	1.2	#	838			
#	31		平盤V-	(1.6)	1.9	0.6	(1.9)	#	840	先端欠		
#	32		平盤Vc	2.5	1.8	0.6	2.7	#	657			
#	33		平盤V-	2.0	2.0	0.5	1.9	#	806	頭頂部		
#	34		IGIVb-55	VIII-	(2.3)	0.5	0.4	(1.4)	#	666	頭頂部	
#	35		IGIVb-55	GV-	(1.5)	1.8	0.5	(1.3)	チャート	658	頭頂部	
#	36		IGIVb-45	平盤Vb	1.9	1.8	0.3	0.9	黒曜石	663	頭頂部	
#	37		IGIVc	2.4	(1.5)	0.5	(1.3)	#	843	片側欠		
#	38		IGIVb-7	-III-	(1.7)	(1.1)	0.2	(0.3)	#	805	頭頂部	
#	39		IID-	2.1	1.6	0.5	1.3	#	695			
#	40		GV-	(1.9)	1.6	0.3	(0.9)	#	759	先端欠		
#	41		IGIVb-4-45	平盤Vb	2.2	1.6	0.3	1.0	#	792	頭頂部	
#	42		HIVd	2.0	1.5	0.3	0.6	#	779			
#	43		IGIVb-60	GHb	2.1	1.4	0.3	0.5	#	632		
#	44		IGIVb-1	GHb	1.9	1.5	0.3	0.6	#	633		
#	45		IIH-1	IIH-	2.0	1.6	0.4	0.9	#	654	頭頂部	
#	46		IGIVb-3-38	IIH-	1.9	(1.6)	0.4	(0.9)	#	659	片側欠	
#	47		IIH-	1.7	1.3	0.3	0.3	#	645			
#	48		DIIb	1.8	1.2	0.1	0.1	#	771			
#	49		平盤V-	(1.4)	1.8	0.2	(0.8)	#	835	先端欠		
#	50		DIVb	2.6	(1.4)	0.3	(0.7)	#	683	片側欠		
#	51		平盤Vc	1.9	(1.5)	0.4	(0.9)	#	732	片側欠		
#	52		GHb	1.4	1.7	0.3	0.5	#	813			
#	53		107	1-3区	平盤Vc	2.0	1.5	0.3	0.9	#	703	

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	団番号	備考	石 庫		199 1区		199 2区		199 3区		199 4区		199 5区				
											#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#			
石 罩	198	1・3区	平蓋Vd	1.5	1.5	0.4	0.9	黒 磨 石	699	新加工か															
#	111	1区B35	円蓋Va	2.3	1.7	0.4	1.2	#	673																
#	112	G--	(1.2)	1.8	0.2	(0.3)	#	816	先端欠																
#	113	平蓋--	(0.8)	1.8	0.5	(0.6)	#	844	#																
#	114	--	(1.4)	(0.9)	(0.3)	(0.4)	#		片側残																
#	115	1・3区	平蓋Vd	1.8	1.4	0.3	0.6	#	701																
#	116	--	(2.4)	1.9	0.5	(1.7)	#	833	先端欠																
#	118	1・3区	DIVb	1.4	1.3	0.3	0.3	#	664	先端欠															
#	119	1・3区	--	(2.2)	(1.6)	0.3	(0.9)	#	614	先端欠															
#	121	GIVc	1.6	1.1	0.4	0.6	#	814																	
#	122	--	(1.9)	(1.0)	(0.3)	(0.6)	#	851	片側残																
#	123	HIVd	1.4	1.7	0.3	0.7	#	827																	
#	124	1・3区	HIBb	2.3	(1.5)	0.4	0.7	#	691	片側欠															
#	125	1区B35	DIVb	1.7	(1.5)	0.3	(0.4)	#	631	#															
#	127	1区B35	平蓋H	2.6	1.5	0.5	1.1	チ ャ ト	666																
#	128	1・3区	--c	(1.5)	(1.2)	(0.3)	(0.4)	黒 磨 石	666	高周波															
#	129	1・3区	GIVb	1.9	(1.2)	0.4	(0.5)	#	696	片側残															
#	130	6区B-	HIV-	(1.6)	1.5	0.3	(0.5)	#	862	先端欠															
#	131	1・3区	GIVb	2.2	(1.4)	0.2	0.5	#	696	先端欠															
#	132	1・3区	--	(1.5)	(1.0)	(0.4)	(0.4)	#	694	片側残															
#	134	--	円蓋IVa	2.9	2.1	1.0	4.4	#	848																
#	135	1区B35	HIBb	2.1	(1.3)	0.3	(0.6)	#	650	片側欠															
#	136	1区B35中	HIVa	2.3	(1.1)	0.3	(0.6)	#	649	#															
#	137	--	平蓋Vd	(1.6)	1.7	0.3	(0.8)	#	837	先端欠															
#	138	--	平蓋--	(1.7)	1.7	0.3	(0.9)	#	834	#															
#	140	1区	HII-	(1.6)	(1.7)	0.4	(0.8)	#	655	KW-NER															
#	141	1区B35 b	HII-	(1.6)	1.4	0.3	(0.5)	#	647	先端欠															
#	144	4区	HIVc	2.6	1.6	0.5	1.2	#	776																
#	145	1区B35-54	HIVc	1.3	1.2	0.2	0.3	#	653																
#	146	2区B1-45	HII-	(1.5)	1.4	0.3	(0.4)	#	724	先端欠															
#	147	--	PHIVc	2.2	1.6	0.6	1.8	#	846																
#	148	2区B8-80	DIVb	2.3	(1.3)	0.3	(0.5)	#	711	片側欠															
#	149	4区	PHIVd	2.0	1.9	0.4	1.7	#	781																
#	151	1区B35-90	GIVb	1.5	1.4	0.2	0.3	#	640																
#	155	6区B4-60	GIVb	1.5	1.3	0.3	0.5	#	801	片側残															
#	156	1区	IIVb	1.4	1.2	0.2	0.3	#	661																
#	158	3区B5-70	FIVb	2.2	1.6	0.3	0.7	#	761																
#	159	1区	GIVc	2.0	(1.6)	0.3	(0.8)	#	643	片側欠															
#	160	1区B35	GIVb	1.8	1.5	0.2	0.4	#	637																
#	161	1区B35	HIBb	1.7	1.3	0.3	0.4	#	648																
#	162	1区-30~40	FIVc	2.6	(2.0)	0.7	(3.6)	#	671	片側欠															
#	163	1区B35	IIB-	(1.6)	1.5	0.5	(0.9)	#	660	先端欠															
#	164	1区B-	--c	(2.6)	(1.9)	0.6	(2.0)	#	677	片側欠															
#	165	4区B3-62	HIBb	2.1	1.4	0.3	0.4	#	800																
#	166	3区B1-60	HIBb	2.0	1.3	0.3	0.4	#	661																
#	168	1区B35	HIV-	(1.4)	1.3	0.2	(0.4)	#	651	片側残															
#	169	9区-30	DIVa	1.4	1.2	0.2	0.2	#	309	網上部															
#	170	1区B35	IIV-	1.9	1.0	0.5	1.6	#	658																
#	171	1区B35	--d	1.2	(1.6)	0.2	(0.4)	#	795	高周波															
#	172	1区B35	GIVb	1.8	(1.5)	0.3	(0.4)	#	641	片側欠															
#	173	1区B35	HIBb	1.6	1.4	0.3	0.5	#	646																
#	174	1区-14~38	平蓋IVc	1.9	1.8	0.6	1.6	#	668																
#	175	--	(1.7)	(1.1)	0.3	(0.3)	チ ャ ト	850	網上部																
#	176	1区	平蓋--	(1.6)	1.7	0.4	(1.0)	黒 磨 石	665	高周波															
#	177	1区B35	--c	(1.6)	(1.3)	0.4	(0.6)	#	656	高周波															
#	178	1区B35	--b-	(1.7)	(1.2)	0.3	(0.3)	#	642	網上部															
#	179	1区	--a	(1.1)	(0.8)	(0.3)	(0.2)	#	676	網上部															
#	180	1区B35-90	GIVb	1.5	1.2	0.2	0.3	#	636																
#	181	2区B4-65	GIVb	(1.3)	1.2	0.2	(0.3)	#	715	先端欠															
#	182	1区	平蓋IVb	1.6	1.1	0.3	0.4	#	664																
#	183	2区B4-65	HIVa	1.6	1.2	0.2	(0.4)	#	722	片側欠															
#	184	1区	GIVc	1.9	1.2	0.3	0.5	#	835																
#	185	4区	DIV-	(1.0)	1.5	0.2	(0.3)	#	772	先端欠															
#	186	4区	GIVb	1.6	1.1	0.3	0.4	#	723																
#	187	--	IIV-	1.7	1.6	0.3	0.5	#	825																
#	188	--	PHIVc	2.8	2.5	0.9	5.7	#	848																

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図面番号	備考	
石鏡	139	A I	(2.0)	1.5	0.4	(0.9)	黒曜石	862	先端欠		
#	141	A I	3.0	2.1	0.8	3.7	#	866			
#	142	A I	3.4	1.8	0.9	2.5	#	854			
#	150	A I	3.0	2.1	0.7	3.1	#	826			
#	151	A I	2.7	2.8	0.6	5.0	#	866			
#	153	A II	1.8	1.7	0.4	1.3	#	864			
#	154	A I	3.5	2.0	0.6	2.5	#	857			
#	157	9区	A I	2.5	1.7	0.8	(3.6)	#	810	3往生層	
#	167	2区B12-90	A I	2.2	1.0	0.2	0.3	#	742		
打刻刀頭	5		3.0	1.8	0.8	3.8	#	493			
#	7		3.9	1.3	0.7	3.1	#				
#	8	1・3区	(2.2)	1.7	0.5	(1.7)	#	707			
#	11		1.9	1.1	0.6	0.9	#	869			
#	13		3.2	1.5	0.5	1.6	#	867			
#	14		2.1	1.6	0.2	0.9	#	868			
#	17		(2.6)	1.8	1.1	(4.4)	#	870			
#	22	4区	2.5	1.3	0.4	1.1	#	784			
#	79	4区	2.6	1.3	0.2	0.7	#	785			
#	33	4区	3.1	2.2	0.5	1.8	#				
#	39	1区	3.3	1.4	0.6	2.5	#	680			
#	44	4区	1.8	2.1	0.7	2.2	#	787			
#	66	2区	3.7	1.6	0.8	2.9	#	748			
#	69	3区	1.9	1.2	0.3	0.7	#	768			
#	72	4区	1.8	1.2	0.2	0.5	#	786			
#	80	4区	(1.4)	(2.3)	(0.4)	(0.7)	#	788			
#	82	4区	3.5	1.6	1.0	2.2	#	789			
#	92	7区	4.0	1.5	0.6	2.4	#	807			
スクリュー	10	9区	B I a	1.7	2.5	0.5	2.1	#	3往生層		
#	15	B I a	(3.4)	(4.6)	(0.8)	(7.3)	#	747			
#	23	6区B-63	C I a	5.6	3.0	1.1	19.0	#	854		
#	24	9区	B I a	1.8	1.1	0.4	9.8	黒曜石	3往生層		
#	26	A I a	1.5	2.4	0.9	2.7	#				
#	63	5区B-6-60	(C I + C I) a	2.9	2.2	0.4	2.5	#	799		
#	74	3区B-4-85	B I -	3.1	1.6	0.3	6.0	#	765		
#	422	C I a	3.3	2.4	0.5	3.5	#	873			
#	1967	(A I + C I) a	3.3	2.1	0.6	4.4	黒曜石	872			
#	2005	1区B	D I a	1.6	2.4	0.5	1.6	#	681		
#	2206	1・3区	-H a	(2.5)	(2.2)	(0.4)	(1.9)	#	710	腰板底	
#	2027	1・3区	C I a	2.7	(1.0)	0.3	(1.8)	腰板底	708	側邊欠	
#	2028	1・3区	C I a	1.3	3.2	0.5	1.6	黒曜石	709		
#	2029	2区	A II a	2.2	2.5	0.5	5.3	#	753		
#	2030	2区	C H a	3.0	2.4	0.6	3.2	#	755		
#	2031	2区	C H a	2.4	1.6	0.3	0.9	#	754		
#	2032	E	B II -	2.9	1.9	0.7	3.4	#	756		
#	2033	E	C I a	4.3	4.8	0.9	25.1	#	752		
#	2034	E	D I a	4.4	3.5	1.0	15.7	#	750		
#	2025	E	(C II + D II) -	2.8	1.6	0.5	2.1	馬鹿石	749		
#	2035	E	B I a	3.9	4.9	0.9	17.3	#	751		
#	2037	E	B II -	(2.2)	(1.0)	(0.9)	(1.7)	馬鹿石			
#	2038	E	D I b	3.2	1.7	0.8	3.2	#			
#	2039	4区	D I a	3.9	2.1	1.0	5.4	#	790		
#	2040	4区	C H a	1.6	2.9	0.5	2.2	#			
#	2041	5区	B I a	3.9	2.0	1.1	7.8	#	796		
#	2042	D I -	3.1	1.7	0.8	2.1	#				
#	2043	C I a	2.4	2.1	0.8	2.0	#				
#	2044	C I a	2.2	1.9	0.5	2.2	#	871			
#	2045	C I a	2.8	2.3	0.6	2.7	#	877			
#	2046	-I-	(1.5)	(0.6)	(0.5)	(0.5)	#				
#	2048	-I a	(1.0)	(1.4)	(0.4)	(0.9)	#	747	側邊缺		
#	2049	B I a	1.6	2.2	0.3	1.0	馬鹿石				
#	2050	B II a	2.2	1.8	0.3	1.2	#				
#	2051	C I c	2.5	2.3	0.9	4.1	#	875	側邊缺		
#	2052	B II a	1.8	2.0	0.7	1.8	#				
#	2053	C II a	(1.0)	(2.2)	0.7	(1.9)	#	875	側邊缺		
#	2054	C I a	2.1	1.9	0.6	2.3	#	876			
#	2055	D I a	1.9	1.6	0.5	0.9	#				
#	2056	(B II + B III) a	2.3	1.5	0.5	1.6	#				
#	2057	D I a	2.4	2.0	0.6	1.8	黒曜石				
スクリュー	2058										
#	2059	5区	B II a	1.6	2.3	0.5	1.5	#			
#	2060		D I -	(1.8)	(1.8)	(0.7)	(2.2)	#			
磨製石斧	9		D I b	(1.8)	(1.8)	(0.4)	(1)	斜刃			
#	1174		D II a	(7.8)	(4.1)	(3.8)	(9.0)	斜刃			
#	1197	1区-40~80	D II b	(8.6)	(3.8)	(1.2)	(60)	斜刃			
打刻石斧	880		D II c	(4.7)	(4.6)	0.9	(60)	斜刃			
#	1169	8区E1-40~80	D II c	14.0	4.7	1.1	130	#	1047	3往生層	
叩石	865	B a b c	14.0	8.2	3.2	700	#				
#	879	C a c	4.2	3.0	1.3	20	硬砂岩				
#	1711	C c	13.7	6.1	3.8	480	#457a				
#	1289	-a b c	(9.8)	8.3	3.8	(380)	硬砂岩				
#	1085	1区-40~80	-b c	(7.8)	(5.6)	(1.7)	(120)	#	1058	4往生層	
#	1189	3区-40~80	B a b c	12.5	9.2	3.5	580	#	1058	4往生層	
磨製石斧	867		s	10.0	5.2	3.1	230	#	1099		
#	872	a b	9.2	3.6	1.8	120	#	1094			
#	1168	1区	s	12.5	6.8	3.9	560	硬砂岩	1051	4往生層	
#	1172	2区E9~70~	a b	9.7	4.1	1.4	90	斜刃	1069	4往生層	
#	1173	2区E9~70~	s	11.1	4.6	2.9	220	硬砂岩	1066		
#	1175	a b c	9.8	3.4	2.8	120	#	1100			
#	1187	4区N38-77	a b c	10.9	4.0	1.9	140	黒曜石	1061	4往生層	

## (43) 第18トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図面番号	備考
石鏡	271	1区東土	円筒V-	(1.9)	1.7	0.4	(1.1)	黒曜石		先端欠
#	1759	1区東土	--c	(2.2)	(2.1)	(0.4)	(1.3)	#		基部欠
#	1760	8区周辺土	G II b	2.3	(1.5)	0.3	(0.6)	#		片側欠
#	1761	9区	--	(1.1)	(1.0)	(0.2)	(0.2)	#		片側欠
#	1762	9区黒土	H II b	2.1	1.9	0.6	0.8	#		片側欠
#	1763	13区東土	H II b	1.7	1.7	0.3	0.7	#	チャート	
#	1765	23区	平面IV c	1.7	1.3	0.3	0.6	黒曜石		
石	473	9区黒土	C II -	(2.8)	(2.6)	(0.6)	(3.3)	#		刃端欠
石	360		A I	3.2	1.7	1.2	4.0	#		
打刻石斧	411	9区	A I	5.1	2.7	0.9	7.6	#	チャート	
#	412		A I	3.4	2.3	0.8	3.0	#		
#	413		A I	2.8	2.3	0.6	3.1	#		
スクリュー	2061		A II a	1.8	1.5	0.5	1.0	#		
#	893	12・13・14区	B a b c	14.2	8.0	3.0	520	硬砂岩	1048	3往生層

## (44) 第19トレンチ

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図面番号	備考
石鏡	1764	8区-55	I V -	(2.1)	1.8	0.5	(1.3)	黒曜石		先端欠
#	1766	6区	G II a	2.9	(2.4)	0.3	(0.9)	#		片側欠
#	1766	8区-65	-a b c	(7.3)	(8.2)	(3.3)	(280)	磨製底	1054	4往生層
石	2289	馬	C I -	1.6	2.7	1.0	4.2	#	チャート	
#	2290		D I a	1.7	2.3	0.6	1.9	黒曜石		
#	2291		C II a	1.5	2.2	0.4	1.1	#		
#	2292	馬	C I a	(3.3)	(2.5)	(0.7)	(3.0)	#		未調査

## (47) ピット

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	留番号	備考
石 砧	1269	P <sub>1</sub>	HIIb	2.7	(1.7)	0.4	(1.1)	黒曜石		片側欠
石 砧	此 2135	P <sub>2</sub> ・晶洞	AIIIb	5.4	2.5	0.9	13.2	チャート		
スクリーン	2062	BIIa	3.0	2.1	1.2	5.6				
"	2063	BII-	3.0	2.2	0.9	4.4	x			定形石磨再加工

## (48) 第1~4次出土地点不明

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	留番号	備考
石 砧	768		HII-	(1.7)	1.9	0.2	(0.6)	黒曜石		先端欠
"	769		AIIVc	1.6	(1.6)	0.2	0.3	x		片側欠
"	770		HII-	(1.1)	1.4	0.2	(0.4)	x		先端欠
"	771		-IIIb	(2.1)	1.4	0.2	0.6	x		両端欠
"	772		FIIa	1.4	1.3	0.2	0.3	x		
"	773		HIIc	1.5	1.5	0.3	0.5	x		
"	774		HIIc	1.8	(1.4)	0.3	(0.6)	x		片側欠
"	775		HII-	(2.0)	1.7	0.5	(1.7)	x		先端欠
"	776		GIVb	1.6	(1.2)	0.2	(0.3)	x		片側欠
"	777		DIVa	1.6	(1.3)	0.3	(0.4)	x		
"	778		HIId	1.7	2.0	0.4	1.2	x		断面欠
"	779		平端Vc	1.8	1.6	0.3	0.8	x		断面欠
"	780		円基Vc	2.6	2.2	0.8	4.2	x		基盤欠
"	781		円基Vc	2.1	1.1	0.4	0.9	x		
"	782		円基d	1.5	1.4	0.4	0.8	x		
"	783		円基d	(1.8)	1.6	0.3	0.8	x		先端欠
"	784		平端Vc	1.9	(1.5)	0.3	(0.7)	x		片側欠
"	785		HIIb	2.5	1.9	0.5	2.1	x		片側欠
"	786		HII-	(1.4)	1.0	0.2	(0.4)	x		基盤欠
"	787		GIVc	1.7	(1.3)	0.3	(0.4)	x		片側欠
"	788		平端C	1.9	1.9	0.7	2.3	x		
"	789		HIVc	2.4	1.6	0.3	1.0	x		
"	790		GIIIb	2.1	1.4	0.5	1.1	x		チャート
"	791		EIIa	1.5	1.2	0.2	0.3	x		黒曜石
"	792		GIVc	1.4	1.4	0.3	0.4	x		
"	793		GIIIc	2.0	1.2	0.4	0.6	x		
"	794		DIV-	(1.4)	(1.3)	0.2	(0.2)	x		片側欠
"	795		HIV-	(1.1)	1.1	0.4	(0.4)	x		先端欠
"	796		平端d	1.4	1.1	0.3	0.3	x		
"	797		HIVa	2.2	1.2	0.3	0.6	x		断面欠
"	798		HII-	(1.7)	(1.1)	0.3	(0.5)	x		基盤欠
"	799		平端Ve	1.5	1.7	0.3	0.8	x		断面欠
"	800		HIVb	1.3	1.0	0.3	0.3	x		
"	801		IImb	1.4	(1.1)	0.4	(0.3)	x		片側欠
"	802		GIIIc	1.8	1.5	0.3	0.5	x		チャート
"	803		平端Vc	2.4	(1.8)	0.7	(1.3)	x		片側欠
"	804		HIIa	2.1	1.4	0.2	0.5	x		
"	805		HII-	(1.6)	1.5	0.3	(0.6)	x		先端欠
"	806		IImc	1.5	1.4	0.4	0.5	x		
"	807		EII-	(1.0)	1.9	0.4	(0.7)	x		先端欠
"	808		平端d	(1.2)	1.6	0.3	(0.4)	x		先端欠
"	809		HIIb	1.5	(1.0)	0.2	0.2	x		#
"	810		HII-	(1.0)	1.3	0.3	(0.3)	x		#
"	811		平端c	1.8	1.6	0.4	1.2	x		
"	812		円基b	2.4	2.1	0.5	2.2	x		チャート
"	813		平端Ia	1.8	1.6	0.4	0.9	x		断面欠
"	814		GIVb	(1.8)	1.3	0.3	(0.6)	x		基盤欠
"	815		-IIIa	(1.7)	1.4	0.3	(0.5)	x		
"	816		月端b	2.9	1.5	0.2	0.8	x		チャート
"	817		IIm-	(1.6)	1.7	0.5	(1.2)	x		先端欠
"	818		HIIa	1.4	(1.0)	0.2	(0.2)	x		片側欠
"	819		内端Vb	1.9	1.3	0.4	0.8	x		
"	820		IIm-	1.7	(1.0)	0.3	(0.3)	x		片側欠
"	821		HIIb	1.4	1.2	0.2	0.3	x		
"	822		円基b	1.8	1.6	0.3	0.7	x		
"	823		AIa	2.0	1.5	0.2	0.4	x		大西洋江
"	824		円基Ve	2.0	1.9	0.7	1.9	x		#
"	825		EIIb	1.6	1.3	0.3	0.3	x		
"	826		IIma	1.2	1.2	0.2	0.2	x		
"	827		IIm-	1.5	1.2	0.4	0.5	x		
"	828		EIIb	2.0	(1.0)	0.3	(0.5)	x		片側欠
"	829		IIma	1.4	(1.0)	0.2	(0.1)	x		#
"	830		CImb	1.9	(1.4)	0.3	(0.5)	x		#
"	831		GIIIb	1.5	1.2	0.3	0.3	x		
"	832		GIIIa	1.6	1.0	0.2	0.2	x		
"	833		BIIId	1.1	1.3	0.2	0.2	x		

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	目番号	備考	石 磨	2195	---	(1.12)	(1.0)	(0.3)	(0.2)	黒 墓 石	片側欠 片側欠 先端欠
石 磨	834	丸基盤-	(3.3)	0.8	0.4	(1.1)	チャート	先端欠			GIV-	2197	(1.4)	(1.0)	0.5	(0.6)	フ		
	835	I II-	1.6	1.3	0.3	0.3	黒 墓 石			GIV-	2198	(2.3)	1.5	0.4	(1.2)	フ			
	836	I IV-	(1.4)	1.4	0.3	(0.5)	#			GIV-	2199	2.5	1.6	0.4	1.2	フ			
	837	HIV-	1.8	1.5	0.3	0.4	#			GIV-	2200	2.2	(1.0)	0.5	(1.5)	フ	片側欠		
	838	G---	(0.9)	1.2	0.3	(0.3)	#			HIII-	2201	(2.2)	(1.0)	0.4	(0.7)	フ	片側欠		
	839	HIIb-	1.6	1.4	0.2	.3	#			HIII-	2202	(1.0)	1.7	0.2	(0.4)	フ	先端欠		
	840	GIVc	2.1	1.6	0.5	1.1	#			HIII-	2203	(1.3)	1.7	0.4	(0.6)	フ	#		
	841	EIVb	1.4	1.7	0.3	0.4	#			HIII-	2204	2.4	1.6	0.6	1.8	チャート			
	842	I IIb	1.2	1.3	0.3	0.3	チャート			GIII-	2205	1.4	1.0	0.2	0.3	黒 墓 石			
	843	GIII-	(1.1)	1.2	0.3	(0.3)	黒 墓 石			EIV-	2206	(1.5)	1.5	0.3	(0.6)	フ			
	844	CIVa	1.1	(1.1)	0.2	(0.1)	#			HIIb	2207	2.2	1.0	0.3	(0.6)	フ	片側欠		
	845	DIVb	1.3	1.4	0.2	0.2	#			-IIb	2208	(1.8)	(1.3)	0.2	(0.4)	フ			
	846	G II+	1.5	1.4	0.2	0.3	#			HIIb	2209	(1.0)	1.0	0.3	(0.5)	フ	片側欠		
	847	--b	(0.8)	(0.8)	0.2	(0.1)	#			HIIb	2210	2.6	2.0	0.3	1.5	フ	片側欠		
	848	--c	(0.8)	(1.0)	0.0	(0.2)	#			GIV-	2211	(1.9)	2.0	0.5	(1.3)	フ	先端欠		
	849	平底d	2.0	1.7	0.5	1.5	#			I IIb	2212	1.8	(1.3)	0.3	(0.5)	フ			
	850	F II+	1.5	(2.2)	0.3	(0.3)	#			円底c	2213	2.2	1.0	0.3	(0.6)	フ	片側欠		
	851	I IIc	1.8	1.4	0.3	0.7	#			-IIb	2214	1.8	1.2	0.3	0.5	フ			
	852	F IIIb	1.9	1.2	0.3	0.6	#			-Vc	2215	2.6	(2.0)	0.6	(2.0)	フ	片側欠		
	853	平底b	2.1	1.7	0.4	1.3	#			円底c	2216	2.1	1.8	0.5	1.4	フ			
	854	HIV-	1.6	1.4	0.2	0.4	#			円底b	2217	2.2	1.6	0.4	1.0	1.0	細胞灰岩質		
	855	HEI-	(1.7)	1.7	0.5	(1.0)	#			有茎c	2218	(3.1)	2.0	0.5	(2.5)	チャート	光面・次光面		
	856	I IIc	2.0	1.7	0.4	1.0	#			有茎c	2219	(2.0)	1.1	0.4	(1.0)	フ	光面・次光面		
	857	EIV-	1.6	1.4	0.2	0.4	#			-IIb	2220	5.6	3.3	0.9	16.5	フ			
	858	GIV-	1.7	1.7	0.5	1.0	#			A III-	2221	(1.4)	1.9	(0.3)	(0.7)	フ	先端欠		
	859	HIVb	2.2	1.5	0.4	1.0	#			HIII-	2222	5.6	3.3	0.9	16.5	フ			
	860	I Vc	2.5	1.5	0.7	2.5	チャート			A II+	2223	(4.0)	(1.3)	0.2	(0.3)	黒 墓 石			
	861	I Vc	1.6	1.5	0.4	0.7	黒 墓 石			D IIIb	2224	1.5	(1.0)	0.2	(0.2)	フ	片側欠		
	862	HIVd	2.0	1.5	0.6	1.4	#			HIV-	2225	(0.2)	1.4	0.3	0.4	フ	先端欠		
	863	平底b	2.5	1.9	0.8	3.5	#			I IIIb	2226	1.4	1.0	0.3	0.3	フ			
	864	HIIIc	1.8	1.4	0.3	0.5	#			HIIIc	2227	1.2	1.2	0.3	0.4	フ			
	865	GIV-	(1.6)	1.5	0.3	(0.5)	#			HIII-	2228	(1.4)	1.9	(0.3)	(0.7)	フ	先端欠		
	866	平底d	(1.7)	1.4	0.2	(0.5)	チャート			A III(b)+	2229	5.2	2.0	0.8	8.3	フ			
	867	HIIb	1.8	1.4	0.5	0.8	黒 墓 石			B II+	2230	3.2	4.7	0.7	12.5	チャート	刀削欠		
	868	--c	(1.6)	1.9	0.2	(0.1)	#			B II+	2231	2.4	1.8	0.5	1.8	黒 墓 石			
	869	円底d	2.2	1.8	0.7	2.4	#			A I+	2232	5.6	3.8	0.6	8.2	フ			
	870	--b	(1.7)	(0.8)	0.6	(0.9)	#			A I+	2233	2.3	2.0	0.4	1.2	細胞灰岩質	つまみ頭人		
	871	HIIb	2.3	1.7	0.5	1.3	#			A II+	2234	2.5	1.9	0.5	2.3	黒 墓 石			
	872	RIV-	(0.9)	1.4	0.3	(0.2)	#			A I+	2235	(2.0)	1.4	0.4	(0.9)	細胞灰岩質	先端欠		
	873	平底b	1.8	1.5	0.5	1.2	#			A II+	2236	2.9	1.1	0.7	1.6	黒 墓 石			
	874	IV-	(1.3)	1.8	0.3	0.7	#			A I+	2237	2.2	1.3	0.4	0.9	フ			
	875	GIVa	1.6	(1.3)	0.3	(0.3)	#			A I+	2238	2.1	1.8	0.5	1.2	細胞灰岩質			
	876	平底c	2.2	1.0	0.6	1.4	#			A I+	2239	2.9	1.5	0.7	2.1	黒 墓 石			
	877	HIV-	1.9	1.4	0.2	0.1	#			A I+	2240	2.7	1.3	0.4	0.8	フ			
	878	--	(2.1)	1.9	0.2	(0.1)	#			A I+	2241	(1.0)	1.9	0.7	(4.0)	フ			
	879	円底d	2.2	1.8	0.7	2.4	#			A I+	2242	2.3	1.5	0.5	3	フ			
	880	--b	(1.7)	(0.8)	0.6	(0.9)	#			A I+	2243	2.9	1.1	0.7	1.6	黒 墓 石			
	881	HIIb	2.3	1.7	0.5	1.3	#			A I+	2244	2.6	1.1	0.4	1.0	フ	先端欠		
	882	RIV-	(0.9)	1.4	0.3	(0.2)	#			A I+	2245	2.0	1.8	0.5	7	フ			
	883	平底b	1.8	1.5	0.5	1.2	#			A I+	2246	2.7	1.3	0.4	1.1	フ			
	884	IV-	(1.3)	1.8	0.3	0.7	#			A I+	2247	.6	1.6	0.4	1.1	フ			
	885	GIV-	1.6	(1.3)	0.3	(0.3)	#			B II+	2248	3.3	1.1	0.6	1.9	フ			
	886	平底c	2.2	1.7	0.3	0.6	#			B II+	2249	3.2	1.1	0.5	0.7	フ			
	887	DIVc	1.6	1.7	0.3	0.5	#			B II+	2250	2.2	2.5	0.6	2.1	フ			
	888	平底c	2.2	1.5	0.5	1.0	#			B II+	2251	(2.2)	(2.5)	0.8	(3.2)	フ	石孔か		
	889	HIVc	1.5	1.6	0.3	0.7	#			B II+	2252	2.4	2.7	0.2	1.4	フ			
	890	I III-	(1.6)	(1.4)	0.3	(0.7)	#			-I a	2253	1.6	2.5	0.5	2.4	チャート			
	891	GIII-	(1.8)	1.7	0.4	(0.8)	#			C I a	2254	3.1	1.8	0.4	2.2	黒 墓 石			
	892	I III-	1.9	(1.3)	0.3	(0.4)	チャート			B II+	2255	1.4	2.1	0.7	1.9	フ			
	893	HIIb	2.2	1.4	0.2	0.5	黒 墓 石			B II+	2256	(2.0)	(2.2)	0.7	(3.0)	チャート			
	894	HIV-	2.2	1.5	0.4	0.9	#			-I b	2257	(1.1)	(2.1)	0.7	(1.2)	黒 墓 石	細胞灰岩質		
	895	--	(1.2)	(1.0)	0.2	(0.2)	#			C I + C II +	2258	2.0	3.7	0.6	3.3	フ			
	896	CIVc	1.3	1.3	0.2	0.3	#			C I + C II +	2259	3.5	1.9	0.8	3.5	フ			
	897	DIV-	(1.4)	1.7	0.2	0.4	細胞灰岩質			C I a	2260	1.5	1.2	0.3	0.6	チャート			
	898	HII-	(1.8)	1.5	0.3	0.5	黒 墓 石			B II+	2261	1.7	1.1	0.2	0.4	黒 墓 石			
	899	HIIb	1.7	(1.4)	0.3	(0.4)	#			B II+	2262	2.2	2.7	1.0	4.2	チャート			
	900	HIV-	1.8	1.3	0.3	0.5	チャート			B II+	2263	2.4	2.2	0.5	2.3	フ			

器種	Na	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
スクリーパー	2227		B1a	2.4	1.8	0.5	2.0	チャート		
#	2228		B1d	2.9	2.3	1.0	9.3	砂岩		
打製石斧	1201			13.1	5.8	2.6	250	粘板岩	1076	
#	2088			11.6	(7.7)	2.6	(250)	砂岩		刃部欠
機械石頭	2097			4.8	7.5	1.0	40	硬砂岩		
#	2098			4.1	11.2	1.8	60	頁岩		
磨製石斧	1202	部分磨削		16.2	3.5	2.9	270	麻尾片岩	1103	表層品
#	1204			9.9	4.6	1.9	120	硬砂岩	1104	
#	1207			(5.7)	(4.8)	(0.9)	(50)	頁岩		複合
#	1208			(6.2)	(4.2)	(1.0)	(35)	砂岩		
#	2085			3.8	1.5	0.8	(10)	砂岩		刃部欠
印 石	1135	Ba b c		12.7	9.1	4.3	790	硬砂岩		
#	1142	B c		10.7	4.9	2.3	160	砂岩		
#	1205	B b c	(4.1)	(3.7)	(3.5)	(280)	砂岩			
#	1206	C a c		11.8	4.8	2.3	190	麻尾片岩		
#	1212	B a b c		12.9	10.5	2.6	600	麻尾片岩	1069	
#	1213	B a b c		11.5	8.2	4.6	590	砂岩	1096	
#	1215	B n	(8.0)	5.7	(2.9)	(210)	硬砂岩			
#	1217	C a c		11.4	5.9	3.7	390	砂岩		
#	1218	- a	(6.7)	(5.7)	(3.1)	(170)	砂岩			
#	1219	B a b		13.5	7.3	3.1	460	砂岩		
#	1220	A b c		11.8	10.6	4.1	760	砂岩	1089	
#	1224	A a b c		9.7	8.4	3.9	490	花崗岩		
#	1225	B a b c		12.7	7.5	3.1	320	砂岩		
#	1226	B a b		13.0	7.2	3.8	540	硬砂岩	1087	
#	1227	B a b c		11.4	7.3	2.5	330	砂岩	1081	
#	1231	B c		6.2	3.6	1.5	60	——	1107	
#	2090	B a b		14.5	6.5	3.3	500	硬砂岩		
#	2091	- a	(8.3)	(4.6)	(2.5)	(160)	砂岩			
#	2092	- b	(4.0)	(2.5)	(0.8)	(10)	砂岩		刃部欠	
#	2093	- b	(6.1)	(4.3)	(1.3)	(40)	砂岩			
#	2137	A a b c		9.6	9.1	5.0	580	砂岩		
挫削石刀	1203	a		12.0	4.2	2.6	190	麻尾片岩		
#	1223	a c		17.7	7.2	3.5	700	硬砂岩		
#	1228	a b c		(7.0)	(2.7)	(2.0)	(50)	頁岩		
#	1229	a b c	(5.7)	(2.0)	(0.9)	(20)	粘板岩			
#	1230	a b	(7.1)	2.7	2.3	(80)	麻尾片岩			
#	1231	a b	(9.2)	(3.6)	(2.2)	(120)	硬砂岩			
#	1232	a b c		13.3	2.6	2.2	140	粘板岩		
#	1233	a	(9.7)	(3.2)	(1.6)	(50)	硬砂岩			
#	1234	a b		9.4	4.3	2.2	180	麻尾片岩	1096	
#	1235	a b	(7.3)	2.3	(1.6)	(50)	粘板岩			
#	1237	a		7.9	2.7	1.1	40	硬砂岩		
#	1238	a c		8.6	3.2	2.2	190	砂岩	1097	
#	1239	a b		13.3	3.9	2.6	180	砂岩	1098	
#	1252	a		13.0	3.5	2.6	210	砂岩		
#	2053	a		8.4	3.9	2.4	110	砂岩		
#	2094	a		7.9	2.1	2.6	30	麻尾片岩		
#	2095	a b	(5.4)	(2.2)	(0.8)	(20)	麻尾片岩			
#	2096	a b	(2.9)	(3.1)	(1.4)	(10)	砂岩			

## 第5次調査

(1) 53号住居址上層

器種	Na	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 鋸	483	A'-1 I	平基V c	2.3	1.6	0.6	2.0	黑 磨 石	2	
#	24	A'-1 I	円錐V e	1.7	1.5	0.4	1.0	砂岩	1	刃部欠
#	844	A'-1 II	HIII a	1.4	(1.1)	0.3	(0.2)	砂岩	7	刃部欠
#	862	A'-1 II	-- c	(1.3)	(1.5)	(0.2)	(0.3)	砂岩	8	刃部欠
#	1390	A'-1 II	GIV b	1.9	1.1	0.3	0.5	砂岩	9	
#	1395	A'-1 II	DII b	2.0	(1.2)	0.2	(0.3)	砂岩	5	刃部欠
#	77	A'-1 II	平基IV c	1.6	1.2	0.3	0.6	砂岩	8	
#	99	A'-1 II	GII a	2.1	(1.1)	0.3	(0.5)	チャート	4	刃部欠
#	153	A'-1 II	--	(1.3)	(0.9)	(0.3)	(1.2)	黑 磨 石	17	刃部欠
#	175	A'-1 II	平面基	(1.3)	1.4	0.4	(0.7)	砂岩	18	刃部欠
#	292	A'-1 II	--	(1.5)	(1.1)	(0.2)	(0.3)	砂岩	19	刃部欠
#	256	A'-1 II	平基V d	2.3	1.8	0.3	1.2	砂岩	20	
#	301	A'-1 II	円錐V c	2.8	2.2	0.8	4.5	砂岩	21	
#	387	A'-1 II	H --	(1.6)	1.8	0.4	(1.1)	砂岩	22	刃部欠
#	933	A'-1 III	円錐 --	(2.1)	1.8	0.3	(1.2)	砂岩	23	
#	936	A'-1 III	円錐IV c	1.3	1.0	0.3	0.4	砂岩	24	
#	1146	A'-1 III	GII a	2.2	1.3	0.3	0.6	砂岩	25	刃部欠
#	1173	A'-1 III	円錐IV d	1.9	1.8	0.4	1.3	砂岩	26	
#	1211	A'-1 III	HIII a	1.8	(1.1)	0.2	(0.3)	砂岩	27	刃部欠
#	588	A'-1 III	GIV b	2.5	(0.6)	0.4	(1.2)	砂岩	28	
#	594	A'-1 III	--	(0.8)	(0.9)	(0.2)	(0.1)	砂岩	29	
#	671	A'-1 III	-- c	(1.6)	(1.5)	(0.3)	(0.6)	砂岩	30	刃部欠
#	679	A'-1 III	AWb	0.8	1.3	0.2	0.1	砂岩	31	刃部欠
#	691	A'-1 III	1Ie	1.5	1.3	0.3	0.5	砂岩	32	刃部欠
#	1996	A'-1	円錐V b	3.1	2.2	0.9	4.4	砂岩	33	
石 斧		A 1 - 1 I	B II a	2.3	4.4	0.8	6.5	チャート	3	
#	926	A 1 - 1 II	A II c	4.6	2.9	0.9	11.1	黑 磨 石	35	
#	1481	A 1 - 1 III	C II b	5.0	3.3	0.9	8.9	チャート	36	
#	633	A 1 - 1 III	C II b	5.0	4.3	0.5	6.4	螺旋縫合岩	21	
石 斧	1145	A 1 - 1 II	A II	1.7	1.4	0.4	0.8	黑 磨 石	37	
#	659	A 1 - 1 III	A I	2.5	1.9	0.7	2.4	砂岩	38	
#	1569	A 1 - 1	A I	2.9	2.1	1.0	4.6	砂岩	40	
スクリーパー	1058	A 1 - 1 II	B II a	(1.9)	1.6	0.3	(0.9)	砂岩	41	刃部欠
#	79	A 1 - 1 II	D II a	1.2	1.4	0.3	0.5	砂岩	42	
#	94	A 1 - 1 II	-- II	2.7	1.4	0.3	1.0	砂岩	43	
#	210	A 1 - 1 II	-- I a	(0.7)	(1.0)	0.2	0.3	砂岩	44	刃部欠
#	361	A 1 - 1 II	B II a	1.8	2.0	0.3	0.8	砂岩	45	
#	1015	A 1 - 1 III	C I a	1.1	1.8	0.3	0.5	砂岩	46	
#	1045	A 1 - 1 III	B II a	4.3	2.1	0.8	6.3	砂岩	47	
#	670	A 1 - 1 III	(B1+C1)a	1.4	1.8	0.5	1.4	砂岩	48	
#	712	A 1 - 1 III	D II a	(3.0)	(1.2)	0.7	(3.5)	砂岩	49	刃部欠
#	716	A 1 - 1 III	C I a	2.0	2.0	0.9	2.6	砂岩	50	
#	1955	A 1 - 1	C I a	1.9	1.1	0.8	1.3	砂岩	51	
#	1581	A 1 - 1	B II a	1.4	2.0	0.4	1.0	砂岩	52	
#	1597	A 1 - 1	B I a	1.0	1.4	0.3	0.3	砂岩	53	
打製石斧	35	A 1 - II	All b	10.7	5.1	1.7	120	麻尾片岩	54	
削製石器	475	A 1 - II	--	7.7	8.8	1.4	120	硬砂岩	55	
磨製石斧	219	A 1 - II	--	(3.1)	(3.4)	(1.3)	(20)	麻尾片岩	56	刃部欠
印 石	835	A 1 - 1	B c	9.7	7.4	3.4	400	頁岩	57	
#	838	A 1 - 1	B c	(6.8)	(7.5)	2.1	(170)	麻尾片岩	58	
#	866	A 1 - 1 II	B a b c	12.6	8.5	4.5	710	頁岩	59	
#	1530	A 1 - 1 II	B c	15.5	8.5	4.5	1060	麻尾片岩	60	
#	437	A 1 - II	B b	(8.0)	(8.3)	(3.5)	(260)	硬砂岩	61	
#	696	A 1 - III	B a b c	15.3	8.7	4.1	820	砂岩	62	
#	721	A 1 - III	B a c	11.7	6.1	2.6	290	砂岩	63	
#	1627	サブツレ	B a b c	14.4	8.4	4.9	840	砂岩	64	
磨製石斧	208	A 1 - II	a b	9.0	2.5	1.6	50	頁岩	65	
#	1065	A 1 - III	a c	5.4	2.3	1.7	40	頁岩	66	

## (2) 53号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	因番号	備考
石 磨	745	埋 土	平基III-	(1.5)	1.7	0.3	(0.8)	チャート	30	先端欠 片側斜
	755	#	-II-	(1.7)	(0.9)	(0.3)	(0.4)	#		
	763	#	GIV-	(2.0)	(1.5)	0.3	(0.6)	黒 磨 石	27	片側斜 角端欠
	916	#	円基IVc	2.0	1.4	0.2	0.6	#	32	
	928	#	HIVb	1.8	1.4	0.3	0.5	#	39	
	1259	#	G--	(1.8)	(1.9)	0.4	(1.1)	#	28	先端欠 基端欠
	1276	#	--c	(1.2)	(1.0)	(0.2)	(0.2)	#		
	1288	#	平基IVc	2.0	1.3	0.4	0.9	#		
	1295	#	--b	(1.9)	(1.1)	0.2	0.3	#	26	兩端欠 先端欠
	1311	床 面	GV-	(2.0)	1.8	(0.6)	(1.3)	#	26	片側斜
	1313	埋 土	GIVb	2.0	(0.3)	0.3	(0.4)	#		
	1440	床 面	円基IVb	2.0	2.0	0.6	4.1	チャート	31	
石 磨	1267	埋 土	AVb	4.5	3.0	0.6	7.4	#	33	
石 磨	1437	ビット面	AI	3.6	1.8	0.7	3.7	黒 磨 石	34	
打製石器	1307	内	---	2.0	1.4	0.5	1.4	#	35	
スクリーパー	742	埋 土	C1#	5.4	5.5	1.1	30.0	チャート	36	
	755	#	(DI+D1)2	4.0	2.1	0.9	5.3	黒 磨 石		
	767	#	B1#	2.1	1.0	0.5	0.8	#		
	776	#	B1#	1.9	1.4	0.4	0.9	#		
	776	床 直上	D1#	5.5	2.2	0.8	7.4	#	37	
	912	埋 土	C1#	1.8	1.7	0.3	0.8	#		
	1249	#	B1#	1.1	1.9	0.4	0.7	#		
	1312	#	B1#	2.3	2.3	0.8	4.2	#	38	
石 盆	737	#		(5.7)	(9.7)	5.4	3550	砂 岩	91	

## (3) 55号住居址上層

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	因番号	備考
石 磨	405	B-3 I	I II d	1.4	1.4	0.3	0.4	黒 磨 石	41	
	520	A-3 II	I IVb	1.6	1.2	0.2	0.4	#	43	
	545	A-3 II	III-	(1.2)	1.4	0.3	(0.4)	#		
	484	B-3 II	IIIb	1.8	1.3	0.3	0.4	#	42	
	515	A-2 Ⅲ	EVd	1.3	1.3	0.3	0.4	#	46	
	902	A-3 III	HIU	(1.6)	1.6	0.4	(1.0)	#	47	先端欠
	903	A-3 III	---	2.2	1.6	0.5	1.6	#	48	
	1608	A-3	GRb	1.9	1.5	0.4	0.5	#	49	
	1677	#	-IVb	(2.1)	(1.6)	(0.4)	(0.7)	#		片側欠
	1678	#	IIIa	1.9	(1.1)	0.2	(0.3)	#		片側欠
石 盆	345	A-3 II	A I	2.2	0.9	0.7	0.9	#		
	803	A-3 II	A I	(2.2)	1.7	0.8	(1.4)	#	44	先端欠
打製石器	1623	A 3	---	2.7	2.0	0.5	2.3	#	50	
スクリーパー	402	B-3 I	-I #	1.9	2.2	0.7	2.1	#		
	793	A-3 II	D1#	4.0	4.1	1.2	14.2	#	45	
	644	B-3 II	HIU	1.5	1.6	0.3	0.7	#		
	897	A-3 III	B1#	2.2	1.4	0.3	1.3	#		
印 石	720	A-3 II	-b	(6.0)	(5.1)	(1.5)	(60)	砂 岩		

## (4) 55号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	因番号	備考
石 磨	1078	埋 土	円基Vc	2.4	1.4	0.4	1.1	黒 磨 石	53	
	1158	#	IIId	(1.6)	2.0	(0.3)	(1.1)	#		先端欠
	1483	床 面	I IVe	2.0	1.9	2.5	0.7	#	51	片側斜
	1677	#	-IVb	(2.1)	(1.6)	(0.4)	(0.7)	#		片側欠
	1678	#	IIIa	1.9	(1.1)	0.3	(0.3)	#	32	
	1807	#	---	(0.6)	(0.8)	(0.2)	(0.1)	#		片側斜
石 盆	950	埋 土	B II b	2.4	3.7	0.7	4.0	#	54	
	1043	#	---	(1.7)	(2.4)	(0.7)	(3.3)	チャート	55	つまみ残
石 盆	1155	#	A I	2.2	1.3	0.4	1.0	黒 磨 石	58	
	1164	#	A I	2.6	2.1	0.9	4.5	#	57	
	1816	#	A I	2.3	2.3	0.7	3.5	#	56	
スクリーパー	947	埋 土	C1#	1.5	2.6	0.6	1.9	#	60	
	1071	#	B1#	4.8	2.3	1.8	8.2	#		

スクリーパー	1073	理 土	D II a	2.1	1.0	0.4	0.6	基 磨 石		
	1088	#	CH a	2.2	1.5	0.8	3.1	#	59	
	1154	#	CH a	1.2	2.0	0.3	0.6	#	62	
	1176	#	B1#	1.6	2.2	0.5	1.2	#		
	1254	#	C1#	1.4	3.3	0.9	2.8	#	61	
	1195	原直上	D II a	1.7	2.8	0.6	2.9	#		
	1712	#	(B1+B1)a	1.7	1.7	0.3	1.0	#		
	1815	#	D1#	2.9	2.3	0.4	2.2	#	63	
圓刃石器	1175	理 土		7.3	5.3	2.5	30	基 磨 石		
	1029	#	B B c	10.9	8.7	3.4	450	#	93	周端敲打

## (5) 56号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	因番号	備考
石 磨	1532	埋 土	平基I-	(1.6)	(1.4)	(0.3)	(0.7)	黒 磨 石		
	1765	#	All#	1.8	0.9	0.5	0.7	#		先端欠

## (6) 1号土壤

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	因番号	備考
石 磨	1523	III	B II c	2.9	2.0	0.5	2.3	チャート	64	抉入1対

## (7) グリッド

石 磨	66	C-1	円基IIIa	3.1	1.5	0.4	1.5	黒 磨 石	71		
	67	B-1	円基IVc	2.6	2.6	0.5	2.7	#			
	117	C-1	IIIa	2.0	(1.5)	0.3	(0.5)	#	66	片側欠 片側斜	
	145	B-1	---	(1.1)	(1.0)	(0.9)	(0.3)	#	65	片側欠 片側斜	
	164	D-1	四面I	(1.2)	(1.4)	(0.3)	(0.4)	チャート			
	262	A-2	円基IVb	1.9	1.4	0.6	1.4	黒 磨 石	72		
	263	A-2	平面IIIc	1.9	1.3	0.3	0.7	#	73		
	287	C-1	平面IVc	1.8	1.5	0.3	0.8	#			
	289	C-1	---	(1.0)	(1.4)	(0.4)	(0.5)	#		片側欠	
	324	B-2	IIIa	1.6	1.3	0.2	0.3	#	68		
	359	A-2	IIIb	1.4	1.4	0.2	0.4	#	67	先端欠	
	417	B-5	IIIb	1.9	(1.2)	0.4	(0.5)	#		片側欠	
	433	A-1	円基IIIa	1.8	2.0	0.5	1.8	#		網目網目	
	457	A-2	四面I	(1.2)	(0.7)	(0.3)	(0.2)	#		片側斜	
	479	A-2	IV-	(1.7)	1.5	0.3	(0.5)	#		先端欠	
	570	B-1	平面IIIa	1.4	1.3	0.3	0.4	#	70	網目網目	
	571	B-1	IIIb	1.8	1.1	0.4	0.4	#	67		
	575	B-1	円基IIIa	1.2	1.1	0.2	0.2	#			
	617	C-1	平面IIId	4.3	1.9	0.8	5.8	チャート	74	網目網目	
	647	B-3	IVc	2.2	1.4	0.3	1.1	#			
	1365	C-2	平面IIIa	2.2	(1.0)	0.3	(0.6)	#	69	片側欠	
	1449	B-3	平面IVd	2.9	2.3	1.1	5.6	黒 磨 石			
	1455	B-3	-b	(1.1)	(0.8)	(0.3)	(0.2)	チャート		高面欠	
	1638	B-1	GH#	2.3	(2.1)	0.3	(0.5)	黒 磨 石	65	片側欠	
	1639	B-2	GH#	(1.8)	1.5	0.4	(1.1)	#		先端欠	
	1648	B-3	IIIb	1.2	1.5	0.3	0.4	#		網目網目	
	1649	B-3	円基IIIb	2.3	1.8	0.4	1.4	#			
	1651	B-3	平面IVc	2.1	1.5	0.2	0.8	#			
	1736	A-2	円基IVd	2.5	1.9	0.8	3.1	#			
	1794	A-2	---	(2.3)	(2.7)	(0.7)	(4.5)	チャート		刃端斜	
	819	H-1	IIIb#	3.1	4.3	0.6	5.5	チャート	75		
	石 磨	21	C-1	A II	3.1	1.9	0.7	2.5	黒 磨 石	77	
	325	A-2	A I	2.2	1.8	0.3	1.2	#			
	607	C-1	A I	(2.5)	2.1	0.8	(2.4)	#	76	先端欠	
	1737	A-2	A II	2.2	2.4	0.4	1.9	#			
	1528	C-2	---	2.7	1.9	0.5	2.0	#	78		
	スクリーパー	30	B1	2.6	1.8	0.8	2.6	#			
	68	B-1	B II	1.4	1.4	0.4	0.8	#			
	118	C-1	(DII+DII)	3.1	1.6	0.7	3.1	#			

石	151	D-I-a	1.6	1.3	0.3	0.6	黑 磨 石		
#	242	A-2	(D-I+D-II)a	(1.5)	(1.6)	0.3	(0.6)	#	
#	325	A-2	(BII+CII)a	4.3	3.2	1.1	11.1	#	
#	361	A-1	B I-a	1.8	2.0	0.3	0.8	#	
#	448	B-1	C II-a	2.0	1.8	0.7	1.9	#	
#	498	A-4	BII-a	2.0	2.3	0.7	1.7	#	
#	563	A-2	BII-a	3.1	4.8	0.4	6.8	礫狀灰岩	
#	604	A-2	(BII+BII)a	2.4	2.5	0.5	2.8	チャート	
#	611	C-1	B I-a	2.1	2.4	0.5	1.8	黑 磨 石	
#	629	A-2	C I-a	2.2	2.2	0.4	1.3	#	
#	753	A-3	D I-a	4.0	4.1	1.2	14.2	#	
#	758	A-3	BII-	0.9	1.9	0.5	0.9	#	
#	1319	C-1	C II-a	1.1	1.9	0.5	0.9	#	
#	1660	B-3	D II-a	1.9	1.6	0.7	1.7	#	
#	1738	A-2	B I-a	1.4	1.8	0.5	1.0	#	
#	1762		(CII+BII)a	2.4	1.5	0.5	1.5	#	
#	1795		B I-a	2.3	1.9	0.4	1.6	#	
打製石片	T-C-1	B-b	(9.0)	4.9	2.0	100	硬 砂 石	面剥欠	
#	495	A-4	A-a	(9.0)	7.4	1.5	14.0	#	
圓形刮削器	241-A-2		7.3	10.9	1.6	17.0	砂 石	94 #	
#	825	R-1		4.8	7.1	1.1	50	砾石片 削	
磨製石片	69-C-1		(19.3)	(3.9)	(2.0)	110	黄 砂 石	破損後も 使用か 知れず	
#	1775			(3.3)	(2.0)	(0.6)	(4.1)	砾石片 研	
即 石	165-B-1	B b c	(19.7)	(5.4)	(3.0)	140	砾 砂 石	面剥欠	
#	272	B-2	-c	(3.7)	(4.7)	(1.3)	(3.0)	#	
#	487	A-2	-c	(5.3)	(5.2)	(2.6)	(100)	#	
#	517	A-4	-c	(11.0)	(4.7)	(4.9)	(340)	#	
#	602	C-1	-a	(11.8)	(4.5)	(2.6)	(260)	#	
#	603	B-1	B a	14.1	7.4	5.0	72	砂 研 研	
#	882	A-3	B c	9.5	6.2	1.6	165	硬 砂 研	
#	887	A-2	A a	10.0	3.5	3.0	150	#	
#	1519	B-3	-c	(8.7)	(9.8)	(3.5)	(260)	#	
#	1825	B c	11.5	9.1	4.7	880	黑 研 研		
砾 研	454-A-4		8.1	7.7	1.8	160	硬 砂 研	96	
砾	379	A'-1		(2.1)	(2.1)	(0.3)	(1)	粘 地 板	面剥欠

### 第6次調査(役場廬舎予定地)

#### (1) 57号住居址

器種	番号	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考	
石 鋸	188		円盤Vc	2.6	2.1	0.5	1.1	黑 磨 石	8		
#	329		円盤d	1.7	1.6	0.4	0.9	#	9		
#	630		円盤V-	(1.7)	1.6	0.3	(0.9)	#	9	先端欠	
#	634		円盤e	1.7	1.8	0.4	1.0	#	7	刃端欠	
#	734		HIVc	1.3	(1.0)	0.2	(0.2)	#	3	片剥欠	
#	1222		平盤III-	(1.7)	1.7	0.3	(1.0)	チャート	10	先端欠	
#	1233		GIIIb	2.6	(1.7)	0.4	1.2	黑 磨 石	4		
#	1296		GIII	2.4	1.8	0.5	1.1	チャート	1		
石 斧	288		C II-b	(3.0)	(3.0)	(3.5)	35	礫狀灰岩	10	刃端欠	
#	1071		B II-a	3.7	3.6	0.6	7.0	チャート	11		
石 鋸	781		A II	2.5	1.3	0.3	0.8	黑 磨 石	12		
打製石片	473		2.6	1.7	0.5	1.7	#	13			
スクリュー	470		(C I+D II)a	2.6	2.3	0.3	2.3	#	2	面剥欠	
#	1006		-I a	(2.1)	(1.9)	(0.5)	(1.5)	#			
#	1105		B I-a	3.6	4.2	1.2	18.4	チャート	16		
#	1113		D I-a	5.4	2.4	0.9	19.3	黑 磨 石	15		
#	1185		B I-a	5.3	1.9	0.7	5.4	#	14		
即 石	616		C a c	9.8	4.8	2.7	170	砂 研 研	26		
#	921		B a c	8.2	5.9	2.9	(2.5)	150	硬 砠 研	24	
#	1279		B a	11.5	7.7	2.8	380	#	23		
#	1301		B a b c	12.4	9.3	4.0	690	#	22		
#	1313		B a c	12.6	6.2	3.5	490	#			
#	1386		B a	10.3	6.6	2.2	340	砂 研 研	25		

### (2) グリッド

器種	番号	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 鋸	74	X-23	有茎円盤Vb	2.6	(1.7)	0.4	(1.2)	黒 磨 石	18	片剥欠
#	1382	F-25	円盤IV-	(2.7)	2.3	1.1	(5.2)	#	17	先端欠
石 鋸	47	V-21	A II	2.7	1.4	0.5	1.2	#	19	
#	72	X-23	A II	2.5	1.2	0.6	1.5	#	20	
スクリュー	1324	T-27	B II-a	5.0	4.4	1.5	29.6	#	21	
打製石片	111	V-29	A IIc	9.0	4.3	1.6	80	砂 研 研	28	
#	1622	W-27	A-c	(7.7)	4.3	1.6	70	#	27	基部欠
#	1626	W-27	A--	(7.3)	(4.8)	1.3	(60)	#	29	刃端欠
#	1341	X-19	A I-	(0.9)	(7.5)	3.1	(480)	#		
#	1374	X-19	A IIb	16.8	5.0	1.7	130	#		
即 石	1373	Z-19	B a c	10.6	5.2	2.5	220	#	30	
礫石切石	27	V-27	a b	10.8	3.5	2.3	120	黄 砂 研	32	
#	86	U-27	a b	12.8	(2.5)	(1.4)	(70)	#	33	
#	1312	3号マウンド	a b	7.7	2.1	1.8	46	#	31	

### 第6次調査(第3地区)

器種	出土土地点・層位	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 鋸	C-2 - III	平盤Vc	2.2	1.9	0.6	2.6	黒 磨 石	4	
#	C-2 - IV	GVb	2.1	1.4	0.3	0.7	チャート		
#	D-7 - II 下	円盤-	(2.2)	1.9	0.9	(3.0)	黒 磨 石		先端欠
#	I-8 - II	G II-	(1.7)	1.3	0.3	(0.6)	チャート	3	#
#	J-1 - II	HB II	1.8	1.5	0.3	0.6	#	9	
#	J-1 - III	GBc	1.6	1.4	0.3	0.5	黒 磨 石	5	
#	J-3 - III	平盤V e	1.8	1.4	0.6	1.5	#	10	
#	J-3 - V	平盤V d	2.1	2.1	1.0	3.7	#	6	
#	J-7 - I	円盤Vc	2.1	1.9	0.6	2.1	#	12	
#	K-2 - II	平盤Vb	2.1	1.3	0.6	1.5	#		
#	K-2 - III	円盤Vc	2.3	2.1	0.7	3.1	#	11	
#	K-4 - III	--c	(1.5)	(0.7)	(0.4)	(0.9)	黒 磨 石	7	基部欠
#	K-5 - III	有茎GIV-	(2.5)	1.8	0.4	(1.3)	チャート	13	先端欠
#	K-6 - III	G Ic	1.8	1.5	0.8	1.6	黒 磨 石	7	
#	K-8 - III	円盤VC	2.5	2.0	0.7	2.9	チャート		
#	4号鐵錐	EIIc	1.3	1.6	0.3	0.3	黒 磨 石	1	
#	G IIb	3.1	(1.8)	(0.4)	(1.7)	0.1	チャート		片剥欠
#	不 明	F IIb	1.7	1.2	0.3	0.3	黒 磨 研	5	2
スクリュー	B-2~4	D II-	1.9	1.9	0.7	2.6	#		
#	C-2 - III	Ch a	1.6	1.5	0.8	1.9	#		
#	C-2 - III	D I a	1.3	2.5	0.6	1.7	#		
#	C-4 - I	C I a	1.1	2.3	0.3	0.9	チャート		
#	C-4 - I	B IIa	1.8	1.5	0.4	1.0	黒 磨 研		
#	C-4 - I	B IIa	2.4	2.1	0.5	1.9	#		
#	C-4 - III	A IIa	2.3	2.5	1.1	3.0	#		
#	E-6 - II	B IIb	1.8	2.2	0.8	3.0	#		
#	I-5 - II	D I a	3.2	2.1	0.3	1.5	#		
#	I-8 - IV	--	1.7	3.7	1.0	5.9	#		
#	J-8 - III	A IIa	1.8	2.2	0.6	2.2	#		
#	R-4 - III	C I a	2.4	4.4	0.2	10.3	チャート		
#	K-8 - III	B IIa	1.4	1.5	0.5	1.2	黒 磨 研		
#	1号鐵錐	D IIa	1.7	2.7	0.5	2.7	チャート		
#	I-5 - III	C IIa	3.4	1.4	0.7	3.0	黒 磨 研		
#	I-6 - III下	C IIa	1.4	0.9	0.7	1.3	チャート		
#	I-7 - III下	---	3.1	1.7	0.7	5.2	黒 砠 研		
打製石片	B-2~4	--b	(8.1)	(8.9)	(2.5)	(180)	#		基部欠
#	B-2~4	C I-	(11.1)	(9.7)	4.7	(650)	礫石片 削		刃端欠
#	B-3 - III上	C I b	17.4	12.1	4.1	104	硬 砠 研	22	
#	B-3 - III上	C-c	(9.9)	(7.0)	(2.7)	(270)	#		
#	B-3 - III上	C II b	12.9	8.5	4.6	650	#		
#	B-3 - III	A--	(8.7)	(6.2)	(1.0)	(140)	#		
#	B-3 - III	Am b	7.6	5.6	2.4	130	#		
#	B-3 - III	A I-	(13.7)	(8.0)	(3.0)	(470)	礫石片 削		
#	C-4 - III	B--	(8.3)	5.6	(2.4)	(180)	礫石片 削		
#	C-4 - III	---	(16.1)	(4.2)	(2.2)	(100)	硬 砠 研		
#	C-4 - III	A-c	(10.7)	6.8	2.5	(220)	#		

石種	出土地點・層位	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	番号	備考
打削石斧	G-5 IV上	A--	(18.3)	3.7	1.2	(80)	麻栗坡 虎頭村		刃部欠
#	G-5	BIIIb	9.7	4.8	1.7	110	麻栗坡村		
#	G-6 III	--	(5.6)	4.1	1.0	(15)	麻栗坡 虎頭村		刃部欠
#	G-8 III下	B--	(9.5)	4.1	1.5	(10)	麻栗坡 虎頭村	19	
#	G-8 III下	--	(5.8)	4.0	1.7	(40)	麻栗坡 虎頭村		
#	H-5 III	BIIIb	(4.8)	3.0	0.7	(22)	麻栗坡 虎頭村		
#	H-5 III	B-c	(19.6)	5.0	1.5	(196)	麻栗坡虎頭 村		
#	H-6 III下	--	(3.2)	5.3	1.9	(30)	麻栗坡 虎頭村		
#	H-6 III下	C--	(7.1)	5.6	1.2	(70)	麻栗坡 虎頭村		
#	H-6 III	CHC	8.9	4.7	1.7	82	麻栗坡 虎頭村	21	
#	H-8 III	AIIb	11.2	5.2	1.7	110	麻栗坡 虎頭村		
#	I-4 III	--	(4.0)	4.2	1.5	(35)	麻栗坡 虎頭村		基盤欠
#	I-4 III	AI b	13.9	6.6	3.6	320	麻栗坡 虎頭村	15	
#	I-5 III	C I	(12.8)	6.6	2.6	(30)	麻栗坡 虎頭村	24	刃部欠
#	I-5 III	--	(5.0)	5.4	1.8	(70)	麻栗坡 虎頭村		基盤欠
#	I-5 III-IV	--	(5.3)	3.9	1.8	(70)	麻栗坡村		刃部欠
#	I-7 III	--	(5.3)	4.7	2.9	(100)	麻栗坡 虎頭村		刃部欠
#	I-7 III	--	(5.3)	5.7	1.3	(50)	麻栗坡 虎頭村		
#	I-7 III	--	(6.9)	3.1	1.8	(30)	麻栗坡 虎頭村		
#	I-7 III	--	(7.3)	3.7	1.3	(50)	麻栗坡 虎頭村		
#	I-7 IV	--	(5.5)	4.2	1.1	(30)	麻栗坡 虎頭村		
#	I-8 III-IV	--	(9.6)	5.9	2.0	240	麻栗坡 虎頭村		基盤欠
#	I-8 IV	--	(5.4)	4.7	1.2	(40)	麻栗坡村		基盤欠
#	I-8 IV	C--	(7.9)	8.8	2.2	220	麻栗坡 虎頭村		刃部欠
#	J-1 III	AIIb	7.7	3.6	1.4	50	麻栗坡 虎頭村		
#	J-3 III	BIIb	11.1	3.9	1.6	80	麻栗坡 虎頭村	18	
#	J-5 III	--	(6.1)	4.5	1.0	(40)	麻栗坡 虎頭村		刃部・基盤 欠
#	J-6 III	C I c	(8.8)	10.2	2.2	290	麻栗坡 虎頭村		基盤欠
#	K-2 III	AIIb	9.4	4.0	1.9	150	麻栗坡 虎頭村	16	
#	K-4 III	A--	(5.4)	3.0	1.5	(40)	麻栗坡 虎頭村		刃部欠
#	K-5 III	A- b	(9.7)	5.7	1.2	(100)	麻栗坡 虎頭村		基盤欠
#	K-6 III	--	(5.0)	4.3	1.8	(70)	麻栗坡 虎頭村		
#	K-6 III	A--	(6.3)	4.6	1.3	(50)	麻栗坡 虎頭村		
#	K-7 III下	--	(5.6)	3.7	1.6	(40)	麻栗坡 虎頭村		刃部欠
#	K-8 III	AIIC	8.5	4.2	1.4	80	麻栗坡村	17	
#	K-8 III	--	(5.9)	4.2	1.1	(60)	麻栗坡 虎頭村		
#	K-8 III	BIIIc	9.7	3.8	1.2	70	麻栗坡 虎頭村		
#	7号遺跡 配石圓	--	11.5	6.2	3.7	330	麻栗坡 虎頭村		鐵鋸
#	7号遺跡 北	--	(4.6)	3.8	1.2	(30)	麻栗坡 虎頭村		刃部・基盤 欠
#	14号遺跡	--	(5.1)	5.0	1.2	(40)	麻栗坡 虎頭村		刃部欠
#	16号遺跡	--	(5.8)	4.6	1.2	(40)	麻栗坡村		基盤欠
#	P <sub>2</sub>	A I b	16.7	5.5	2.0	230	麻栗坡 虎頭村	14	
#	P <sub>2a</sub>	--	(5.6)	7.2	1.3	(100)	麻栗坡 虎頭村		基盤欠
#	不 明 表揚	C--	(9.4)	8.7	2.4	(210)	麻栗坡 虎頭村		刃部欠
#	#	B I b	13.8	5.3	1.8	140	麻栗坡 虎頭村	20	
#	#	C--	(10.0)	7.3	2.5	(220)	麻栗坡 虎頭村		刃部欠
#	#	CHC	8.3	4.2	1.7	80	麻栗坡 虎頭村		
#	#	--	(5.6)	3.5	1.3	(50)	麻栗坡村		刃部・基盤 欠
#	#	III下	(7.7)	2.0	1.1	(80)	麻栗坡村		刃部欠
粗打削石斧	G-5 IV上	B--	6.2	6.1	1.2	50	麻栗坡 虎頭村	26	
#	H-5 III	B I a	7.6	6.3	1.8	80	麻栗坡 虎頭村		
#	K-4 III下	Alla	12.5	5.7	2.7	170	麻栗坡 虎頭村	25	
打削石斧	B-2 III	--	11.4	14.8	3.4	70	麻栗坡 虎頭村	27	
#	B-3 III	--	8.3	5.5	2.2	(120)	麻栗坡 虎頭村		
#	B-3 III	--	10.1	10.7	2.8	430	麻栗坡 虎頭村		
#	B C-C 2 III下	--	7.9	8.8	2.4	260	麻栗坡 虎頭村		
#	C-2 IV	--	6.1	17.4	1.9	(100)	麻栗坡 虎頭村		
#	C-4 IV	--	7.5	11.3	2.4	200	麻栗坡 虎頭村		
#	C-4 IV	--	5.7	7.2	1.5	70	麻栗坡 虎頭村		
#	C-4 IV	--	3.1	5.8	1.0	20	麻栗坡村		
#	D-7 III下	--	5.4	8.0	1.4	90	麻栗坡 虎頭村	30	
#	G-5 III	--	5.8	7.2	1.6	50	麻栗坡 虎頭村		
#	H-5 III	--	5.2	(9.6)	1.8	(100)	麻栗坡 虎頭村	31	
#	H-5 IV上	--	5.0	9.1	1.5	70	麻栗坡 虎頭村		
#	H-6 III下	--	(5.0)	5.3	1.9	(50)	麻栗坡 虎頭村		
#	I-5 III	--	5.5	10.4	2.2	150	麻栗坡 虎頭村		
#	I-7 III	--	7.1	9.3	1.5	100	麻栗坡 虎頭村		

黑叶石墨	J-3	III	6.2	10.1	1.5	100	硬	砂	岩	
#	J-5	III	7.6	8.0	2.0	180	脆	粉	石	
#	J-7	IV	4.9	(6.1)	1.2	(40)	硬	砂	岩	
#	K-2	IV上	1.6	4.7	0.5	10	质	粉	石	
#	K-5	III	6.0	8.0	1.5	80	硬	砂	岩	
#	K-7		4.5	6.5	1.2	40	#			
#	K-8	III~IV	7.2	16.2	2.1	250	脆	粉	石	
#	9号透镜	砾石下	(2.6)	(3.4)	(0.9)	(10)				
#	13号透镜		(5.9)	(8.7)	(1.9)	(100)	硬	砂	岩	
#	15号透镜		5.0	(7.4)	1.0	50	#			
#	21号透镜	土壤内	3.8	9.2	0.9	30	#		32	
#	不 明	要得	7.1	7.0	2.2	140	脆	粉	岩	
碧辉石片岩	B-2~4		4.9	9.6	1.8	180	硬	砂	岩	
C-4	IV下	乳状状	(11.5)	(5.2)	(3.7)	(330)	爆	粉	石	
H-6	II		(5.6)	6.6	3.6	200	#		34 页细	
I-5	III	乳状状	(8.1)	(4.6)	(3.3)	(140)	#			
I-5	III~IV	定角	(3.5)	(3.8)	(2.1)	(40)	硬	砂	岩	
I-8	III下		(8.3)	(3.1)	(2.4)	(100)	脆	粉	石	
#	1号透镜	砾石	(7.5)	(3.8)	(2.4)	(120)	#		35 #	
#	12号透镜	定角	(12.7)	6.1	2.8	200	硬	砂	岩	
#	15号透镜	IV	(11.9)	5.7	4.0	(100)	硬	砂	岩	
#	不 明	要探	(9.0)	(5.8)	2.4	(200)	硬	砂	岩	
叶	石	B-2~4	A±	11.3	5.4	5.9	450	砂	岩	
D-7	III	-b	(7.3)	(6.3)	(2.5)	(140)	硬	砂	岩	
H-7	III下	-b	(2.0)	(1.0)	(2.4)	(20)	硬	砂	岩	
I-5	III	-b	(9.8)	(2.5)	(5.0)	(90)	#			
I-5	III下	A±	16.6	4.0	(3.1)	(320)	脆	粉	石	
I-5	-b		(4.5)	(2.1)	(0.7)	(10)	硬	砂	岩	
I-7	III	B±	14.3	7.3	4.3	660	花	粉	岩	
J-5	III	B±	13.3	6.9	4.5	550	#			
J-8	III	-b	(6.6)	(5.4)	(2.0)	(30)	砂	岩		
#	1号透镜	A±	(0.17)	(5.6)	(3.2)	(290)	脆	粉	石	
#	2号透镜	C±	16.0	12.1	8.2	280	花	粉	岩	
#	7号透镜	A±c	19.1	8.1	4.4	940	脆	粉	石	
#	13号透镜	B±c	11.9	6.1	3.1	450	#		42	
P±s	B±c		11.6	7.3	4.0	540	硬	砂	岩	
#	不 明	要探	-a	(5.0)	(3.4)	(6.0)	(30)	脆	粉	
刚玉透石	C-4	III下	a <b>c</b>	12.0	4.6	2.7	280	——	45	
H-5		a	7.6	(2.3)	2.5	(70)	硬	砂	岩	
I-8	III~IV	a <b>c</b>	(5.2)	(3.3)	(2.0)	(70)	质	粉		
K-2	IV	a	(5.5)	3.5	(1.0)	(40)	——			
H-17	透镜	V	a	16.1	5.0	3.1	370	硬	砂	岩
P±s	a <b>c</b>		(4.4)	(2.7)	(1.4)	(30)	质	粉		
铁	II	C-4	IV	12.0	19.1	4.8	680	#	46	
J-3	III		6.8	4.9	4.0	220	脆	粉	石	
G-8	III下		11.0	5.4	2.7	280	#			
K-6	III下		7.8	6.0	1.8	130	硬	砂	岩	
P±s			(8.2)	8.1	(5.5)	(30)	硬	砂	岩	
石	黑	B-3	III上	8.8	4.5	1.8	100	硬	砂	岩
N-7	III		7.0	4.6	2.2	100	#		53	
D-5	III下		4.9	4.1	1.4	40	#		66	
P-5	III		(4.7)	5.3	(1.0)	(30)	#			
G-5	IV上		6.9	4.7	2.1	70	#			
G-5	IV上		6.4	3.9	1.8	70	#		56	
G-5	IV		6.3	4.0	2.2	60	#			
G-8	III		6.6	4.4	1.9	70	#			
G-8	III下		5.1	4.4	1.8	50	#		61	
I-4	III下		6.0	4.6	2.2	90	#		57	
I-6	III下		(5.8)	(4.1)	(1.1)	(30)	砂	岩		
I-6	III下		5.0	4.3	1.1	40	硬	砂	岩	
J-3	III		8.5	2.7	1.7	100	脆	粉	石	
J-6	III		7.1	5.1	1.7	90	硬	砂	岩	
J-7	III下		7.7	4.2	2.0	90	硬	砂	岩	
J-8	III		7.0	4.2	1.6	70	硬	砂	岩	
K-8	III		5.0	3.2	1.3	30	#		67	
#	1号透镜		9.4	7.9	1.5	190	#		51	
#	2号透镜		4.2	3.1	1.1	20	#		68	
#	4号透镜		6.0	4.9	1.3	70	#			
#	5号透镜		8.5	5.5	2.3	170	#		52	

器種	出土地点・層位	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
磨石	7号遺構 北		6.3	4.6	1.8	60	硬 砂岩		
#	9号遺構		6.9	5.1	1.5	60	砂岩	64	
#	12号遺構 北		5.9	4.0	1.4	60	砂岩		
#	12号遺構 北		5.6	4.8	1.1	50	砂岩	65	
#	13号遺構 北		5.9	4.0	1.4	60	砂岩	59	
#	14号遺構 東		6.3	4.9	2.0	80	砂岩	54	
#	16号遺構		4.2	1.9	0.6	10	硬 砂岩	60	
#	17号遺構		6.3	3.4	1.4	50	硬 砂岩	63	
Pt.			6.6	4.8	1.2	60	カルシンガルス	58	
#	不 明		6.5	5.1	2.3	100	硬 砂岩		
#			6.5	6.2	1.3	80	砂岩		
石 磨	C-4 田下	(13.0) (8.0) (5.5) (660)	粗面研磨状						
#	C-4 IV下	(13.0) (8.0) (3.1) (715)	砂岩			72			
#	G-7	(13.0) (8.0) (3.1) (480)	砂岩			73			
#	J-6 III	(13.0) (5.2) (3.1) (220)	砂岩						
#	K-7 田下	(12.8) (13.2) (2.2) (360)	硬 砂岩			74			
石 磨	I-6 III~IV	(5.7) (2.8) (2.8) (80)	砂岩						
#	J-5 IV上	(4.6) (3.5) (0.9) (20)	砂岩			75	4号遺構		
#	K-8 III	(3.2) (2.7) (0.9) (10)	真 砂岩						
#	6号遺構	(4.4) (3.7) (0.9) (20)	砂岩				J-5 II上		
軽石製品	H-5	(3.3) (3.2) (1.7) (4.0)	輕 石			76			
#	15号遺構	(5.9) (5.2) (2.5) (15.5)	砂岩			77			
#	19号遺構	(4.6) (4.3) (1.6) (9.9)	有孔						

## 第7次調査

### (1) 43号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	185		平基Vb	2.0	(1.0)	0.4	(0.9)	黑 砂岩	6	脚欠
#	194		-IVb	(2.2)	(1.5)	(0.4)	(0.7)	砂岩	8	基部欠 3段と接
#	247		IIIe	1.8	2.2	0.7	1.9	砂岩		
#	262		HIIb	2.6	1.6	0.3	0.9	砂岩	1	
#	280		HIIb	1.6	(1.2)	0.3	(0.3)	砂岩	2	脚欠
#	294		IVb	2.0	1.6	0.5	1.1	砂岩	7	
#	305		-IVb	(1.1)	(1.7)	(0.3)	(0.6)	砂岩		
#		壤 土	HIIc	1.5	1.3	0.4	0.7	砂岩	4	
#			HIIa	2.5	(1.2)	(0.3)	(0.5)	砂岩	3	脚欠
石 磨	250		A-1	(2.4)	(3.6)	0.9	(6.3)	砂岩	9	脚欠
#			B--	(2.4)	(3.1)	(0.6)	(5.9)	チャート	11	GRANITE
打製石器	290			2.3	2.0	0.4	1.3	黑 砂岩	13	
#	293			3.1	2.7	0.8	4.3	砂岩	12	
スクレーパー	185		B1a	1.3	1.3	0.6	0.9	砂岩		
#	263		C1a	2.5	1.0	0.6	1.2	砂岩		
#	269		BIIa	1.7	1.5	0.4	0.9	砂岩		
#	345		D1a	1.6	2.3	0.3	1.3	砂岩		
#		壤 土	B1a	2.0	1.5	0.5	1.5	砂岩		
#			D1a	1.9	2.0	0.4	1.1	砂岩		
#			C1a	1.7	1.9	0.6	1.4	砂岩		
#			D1a	2.3	2.1	0.6	2.2	砂岩		
#			B1b	1.3	2.8	1.0	2.8	砂岩		
甲 石	357		Bac	(9.7)	9.0	(4.6)	(660)	硬 砂岩	14	

### (2) 58号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	332		HIVc	1.5	1.2	0.3	0.4	黑 砂岩	15	
石 磨	131		A1	2.4	2.0	1.0	2.7	砂岩	16	
スクレーパー	14		B1a	(4.2)	(4.3)	(1.1)	(17.5)	砂岩	17	安端火
#	90		B1b	4.7	2.6	1.1	11.7	砂岩	18	
#	231		CIIa	2.9	2.3	0.4	2.3	砂岩	19	安端火
印 石	72		-ab	(6.0)	(6.7)	(3.0)	(140)	硬 砂岩		

### (3) 59号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	437		IVIVc	1.7	1.5	0.3	0.7	黑 砂岩	23	
#	532		G1a	2.1	1.2	0.4	0.6	砂岩		
#	648		IIE-	(1.1)	1.4	0.3	(0.4)	砂岩		先端欠
#	483		CI-	(3.5)	(2.5)	(0.7)	(5.4)	チャート	20	先端欠
石 破	512		B1a	2.8	4.5	0.8	8.0	黒 砂岩		
#	655		BIIa	3.3	4.2	0.9	9.5	砂岩		
#	665		BIIIb	3.3	5.8	1.0	14.4	砂岩		
打製石器	661		C1a	4.7	1.5	0.6	4.0	砂岩	21	
スクレーパー	611		C1a	2.8	2.3	0.6	3.7	砂岩		
#	689		B1a	3.1	2.0	0.6	3.5	砂岩		
#		壤 土	B1a	2.7	2.2	0.6	2.4	砂岩		
#			C1-	1.6	2.9	0.9	1.9	砂岩		
叩 石	446		B+b	13.7	9.8	4.1	830	硬 砂岩		
#	497		B-bc	9.1	8.1	2.9	320	砂岩		
#	569		b	(6.9)	(4.6)	(3.6)	(70)	硬 砂岩		残欠

### (4) グリッド

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 磨	B-4		HIIa	1.4	1.3	0.2	0.3	黑 砂岩	23	
#	B-4		-IVc	(2.5)	(1.8)	0.5	(2.2)	砂岩		
#	E-1		IIE-	(1.5)	1.6	0.2	(0.6)	砂岩	27	先端欠
#	E-3		HIIb	1.5	1.7	0.3	0.5	砂岩	24	
#	355		IVIVc	2.3	0.8	0.8	1.2	砂岩		
#	F-7		HIIb	1.5	1.5	0.3	0.4	砂岩	25	
#	G-3		IVC	2.0	1.4	0.4	1.2	砂岩	22	
#	G-4		HIVc	2.0	(1.5)	0.3	(0.7)	砂岩	28	片側欠
#		表 掘	平基	(1.6)	2.0	0.5	(1.2)	砂岩		
石 破	B-2		--	(1.4)	(1.7)	(0.5)	(1.6)	砂岩		
打製石器	E-3		E-3	(2.5)	2.4	0.9	(5.6)	砂岩		
スクレーパー	G-1		BIIa	1.7	2.1	0.4	1.5	砂岩		
#		表 掘	B1b	1.5	3.8	0.8	3.7	砂岩	28	
叩 石	397	G-1	Cbc	11.7	10.1	3.2	570	硬 砂岩		
#	608	G-1	Bbc	16.8	(5.6)	4.5	(720)	砂岩		
#	G-4		Bbc	13.1	8.0	3.7	490	砂岩	29	
#		表 掘	Bb	13.3	8.8	4.4	700	砂岩		
#	801		Cb	10.2	9.1	5.0	740	正 砂岩	30	
叩 石	394	G-1	a	10.0	3.6	2.0	120	砂岩		
#	94		G-4	(6.0)	(3.7)	(2.8)	(80)	硬 砂岩		

### 第8次調査

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
スクレーパー	8		(C+E+C) a	2.6	2.3	0.7	3.6	黑 砂岩	1	
#	22		CHIa	2.3	1.8	0.8	3.0	砂岩		
叩 石	39 2号土構		Babc	10.2	8.2	3.0	380	硬 砂岩	2	
#	51		Aa	10.4	4.7	3.4	250	砂岩	3	
石 磨	535		HIIc	(1.2)	(0.9)	(0.2)	(0.2)	黑 砂岩	1	先端欠
#			-IIa	2.4	1.4	0.4	1.0	砂岩		
打製石器	A--		(9.7)	2.0	1.8	0.5	150	硬 砂岩	33	先端欠
叩 石	540		11.7	5.3	2.8	1.50	福島灰岩			
叩 石	582		Bb	(6.8)	(9.1)	(3.6)	(280)	硬 砂岩	31	
叩 石	574		ab	10.8	3.1	2.1	110	福島灰岩	32	

### 第9次調査

#### (1) 61号住居址

## (2) 62号住居址

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	団番号	備考
石 砕	1109		IIM-c	2.0	1.4	0.6	1.3	黒 磨 石	2	
石 砕	223		BII-a	2.7	3.8	0.8	7.6	チート	4	
石 砕	1073		A1-a	5.8	4.0	1.0	26.1	#	3	
スクリバー	776		C1-a	2.6	2.6	0.6	4.2	#		
			(D1+D1)a	2.7	2.3	0.4	1.5	黒 磨 石		
			(D1+D1)b	2.7	1.9	0.8	3.2	#		
			-1a	(2.7)	(2.6)	(1.5)	(6.7)	#	5	半磨歯
磨輪研石	546		a-c	13.7	4.5	1.7	180	—	35	
	829		a	14.0	4.3	2.9	260	砂	36	

## (3) 63号住居址

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	団番号	備考
石 砕	997		F--	(1.3)	1.5	0.2	(0.3)	黒 磨 石	7	先端欠
			HIIb	1.5	1.5	0.2	0.4	#		
スクリバー	1094		B1-a	1.5	2.3	0.7	1.7	#	6	
	1140		(C1+B1)a	3.9	3.1	1.0	14.1	チート	8	
	1261		D1-a	2.1	2.7	0.7	2.9	磨輪研石		
磨輪石斧	1267		(6.9)	(3.5)	(2.2)	(8.0)	研 砕 研 砧			
叩 石	1055		Bc	9.2	5.4	2.3	150	硬 砂 岩	38	

## (4) グリッド

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	団番号	備考
石 砕	45	BT05-b3	-IVc	1.8	(1.6)	0.4	(1.1)	黒 磨 石	22	片側欠
	94	BT05-b3	IVb	2.5	(1.4)	0.3	(0.7)	#	10	#
	104	BS05-d5	円錐形c	1.8	1.5	0.2	0.5	#	20	
	217	BS05-d2	平錐形c	1.9	1.6	0.5	1.1	#	18	
	300	BT05-a5	円錐形b	2.2	(2.0)	0.5	(1.6)	#	19	片側欠
	305	BT05-a5	平錐形a	2.5	2.1	0.6	2.1	#	13	
	311	BT05-a5	IMb	1.7	(1.4)	0.3	(0.5)	#	12	片側欠
	331	BS05-e2	平錐形b	1.6	1.2	0.2	0.4	#	14	
	370	BS05-e2	平錐形b	2.4	1.7	0.6	1.7	#	17	
	709	BS05-c1	GBII	1.9	(1.2)	0.3	(0.3)	#	9	片側欠
		BS05-d2	IMc	1.7	1.6	0.3	0.5	#	11	
		BS05-d5	円錐形c	2.0	1.6	0.4	1.1	#	11	
			平錐形a	(1.7)	2.0	0.4	0.9	(1.5)	16	先端欠
			IMV	(1.5)	1.7	0.5	(1.0)	#	21	
石 砕	143	BS05-c2	BIIa	3.4	4.7	0.9	15.0	チート	23	
石 砕	17	BT05-b3	B1	3.2	0.8	0.4	0.9	黒 磨 石	24	
打製石斧				2.2	2.0	0.5	1.4	#	25	
スクリバー	98	BT05-b3	C1-a	2.2	2.8	1.0	3.5	#	26	
	145	BS05-c2	-1a	(1.3)	(1.4)	(0.7)	(0.8)	#		
	205	BT05-a5	(B1+D1)b	2.4	2.1	0.9	3.0	#	40	
	339	BT04-c1	B1a	6.2	2.7	1.0	15.8	チート		
	383	BS05-e2	CIIa	2.1	1.6	0.4	1.2	黒 磨 石		
打製石斧	40	BT05-b3	-b	(9.4)	9.4	3.0	(31.0)	硬 砂 岩		基盤欠
	52	BT05-b3	--b	(9.7)	9.7	2.5	(27.9)	#	39	
	185	BT05-d5	--c	(5.2)	6.8	0.2	(2.0)	BS05-a5	40	
	187	BT05-d5	AIIa	10.0	5.6	1.6	120	磨輪研石	41	
	675	BT04-a2	A--	(6.8)	5.7	1.5	(8.0)	硬 砂 岩		基盤欠
			BIIe	10.9	4.2	2.7	190	#	34	
叩 石	116	BS05-c5	Bb c	12.2	10.0	4.1	750	#	43	
	452	BT05-b2	Ca	9.7	3.7	1.3	70	研 砧 片	28	
	461	BT05-c3	Ba c	9.6	5.8	2.7	330	硬 砂 岩	27	
磨輪研石	272		a b	10.1	4.7	1.6	120	研 砧 片	42	
	467	BT05-c3	a b c	10.3	3.2	2.1	110	研 砧 片	29	
	503	BT05-c2	a	8.7	2.7	1.4	50	研 砧 片	37	

## 第10次調査

## (1) 純文前期

器種	No.	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	団番号	備考
石 砕			BX05-a5	平錐形a	(2.5)	1.6	0.4	(1.0)	黒 磨 石	4片側欠
			BV02-b3	平錐形b	(2.0)	(1.7)	0.5	(1.8)	#	
			BV02-b3	IMc	(1.0)	1.4	0.3	(0.2)	#	先端欠
			BV02-b3	IMc	1.5	1.2	0.3	0.4	#	1片側欠
			BT05-c1	IVb	1.8	1.2	0.4	0.8	#	
			BQ05-d5	円錐形d	2.8	2.5	0.9	6.1	#	7
			BNM-c3	2.0	1.4	0.4	0.8	#		
			BQH-c3	2.8	2.0	0.5	2.0	#		
			BQM-c3	1.8	0.4	0.2	(0.5)	#		片側欠
			BOM-c1	2.4	1.7	0.3	1.0	#	6	
			BOM-d1	2.3	1.7	0.5	1.3	#	3	
			BOM-d1	2.3	2.0	0.6	2.4	#	5	基盤欠
			BQH-c1	1.9	0.5	0.5	(1.5)	#		先端欠
			BQZ-c1	2.4	2.1	0.6	2.9	#		
石 砕			BRM-c3	CH-a	6.0	5.8	0.2	22.3	チャート	8
			BOM-c5	CH-a	(2.5)	(3.6)	(0.6)	(4.0)	#	刃端欠
			BSM-c4	CH-a	5.9	3.9	0.6	15.4	#	9
			BSM-c4	CH-a	2.9	4.8	0.7	7.0	#	10
石 砕			BOM-a3	B1	2.6	0.9	0.7	1.5	黒 磨 石	12
			BQH-c3	AII	2.4	1.9	0.3	1.2	#	
			BX05-a5	B1	6.7	9.3	1.2	(7.9)	#	13
			BQH-c5	a	3.3	1.8	0.7	3.6	#	14
スクリバー			BT05-e5	(D1+D1)a	1.7	2.5	0.4	1.4	#	
			BT05-c3	CH-a	2.0	1.1	0.5	1.2	#	
			BRZ-c2	B1a	3.9	1.6	0.6	9.5	磨輪研石	15
			BQH-c3	DII-b	1.9	3.5	0.5	4.5	黒 磨 石	16
			BQH-c3	B1a	1.8	3.9	0.5	3.5	磨輪研石	
			BOM-c3	CH-a	1.8	2.6	0.4	1.3	黒 磨 石	
			BQH-c3	(B1+B1)a	2.8	2.3	1.2	7.0	#	
			BOM-d1	BII-a	2.4	2.0	0.7	9.6	基盤欠	
			BQH-d5	C1-a	2.7	1.9	0.7	4.2	チート	
			BWZ-c2	C1-a	6.8	2.7	1.1	15.6	黒 磨 石	16
			BQH-e4	B1a	3.3	1.7	0.5	2.4	#	
			BQH-c4	BII-a	2.7	1.7	0.5	1.6	#	
			BQH-b1	(D1+D1)b	3.5	2.0	0.7	3.9	#	
			BWZI-b3	--b	(7.2)	6.5	1.7	(110)	硬 砂 岩	
			BQH-s5	AIIb	7.2	5.3	1.1	50	#	
			BQH-s5	AIIb	10.0	4.7	1.9	110	#	
			BPH-c3	BII-c	10.2	5.0	1.4	55	#	
			BPH-d4	--	(6.5)	(6.0)	(0.4)	(110)	#	刃端欠
			BVH-b5	--	(7.9)	5.1	2.0	(100)	#	刃端欠
			CBH-d5	--	(7.3)	(6.0)	(1.0)	(100)	磨輪研石	刃端欠
			BRM-c4	4.1	5.0	1.3	50	研 砧 片	17	
			BRM-c4	6.1	9.4	2.0	150	研 砧 片		
			BRM-d5	7.8	5.2	1.2	50	研 砧 片		
			BRM-e1	4.9	3.7	1.3	40	研 砧 片		
			BVH-e4	4.2	9.0	1.1	50	#		
			BY05-c4	部分削離	9.4	2.7	1.2	40	研 砧 片	
			BRN-e1	12.1	5.6	1.5	130	研 砧 片	18	
			BXH-s2	A c	(14.2)	(4.1)	(2.7)	(190)	硬 砂 岩	
			BXH-s2	-c	(6.1)	(9.0)	(4.1)	(360)	#	
			BQH-s2	-b	(6.1)	(9.0)	(4.8)	(190)	#	
			BT05-s2	A#	14.4	5.4	3.3	370	#	
			BWZ-c2	-b	(3.2)	(5.7)	(1.2)	(280)	#	
			BVS-c1	-c	(8.2)	(4.7)	(1.8)	(105)	研 砧 片	
			BQH-c3	-b	(7.8)	(5.5)	(2.1)	(90)	硬 砂 岩	
			BQH-e5	-b c	(5.3)	(4.9)	(3.1)	(60)	#	
			BQH-s5	-b	(5.6)	(6.7)	(1.9)	(70)	#	
			BQH-c3	-c	(7.0)	(5.5)	(2.6)	(120)	#	
			BOM-d1	B c	(9.2)	(6.3)	(2.8)	(180)	#	
			BWQ-d5	-c	(10.9)	(3.9)	(2.7)	(120)	#	
			BQH-b5	-a b	(8.6)	(8.6)	3.6	(350)	#	

印 石	CA18-b 5	B b	(0.2)	(3.1)	(3.0)	(250)	硬 砂 岩	
石	BS19-a 5	B b	(1.2)	(3.1)	(2.9)	(380)	#	19
石	BQ00-d 3	B a c	13.6	9.1	3.6	650	#	
石	- b c	(6.7)	(5.3)	(1.4)	(50)	#		
石	A n c	12.4	5.3	1.5	230	-		
珊瑚印石	BR28-e 5	a	9.8	4.3	1.5	110	硬 砂 岩	21
石	BO6-b 1	a b	10.3	2.7	1.8	85	硬 砂 岩	
石	BO6-d 1	a c	12.5	6.0	2.9	330	硬 砂 岩	
石	BN07-d 5	a b c	12.1	1.8	2.5	80	硬 砂 岩	22
石	BQ07-e 4	a	8.5	2.9	3.2	130	硬 砂 岩	
石	BT36-a 2	a c	17.8	5.2	3.3	430	#	20
石	- b	5.4	3.8	2.0	82	砾泥片岩		
珊瑚印石	BO2-d 5	(4.8)	(4.7)	(2.0)	(50)	砾 泥 片 岩		
砾 石	BR25-b 2	(2.1)	(4.8)	(1.3)	(26)	砂 岩		

## (2) 摘文中期

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図 番 号	圖 考
石 銀	AY28-c 4	D V s	2.4	(1.0)	(0.6)	(1.4)	黑 石	23	青銅鏡	
石 銀	AU20-a 5	A II	3.2	1.6	0.8	3.3	#	24		
ミクレバ	BE42-b 3	(B I + D) s	2.8	1.9	0.6	3.1	#	25		
打製石刀	CB44-d 3	C II	12.1	6.1	3.4	396	硬 砂 岩			
石	CB38-b 3	B --	10.0	(2.1)	2.1	(230)	-		新石器時代	
石	BO42-c 2	A --	10.0	(6.7)	2.0	(120)	#		刀頭	
石	BN40-c 3	- - c	(6.4)	(4.0)	(1.7)	(60)	#		刀頭	
石	BN40-c 5	- - c	(9.3)	(7.1)	(2.0)	(180)	#		刀頭	
石	BK65-c 4	A --	(6.6)	(4.5)	(1.3)	(60)	砾 泥 片 岩		刀頭	
石	BH41-d 4	A II	11.6	4.5	2.5	160	硬 砂 岩	31		
石	BM20-b 5	A --	(8.7)	4.5	1.10	50	砂 岩		刀頭	
石	BE42-b 3	C II	9.0	4.8	1.1	60	砾泥狀岩			
石	BE42-b 3	C II	9.6	5.2	1.6	100	砾 泥 片 岩			
石	BE39-c 4	A III c	7.0	3.7	1.4	50	硬 砂 岩			
石	BE39-c 4	A III e	8.1	4.1	1.4	62	#			
石	BF40-c 3	--	(8.6)	(4.5)	(1.3)	(65)	砾 泥 片 岩		新石器時代	
石	BG28-d 5	B I a	(9.2)	7.1	(2.1)	(50)	砾 泥 片 岩			
石	BF38-d 1	A I c	13.5	5.6	2.1	180	#	30		
石	BD38-a 5	- - b	(6.1)	(3.9)	(1.5)	(50)	砾 泥 片 岩			
石	BG36-b 5	BW b	7.8	5.0	1.4	85	砾 泥 片 岩			
石	BG36-b 5	A - a	(7.4)	4.4	1.6	(70)	#		新石器	
石	BG36-b 5	--	(8.0)	4.8	2.4	(120)	#		新石器	
石	BG36-b 5	--	(5.6)	(4.0)	(1.6)	(60)	#		新石器	
石	BG36-b 5	B II c	11.4	4.8	1.5	100	#		刀頭	
石	BG36-b 5	B --	(8.9)	6.3	2.2	(170)	#		刀頭	
石	BG36-b 5	A II b	8.9	4.9	1.4	80	砾 泥 片 岩			
石	BG36-b 5	B I -	15.9	4.8	1.8	(180)	砾 泥 片 岩		刀頭	
石	BG36-b 5	A --	(7.7)	4.7	1.0	(50)	#		刀頭	
石	BG36-b 5	--	9.5	4.5	2.1	130	砾 泥 片 岩			
石	BG36-b 5	A I b	11.0	5.4	1.9	170	砾 泥 片 岩			
石	BG36-b 5	A I c	13.5	5.8	2.2	210	砾 泥 片 岩	29		
石	BG36-b 5	B II a	11.9	4.4	2.5	150	砾 泥 片 岩			
石	BF29-d 3	--	(6.4)	(5.1)	(1.3)	60	砾 泥 片 岩		新石器時代	
石	BH25-b 4	A - b	16.9	5.6	1.9	250	#	26		
石	BH25-b 4	B - c	(6.0)	3.9	1.8	(70)	#			
石	BH25-b 4	B II a	11.3	4.3	1.3	110	砾 泥 片 岩			
石	BH25-b 4	B - b	(6.0)	5.7	(2.9)	(200)	砾 泥 片 岩			
石	BH25-b 4	B II b	(8.6)	(6.8)	2.5	(210)	#			
石	BH25-b 4	A - a	14.6	6.6	2.3	270	#	27		
石	BD33-c 5	- - b	(8.1)	3.9	1.2	(50)	砾 泥 片 岩			
石	BB44-b 4	A --	(5.5)	(5.0)	1.6	(90)	砾 泥 片 岩		新石器	
石	BE38-d 4	--	10.6	4.8	1.5	120	#		新石器	
石	BE38-d 4	C --	(7.6)	(5.6)	1.9	(80)	#		新石器	
石	BE38-d 4	A II c	11.0	5.8	1.9	160	#		刀頭	
石	BE38-d 4	C --	(9.9)	6.5	2.3	(140)	#		刀頭	
石	BE38-d 4	A II c	12.7	5.5	1.7	140	砾 泥 片 岩			
石	BD37-c 3	C II c	11.0	4.8	1.3	80	砾 泥 片 岩	36		
石	BA21-d 1	C II c	12.2	4.9	1.5	120	砾 泥 片 岩			
石	BA21-d 1	BW b	8.0	4.7	1.6	80	#			
石	BA21-d 1	A II b	8.6	4.1	1.6	80	#			

打製石斧	BA31-d 1	B II b	11.1	5.7	1.9	150	頁 砂 岩			
	BA31-d 1	A II a	9.4	4.9	1.8	110	硬 砂 岩			
	BA31-d 1	- - b	(7.6)	4.1	1.4	(70)	砾 泥 片 岩			
	BA31-d 1	C II b	10.4	4.1	1.1	60	砾 泥 片 岩			
	BA31-d 1	A II b	9.7	5.2	1.8	100	頁 砂 岩			
	BE25-d 3	A II c	12.5	5.9	2.6	250	砾 泥 片 岩		28	
	BC36-d 2	A II b	12.9	7.2	2.3	260	砾 泥 片 岩			
	AW21-c 2	A II a	12.1	4.5	1.6	120	砾 泥 片 岩	33		
	AW27-a 4	B I c	7.6	3.6	0.8	20	#			
	AY27-a 2	A I a	14.1	6.6	2.3	245	硬 砂 岩			
	AY27-a 2	A II -	(16.0)	4.5	1.3	(70)	砾 泥 片 岩			
	AY27-a 2	B II b	10.6	3.9	1.4	70	砾 泥 片 岩			
	B128-a 5	- - II b	(8.2)	(4.7)	(1.7)	(80)	#			
	BE26-b 2	B II b	8.8	4.3	1.7	70	#			
	B236-b 1	A --	(6.2)	(4.1)	(1.4)	(40)	#			
	B236-b 1	A I c	13.4	7.3	2.2	220	砾 泥 片 岩			
	BB26-b 1	B - b	(9.6)	5.9	3.1	(230)	砾 泥 片 岩			
	BB26-b 1	A --	(9.3)	(5.2)	(2.0)	(100)	#			
	AX30-e 5	--	(8.1)	6.1	1.7	110	#			
	AX30-e 5	--	(6.5)	(5.1)	(2.0)	(90)	砾 泥 片 岩			
	AU20-a 5	A --	(6.0)	(5.6)	(1.6)	(70)	砾 泥 片 岩			
	AU20-a 5	A II b	9.2	5.3	2.2	120	#			
	B18-d 5	B II b	10.3	3.7	1.7	80	砾 泥 片 岩			
	B18-d 5	B --	(7.7)	(4.0)	(1.6)	(80)	砾 泥 片 岩			
	AW21-d 4	--	(7.3)	(4.7)	(1.8)	(90)	砾 泥 片 岩			
	BC22-e 1	B I c	(12.0)	7.4	2.7	(300)	#			
	BC22-e 1	B II b	11.4	3.6	1.7	120	砾 泥 片 岩	34		
	BC22-e 1	B II b	(7.7)	(4.3)	(1.3)	(40)	砾 泥 片 岩			
	AV28-c 2	A II b	8.6	4.0	1.5	70	#			
	A I c	13.1	5.8	1.5	190	砂 岩				
	B - b	(16.0)	7.1	2.7	(260)	砾 泥 片 岩				
	BG28-d 5	B II c	5.4	5.2	(0.9)	(30)	#			
	BH25-b 4	A II -	(7.7)	4.6	1.2	(40)	#			
	BD33-c 5	B II b	7.8	8.6	1.0	60	#			38
	BD32-c 3	A -(b + b)	(11.2)	4.5	1.2	(150)	砾 泥 片 岩			
	B235-b 1	- II	(8.2)	8.0	2.5	(140)	#			
	B187-b 4	B III b	6.2	5.7	1.2	(40)	#			37
	BH40-c 3	4.2	8.6	1.1	60	砾 泥 片 岩				
	BD38-a 5	5.1	10.1	0.9	60	砾 泥 片 岩				
	BG30-d 5	5.5	6.5	0.5	(50)	#				
	B236-b 1	7.0	(8.5)	1.2	(80)	#				
	AV20-a 5	7.5	9.7	2.0	180	#				
	BG34-d 1	(3.1)	(4.0)	0.2	2	砾 泥 片 岩				
	BG45-d 1	2.4	1.3	1.0	2	砾 泥 片 岩				
	BG36-b 5	2.4	1.5	1.0	2	砾 泥 片 岩				
	BG36-b 5	部分剥離	(4.2)	(1.5)	(0.5)	(4)	#			
	B136-c 4	#	(3.5)	(2.1)	(0.5)	(4)	#			
	BE38-d 4	#	(9.3)	(3.0)	1.2	(70)	#			42
	BA31-d 1	#	11.1	4.4	1.5	100	砾 泥 片 岩			
	AY28-c 4	(4.4)	(3.5)	(1.6)	(100)	砾 泥 片 岩				
	AV15-d 2	部分剥離	(7.1)	(4.0)	(1.0)	(50)	砾 泥 片 岩			
	BC22-e 1	#	8.0	5.8	0.7	50	砾 泥 片 岩			
	AW21-d 4	#	(5.1)	(4.0)	(0.6)	(20)	#			
	BC22-e 1	#	7.0	2.9	0.9	30	#			
	BGM-b 5	乳頭狀	(6.5)	(6.1)	(2.6)	(100)	砾 泥 片 岩			41
	BGM-b 5	#	(14.0)	(6.0)	(3.0)	(180)	砾 泥 片 岩			
	BA31-d 1	#	(12.9)	(5.1)	(3.9)	(400)	砾 泥 片 岩			
	BE42-b 3	敲打面	(12.0)	5.8	3.6	(340)	#			
	BC22-e 1	#	10.6	6.4	3.0	330	#			
	BE38-c 4	#	(6.5)	(4.3)	(1.7)	(50)	#			
	BH22-d 3	- c	(11.2)	8.8	(3.3)	(390)	#			
	BA31-d 1	A a	11.1	4.2	2.6	180	#			
	AV20-a 5	A a c	11.4	3.8	2.8	280	砾 泥 片 岩			
	BE42-b 3	(14.0)	(3.3)	(1.5)	(320)	砾 泥 片 岩				
	BE29-c 4	#	(9.0)	(3.6)	(4.0)	(210)	砾 泥 片 岩			
	BB26-b 1	#	(12.0)	(3.2)	(4.0)	(210)	砾 泥 片 岩			

打製石器	BE20-d 4	(5.2)	(2.3)	(1.4)	(10)	輝 磷 岩	
#	BC20-a 5	(9.0)	(5.0)	(2.7)	(160)	#	
#	AV20-c 2	(3.5)	(2.9)	(1.6)	(10)	輝 磷 岩 片	
敲 打 器	BE20-b 3	17.2	6.2	4.7	870	—	
#	BG20-b 5	4.9	3.3	1.9	50	輝 磷 岩 片	
#	BE20-d 4	8.5	5.9	2.4	190	輝 磷 岩	46
#	AX20-e 5	(8.3)	(5.8)	(2.5)	(150)	輝 磷 岩 片	
#	BH20-d 5	7.0	4.7	1.9	100	輝 磷 岩 片	
#	BC20-a 5	(8.3)	(5.3)	(2.1)	(130)	輝 磷 岩 片	
#	AW21-d 4	15.7	4.1	2.5	240	—	
#	AW21-d 4	12.2	5.3	2.0	230	輝 磷 岩	43
#	BC22-e 1	10.5	7.4	5.5	630	輝 磷 岩 片	45
#	BC22-e 1	(9.9)	(9.0)	(2.6)	(360)	—	
#	AV20-c 2	11.6	5.6	5.2	410	輝 磷 岩 片	44
磨 石 鋸	BG20-b 5	7.4	5.3	1.2	80	輝 磷 岩	46
#	BE20-d 4	6.9	5.5	1.7	100	輝 磷 岩 片	49
#	BD21-c 3	6.5	4.3	1.6	70	輝 磷 岩 片	50
#	BC20-d 2	7.5	5.9	1.9	120	輝 磷 岩	47
#	BC20-a 5	(6.8)	5.1	1.2	(60)	#	

石 破	416	GIIb	2.4	1.5	0.4	0.8	黑 磨 石	2
#	428	IIVd	2.7	1.5	0.5	1.9	#	9
#	466	平端IVc	2.1	1.9	0.5	1.5	#	22
#	469	HIVb	1.8	1.3	0.3	0.6	#	7
#	473	円基IIIc	2.8	1.9	0.7	3.8	#	21
#	501	GIVa	2.4	1.6	0.3	0.8	#	4
#	518	平端Vd	2.4	1.7	0.4	1.5	#	4
石 破	34	AII	2.3	2.2	0.6	3.0	#	23
#	441	AII	(1.5)	4.2	0.8	(3.9)	#	24
#	472	AII	8.0	4.0	0.5	12.4	黒粒状灰岩	26
#	517	AII	5.1	3.1	1.0	11.2	チャート	27
打製石器	17	(D+D)Ia	2.3	1.5	0.7	1.9	#	29
スクリバー	6	(D+D)Ia	2.3	1.5	0.7	1.9	#	29
#	13	DIIa	2.9	2.8	0.5	3.2	#	28
#	17	DIIa	2.1	2.6	0.5	2.6	#	28
#	26	AIIa	2.4	1.7	0.7	2.3	#	28
#	34	CIIa	2.1	2.9	0.5	2.8	チャート	28
#	38	DIC	3.7	3.3	1.7	14.3	黒 磨 石	29
#	40	(B+C)Ia	1.8	3.3	0.8	4.0	#	29
#	404	DIIa	3.5	2.1	1.2	7.3	#	29
#	457	(D+D)IIa	(1.0)	(1.9)	(0.6)	(1.2)	#	29
打製石器	上 層	A-c	(9.1)	6.4	(1.8)	(150)	砂 岩	221
#	上 层	A--	(5.5)	(4.3)	1.7	(50)	黒 磨 石	222
磨削印石	254	a b c	(7.3)	3.7	2.1	(90)	黒 磨 石	223
敲 打 器	1		15.5	4.0	2.5	240	#	224

### 第11次調査

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
石 破	4	HIVc	1.7	1.4	0.4	0.7	黒 磨 石	1		
#	19	BIVc	1.6	(1.2)	0.2	(0.3)	#			片側欠
#	32	-IIIc	1.7	(1.1)	0.2	(0.4)	#	3	#	
#	89	GII-	(0.5)	(0.1)	0.3	(0.4)	#			4倍拡大
#	91	GII-	(1.0)	(0.2)	0.2	(0.4)	#			
スクリバー	24	DIIa	2.3	1.9	0.5	2.2	#			
磨削印石	25	無標	a b	(6.9)	(2.7)	(2.0)	(60)	真 磨 石	5	

### 第12次調査

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
打製石器	2		AIIb	12.8	3.8	1.4	90	輝 磷 岩	1	
吻突部	1	1号地表		2.5	8.1	0.5	25	輝 磷 岩 片	2	

### 第13次調査

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
打製石器			A--	11.5	6.4	2.7	(220)	輝 磷 岩 片		50倍拡大

### 第14次調査

#### (1) 76号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考
打製石器			A--	11.5	6.4	2.7	(220)	輝 磺 岩 片		50倍拡大
打製石器			A---							
石 破	2	IIVc	2.5	2.2	0.7	2.9	黒 磨 石	11		
#	13	平端IVb	1.9	1.5	0.3	0.8	#			
#	27	平端IVb	2.5	1.9	0.8	2.6	#	10		
#	38	平端Vc	2.0	1.4	0.5	1.0	#	17		
#	39	平端Vc	1.8	1.8	0.5	1.5	#	16		
#	51	平端Vb	1.9	1.5	0.4	0.8	#	19		
#	54	HIVc	1.3	1.3	0.2	0.2	#	8		
#	54	平端Vd	2.2	1.7	0.6	2.1	#	18		
#	126	IIVc	1.8	1.4	0.3	0.7	#	12		
#	138	IIVc	1.7	(1.1)	0.2	(0.4)	#			13倍拡大
#	168	EIIb	(2.1)	(1.5)	0.3	(0.7)	#			1先端欠
#	250	EIIb	1.4	1.4	0.3	0.4	#	15		
#	275	平端III-	(1.5)	(1.0)	0.3	0.7	#			20光沢欠
#	309	GINa	2.3	1.5	0.3	0.7	#	6		
#	328	IIIc	1.7	1.5	0.3	0.6	#	14		
#	325	GINa	2.3	1.6	0.4	0.9	#	5		
#	#	IIIc	2.1	1.3	0.3	0.4	#	3		

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	参考
石斧	上層	IIVC		1.7	1.8	0.5	1.3	黒曜石	63	
	下層	IVBC		2.2	2.0	0.7	2.5	同上	63	
石刀	3	CIIb		4.0	3.2	0.9	7.5	同上	61	
	8	AM(3+b)		5.5	3.5	0.6	11.1	チャート	58	後脚欠
	9	All a		(4.0)	(2.6)	1.0	(8.0)	同上	58	
	25	BIIIb		2.3	1.9	0.5	2.1	同上	60	
	43	C I a		3.7	2.8	0.9	7.8	黒曜石	63	后脚欠
	206	-II		(2.5)	2.5	0.4	(2.5)	チャート	63	
	319	BII b		2.2	3.4	1.0	5.0	同上	64	
	381	All II		(2.5)	3.5	0.6	(4.3)	同上	64	
	384	A I b		4.8	2.0	0.5	4.9	黒曜石	58	
	386	CIIb		3.5	3.7	0.6	5.2	チャート	62	
	512	B I a		3.3	4.5	1.0	13.4	黒曜石	65	
	埋土	All b		(3.5)	(3.1)	(1.0)	(7.1)	同上	67	後脚欠
	8	BII b		3.7	4.5	0.8	12.5	細粒斑状岩	68	
	12	BI		2.6	2.7	0.4	8.5	黒曜石	68	
石刀	13	AI		2.3	1.6	0.5	1.6	同上	69	
	442	AI		3.4	2.9	0.7	4.8	チャート	70	
	埋土	AI		3.0	2.3	0.8	3.8	黒曜石	71	
打製石器	1			(1.8)	1.4	0.3	(0.7)	同上	72	後脚欠
	41			3.4	1.7	0.5	2.2	同上	73	
	490			(2.2)	(2.0)	0.6	(2.4)	同上	74	後脚欠
磨製石器	385	埋土		(2.3)	(2.5)	0.7	(4.0)	同上	75	同上
スクレーパー	75	C I a		(1.6)	(1.6)	(0.9)	(0.6)	同上	76	
	90	BII b		2.6	2.3	0.7	3.0	同上	76	後脚欠
	350	C I a		2.5	4.7	0.6	7.0	チャート	77	
	437	BII b		3.0	2.5	0.7	4.1	黒曜石	78	
	埋土	D I C		(4.2)	(2.6)	1.3	(3.0)	同上	79	後脚欠
	8	B I a		3.5	4.1	1.0	19.1	同上	79	
	9	[C+D]B		(2.2)	3.8	1.0	7.9	チャート	78	後脚欠
	9	CIIa		2.3	2.4	0.9	5.4	黒曜石	78	後脚欠
	9	B I a		2.5	2.4	0.6	3.1	同上	78	後脚欠
	9	黒褐色土	-IIa	4.1	1.9	0.6	3.8	細粒斑状岩	79	
	9	C I a		(3.3)	(3.1)	(0.6)	(1.0)	黒曜石	79	
	9	BII b		3.2	1.9	0.5	2.0	同上	79	
	9	B I a		1.6	2.1	0.5	1.3	同上	79	
	9	-I a		(1.5)	(2.1)	(0.7)	(1.3)	同上	79	
鐵刃石刀	埋土			(7.2)	(4.4)	(1.1)	30	緑片岩	217	後脚欠
磨製石器	8			(6.4)	(3.7)	(1.1)	(20)	同上	217	後脚欠
岬石	33	Bbc		10.9	6.5	4.4	570	細粒斑状岩	225	
	38	Bb		11.9	8.2	3.4	490	緑片岩	226	
	96	Bab		(13.8)	(8.5)	4.0	(560)	同上	227	
	166	Bac		(5.9)	(5.9)	(3.1)	(120)	同上	226	
	371	Ba		(14.7)	8.1	3.4	(620)	緑片岩	229	
	383	Bbc		(10.9)	(7.3)	4.0	(280)	緑片岩	228	
	488	-ab		(5.8)	(6.8)	(2.9)	(170)	同上	228	
	546	Bb		14.6	8.8	3.1	650	同上	228	
	9	Bbc		14.1	9.1	4.7	740	同上	230	
	37	a		7.6	2.5	1.9	90	同上	231	
	286	abc		10.6	5.0	2.3	150	頁岩	222	
	492	abc		(10.3)	5.1	2.6	(340)	緑片岩	233	
	544	a		(7.9)	(3.1)	(1.9)	(20)	同上	230	
	9	埋土	ab	10.8	4.9	3.0	195	緑片岩	234	
打製石器	546			12.6	7.9	4.0	500	同上	235	
	9	黒褐色土		6.3	5.2	1.8	90	緑片岩	235	
石頭	床			33.2	49.0	16.5	26700	片岩	271	
磨製石器	埋土			4.7	(3.7)	0.6	0.10	緑片岩	216	

石	鐵		Hd-I-	(1.7)	1.5	0.3	0.5		x	83	先端丸
			EV-I-	(1.5)	1.7	0.3	0.6		x	89	丸
		32	Hd-IIIb	(1.5)	1.4	0.2	(0.4)	黑	■	88	丸形片狀
		33	平基IVb	2.1	1.8	0.4	(1.1)	■		92	片狀鈦
		36	Hd-IIIb	1.8	1.4	0.3	0.4	■		82	無色白圓
		48	平基IVc	1.9	1.8	0.4	1.2	■		96	
		57	DIIb-	1.9	1.5	0.4	0.5	細胞核狀		81	
			Hd-IIIb	2.6	(1.4)	0.3	(0.8)	黑	■	WIMMEN	
		58	H I b	2.6	1.7	0.4	1.1	x		86	
		61	I II c	2.4	1.7	0.3	1.0	x		90	
		160	平基III-	(1.6)	1.8	0.5	(1.4)	x		93	先端丸
		178	Hd-IIb	2.8	(1.7)	0.2	(0.6)	x		85	片狀鈦
		212	內基IVc	2.4	1.9	0.7	2.7	x		95	
		215	平基IVb	2.4	1.9	0.6	2.4	x		94	
		295	G IIb	2.0	(1.3)	0.3	0.4	x		87	
		307	門基Vd	2.5	1.9	0.6	3.1	x		98	
			平基IVc	2.4	1.6	0.4	1.4	x		97	
石	鐵	11	-C-	4.2	4.0	0.6	6.9	x		105	部分變形
		24	A I b	(5.4)	(3.0)	0.9	(17.7)	細胞核狀		106	刃狀鈦
		31	B II a	3.5	3.8	0.6	9.3	チ-ト		103	
		69	C IV	2.8	3.3	0.6	4.2	黑	■	102	
		180	B II a	2.8	2.5	0.8	4.4	x		104	
			C I a	3.7	2.6	0.8	3.0	x		101	
石	鐵	9	A I	3.0	1.1	0.8	1.4	x		106	
		53	A I	3.2	1.5	0.9	3.3	x			
		58	A I	3.9	1.6	0.8	3.7	x		107	
		180	A II	3.5	2.3	0.6	3.0	x		109	
		220	A I	3.3	2.5	1.4	7.5	x		108	
			A I	2.0	3.2	0.5	2.0	x		110	
打壓石	鐵	17		4.0	1.6	0.8	3.8	x		111	
スケレーパー		5	D I b	2.2	3.2	1.1	7.0	x			
		36	(B I + C II) a	5.8	3.0	1.1	18.1	x		113	
		45	C I a	3.8	2.6	0.6	3.6	x			
		157	B I a	2.0	2.4	0.7	3.3	x		114	
		169	B II a	(1.7)	(3.0)	(0.5)	(2.3)	x			
		177	D I a	(3.9)	(3.4)	1.0	(9.5)	チ-ト		25	112
		195	C I a	4.0	2.1	0.7	3.7	黑	■		
		276	C I a	3.2	3.0	0.9	7.1	x			
		314	C I a	2.6	4.0	0.7	8.7	チ-ト		116	
		355	(C I + D II) a	1.9	2.7	0.6	2.4	黑	■		
			B II a	2.4	2.1	0.5	1.8	x		115	
			B II a	1.7	3.4	0.6	3.3	x			
打壓石	鐵	60	C I a	2.9	2.4	0.4	3.0	チ-ト-ト		236	耳形丸
衝擊壓型			A I -	(6.0)	(6.3)	(3.6)	220	細胞核狀			
印	石	6	B a c	(6.0)	(7.3)	(2.5)	(17.0)	x		237	
		70	B a	11.8	6.2	3.2	420	x		238	
		186	-b				(10)	履	砂		
		275	B b	12.4	6.5	4.5	570	x		240	
			B a b	(14.6)	(9.0)	4.5	(780)	x		239	
			a c	9.8	5.4	3.8	210	x		241	
			a b	(9.5)	(2.8)	(1.6)	(560)	新光片	色	242	

(4) 99号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	因 数 番 号	備 考
石盤	14		平基Vd	2.6	2.5	1.0	6.0	黒曜石	121	
#	14		平基Vc	2.4	1.7	0.3	1.4	#	118	
#	60		-IIIc	(2.3)	(1.7)	0.2	(0.8)	細粒斑状玄武岩	122	先鉄時代
#	#		平基IVc	2.5	1.9	0.9	2.9	黒曜石	123	
#	床	上	平基Vc	2.4	1.9	1.0	3.7	#	119	
#	#	上	HIIb	1.6	1.1	0.2	0.5	#	117	
スレーパー	78		D IIb	(1.9)	2.6	0.7	4.3	#	123	
#	床		(B)IIa	(1.6)	(3.4)	(0.8)	(6.6)	#		直角底脚
#	#	上	B Ia	2.3	3.8	0.5	4.1	ナメコテ	124	
削製石片	#			(0.9)	8.1	(3.8)	(440)	#	269	
印石	71		Babc	9.0	7.2	3.0	258	碧玉	243	新石器時代
#	床		(-bc)	(5.9)	(4.4)	(2.1)	(50)	#		我々

### (3) 98号住居地

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	因番号	備考
石鏡	8		HIVb	2.3	1.8	0.4	1.4	黒雲母	91	網引町所
	16		平基IVc	3.1	2.2	0.5	2.7	#	99	
	22		DIVb	1.8	1.3	0.2	0.3	#	84	

## (5) 100号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考	
石 鋸	1	IV-	(2.2)	2.1	0.4	(2.4)	馬鹿石	144			
#	7	GIIIe	1.4	1.8	0.3	0.8	x	145	打製石鋸		
#	9	IVc	1.6	1.6	0.4	0.9	x	146			
#	15	平基底d	1.6	2.0	0.6	2.1	チャート	153			
#	16	平基底b	2.2	1.9	0.3	1.5	馬鹿石	157			
#	41	平基底c	2.4	1.7	0.5	1.5	x	159			
#	48	HIV-	(1.2)	1.8	0.3	(0.7)	x		先端欠		
#	70	IV-	(1.6)	(1.5)	0.3	(0.7)	x		先端欠		
#	82	平基底d	2.0	1.4	0.3	0.8	x	156			
#	83	HIIc	1.5	1.8	0.3	0.6	x	129			
#	84	HII-	(2.1)	1.5	0.3	(0.7)	x	125	先端欠		
#	91	DIII-	1.4	1.7	0.2	(0.4)	x				
#	95	IVb	3.0	1.7	0.4	1.9	馬鹿石	155			
#	133	PHIV-	(1.3)	1.8	0.6	(1.4)	x		先端欠		
#	135	IIIc	1.6	1.5	0.3	0.6	x	140			
#	136	IIIc	1.8	1.7	0.4	0.8	x	142			
#	137	GIIIa	2.3	1.7	0.3	0.6	x	130			
#	138	DIIIa	2.2	1.4	0.3	0.5	x	126			
#	139	IIIb	1.9	1.4	0.4	0.7	x	135			
#	140	GIIIb	2.0	1.5	0.4	0.5	x	133			
#	141	GIIIb	1.4	1.5	0.2	0.3	x	141			
#	142	HIIb	2.0	1.2	0.3	0.4	x	134			
#	143	GIIIb	1.9	(1.3)	0.4	(0.5)	x	136	先端欠		
#	144	HIVa	1.4	(1.2)	0.3	(0.3)	x	143			
#	145	GIVc	2.5	(0.7)	0.3	(0.9)	x	137	先端欠		
#	146	-IVc	(2.4)	2.0	0.5	(1.6)	x	144	先端欠		
#	148	FIIIc	2.0	1.5	0.2	0.4	x	132			
#	149	GIIIb	1.6	1.4	0.3	0.4	x	127			
#	177	GIIIc	1.9	1.8	0.4	1.2	x				
#	208	PHIVa	2.8	(1.8)	0.3	(1.2)	x		先端欠		
#	236	GIIIb	1.9	1.6	0.6	1.2	x				
#	246	HIIb	2.1	1.5	0.3	0.5	x	131			
#	250	WHSIII	2.1	1.9	0.4	1.5	x	152	側面欠		
#	278	HIIb	1.4	1.4	0.2	0.2	x				
#	287	HIIa	1.8	1.3	0.3	0.5	x	147			
#	345	平基底e	2.4	1.9	0.6	2.6	x	149			
#	347	平基底e	2.0	1.9	0.4	1.4	x	151	打製石鋸		
#	349	平基底b	1.9	1.5	0.4	0.5	x	159			
#	364	平基底b	3.1	2.0	0.6	2.9	チャート	158			
#	371	HIV-	(1.4)	1.6	0.2	(0.5)	馬鹿石	147	先端欠		
#	374	平基底c	2.9	1.7	0.4	1.8	x	148	打製石鋸		
#	375	HIV-	1.6	1.2	0.3	0.5	x	138	打製石鋸		
#	376	GIV-	(1.0)	1.6	0.3	(0.7)	x		先端欠		
#	377	IIVd	(2.3)	(1.9)	0.4	(2.0)	x		先端欠		
#	378	--c-	(2.0)	(2.1)	0.3	(1.0)	x		基底欠		
#	379	GIV-	(1.5)	1.4	0.2	(0.4)	x		先端欠		
#	380	HIIa	(1.3)	(0.9)	0.2	(0.1)	x	139	先端欠		
#	381	HIIa	1.8	1.6	0.6	1.2	x				
#	382	HIId	1.8	1.8	0.3	0.9	x	128			
#	383	CHIb	5.1	2.8	0.7	6.2	網狀研磨岩	165			
#	384	CHIb	5.1	1.8	0.6	6.4	チャート	161			
#	385	CHIb	4.6	4.3	1.1	12.5	馬鹿石	166			
#	386	CHIb	8.2	4.8	1.0	21.4	チャート	164			
#	387	AII-	3.9	1.7	0.5	3.2	x	160			
#	388	(A+(b+b))	4.4	3.0	0.6	10.3	網狀研磨岩	163	側面斜い		
#	389	--H-	(2.4)	(2.3)	0.7	(1.7)	チャート	162	側面欠		
#	390	AIIa	2.6	1.3	0.5	1.6	馬鹿石	162			
#	391	AIIa	4.4	2.6	0.9	7.1	x	168	打製石鋸		
#	392	AIIa	1.9	1.4	0.4	1.0	x	172	打製石鋸		
#	393	AIIa	1.9	1.4	0.5	0.8	x	170	打製石鋸		
#	394	SI	3.4	2.4	0.8	3.1	x	167	打製石鋸		
#	395	AIIa	3.4	3.4	0.7	2.0	x	169	打製石鋸		
#	396	上層	AII	3.1	1.7	0.5	1.5	x	171	打製石鋸	

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番号	備考		
石 鋸	10		C I a	(1.4)	2.0	0.4	(1.6)	馬鹿石	173			
#	15		C I a	(2.1)	(1.8)	0.7	(2.9)	馬鹿石	173			
#	23		B II a	1.6	3.9	0.6	3.5					
#	53		B II a	3.6	4.3	1.0	13.4	チャート	175			
#	170		(C I + D I ) a	2.0	1.0	0.3	0.6	馬鹿石				
#	206		B II a	5.3	3.6	0.8	16.0	x				
#	263		B II a	3.7	4.7	1.6	24.6	x				
#	288		D I a	2.8	2.4	0.8	3.8	馬鹿石				
#	303		C I a	1.7	1.3	0.3	0.7	x				
#	315		D I a	2.3	1.4	0.2	0.9	x				
#	345		D I a	1.5	1.8	0.5	1.5	x				
#	347		D I a	2.0	3.3	0.7	4.4	x				
#	350		B II a	2.5	2.0	0.5	3.4	x				
#	363		(B I + C I ) a	2.8	2.2	0.5	3.2	x				
#	374		D II a	2.5	2.8	0.7	3.8	x				
#	386		B II a	2.2	2.0	0.2	0.7	x				
#	391		D I a	5.8	2.1	1.6	12.1	チャート	174			
#	392		C I a	(2.6)	5.5	1.3	(17.3)	馬鹿石	174	水垢斑		
#	393		C I a	3.6	3.4	0.9	11.3	チャート	244	刃頭欠		
#	394		B --	(5.5)	(4.0)	1.3	(5.0)	鋸片片岩	244	刃頭欠		
#	395		B --	14.7	10.3	2.6	480	便砂岩	245			
#	396		B b	13.3	7.3	3.6	520	便砂岩	245			
#	397		C a c	17.6	6.2	3.6	710	便砂岩	248			
#	398		B a c	(8.2)	(6.5)	(1.2)	(100)	便砂岩	248			
#	399		B a	16.2	8.2	3.6	710	便砂岩	249			
#	400		B a b	11.1	7.3	3.6	380	x	250			
#	401		B b	9.7	9.0	3.2	310	x	250	刃頭欠		
#	402		A a b c	11.8	10.3	5.3	940	x	254			
#	403		C a	14.8	4.4	2.0	230		251			
#	404		B b c	13.4	10.3	5.4	650	便砂岩	253			
#	405		A a b c	9.6	8.1	3.8	450	花崗岩	256			
#	406		B b	13.1	7.8	3.5	540	便砂岩	256			
#	407		a b	13.9	3.0	2.8	170	便砂岩	257			
#	408		a b	(7.6)	4.2	2.5	(120)	便砂岩	259			
#	409		a b	9.9	3.1	2.5	110	x	259			
#	410		a b	9.0	2.8	1.8	60	カルシフェル	272			
#	411		石 皿	370	(33.6)	4.1	3500	砂岩	272			
#	412		石 皿	181	平基底b	2.8	2.4	0.7	2.5	馬鹿石	184	
#	413		石 皿	184	HIId	1.9	1.4	0.2	0.5	x	179	
#	414		石 皿	189	平基底-	(1.7)	1.9	0.3	(9.9)	x	183	先端欠
#	415		石 皿	190	HIIb	1.8	1.0	0.3	(0.5)	x	178	刃頭欠
#	416		石 皿	210	H --	(1.2)	1.8	0.3	(0.4)	x	180	先端欠
#	417		石 皿	222	HIId	1.8	1.0	0.3	(0.3)	x	177	
#	418		上層	187	I I I c	(1.6)	2.1	0.3	(1.2)	x	182	先端欠
#	419		上層	188	--c-	(1.7)	(0.9)	(0.4)	(0.9)	x	181	基底欠
#	420		上層	189	HIV	2.1	0.9	0.4	(1.3)	x	185	刃頭欠
#	421		上層	190	B III a	3.8	3.8	0.7	8.9	チャート	188	
#	422		上層	191	C II b	5.3	3.7	0.8	10.4	馬鹿石	196	
#	423		上層	192	A II a	3.9	2.9	0.9	6.3	x	187	打製石鋸 網状研磨
#	424		上層	193	石 皿	3.0	1.5	0.4	1.2	x	191	
#	425		上層	194	石 皿	3.8	2.1	0.9	8.6	x	189	
#	426		上層	195	石 皿	3.7	1.7	0.7	3.7	x	190	
#	427		上層	196	C I a	3.0	3.5	1.0	9.0	x		
#	428		上層	197	(C I + C I ) a	3.9	2.6	0.8	5.5	チャート	193	
#	429		上層	198	B I a	4.8	1.6	1.0	5.1	馬鹿石	194	
#	430		上層	199	D I a	2.9	2.9	0.5	1.3	馬鹿石	194	
#	431		上層	200	C I a	4.5	3.2	1.1	5.3	x	192	

## (11) グリッド

スクリーパー	堆 土	CIIa	2.6	2.0	0.7	4.9	黑 墓 石		
#	#	BIIa	2.1	(1.6)	0.4	(1.1)	x		
#	#	CIIa	2.1	2.3	0.4	1.5	x		
#	#	CIIa	(1.6)	(1.2)	0.3	0.5	x		
打製石斧	224	--	(8.9)	5.2	2.3	(150)	便 砂 研		
磨削石器	169		5.2	8.6	1.1	60	研 砂 片 研		
叩 石	3	-b c	(4.4)	(9.4)	0.6	(120)	便 砂 研	262	
#	176	-b	(3.3)	(4.8)	0.5	(30)	x		
#	堆 土	VIIa	13.7	7.6	1.8	330	x	263	
磨削石	169	a b	9.0	2.8	1.8	60	x		

## (7) 104号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番号	備考
石 鋸	3	円盤形	2.0	1.5	1.0	1.2	黑 墓 石	207		
#	17	H I b	2.5	1.8	0.4	1.1	x	195		
#	19	平盤形	2.0	1.3	0.4	0.9	x	196		
#	32	円盤形	(2.0)	(1.4)	0.3	0.4	x		片側欠	
#	33	GIVb	1.7	1.1	0.3	0.5	x	206		
上 層		DIIa	(1.4)	0.5	0.3	0.4	x	294	先端欠	
#	#	FIIb	2.0	1.3	0.5	1.0	x	208		
#	#	IIBb	2.1	1.8	0.7	1.7	x	206		
石 鋸	14	CII(+b)	7.2	7.0	1.9	33.8	x	197		
#	20	AIIb	4.6	2.4	0.4	5.1	チャート	198		
石 鋸	16	B I	3.5	0.6	0.4	1.8	黑 墓 石	202		
#	P <sub>1</sub>	B I	3.0	0.9	0.5	1.2	x	203		
スクリーパー	5	BIIa	(1.6)	(2.4)	0.5	(1.4)	x			
#	11	BIIa	1.7	3.0	0.5	2.2	x			
#	13	B I a	2.8	2.0	0.7	2.7	x			
#	16	C I a	3.0	5.9	0.9	16.5	黒 墓 破片	199		
#	21	(BII+BII)*	5.2	4.5	0.8	16.7	黑 墓 石	201		
#	22	C I a	4.3	7.3	1.1	30.7	x	200		
#	25	D I a	6.4	3.6	1.1	19.7	x			
#	#	D I a	2.8	3.3	1.3	6.4	x			
#	P <sub>1</sub>	C I a	(1.8)	(2.3)	(0.7)	(2.4)	x			
打製石斧	上 層	C I a	2.0	2.7	1.0	2.6	x			
磨削石器	15	B--c	(6.6)	4.3	0.9	(50)	便 砂 研	264		
磨削石器	上 層		7.3	4.3	1.4	70	チャート	219		
磨削石	15		8.5	3.7	3.7	170	黒 墓 破片	265		
君 佩	23		7.0	3.2	0.5	16.8	チャート	220		

## (8) 105号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番号	備考
石 鋸	裏 土	GHII-	(2.1)	1.5	0.4	(0.7)	黑 墓 石	209	先端欠	
#	堆 土	円盤形	2.7	1.4	0.7	2.1	x	210		
スクリーパー	#	D I a	1.8	2.5	0.6	2.4	x			
#	C I a	2.5	1.3	0.4	1.0	x	211			
磨削石器	床		11.8	12.5	3.5	660	便 砂 研	267		
叩 石	#	B II c	16.3	10.8	4.1	10.6	x	205		
磨削石	堆 土	#	13.2	5.4	1.9	210	x	268		
石 盆	床		42.9	32.5	8.8	12700	砂 告	270		

## (9) 106号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番号	備考
石 鋸		平盤Hyd	2.2	1.7	0.5	1.5	黑 墓 石	212		
スクリーパー	#	CIIa	3.3	4.6	0.8	13.8	チャート	213		
#		BIIa	1.9	2.9	0.8	4.2	黑 墓 石			

## (10) 107号住居址

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番号	備考
石 鋸	1		AIIb	2.6	2.1	0.4	1.2	黑 墓 石	214	
#	#	GHII	1.1	1.0	0.2	0.2	x	215		

## (11) グリッド

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番号	備考
石 鋸	45		円盤Vd	2.7	2.3	0.5	4.9	チャート		
#	50		HIII-	1.6	1.6	0.2	0.5	黑 墓 石		
#	72		平盤Vc	2.7	1.7	0.7	2.8	x		
#	8		平盤V-	(1.6)	1.7	0.5	1.5	x		
#	78		平盤Ra	2.4	(1.6)	0.5	(1.2)	x		
#	83		GIVc	1.5	1.2	0.2	0.3	x		
#	84		平盤Cc	1.7	1.6	0.3	0.6	x		
#	85		HIIb	1.8	1.4	0.4	0.6	x		
#	120		平盤Vc	1.7	1.7	0.5	1.4	x		
#	144		平盤Cc	2.9	2.1	0.6	4.0	チャート		
石 鋸	58		CIIb	3.0	3.7	0.6	4.7	黑 墓 石		
#	66			2.8	1.4	0.3	0.9	x		
スクリーパー	46		CIIa	2.7	1.4	0.8	2.9	x		
#	59		(B I + C) b	3.0	3.9	0.9	8.8	x		
#	84		D I b	(3.5)	2.1	0.9	7.2	x		
#	112		A I b	2.2	0.9	0.6	2.3	x		
#	122		B I a	2.1	2.9	0.5	3.0	x		
#	130		-H*	(1.4)	(5.6)	0.9	(2.4)	x		
#	147		B I b	2.9	3.0	0.5	4.9	チャート		
#	165		B	11.8	4.3	2.2	130	真 砂 研		
#	166		A	9.9	7.1	2.7	(150)	便 砂 研		
#	121		A	7.3	4.6	1.2	(50)	x		
#	116		B	11.6	4.7	1.5	100	綠泥石		
打製石斧				8.3	7.4	1.6	100	x		
磨削石器				(3.7)	(3.3)	(1.0)	(30)	綠泥石		
磨削石	87	a b		12.5	3.2	2.4	150	便 砂 研		
#	94	a b c		14.2	5.4	2.2	280	—		
#	127	a c								

## (12) 出土地点不明

器種	No	出土状況	型式	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番号	備考
石 鋸	1		GV-	(2.1)	1.7	0.3	(1.0)	黑 墓 石		
#	2		-H*	(1.6)	(1.3)	(0.2)	(0.3)	x		
#	3		-H-	(2.2)	(0.4)	0.3	(0.3)	x		
#	4		平盤Mb	1.8	1.3	0.4	0.7	x		
#	5		HII*	2.1	1.5	0.3	0.5	x		
#	6		HII*	2.2	2.3	0.5	1.4	x		
#	7		HIV	2.7	1.8	0.6	2.4	x		
#	8		平盤Mb	2.4	1.9	0.6	2.0	x		
#	9		平盤Mb	2.2	2.0	0.5	2.1	x		
#	10		平盤V-	(2.0)	(1.8)	(0.4)	(1.3)	x		
#	11		IIB	1.5	(1.2)	0.2	(0.3)	x		
#	12		EIIIc	1.9	(1.4)	0.3	(0.6)	x		
#	13		平盤Mb	2.5	1.7	0.8	2.1	x		
#	14		HIIb	1.6	1.4	0.2	0.4	x		
#	15		HIIa	2.2	(1.4)	0.3	(0.6)	x		
#	16		平盤Mb	1.8	1.3	0.5	1.1	x		
#	17		HIV-	(2.0)	(1.9)	0.1	(0.3)	x		
#	18		G I a	1.5	1.2	0.3	0.3	x		
#	19		HII*	1.7	1.5	0.2	0.3	x		
#	20		E III b	1.8	(1.0)	0.3	(0.4)	x		
#	21		GIII*	(2.3)	1.6	0.2	0.5	x		
#	22		I V-	(1.0)	1.0	0.2	(0.1)	x		
#	23		平盤Vc	2.5	1.8	0.5	1.9	x		
#	24		--	(2.1)	(3.0)	(0.8)	(2.7)	x		
#	25		B I a	2.3	2.1	0.6	2.4	x		
スクリーパー	25		(C+G) b	(2.8)	(2.7)	0.8	(7.1)	チャート		
#	27		(C+G) a	2.8	1.3	0.3	1.2	黒 墓 破片		
#	28		D I a	3.6	2.9	1.0	8.9	黑 墓 石		
#	39		(C I + C I ) a	5.9	1.8	0.9	11.5	チャート		
石 盆	31		B II c	17.3	9.2	4.1	580	砂 告		
#	32		B II c	19.7	8.0	3.3	470	砂 告		
#	33		B a b c	12.1	8.9	3.7	(580)	x		
#	34		B a b c	14.9	8.5	4.2	(790)	x		
#	35		B a b c	(12.0)	(8.5)	(4.7)	(420)	x		
#	36		B	13.6	(4.8)	(4.7)	(390)	x		

- ◇中越遺跡関係文献（本書に引用されたものが多い）
- 1921 鳥居 龍藏 「先史及原史時代の上伊那」
- 1953 藤沢 宗平 「長野県上伊那地方の考古学的現状調査」『信濃』III 5巻7号
- 1955 小出 保 「駒ヶ根市宮田西原発見の尖底土器に就いて」『伊那考古』創刊号
- 1956 信濃史料刊行会 『信濃史料』1巻上・下
- 太田 保 「西原遺跡の概要」『伊那考古』5・6合併号
- 1957 藤沢 宗平 「中越遺跡について」『伊那路』1巻3号
- 「宮田村中越西原遺跡について一概報其の二」『伊那路』1巻9号
- 1965 林 茂樹 「上伊那誌 第2巻歴史編 上伊那誌編纂会
- 1969 藤沢 宗平 「長野県上伊那郡宮田村中越遺跡昭和43年度緊急発掘調査概報」宮田村教育委員会
- 1970 「長野県上伊那郡宮田村中越遺跡昭和44年度緊急発掘調査概報」  
向山 雅重 「矢の根石」「山ぶどう」
- 1971 藤森 栄一 「中越遺跡拜見記」『伊那』19巻1号
- 渡辺 誠 「長野県考古学会第4回シンポジウム（昭和45年）参加記」『長野県考古学会誌』11号
- 1976 中越遺跡調査団 「中越 中越遺跡第5次発掘調査速報№1～№25」
- 1978 友野 良一・赤羽 義洋 「移動生活と中越遺跡」『どるめん』16号
- 1979 友野 良一 「中越遺跡範囲確認調査報告」宮田村教育委員会
- 向山 雅重 「中越のことども」『伊那路』第23巻12号
- 太田 保 「中越と私」  
樋口 畏一 「中越と阿久一南信における前期繩文遺跡」
- 小木曾 清 「文化財保護は誰の役目か」  
林 茂樹 「長野県における遺跡保存の現状」
- 中越遺跡保存対策委員会 「中越遺跡発掘調査概報」
- 岡田 篤子 「中越式土器をめぐる周辺」『地域研究の方向（研究ノート3）』千曲川水系古代文化研究所
- 1982 友野 良一 「原始編第1章第7節 中越遺跡」『宮田村誌 上巻』宮田村教育委員会
- 1983 友野 良一 「中越遺跡」『長野県史』考古資料編 全一巻(2) 主要遺跡(南信)
- 1987 友野良一他 「中越遺跡第14次発掘調査報告書」宮田村教育委員会

このほか、吉村進、岡田篤子が大学の卒業論文に中越遺跡のデータを用いており、第1次調査については、太田保によってまとめられた、未刊に終わった資料もある。

#### ◇引用文献

- 寺平 宏・北沢 行雄・龜田 武巳 1989 「長野県上伊那郡宮田村地域の第四系」『上伊那教育会研究紀要第10集』
- 笠沢 浩他 1982 「長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書—原村その5—」長野県教育委員会
- 樋口 畏一・宮沢恒之他 1976 「長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書—諏訪市その4—」長野県教育委員会
- 宮下 健司 1989 「薄手無文土器様式」『繩文土器大観1』
- 増子 康真 1977 「いわゆるオセンペ土器の研究」『信濃』III 29巻4号
- 佐藤 信之 1982 「出土遺物の検討 1) 土器 2) 阿久II期」『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書—原村その5—』長野県教育委員会
- 江坂 錦弥 1979 「繩文式土器編年表」『世界考古学事典』上巻

## あとがき

---

中越遺跡とかかわりを持ち始めて約5年、とうとう報告書をまとめあげるまでお付き合いしてしまった。1年でたった100頁。特に最後の本の形にまとめあげる段階で、自分の非力を痛感させられた。

もちろん現在は立場上不可能だが、当初は、何で私がこれをしなければいけないのかと思い、まとめただけの資料をお返しし、「中越」と縁を切ろうと考えたことも一度ならずあった。しかし、中越遺跡の発掘調査の正式報告書作成の試みが何回とされながら、結局完成まで至らぬまま経過して来た最大の原因が、その資料の膨大さに帰因する労力の不足といった種類のものではなく、報告書刊行を企図し、作業を進めるに従い、記録の中にすでに風化してしまった部分が次々と現われ、その解釈にゆきづまつたためではないかと気がついた時、本来全く中越遺跡とのかかわりをもたない私のような人間でないと、逆に、まとめられないのかと考え、あえて試みる決心をした。

従って、本書の中には、不明とした部分や、あいまいな表現がいくつもある。特に第4次までの調査結果には、調査にたずさわった方は反論や意見を多く持たれたと思う。どうかそれを教育委員会にお寄せ頂きたい。中越遺跡のうち調査した部分は、本書のように保存されたということであるから、「中越遺跡発掘調査報告書の問題点」とでも題した論文集が出来れば、遺跡の保存処置はより充実したものになろう。

発掘調査の経過や報告書という形での記録保存が出来あがる経過は、ごく概略的にしか記録できなかつた。中でも次の点が心残りである。その1つは、第3・4次調査に奉仕的に参加して頂き、発掘作業の原動力となられた地元の皆さんや、第6次調査まで協力頂いた当時の中学生・高校生など現場で苦労した皆さんのお名前を記録できなかつたことである。一方、特に昭和50年代初めから多くの方々からそれぞれの立場で報告書作成に関して御心配頂き、貴重な御意見を頂戴して來たのにもかかわらず、例言にもことわってあるように、結果として、それらをほとんど本書に生かすことができなかつた。さらに、昭和45年の県考古学会主催のシンポジウムでの、調査団からの発表や討論の内容には、方法論も含め、決してないがしろに出来ないものを多く含んでいたはずだと思うのだが、ついに具体的に知ることはできなかつた。お世話になった方々のお名前を紹介することも本書では割愛してある。こちらから御相談したこともあるようで、関係した皆さんには、改めて非礼の段、おわび申し上げたい。—————(小池)

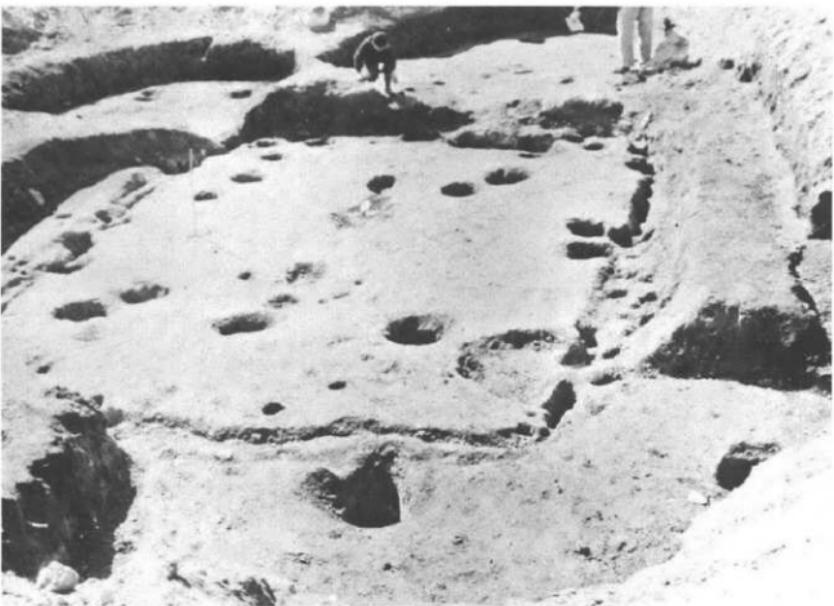
# 図 版



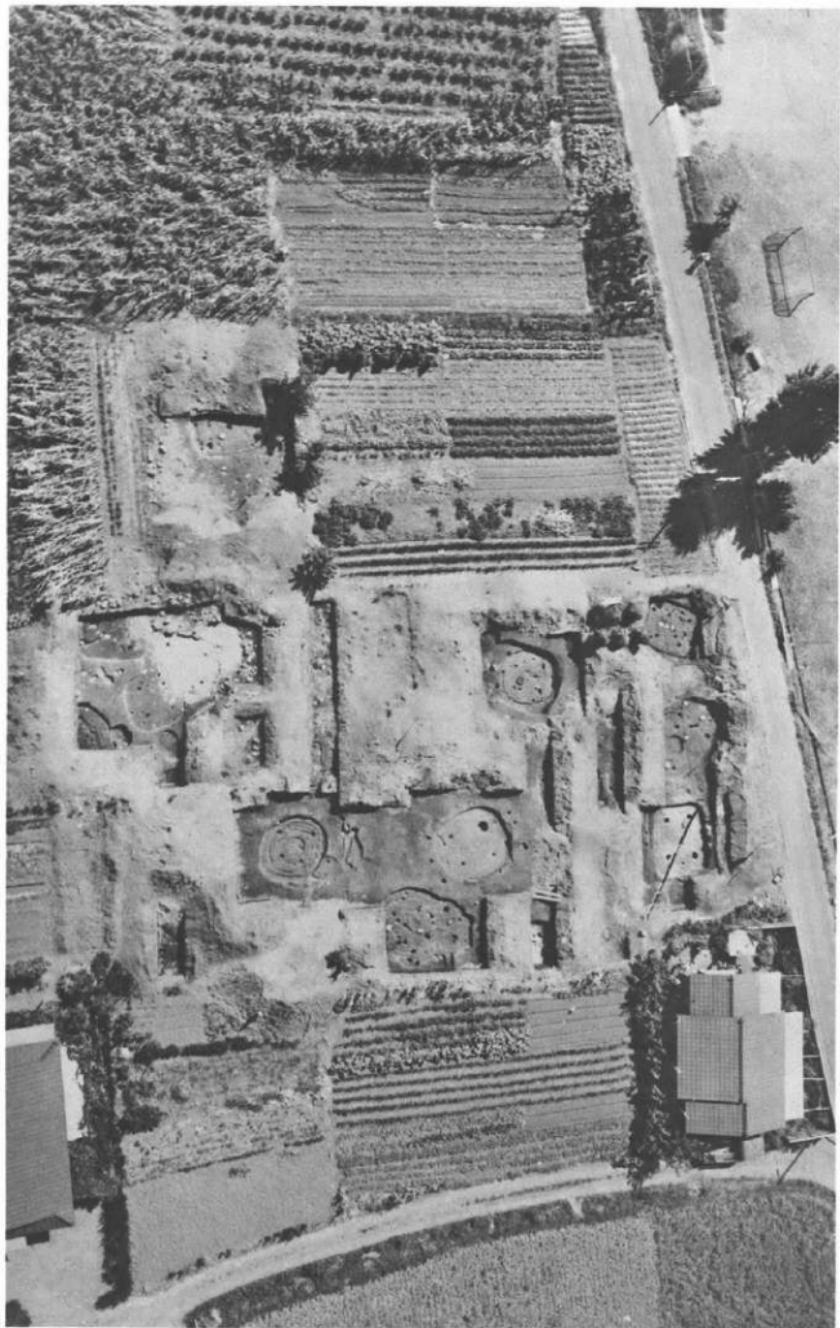
遺跡遠望—中央の畠地帯—（東方上り 昭和44年撮影）



1號住居址



2號住居址



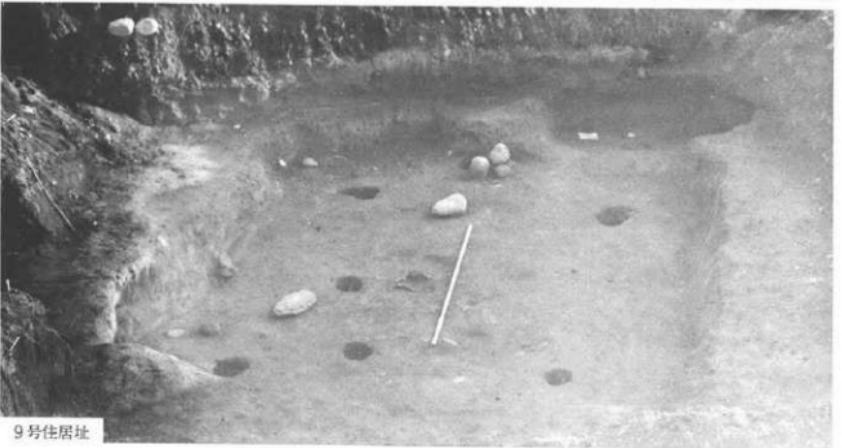
第三次調查全景（航空写真）



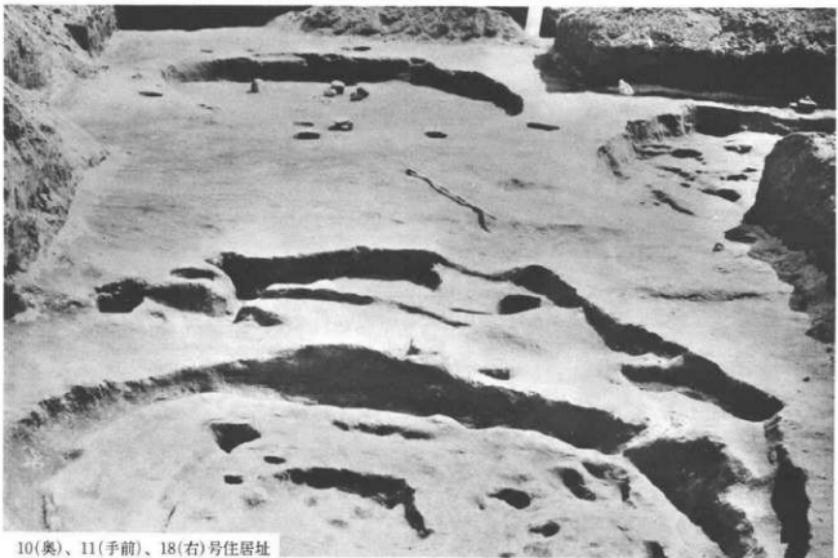
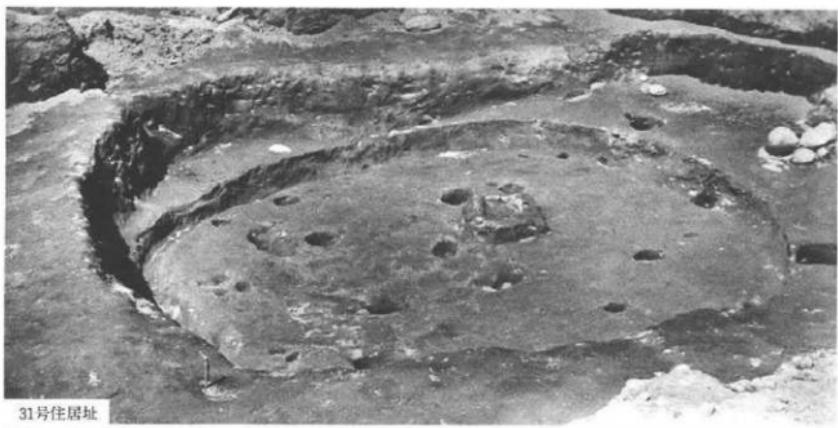
6号住居址



8号住居址

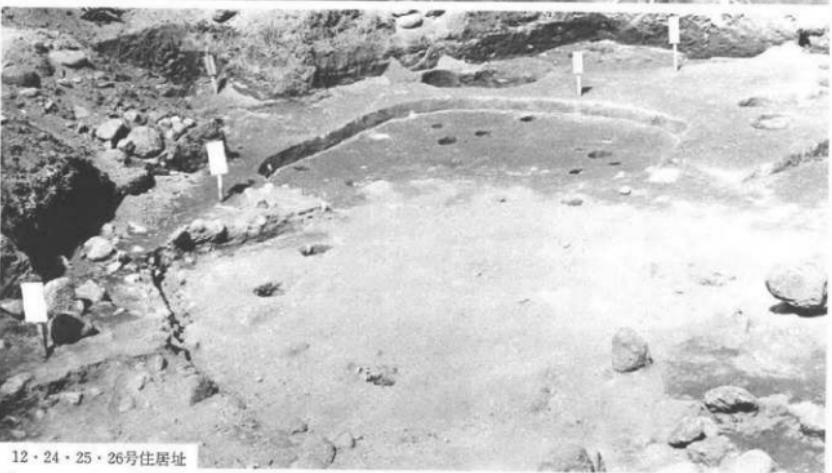


9号住居址





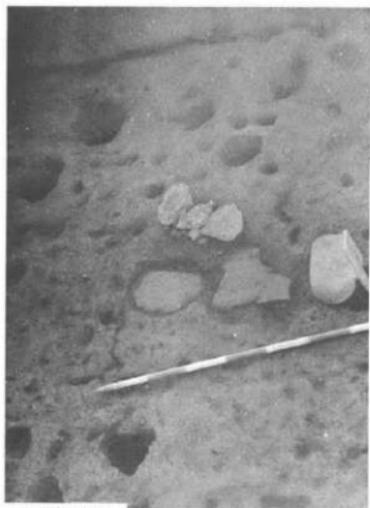
11·27·28号住居址



12·24·25·26号住居址



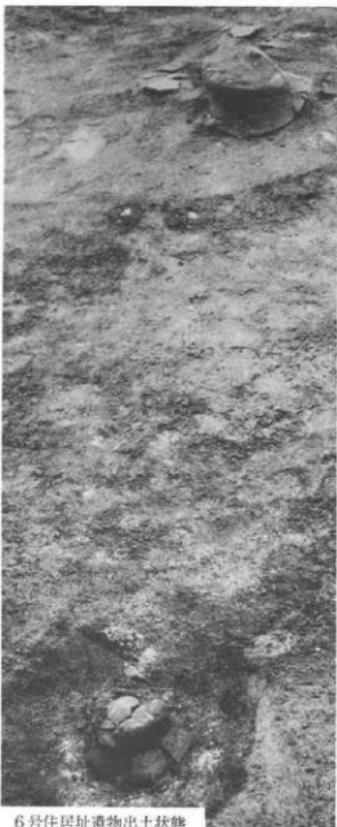
14·23号住居址



8号住居址爐



9号住居址爐



6号住居址遺物出土狀態



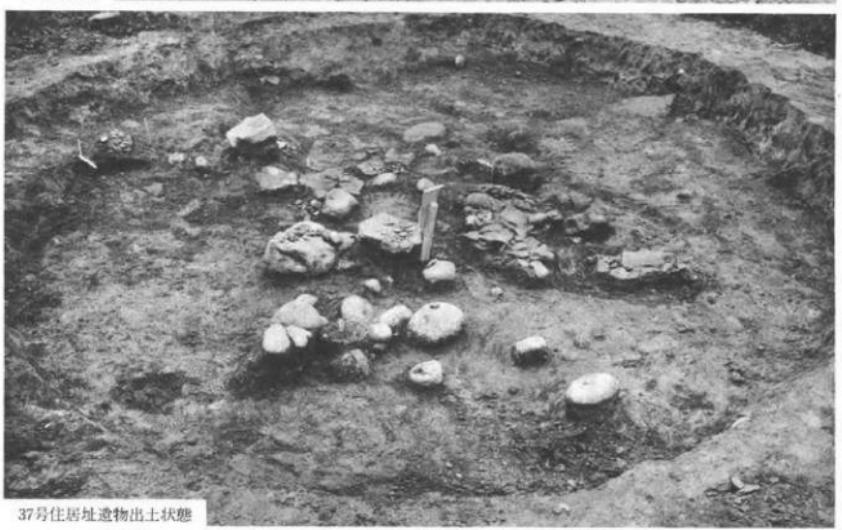
23号住居址遺物出土狀態



13·47·48號住居址

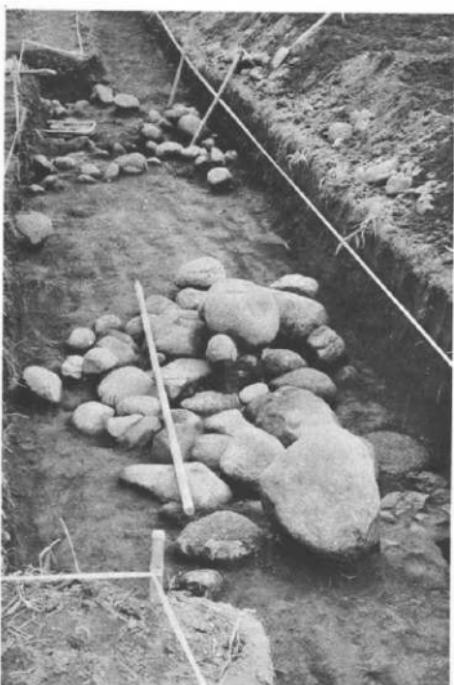


17·49號住居址





38号住居址



44号住居址礫出土状態



44号住居址



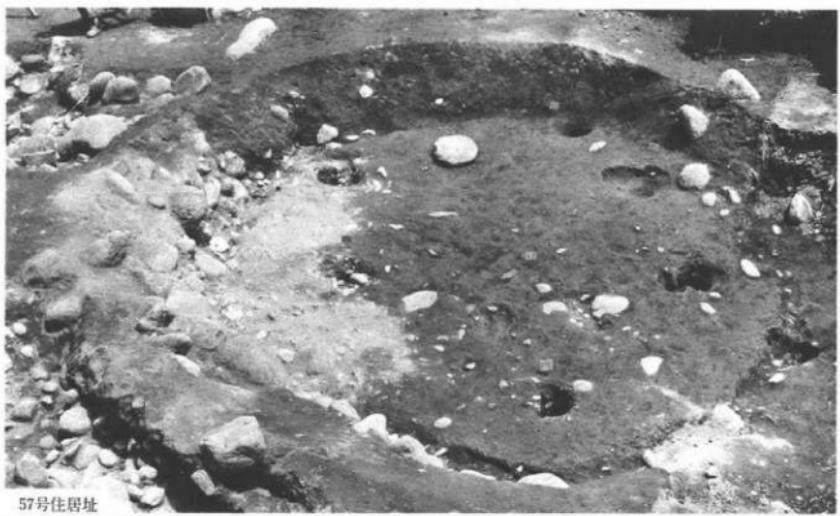
53-54号住居址



53号住居址土層(東西)

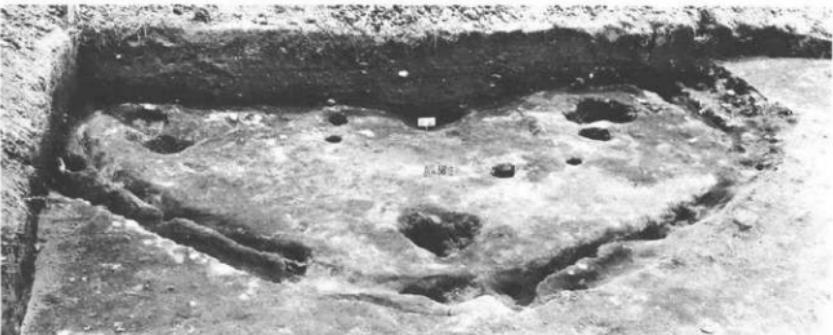


53号住居址土層(南北)





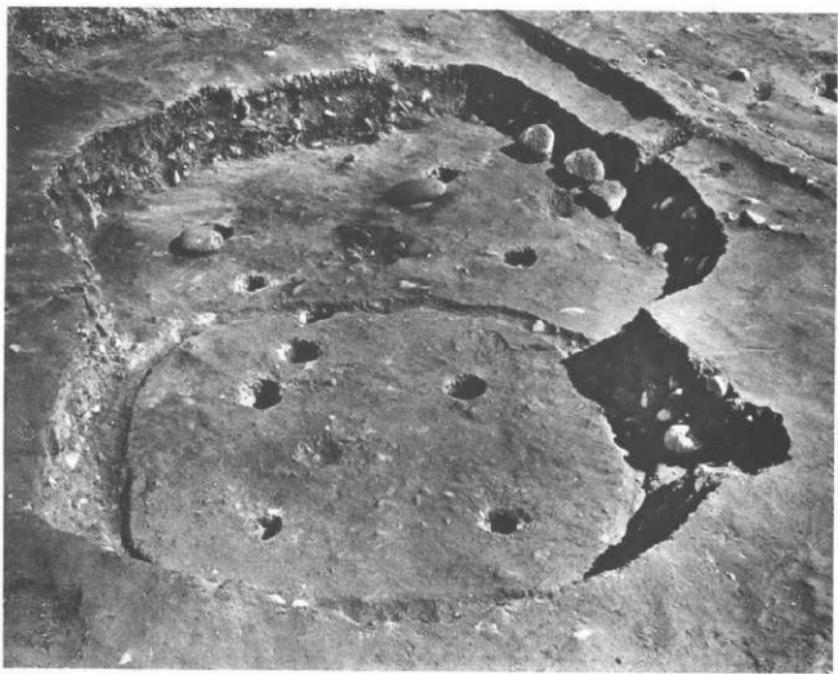
43号住居址



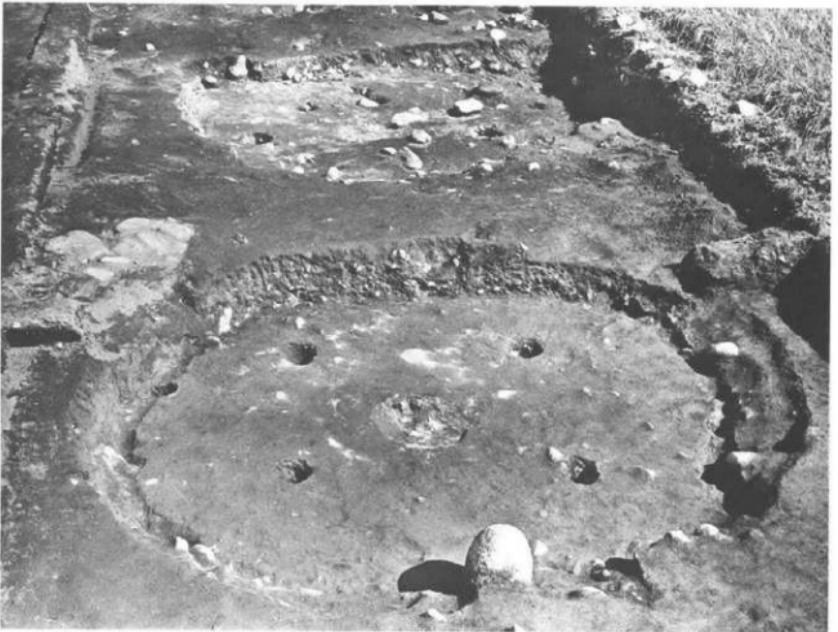
58号住居址



59号住居址



79(奥)・102(手前)号住居址



98(手前)・100(奥)号住居址



104号住居址



105号住居址



107号住居址·方形柱列



第6次調査第3地区全景



上部集礎遺構群(5号から8号遺構にかけて、南西より)



13・14号遺構(14号の立石を起こし、13号の外側の環状組石をはずした状態)



13号造構



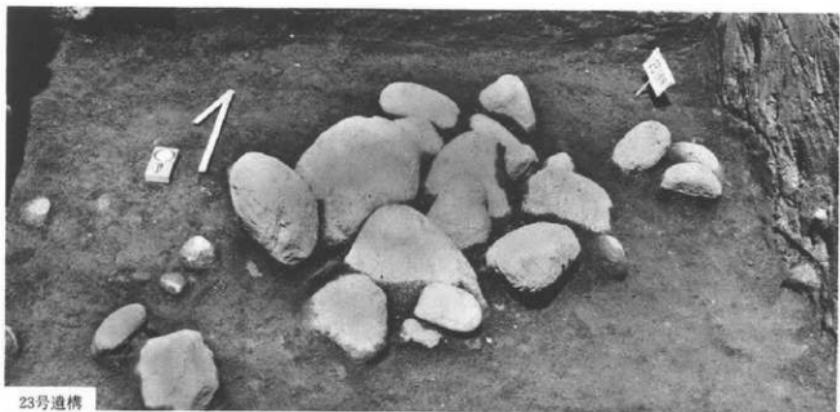
16号造構



下部集疊造構群（西より）



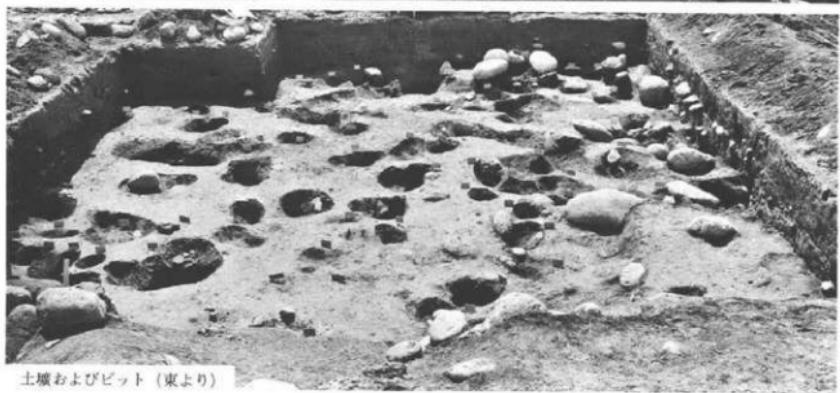
下部集疊造構群（14号から28号造構にかけて、西より）



23号遺構



24号遺構



土壇およびビット（東より）



23号住居址出土土器



6号住居址出土土器



57号住居址出土土器



2号住居址出土土器



2号住居址出土土器



12.



30.

12. 6号住居址 30. 2号住居址出土土器



31



4



22



35



2



32



17

22·31·32, 2号住居址 35, 4号住居址 2·4, 6号住居址 17, 8号住居址出土土器



28



68



33



69



30



79



47



41

28·30·33. 10号住居址 47. 14号住居址 68·69. 37号住居址 79. 44号住居址  
41. 旧中学校校庭出土土器



41



4



235



41



3



40

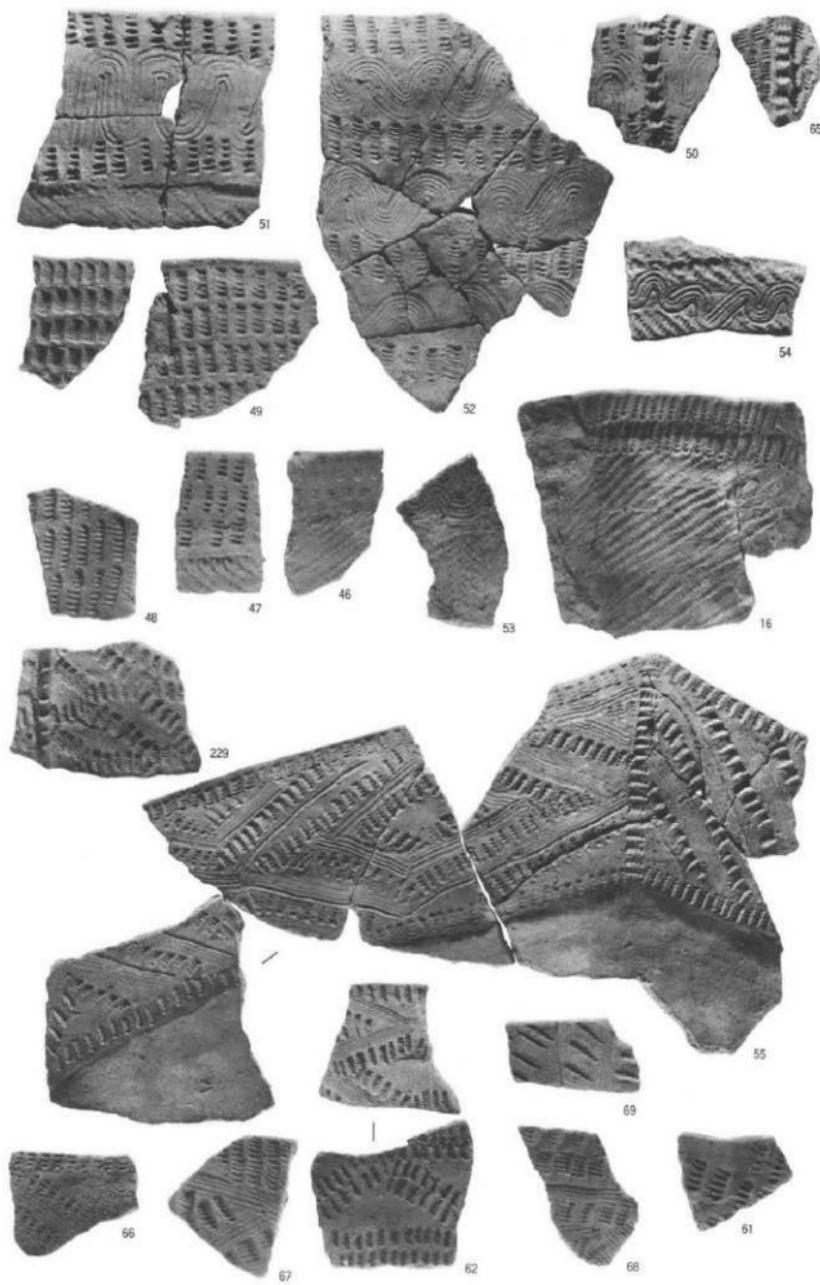


2



72

41(左上), 41号住居址 2—4 57号住居址 40—41(右), 59号住居址 72、62号住居址出土土器



2号住居址出土土器



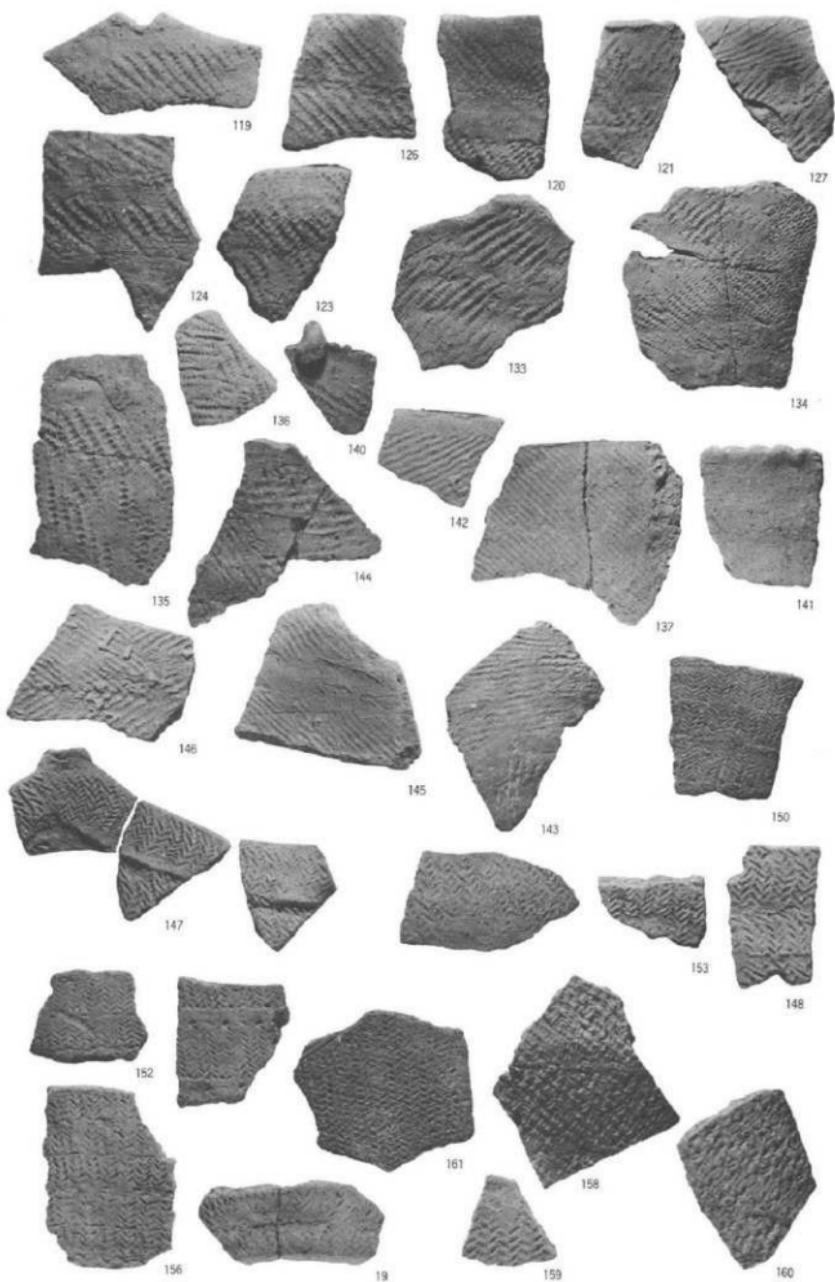
2号住居址出土土器

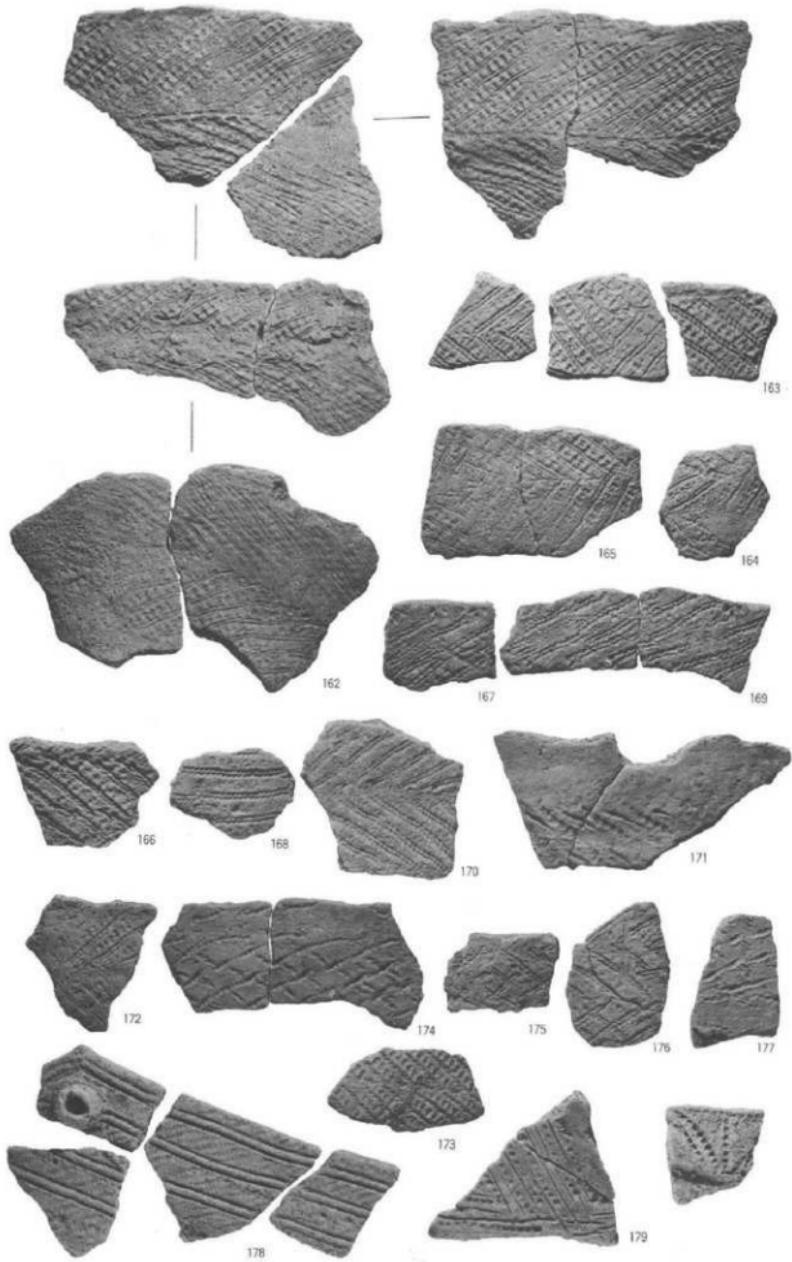


2号住居址出土土器

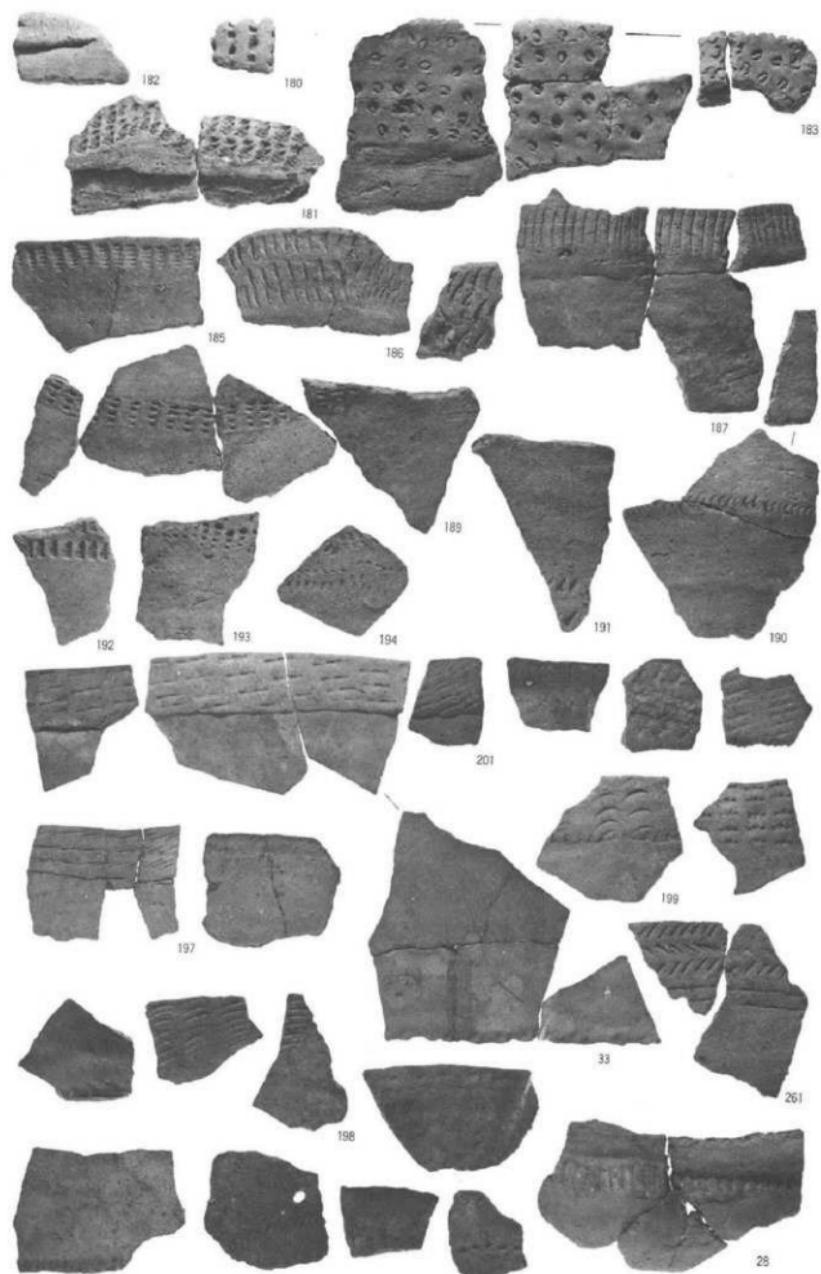


2号住居址出土土器

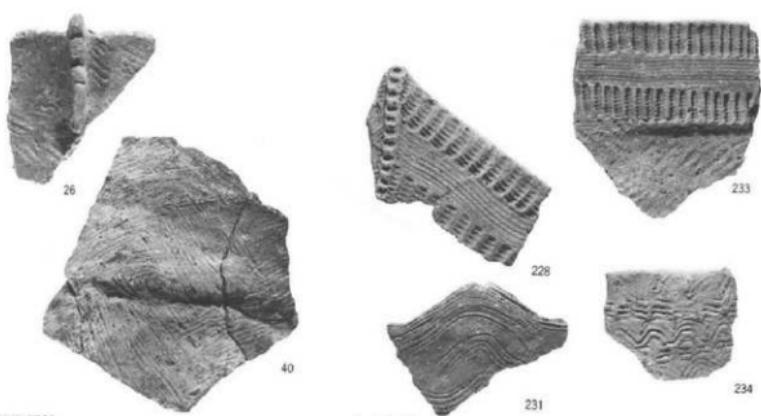
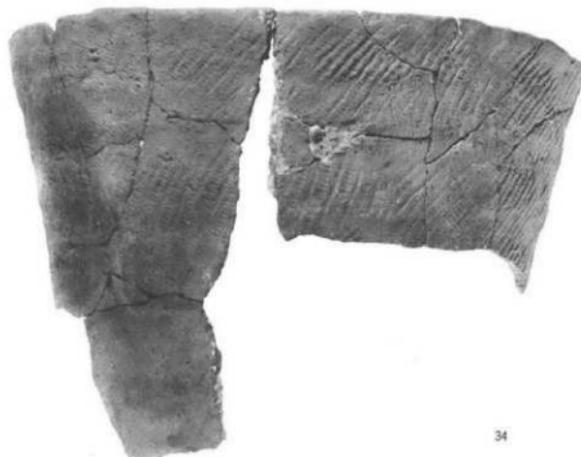
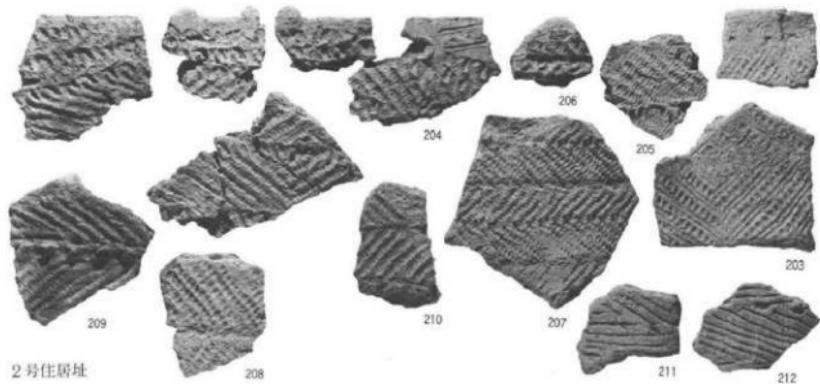




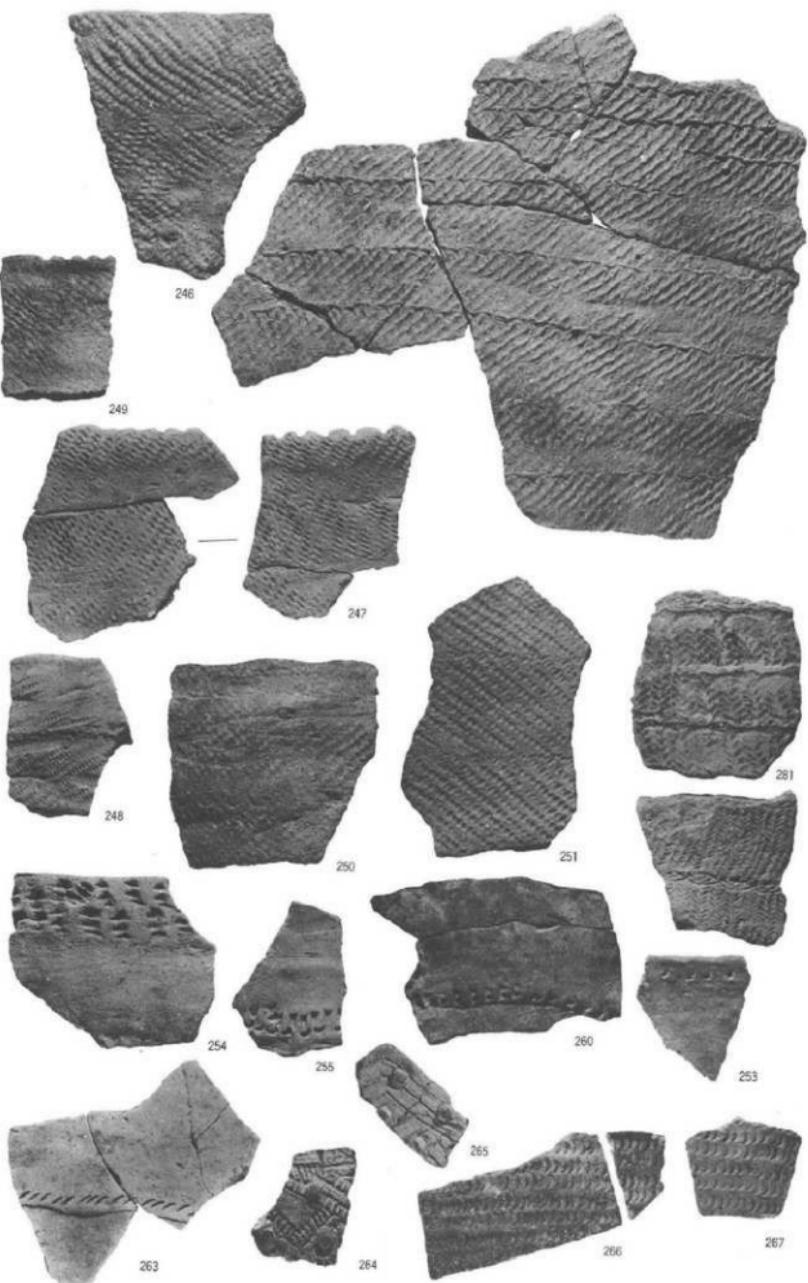
2號居住址出土土器



2号住居址出土土器

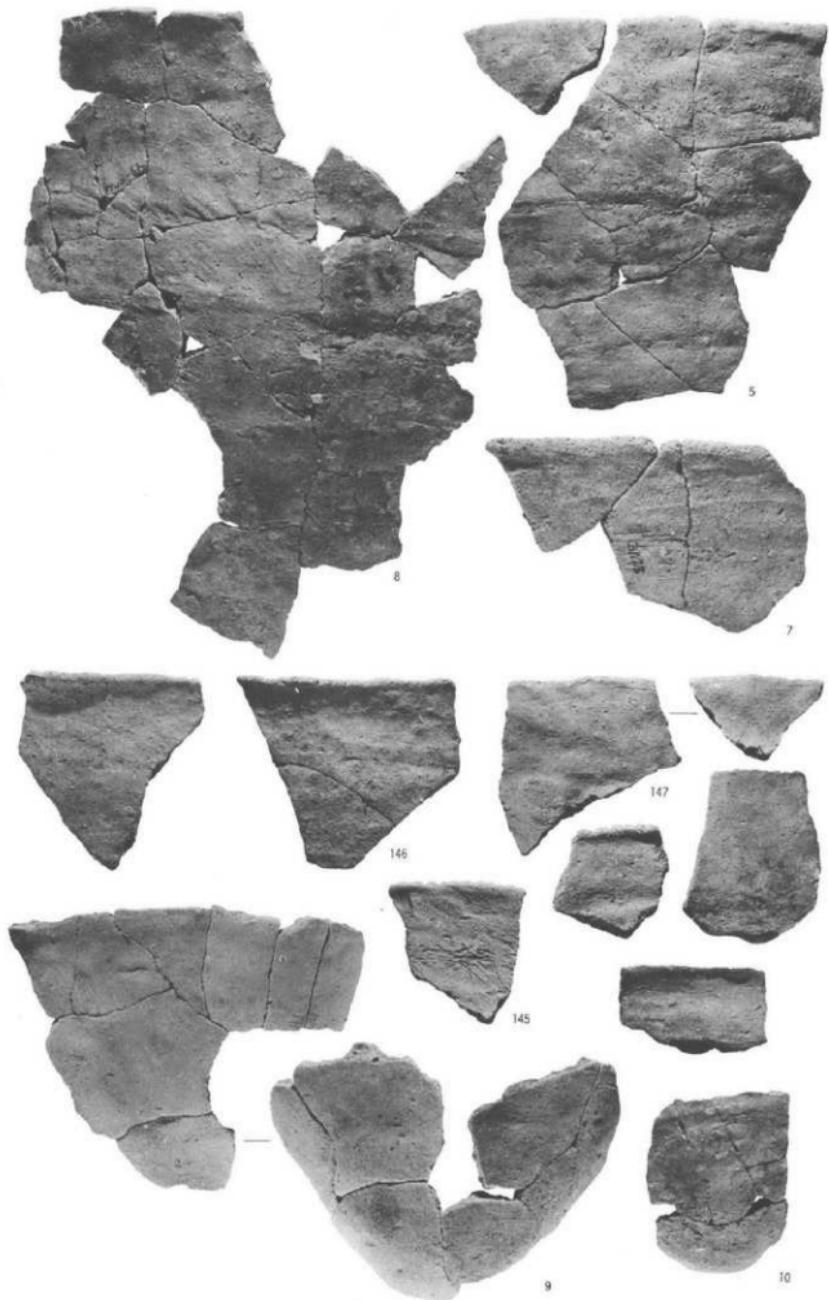


トレンチ

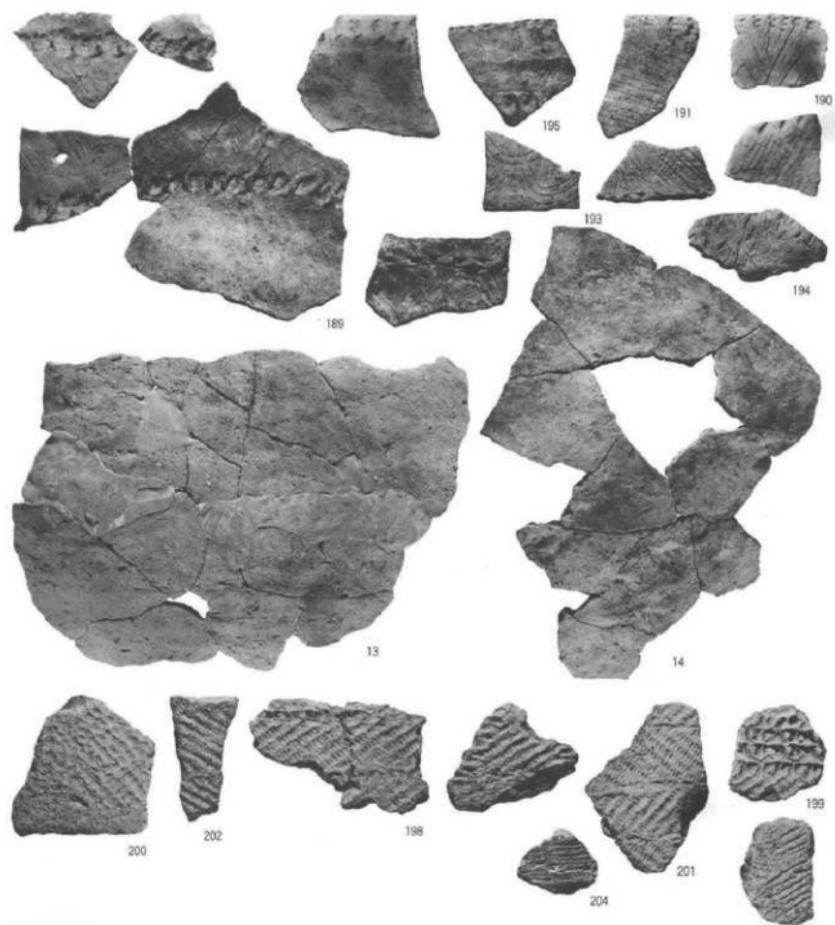




6號住居址出土土器



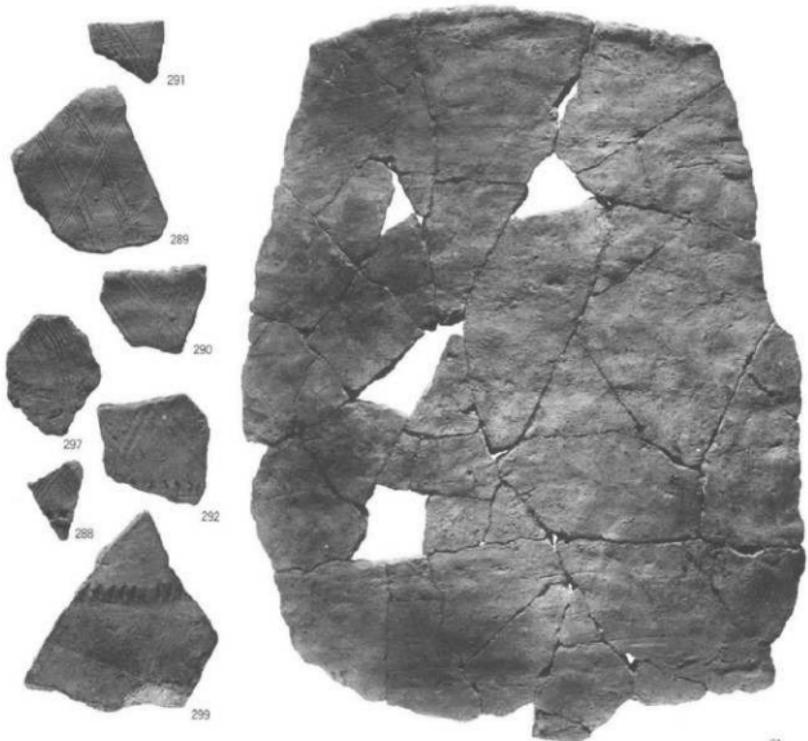
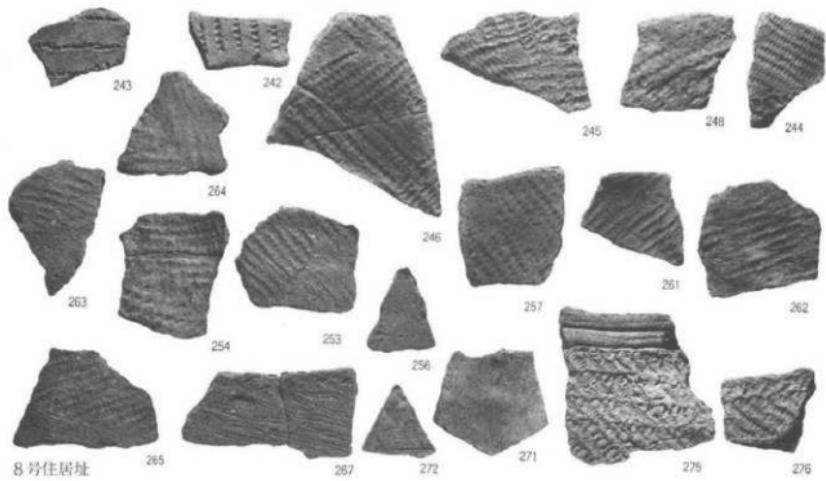
6号住居址出土土器



6号住居址

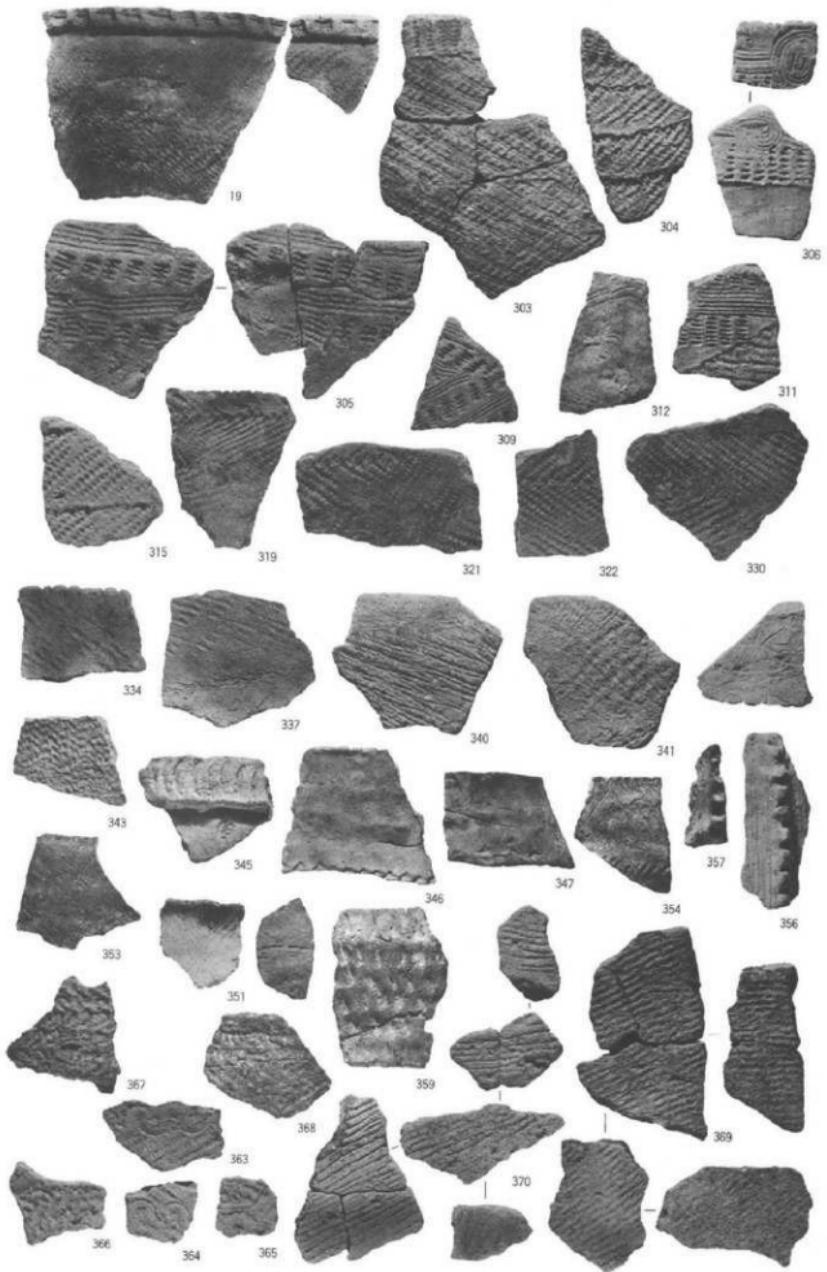
7号住居址

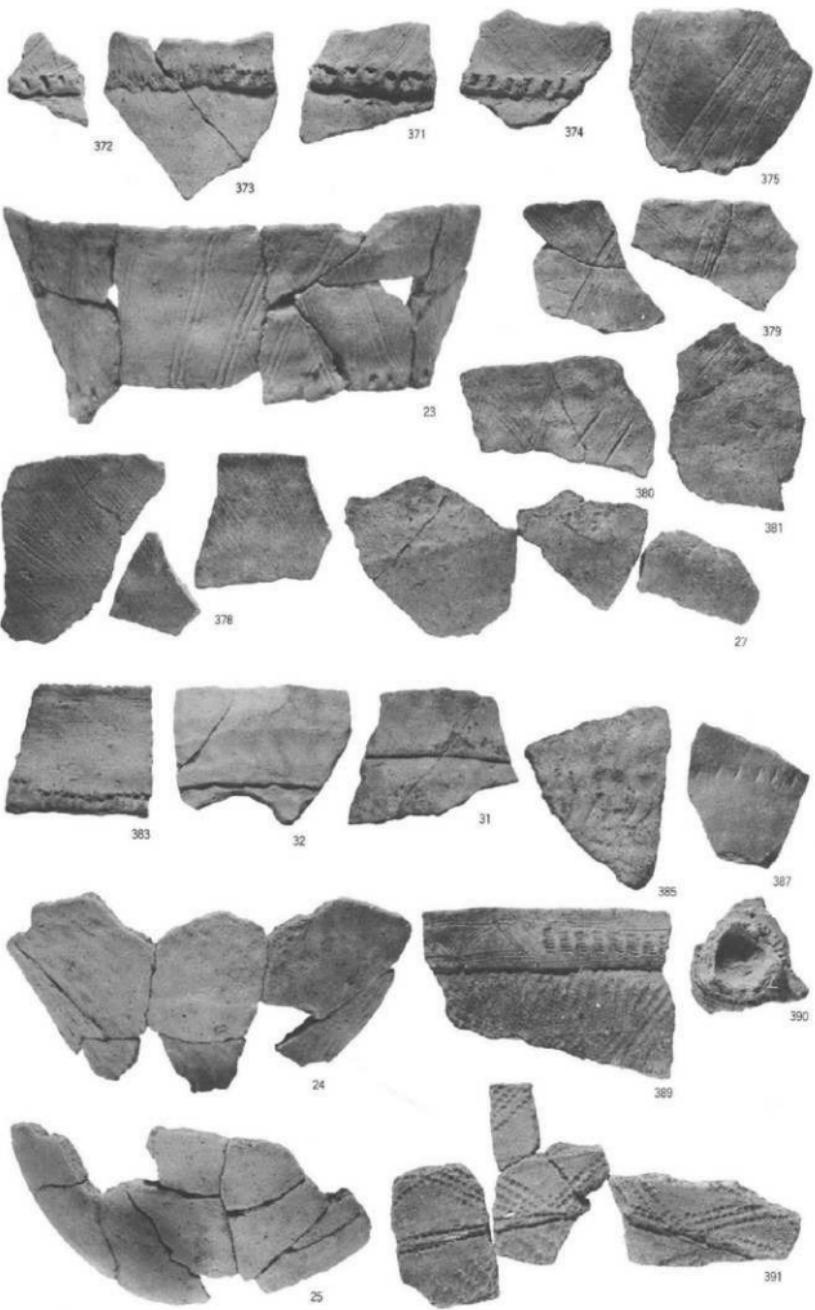
6·7号住居址出土土器

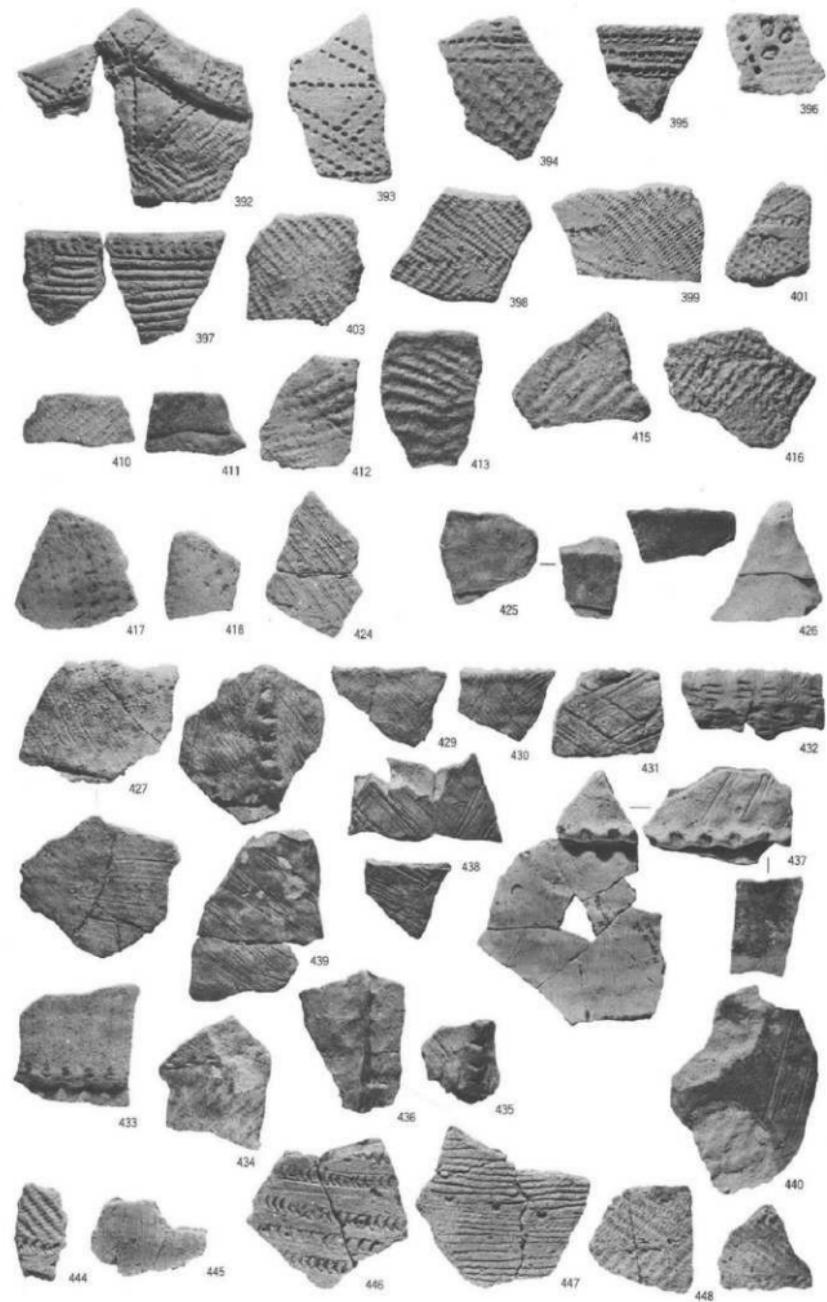


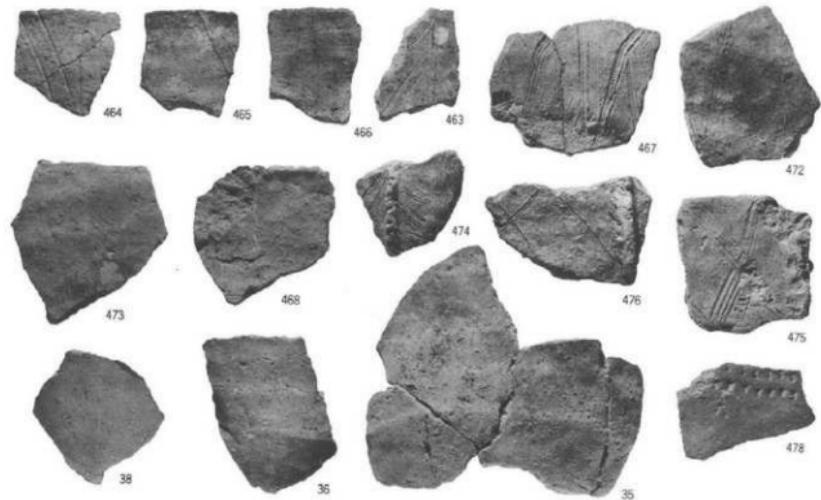
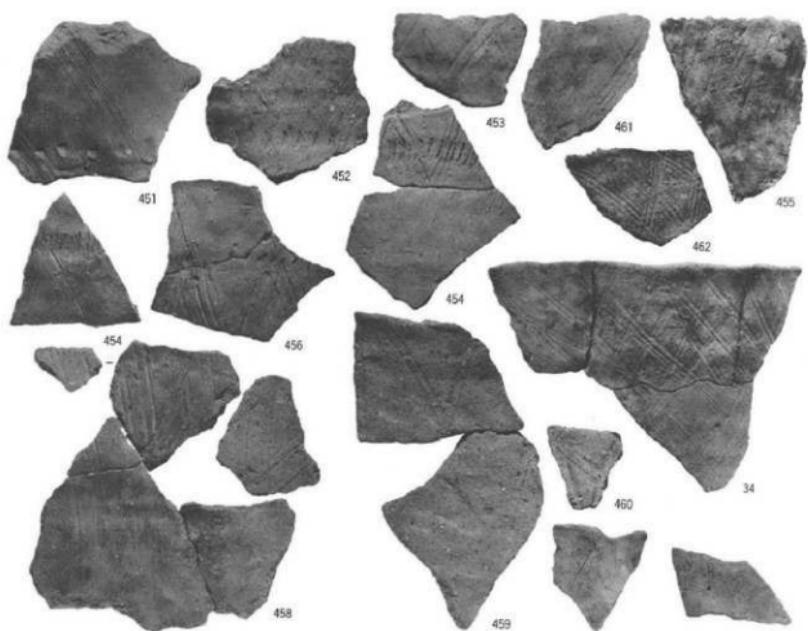
9号住居址

8・9号住居址出土土器

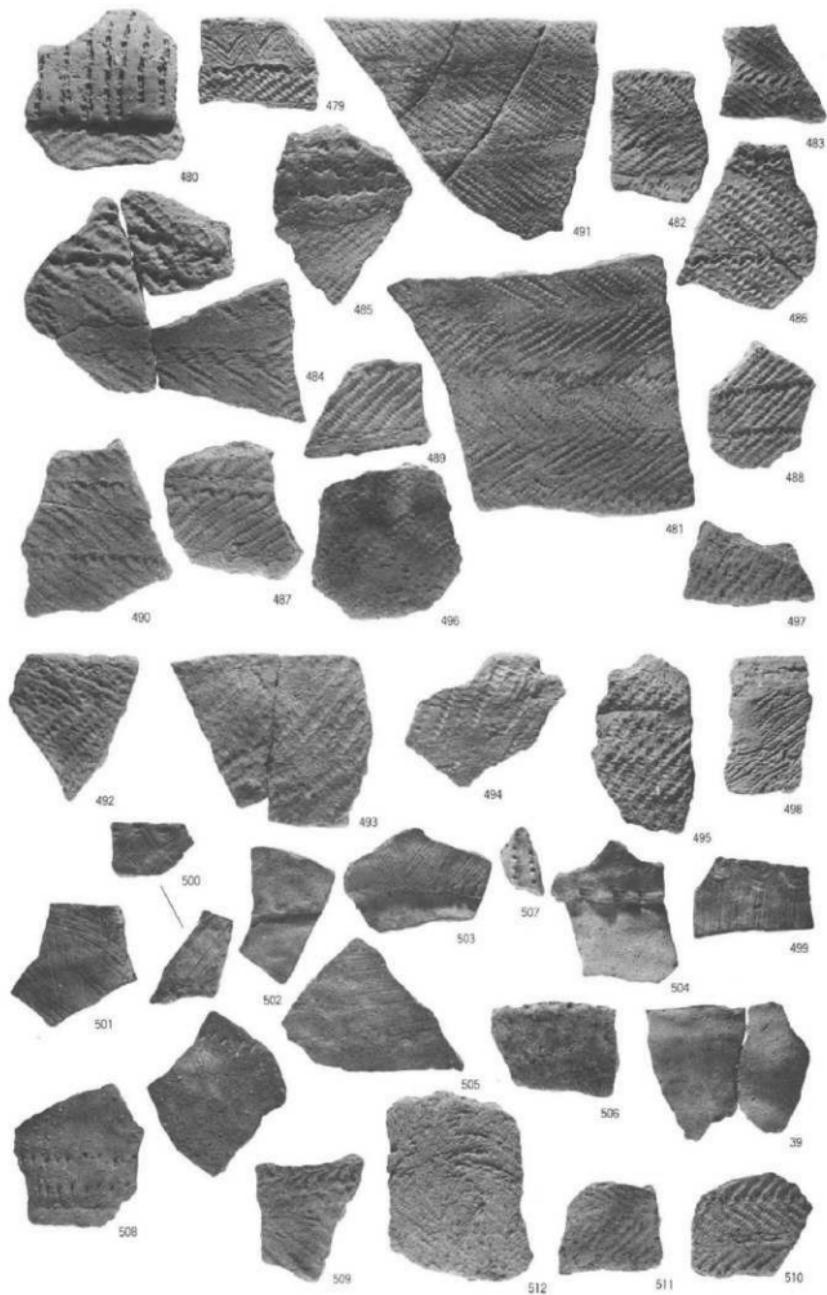


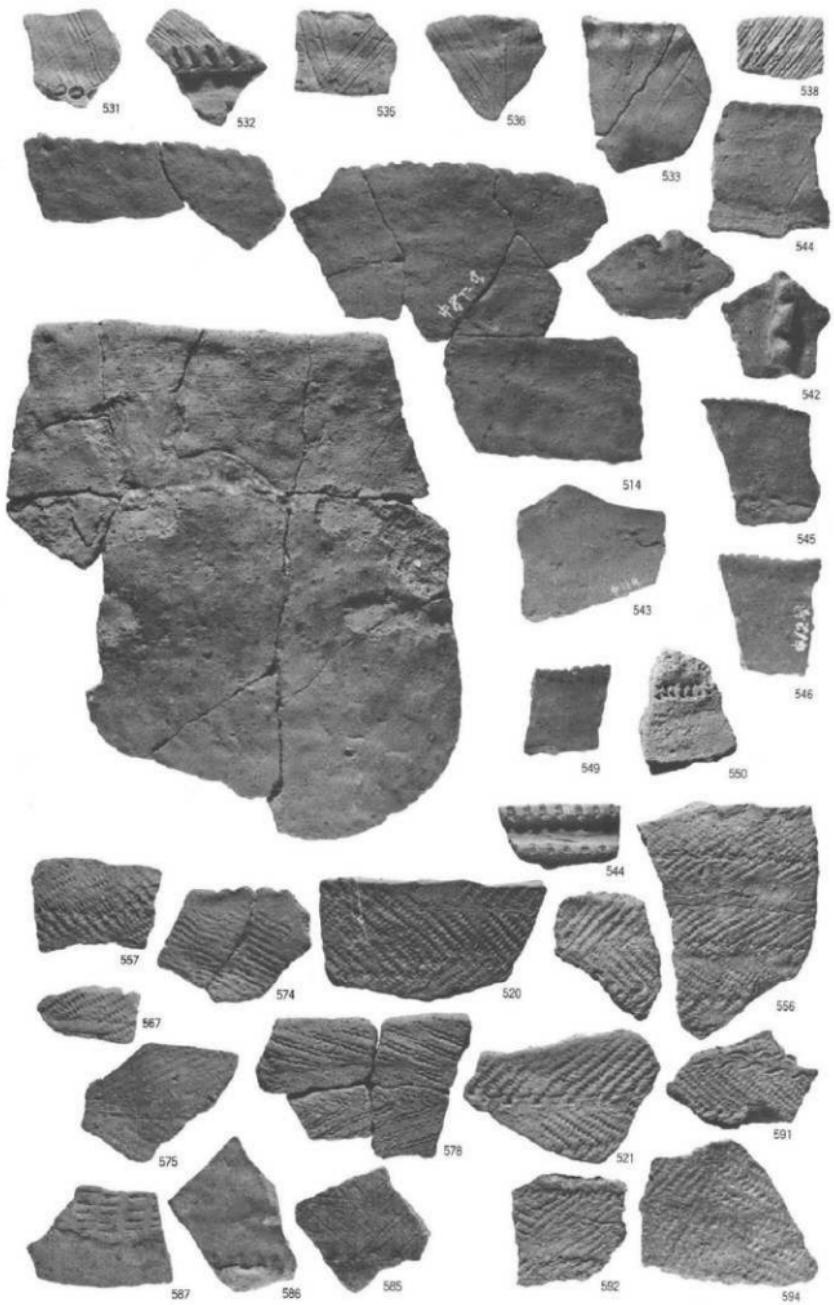






11号住居址出土土器





12号住居址、同上層出土土器



13号住居址出土土器

